AVN-SZX04i/AVN-ZX04i

メモリーナビゲーション内蔵　SD/DVD/Bluetooth/Wi-Fi/地上デジタルTV　9型WVGA AVシステム

AVN-SZ04i/AVN-SZ04iW/AVN-Z04i/AVN-Z04iW

メモリーナビゲーション内蔵　SD/DVD/Bluetooth/Wi-Fi/地上デジタルTV　7型WVGA AVシステム

取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。
正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。
また、お読みになった後も必要なときにすぐご覧になれるよう大切に保管してください。

お買い上げいただき、ありがとうございます

製品に添付されている各種説明書は必ずお読みください。
指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。

AVN-SZX04i/AVN-SZ04i/AVN-SZ04iWをお買い上げ頂いたお客様は
「通信ユニットかんたん使いこなしガイド(別冊)」も合わせてお読みください。

◆取扱説明書で使用している画面と実際の画面はデータの作成時期・種類等によって異なることがあります。
◆仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合もありますのでご了承ください。

本書の見方

お客さまや他の人々の安全や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたいことを次のように表記します。

⚠警 告…人が死亡または重傷を負う可能性がある内容

⚠注 意…人が傷害を負う可能性がある内容

⚠重 要…機器の故障や破損を防ぐために守っていただきたい内容

操作に関係する情報を次のように表記します。

チェック
準備や条件など、操作する前に知っておいていただきたいこと

ワンポイント
機能の仕様やアドバイスなど、知っておいていただきたいこと

操作手順はスイッチを並べて表記します。

(例) 現在地 ⇨ 設定・編集 ⇨…⇨ 案内開始

他の操作手順がある場合に表記します。

■ 次の手順でも操作できます
(例) 現在地 → 設定・編集 →…→ 案内開始

各スイッチの操作を次のように表記します。

「ナビ」…タブスイッチ(画面に表示されるスイッチ)

音量設定…タッチスイッチ(画面に表示されるスイッチ)

現在地…パネルスイッチ(パネルに配置されたスイッチ)

INDEX

My Pageに登録しよう

My Pageにご登録をお願いします

「My Page」は、ECLIPSE製品をご購入いただいたお客様に、各種情報を提供するWEBサービスです。

⚠ 重 要

当社は、お客様個人に関する情報の重要性を認識し、厳重な管理を行っております。

「My Page」にご登録いただくと

ご利用製品に関連する製品・サービス・サポートの情報をお知らせいたします。

ご登録いただいたお客様限定のキャンペーンにご応募いただけます。

アンケート（不定期に実施）にお答えいただいたお客様には、プレゼントを差し上げます。

My Pageに登録する

ナビに表示した2次元バーコードから「My Page」にアクセスして、ご登録いただけます。
ご登録いただいたお客様の情報は「My Page」で確認･変更することができます。

My Pageに登録するには次の情報が必要です。

・メールアドレス（IDとして使用）
・任意のパスワードの設定

画面に表示された2次元バーコードをスマートフォンで読み取り、My Pageにアクセスする ⇨ スマートフォンの画面にしたがって、登録する

「My Page」には次の方法でもご登録いただけます。

スマートフォンからのご登録

・URLを入力してアクセスする　⇒ https://www.e-iserv.com/jp/MyPage/mp/index.html

パソコンからのご登録

・ECLIPSEホームページから ⇒「お客様サポート」より「My Page」へアクセスする。
・URLを入力してアクセスする　⇒ https://www.e-iserv.com/jp/MyPage/Index.do

ナビゲーションを活用して ドライブへ行こう!

自宅の登録 ▶P.104

自宅を登録すると、自宅へ帰るルートがカンタンに設定できます。

目的地を探す ▶P.74

目的地をいろいろな方法で探します。

デモ走行 ▶P.83

出発前にルート案内を見ることができます。

目的地を追加する ▶P.89

ドライブの途中でも目的地を追加することができます。

ルートを確認して選ぶ ▶P.86

目的地までのルートは5つの探索条件から選ぶことができます。

5ルート探索 ▶P.86

ECOルート探索 ▶P.293

地図の表示方法を変える ▶P.63

地図の縮尺や向きなどをお好みで変更することができます。

目的地案内の表示方法を変える ▶P.100

ルート案内中に表示される案内表示画面をお好みで変更することができます。

地図表示・案内表示は変更できる?

提携駐車場を探す ▶P.82

デパートなどの施設と提携している駐車場を探します。

沢山買い物をするし、提携駐車場に停めよう!

今日は時間がないから、○○へ行くのはやめようか…

目的地を消去する ▶P.92

目的地を並べ替える ▶P.90

状況にあわせて、目的地を消去したり、行き先の順番を変更することができます。

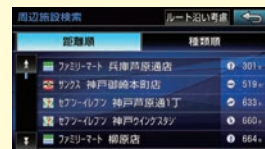
施設アイコンを表示する ▶P.71

コンビニなどの施設アイコンを表示することができます。

コンビニマーク

周辺施設を探す ▶P.81

コンビニなどの周辺施設を今いる場所から近い順に表示します。

この周辺には何がある?

さて、帰ろうか!

自宅に帰る ▶P.82

自宅へ帰るルートをワンタッチで設定できます。

自宅

混んできたな…道を変えたいな

渋滞情報を確認する ▶P.120

VICS交通情報を表示することができます。

渋滞情報
…渋滞
…混雑
…順調
VICSマーク

次もまた来よう!

また行きたい場所を登録する ▶P.105

また行きたい場所をメモリ地点に登録すると地図上にマークを表示させたり、カンタンに目的地に設定することができます。

インターチェンジ指定 ▶P.87

乗降するインターチェンジを変更することができます。

高速も混んでいるな、1つ手前のICで降りよう

ルートを再探索する ▶P.94

一度設定したルート条件を変更することができます。

早く帰りたいし、高速道路で帰るルートに変更しよう

履歴を消す ▶P.116

ドライブの履歴を削除することができます。

いらない履歴は消しておこう

この辺りはよく知っている道だからルート案内はいらないな

ルート案内をやめる ▶P.103

ルート案内を中止することができます。

画面を消す ▶P.39

画面を表示する必要がないとき、画面を消すことができます。

アプリCarafLを活用して ドライブへ行こう!

様々な情報を
音声でお伝えしながら
ドライブのお供をします。

キャラクターとの対話で、行きたい場所の検索やナビへの目的地設定ができます。
他にもキャラクターとのちょっとしたおしゃべりや、コスチュームの収集など盛りだくさんで楽しめるアプリケーションです。
詳細はP.254をご覧ください。

おでかけスポット提案

目的地を設定してしばらく走行すると、目的地付近のおすすめ情報を案内します。

目的地付近のオススメ情報を
紹介します。
目的地から 1km に神戸ポートタワーがあります。
神戸を代表するデートスポット・・・

コスチュームチェンジ

様々なコスチュームに変更できます。
愛着度レベルが上がるとゲットできる「愛着ワクワクコスチューム」や県境をまたいだときにゲットできる「ご当地コスチューム」、季節限定でゲットできる「季節限定コスチューム」があります。

ようこそ
兵庫県へ

車載機音声操作

「目的地消去」などのナビ操作や、「CDを聞く」などのオーディオ操作を音声で実行することができます。

わかりました。
操作を実行します。

目的地転送

ナビゲーションと連携させると、目的地をナビゲーションに転送することができます。

カーナビゲーションに
目的地を転送しました

天気予報

場所と日にちを指定すると、天気を教えてくれます。

神戸周辺の天気は
晴れです

SAPA提案

目的地を設定して高速道路走行中に次のサービスエリア・パーキングエリアが10km以内になると、おすすめ情報を案内します。

ナビゲーションを活用して ドライブを楽しもう!

通信機能を使う

スマートフォン連携 ▶P.254
便利で楽しいサービスを提供する専用アプリケーションです。

Wi-Fi ▶P.260
Wi-Fiの通信機能を使って、スマートフォンアプリの利用や、施設情報をダウンロードすることができます。

MirrorLink™ ▶P.255
スマートフォンのアプリをナビで操作することができます。

クルマでDS※ ▶P.248
ナビとニンテンドーDSをワイヤレスで接続。楽しいゲームがお子様との長時間ドライブをもっと楽しくします。

ハンズフリー ▶P.223
Bluetoothの無線通信を使って電話の操作ができます。

※別売のDSソフトが必要です。

音楽を聞く

ラジオ ▶P.134

CD ▶P.136

MP3/WMA/AAC ▶P.136

Bluetooth Audio ▶P.243

SD REC※1（録音）▶P.156

SD※1 ▶P.156

iPod※3 ※4 ▶P.194

AUX※5 ▶P.201

USB※3 ▶P.151

映像を見る

TV ▶P.180

DVD VIDEO ▶P.136

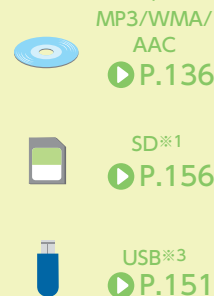
iPod video ※2 ※3 ※4 ▶P.194,202

HDMI※2 ▶P.202

VTR※5 ▶P.199

DVD VR ▶P.136

USB※3 ▶P.151

SD※1 ▶P.156

※1 別売のSDメモリーカードが必要です。(AVN-SZX04i/ZX04iは同梱)
※2 別売の「HDMI延長コード」および市販の変換ケーブルが必要です。
※3 別売の「USB接続コード」が必要です。(AVN-SZX04i/ZX04iは同梱)
※4 別売の「iPod接続コード」が必要です。
※5 別売の「拡張配線コード」が必要です。

安心・安全・快適機能を使う

バックアイカメラ※ ▶P.267
確認がしにくい後方の映像を映すことができます。

フロントアイカメラ※ ▶P.272
見通しの悪い交差点などで死角の映像を表示することができます。

ITSスポットサービス(DSRC)※ ▶P.283
ITSスポット対応DSRCユニットを接続すると、ITSスポット安全運転支援などのサービスを受けることができます。

※別売品です。

まず、はじめに

■電源を入れる

エンジンスイッチをACC
またはONにする

エンジンスイッチをOFF（LOCK）にすると、本機の電源が切れます。

◆ オープニング画面

プログラム読み込み画面⇒オープニング画面の順に表示されます。
プログラム読み込み画面表示中は、本機を操作しないでください。

初めて本機を起動したときは、カンタン初期設定画面（→P.14）が表示されます。

前回、最後に表示していた画面が表示されます。

■AVN-SZX04i / AVN-ZX04i / AVN-SZ04i / AVN-Z04i

■AVN-SZ04iW / AVN-Z04iW

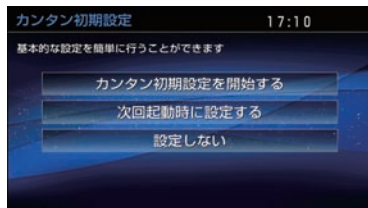
- 本書では、一部を除き別売の機器が接続されている画面で説明しています。
- ナビ画面は、一部を除き2Dノースアップ表示の画面で説明しています。
- パネルスイッチは、AVN-Z04iで説明しています。

■パネルスイッチの操作と表示される各操作画面の紹介

・短押し：軽く1回押す。
・長押し：“ピー”と音がするまで押す。

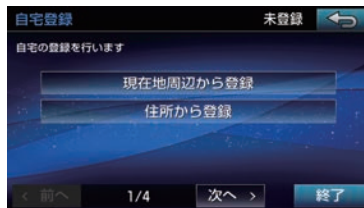
番号	スイッチ	機能
①	⏮ 、⏭	・短押し：TV・ラジオの放送局、曲、DVDのチャプターを切り替え ・長押し：曲や映像を早送り/早戻し
②	AV	・短押し：選択中のオーディオ操作画面を表示 ・長押し：オーディオOFF
③	MENU	・短押し：MENU画面を表示 カスタムバー よく使う機能を登録することで簡単に機能を呼び出すことができます。(→P.42) ・ AV …オーディオソースを選ぶ（→P.131） ・ 目的地 …目的地を検索（→P.74） ・ 情報 …ハンズフリーやエコ機能などを使う※ ・ 設定・編集 …各機能の設定を変更※ ・ ⏏ …メディアを入れる/取り出す（→P.32） ディスプレイの角度を調整（→P.36） ※詳細は各機能の操作ページをご覧ください。 ・長押し：画質調整画面を表示（1秒以上押す）（→P.39）
④	現在地	・短押し：現在地の画面を表示 ・長押し：フロントアイカメラ（別売）の映像を表示
⑤	- VOL 、VOL +	オーディオやハンズフリーの音量を調整

カンタン初期設定

Step 1 開始画面

1. カンタン初期設定を開始する にタッチ。

ワンポイント

- 次回起動時に設定する にタッチすると設定を終了しますが、次回起動時に再度設定画面が表示されます。
- 設定しない にタッチすると、次回起動時に「カンタン初期設定画面」が表示されません。各機能の設定画面で個別に設定してください。
  - ・自宅の登録（→P.104）
  - ・案内音量の設定（→P.38）
  - ・車両情報の設定（→P.123）
  - ・燃費の設定（→P.293）

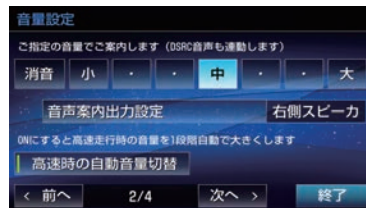
Step 2 自宅の登録

現在地周辺から登録する

1. 現在地周辺から登録 にタッチ。
2. セット にタッチ。

3. 次へ > にタッチ。

住所から登録する

1. 住所から登録 にタッチ。
2. 画面にしたがって住所を入力する。（→P.75）
3. セット にタッチ。
4. 次へ > にタッチ。

Step 3 案内音量の設定

1. 案内音量にタッチ。
2. 次へ > にタッチ。

ワンポイント

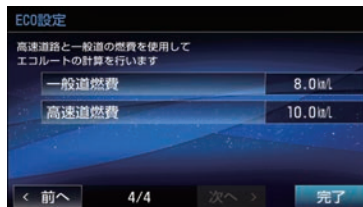
- 設定内容の詳細は、**「ナビ音声案内の音量を設定する」**（→ P.38）をご覧ください。

Step 4 車両情報の設定

1. 車のナンバープレートの分類番号、車両寸法を設定する。
2. 次へ> にタッチ。

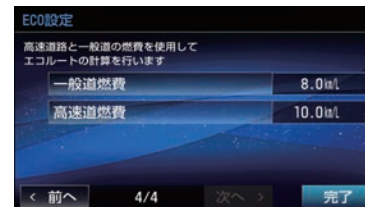
ワンポイント

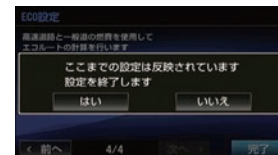
● 設定内容の詳細は、車両情報設定（→P.128）をご覧ください。

Step 5 エコ設定

1. 一般道燃費 にタッチ。
2. < または > にタッチして、燃費を入力する。
3. 高速道燃費 にタッチ。
4. < または > にタッチして、燃費を入力する。

ワンポイント

● 設定内容の詳細は、**「燃費を設定する」**（→P.293）をご覧ください。

完了

1. 完了 にタッチ。
2. はい にタッチ。

どこでもサポートのご案内

どこでもサポート
（スマートフォンアプリ）

操作を簡単にする「コマンド送信」など
便利な機能を使うことができます。

<アプリの詳細について>

スマートフォンで2次元バーコードを読み取る、
または下記URLを入力してご利用いただけます。

- パソコンから確認する場合:
http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/pc/manual/index.html
- スマートフォンから確認する場合:
http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/smapho/manual/index.html

<アプリのダウンロード方法について>

次のサイトからアプリをダウンロードしてください。

※ 通信料はお客様のご負担になります。
※ 対応のスマートフォン機種やOSバージョンについては、ECLIPSEホームページ
「お客様サポート」(http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/)をご覧ください。

◎スマートフォンだから取扱説明書も見やすく探しやすい

スマートフォンだとメニューボタンのタッチで目的の操作説明が見られるので、冊子をめくる手間が省けて便利です。
また、「ナビの初期設定」はナビを購入後、はじめて使うときに設定しておくと便利な項目や、頻繁に操作する設定項目をまとめて記載しています。
さらに、「ナビを使いこなそう」は、お客様のご利用状況を想定したタイトルで、ナビゲーションの使いこなしをサポートします。

◎コマンド送信で目的の操作をアシスト

お問い合わせが多い機能や操作が複雑な機能は、を押すと、目的の画面までナビを自動で切り替えることができます。

※一部の機能のみ、「コマンド送信」に対応しています。
※ テザリングに対応しているスマートフォンが必要です。

オーディオ ➔ P.130

Bluetooth® ➔ P.214

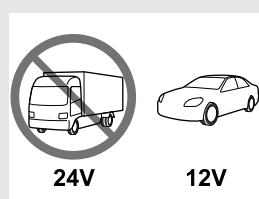
DS ➔ P.248

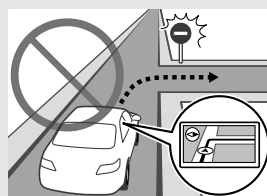
ご参考に ➔ P.326

⚠警 告

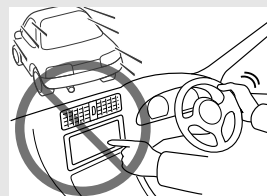
●本機はＤＣ12V㊀アース車専用です

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。

火災の原因となります。

●実際の交通規則に従って走行してください

ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規則に反する可能性があり、交通事故の原因となります。

●運転者は走行中に操作をしないでください

必ず安全な場所に停車させてから操作してください。

交通事故の原因となります。

⚠警 告

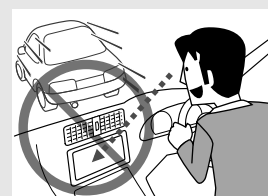
●本機を使用するために禁止された場所に駐・停車しないでください。

交通事故の原因となります。

禁止された場所に駐・停車することは法律で禁止されています。

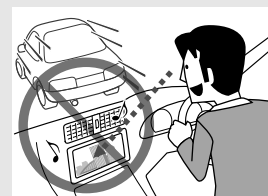
●運転者は走行中に画面を注視しないでください

前方不注意となり事故の原因となります。

運転者が走行中に画面を注視することは法律で禁止されています。

●運転者は走行中にテレビやビデオを見ないでください

前方不注意となり事故の原因となります。

テレビやビデオは安全のため、走行中は表示されません。

テレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に停車させて、サイドブレーキをかけてください。

⚠警告

●**運転者は走行中に携帯電話（スマートフォン）や外部入力機器を操作しないでください**

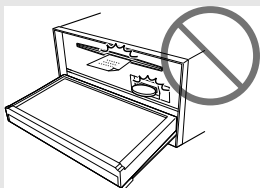
交通事故の原因となります。

運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。

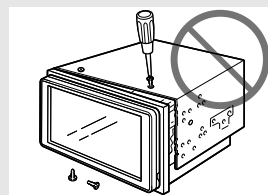
●**運転中は、安全運転の妨げにならない音量に設定してください**

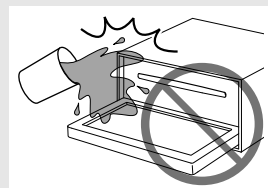
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

●**ディスクやSDメモリーカードの差し込み口に異物を入れないでください**

火災や感電の原因となります。

⚠警告

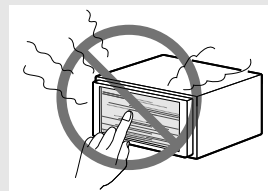
●**本機を分解したり、改造しないでください**

事故、火災、感電の原因となります。

●**機器内部に水や異物を入れないでください**

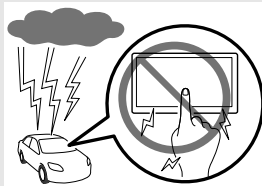
発煙、発火、感電の原因となります。

●**故障や異常の状態のまま使用しないでください**

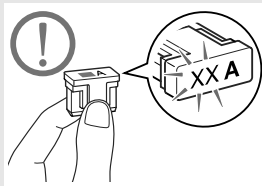
次のような異常が発生した場合、ただちに使用を中止し、販売店に相談してください。

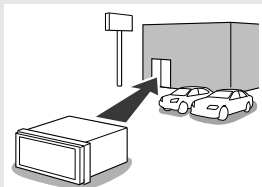
- 音が出ない
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする
- 音声が割れる、ゆがむ

事故、火災、感電の原因となります。

⚠警 告

●**雷が鳴りだしたら、アンテナ線や本機に触れないでください**

落雷により感電の危険性があります。

●**ヒューズを交換する時は、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください**

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

●**取り付け場所を変更するときは、安全のためお求めの販売店へ依頼してください**

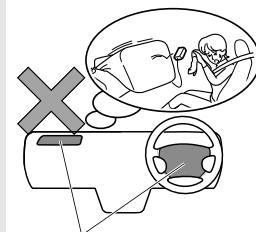
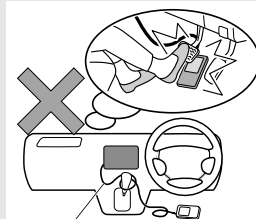
取り外し、取り付けには専門技術が必要です。誤った取り扱いをすると、火災や故障の原因となります。

⚠警 告

●**接続したポータブルオーディオや接続コードを、SRSエアバッグの展開を妨げるような場所に設置しないでください。**

SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグが展開したときにポータブルオーディオが飛ばされるなどにより、死亡・重傷に至ることがあります。

SRSエアバッグ展開場所については、車の説明書をご覧ください。

●**ポータブルオーディオや接続コードを、運転の邪魔にならない場所に避ける、または邪魔にならない場所で固定してください。**

運転に支障をきたし、交通事故の原因となります。

⚠ 注 意

- **本機に強い衝撃を与えないでください**
  故障の原因となります。
- **ディスク差し込み口に手や指を入れないでください**
  けがの原因となることがあります。
- **ディスプレイの角度調整時や収納時に、手や指を挟まないようにご注意ください**
  けがをしたり、故障の原因となります。
- **ディスプレイにジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください**
  そのまま放置しておくと、故障の原因となります。
- **ディスプレイを手で閉じないでください**
  ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- **ディスプレイを開けたときに、ディスプレイの上にコップや缶などの物を置かないでください**
  ディスプレイが損傷するおそれがあります。

⚠ 注 意

- **メディアを出し入れするとき以外はディスプレイを閉じてください**
  熱やホコリにより、故障の原因となることがあります。
- **本機の放熱部に手を触れないでください**
  放熱部の熱でやけどをする場合があります。
- **エンジンをかけた状態でご使用ください**
  バッテリー上がりの原因となります。
- **本機を車載用以外で使用しないでください**
  感電やけがの原因となることがあります。
- **電源ON時は、音量に注意してください**
  突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- **極端な高温や低温でのご使用は誤作動や故障の原因となります**
  とくに夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどして温度を下げてからご使用ください。
- **携帯電話やiPodなどの外部機器や、メディアを車内に放置しないでください**
  直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形、変色したり、故障するおそれがあります。

⚠ 重 要

- ディスプレイを開けるときは、本機がシフトレバーに当たらないように、切り替えてから操作してください。
- ディスプレイ角度を調整するときは、シフト操作の妨げにならない位置に設定してください。
- 接続コードや外部入力機器に手や足などを引っ掛けたりしないよう注意してください。
  接続コードや外部入力機器の破損につながるおそれがあります。

タッチパネルの操作について

⚠ 重 要

- 画面保護のため、指でタッチしてください。
- ボールペンの先など、先端の硬いものや、とがったもので操作しないでください。故障の原因となります。
- 液晶画面に保護フィルム等を貼り付けないでください。タッチスイッチが正常に操作できなくなります。

操作条件について

走行中は安全上の配慮から操作できない機能があります。
安全な場所に停車してから操作を行ってください。

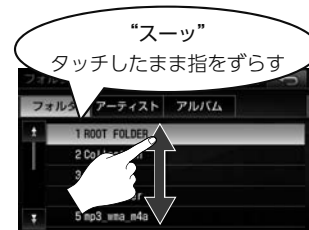
- 操作できないスイッチは色が変わり、選択することができません。

ワンポイント

- タッチスイッチは反応するまでタッチしてください。反応がないときは、一度画面から手を離して再度タッチしてください。
- 地図画面のスライド・フリック操作のする／しないを設定できます。**「ナビ詳細設定を変更する」**(→P.123)
- 走行中は地図のスライド・フリック・ピンチ操作やカスタム機能の登録画面でのドラッグ操作ができません。

タッチ操作

- ○○ （タッチスイッチ）で記載した手順は、タッチ操作で操作してください。
- 地図画面でタッチ操作すると、タッチした場所が画面の中心となるように地図が動きます。

スライド操作

画面にタッチしたまま指をずらすと、指の動きにあわせて、画面が動きます。

- 次の操作ができます。
  - ・地図画面を動かす（2D 表示時のみ）
  - ・リスト表示画面を動かす

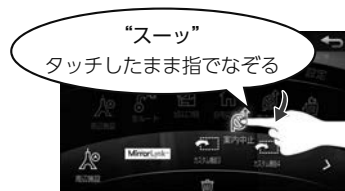
フリック操作

画面にタッチし指を軽くはじくように払うと、払った方向に画面が動きます。

● 次の操作ができます。

・地図画面を動かす（2D 表示時のみ）
・リスト表示画面を動かす
・情報画面、カスタムバーのページ切り替え
・チャンネルの切り替え※（地デジ）
・チャプターの切り替え※（DVD）
・ファイルの切り替え※
（iPod Video/USB Video/SD Video）

※ 全画面で表示しているときのみ操作できます。

ドラッグ操作

画面にタッチしたままなぞると、指の動きにあわせて、スイッチが動きます。

● カスタムバーを設定する時に操作できます。
（→P.42）

ピンチ操作

画面に2本の指をタッチしたまま広げる（ピンチアウト）と、地図が拡大し、狭める（ピンチイン）と、地図が縮小します。

● 地図の縮尺を切り替えるときに操作できます。

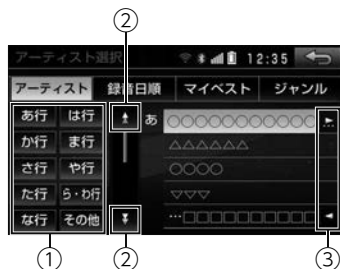
文字を入力する

■かな・漢字入力時

■アルファベット・数字入力時　■数字・記号入力時

ワンポイント

●50音入力で目的地検索する場合は、ひらがなのみ入力できます。

番号	表示	内容
①	スペース	カーソル位置に空白を入力
②	＜ 、＞	・カーソル位置を移動 ・漢字に変換する場合、変換する文字の範囲を変更
③	文字入力スイッチ	文字を入力
④	⮌	文字入力を中断し、入力画面を終了
⑤	修正	一文字ずつ消去
⑥	かな	入力モードを「ひらがな」に切り替え
	カナ	入力モードを「カタカナ」に切り替え
	英数字	入力モードを「アルファベット」「数字」に切り替え
	数記号	入力モードを「数字」「記号」に切り替え
⑦	変換	かな入力時、漢字などに変換
⑧	無変換	かな入力時、ひらがなのままで確定
⑨	完了	入力を完了
⑩	大文字 / 小文字	大文字と小文字を切り替え
⑪	全角 / 半角	全角と半角を切り替え
⑫	ページ切り替えスイッチ	ページを切り替え

リスト画面を切り替える

番号	機能
①	・ あ行 〜 わ行 のいずれかにタッチすると、行を切り替え ・ 続けてタッチすると、「あ→い→う」とリストを移動
②	1ページずつリストを移動
③	・ リストに表示されている名称の文字数が多い場合、表示範囲を切り替え ・ ◀ にタッチすると、先頭に戻る

タブを切り替える

番号	機能
①	設定・編集画面などタブが表示されている場合、タブを表示したまま画面を切り替え
②	表示されていないタブに切り替え

SDメモリーカード、ディスクを入れる／取り出す

⚠ 注 意

- ディスク、またはSDメモリーカードの差し込み途中に、CLOSE に触れないようご注意ください。ディスプレイが閉じ、手や指を挟むおそれがあります。
- 本機からディスク、またはSDメモリーカードを取り出すときは水平方向に引き出してください。
  ディスクに傷がつき、音とびしたり、SDメモリーカードを破損するおそれがあります。

⚠ 重 要

- ディスクまたはSDメモリーカードが押し出された状態のままディスプレイを閉じないでください。
  本機およびディスク、SDメモリーカードに傷がつくおそれがあります。
- 地図用SD差し込み口に同梱の地図用SD以外のSDメモリーカードを挿入しないでください。
- 地図用SDのフォーマット（初期化）は行わないでください。地図データが消失します。

SDメモリーカードを入れる

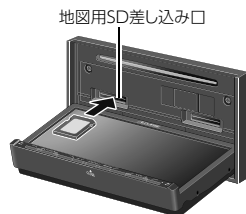
1 MENU ⇨ ▲ ⇨ ▲地図 SD 、または ▲AV SD ⇨ SDメモリーカードを“カチッ”と音がするまで差し込む

- ▲マークを奥にして、差し込んでください。

2 CLOSE にタッチ

■ 初回起動時／バッテリーとの接続が断たれたとき

初めて本機を起動したとき、または地図用SDを取り出した状態でエンジンスイッチをACC、またはONにするとメッセージが表示されます。次の手順で地図用SDを入れてください。

1 AV ⇨ 地図用SDを“カチッ”と音がするまで差し込む

● ▲マークを奥にして、差し込んでください。

2 CLOSE にタッチ

ワンポイント

● 初回起動時の場合、地図用SDを差し込むとソフトウェア更新画面が表示されます。ソフトウェア更新中（約7分間）はエンジンスイッチをOFFにしないでください。
● 地図用SDを取り出した状態で、車のバッテリーとの接続が断たれたあとに、本機を起動した場合も、同様の手順で地図用SDを入れてください。

SDメモリーカードを取り出す

1 MENU ⇨ ▲ ⇨ ▲地図 SD 、または ▲AV SD ⇨ SDメモリーカードを“カチッ”と音がするまで押して取り出す ⇨ CLOSE

ディスクを入れる

1 MENU ⇨ ▲ ⇨ ▲DISC ⇨ ディスクを差し込む ⇨ 自動でディスプレイが閉じる ⇨ ディスクが再生される

● miniB-CASカード未挿入時は自動でディスプレイが閉じません。

ディスクを取り出す

1 MENU ⇨ ▲ ⇨ ▲DISC ⇨ ディスクが押し出される ⇨ ディスクを取り出す ⇨ CLOSE

● ▲DISC にタッチしてもディスクが出てこない場合は、AV を“ピッ”と音がするまで押し続けてください。

miniB-CASカードを差し込む／取り出す

⚠警告

- miniB-CASカードを取り出している場合、カードを乳幼児の手の届かないところに保管してください。誤って飲み込むと窒息、またはけがの恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

⚠注意

- ディスプレイを開けたとき、CLOSE に触れないようご注意ください。ディスプレイが閉じ、手や指を挟むおそれがあります。

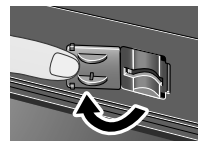
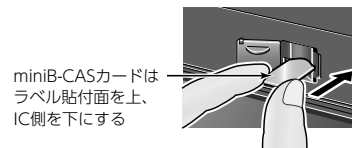
⚠重要

- miniB-CASカード以外のものを差し込まないでください。故障や破損の原因となります。
- miniB-CASカードは、“カチッ”と音がするまで差し込んでください。しっかり差し込まれていないと、受信不良などの原因になります。
- miniB-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってからminiB-CASカードの動作確認を行ってください。
- ご使用中はminiB-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

チェック

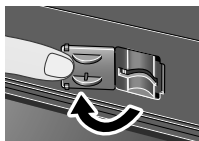
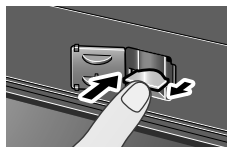
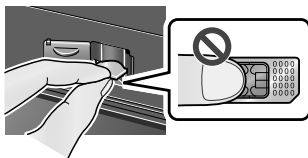
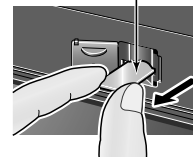
- miniB-CASカードは、ラベル貼付面を上、IC側を下にして端子面が指に被らないように注意してください。
- miniB-CASカード取り扱いの注意事項については**「miniB-CASカードの取り扱いについて」**（→P.343）をご覧ください。

miniB-CASカードを差し込む

1 MENU ⇨ ▲ ⇨ ▲地図 SD 、または ▲AV SD ⇨ カードスロットカバーを開ける

2 カードスロットにminiB-CASカードを“カチッ”と音がするまで差し込む

3 カードスロットカバーを閉じる ⇨ CLOSE

4 miniB-CASカードの動作確認をする（→P.182）

miniB-CASカードを取り出す

1 MENU ⇨ ▲ ⇨ ▲地図 SD 、または ▲AV SD ⇨ カードスロットカバーを開ける

2 カードロックを解除する

3 miniB-CASカードをつまみ、半分まで引き出す

4 miniB-CASカードを引き出す

5 カードスロットカバーを閉じる ⇨ CLOSE

ディスプレイの角度を調整する

1 MENU ⇨ ▲ ⇨ TILT▼、または TILT▲

- TILT▼ ：1段階ずつ傾く（最大6段階）
- TILT▲ ：1段階ずつ戻る（最大6段階）

ワンポイント

●ディスプレイを傾けた状態でエンジンスイッチをOFF（LOCK）にすると、傾いていない状態になります。次にエンジンスイッチをACC、またはONにすると、調整したディスプレイの角度に戻ります。

LED照明を設定する

パネルスイッチのLED照明を変更できます。

チェック

●本機能は、**AVN-SZX04i**、**AVN-ZX04i**のみ対応しています。

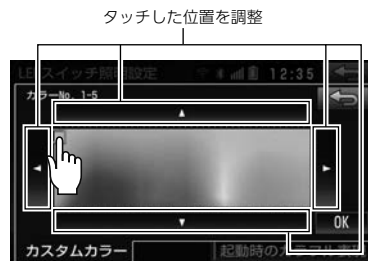
1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ 共通設定 ⇨ LED スイッチ照明設定 ⇨ お好みの色を選択

- カラフル ：複数の色に変化
- カスタムカラー ：お好みの色に設定（→P.37）

カスタムカラーを設定する

1 MENU ⇨ 設定·編集 ⇨ 共通設定 ⇨ LED スイッチ照明設定 ⇨ カスタムカラー

2 お好みの色味にタッチ ⇨ OK

タッチした位置を調整

起動時のLED照明を設定する

エンジンスイッチをACC、またはONにしてから起動するまでの間、パネルスイッチの照明をカラフルに変更できます。

1 MENU ⇨ 設定·編集 ⇨ 共通設定 ⇨ LED スイッチ照明設定 ⇨ 起動時のカラフル表現

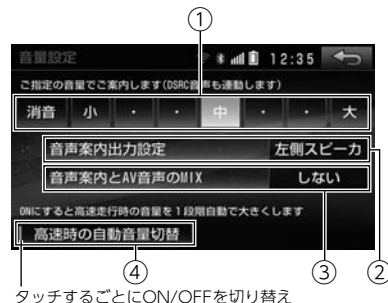
- 起動時のカラフル表現 ：タッチするごとにON/OFF を切り替え

スイッチの操作音を設定する

パネルスイッチやタッチスイッチの操作音を設定できます。

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ 共通設定 ⇨ BEEP音通知 ⇨ する 、または しない

ナビ音声案内の音量を設定する

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ 音量設定 ⇨ 各項目を設定

● 次の項目を設定できます。

番号	項目	機能
①	音量	音声案内の音量を調整
②	音声案内出力設定※	音声案内が聞こえるスピーカ（右側/左側）を選択
③	音声案内とAV音声のMIX※	音声案内時のオーディオの出力を設定 ・ する ：音声案内時も同時に出力 ・ しない ：音声案内時は消音
④	高速時の自動音量切替	車速が約80km/h以上になった場合、設定した音量が自動で1段階上がるように設定 ・ 車速が約70km/h以下になると、もとの音量に戻る

※ スマートフォン連携（→P.259）のアプリ音声案内にも設定した音量が反映されます。

画面を消す

1 MENU を"ピッ "と音がするまで押す ⇨ 画面消

● 現在地 ／ A V ／ MENU のいずれかを押すと、画面を再表示します。

画質を設定する

1 MENU を"ピッ "と音がするまで押す ⇨ 各項目を設定

● 次の項目を設定できます。
- **色合い（映像画面時のみ）**
- **色の濃さ（映像画面時のみ）**
- **コントラスト**
- **明るさ**

ワンポイント

●昼画・夜画に分けて調整できます。

ライト点灯時の画面を設定する

ライトの点灯・消灯により〈昼画表示〉と〈夜画表示〉が切り替わります。

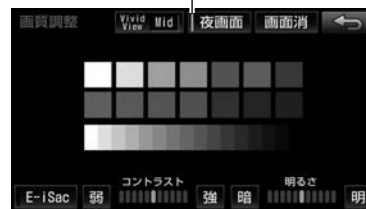
● ライト消灯時…＜昼画表示＞

● ライト点灯時…＜夜画表示＞

チェック

●車によりライトの点灯・消灯に合わせて切り替わらない場合があります。その場合は、手動で〈昼画表示〉と〈夜画表示〉を切り替えてください。

1 MENU を"ピッ"と音がするまで押す ⇨ **夜画面** 、または **昼画面**

タッチするごとにON/OFFを切り替え

● ライトの点灯・消灯により、スイッチが **昼画面** ・ **夜画面** に変わります。

画質を補正する（VividView Processor）

映像を「くっきり・はっきり・あざやか」に補正します。

1 MENU を"ピッ"と音がするまで押す ⇨ VividView

- タッチするごとに、次の順に補正レベルが切り替わります。

Mid → Hi → Off → Low（→ Mid）

画面の色味を補正する（直射日光補正機能）

直射日光の反射により、画面が見づらくなることがあります。
照度センサーが光を感知して色味を自動で補正することで、画面が見やすくなります。

■ **AVN-SZX04i / AVN-ZX04i /AVN-SZ04i / AVN-Z04i**

■ **AVN-SZ04iW / AVN-Z04iW**

1 MENU を"ピッ"と音がするまで押す ⇨ E-iSac

- E-iSac :タッチするごとにON/OFFを切り替え

画面のテーマカラーを設定する

MENU画面のデザインを変更できます。

1. MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ 共通設定 ⇨ テーマカラー切替 ⇨ クール1 ／ クール2 ／ シンプル1 ／ シンプル2 のいずれかを選択

カスタムバーを設定する

お好みの機能をMENU画面のカスタムバーに
7つまで登録できます。よく使う機能を登録すると便利です。

カスタムバー

カスタム機能を登録する

1 MENU ⇨ > ⇨ カスタム登録 ⇨ OK

- 今後表示しない ：次からメッセージを表示しない

2 登録したい機能にタッチ ⇨ 選択したスイッチをカスタムバーエリアまでドラッグし、指を離す

ジャンルを切り替え

▼

カスタムバーエリア

- 次の項目をカスタムバーに登録できます。

ジャンル	項目	ページ
ナビ	周辺施設	71
	全ルート	85
	地図＆エコ情報	293
	自宅に帰る	82
	案内中止/案内再開※1	103
	目的地消去	92

※1　ルート案内中のみ表示されます。

ジャンル	項目	ページ
AV	TV	183
	AM	134
	FM	134
	Bluetooth Audio	245
	DS	248
	DISC	137、138、140、142
	SD	164、166
	SD-REC	162
	USB	152、154
	iPod※2	195、197
	外部入力	199、201、203
	交通情報	135
	AV OFF	130

ジャンル	項目	ページ
情報	MirrorLink™	255
	電話	232
	エコ	291
	VICS DSRC/VICS※3	118
	ETC※4	275
	フロントカメラ※5	272
設定	音設定	204
	ナビ音量設定	38
	画面消	39

※2　iPod接続時のみ表示されます。
※3　別売のITSスポット対応DSRCユニット接続時のみ表示されます。
※4　別売のETC車載器、またはITSスポット対応DSRCユニット接続時のみ表示されます。
※5　別売のフロントアイカメラ接続時のみ表示されます。

ワンポイント

● 登録したスイッチは、カスタムバー内の他のエリアに移動できます。
すでに登録されているスイッチの位置に移動すると、上書きされます。

カスタム機能の登録を解除する

1 MENU ⇨ **カスタム登録** ⇨ 解除したいスイッチをゴミ箱エリアへドラッグし、指を離す

ゴミ箱エリア

マルチウィンドウ画面を表示する

オーディオ操作画面で **マルチW** にタッチすると、ナビ画面とオーディオ操作画面を同時に表示できます。

次のオーディオソースでマルチウィンドウを表示できます。

- **テレビ**（→P.183）
- **DVD**（→P.140、142）
- **USB（ビデオモード）**（→P.154）
- **SD（ビデオモード）**（→P.166）
- **iPod（ビデオモード）**（→P.197）
- **外部入力（VTRモード）**（→P.199）
- **外部入力（HDMIモード）**（→P.203）

1　各オーディオ操作画面の マルチW にタッチ

▼

◆マルチウィンドウ画面（AV＋ナビ）

● **「マルチウィンドウを設定する」**（→P.47）で設定した画面が表示されます。

● ナビ画面を操作すると、マルチウィンドウ画面が解除されますが、**現在地** を押すと、マルチウィンドウ画面に戻ります。

全画面に切り替える

1　映像にタッチ

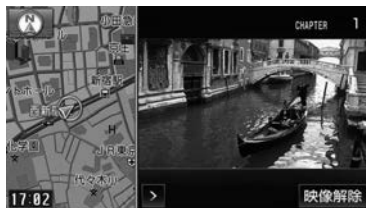
▼

● 映像解除 ：ナビ画面を全画面で表示

画面の比率を切り替える

マルチウィンドウ画面の比率を、30：70、または50：50に切り替えることができます。

1 < にタッチ

▼ ▲

- > ：元の比率の画面に戻る

マルチウィンドウを設定する

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ 共通設定 ⇨ マルチウィンドウ設定 ⇨ ナビ+AV ／ AV+ ナビ ／ PinP のいずれかを選択

- 次の画面に設定できます。

スイッチ	表示
ナビ+AV	
AV+ ナビ	
PinP	

ワンポイント

●次のような場合は、PinPを表示できません。

- ・エコ情報表示中（→P.293）
- ・高速略図表示中（→P.64）
- ・交差点拡大図表示中（→P.98）

画面モードを設定する

次のオーディオソースで画面モードを切り替えることができます。

- ・**テレビ**（→P.183）
- ・**DVD**（→P.140、142）
- ・**USB（ビデオモード）**（→P.154）
- ・**SD（ビデオモード）**（→P.166）
- ・**iPod（ビデオモード）**（→P.197）
- ・**外部入力（VTRモード）**（→P.199）
- ・**外部入力（HDMIモード）**（→P.203）
- ・**MirrorLink™（ミラーリンク）**（→P.255）

1 各オーディオ操作画面の 各種切替 ⇨ Wide ⇨ Normal ／ Wide1 ／ Wide2 のいずれかを選択

- よこ4：たて3の割合の画面を次のモードに切り替えることができます。
  - ・Normal (標準画モード):両端を黒く表示
  - ・Wide1 (ワイド1画モード) ：左右方向へ均等に拡大して表示
  - ・Wide2 (ワイド2画モード) ：上下左右に均等に拡大して表示
- テレビの場合、次のモードに切り替えることができます。
  - ・Normal (標準画モード):両端を黒く表示
  - ・Wide (ワイドモード) ：左右方向へ均等に拡大して表示
- HDMIの場合、次のモードに切り替えることができます。
  - ・Normal (標準画モード)：よこ4：たて3の割合の入力映像をそのままの割合で表示（よこ16：たて9の割合の入力映像の場合、両端を黒く表示）
  - ・Wide1 (ワイド1画モード)：よこ16：たて9の割合の入力映像をそのままの割合で表示（よこ4：たて3の割合の入力映像の場合、左右方向へ均等に拡大して表示）
  - ・Wide2 (ワイド2画モード)：上下左右に均等に拡大して表示
- MirrorLink™の場合、次のモードに切り替えることができます。
  - ・Normal (標準画モード)：入力映像を表示領域サイズに拡大（縮小）して表示
  - ・Wide (ワイドモード)：上下左右へ均等に拡大（縮小）して表示

映像画面に時刻を表示する

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ AV ⇨ AV詳細設定 ⇨ 映像画面の時刻表示 ⇨ する

- しない ：映像画面に時刻を表示しない

オープニング画面を設定する

本機に内蔵されている画像データやSDメモリーカードに保存した画像データをオープニング画像として表示できます。

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ 「画像設定」 ⇨ オープニング画像変更 ⇨ 1 ／ 2 ／ 3 ／ カスタム のいずれかを選択

● カスタム ：お好みの画像に変更（→P.50）

お好みの画像データに変更する

⚠ 重 要

画像データの書き込み中は、本機の操作および車のエンジンスイッチをOFF（LOCK）にしないでください。データが破損する恐れがあります。

チェック

- 使用できる画像データについては**「オープニング画像用データ」**（→P.328）をご覧ください。
- 使用できるSDメモリーカードについては**「SDメモリーカード」**（→P.327）をご覧ください。
- 画像データ以外のデータがSDメモリーカードに入っていると、画像データを読み込めない場合があります。
- SDメモリーカードに音楽を録音している場合は、録音を止めてから画像データを書き換えてください。**「録音をやめる」**（→P.161）

1 MENU ⇨ ▲ ⇨ ▲AV SD

2 SDメモリーカードを音楽用SD差し込み口に“カチッ”と音がするまで差し込む ⇨ CLOSE

3 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ 画像設定 ⇨ オープニング画像変更 ⇨ カスタムの変更 ⇨ 設定したい画像のファイル名 ⇨ 完了

データを切り替え

オープニング画に設定

● プレビュー にタッチすると、画像が表示されます。

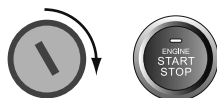
4 設定したオープニング画面が表示される

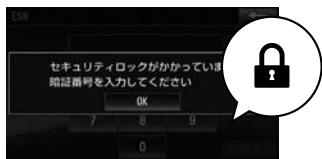
ESNについて

ESN（ECLIPSE Security Network）は、バッテリーターミナルをはずしてもう一度接続した場合に、本機をロックする（操作できなくする）セキュリティ機能です。

■ 起動時認証の設定

エンジンスイッチをOFF(LOCK)にするたびに本機をロックします。

車を預ける場合や他人に個人情報を見られたくない場合にご利用になると便利です。

エンジンスイッチ
ACC、またはON

▼

起動時認証を表示

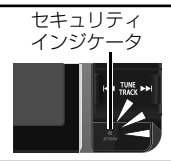
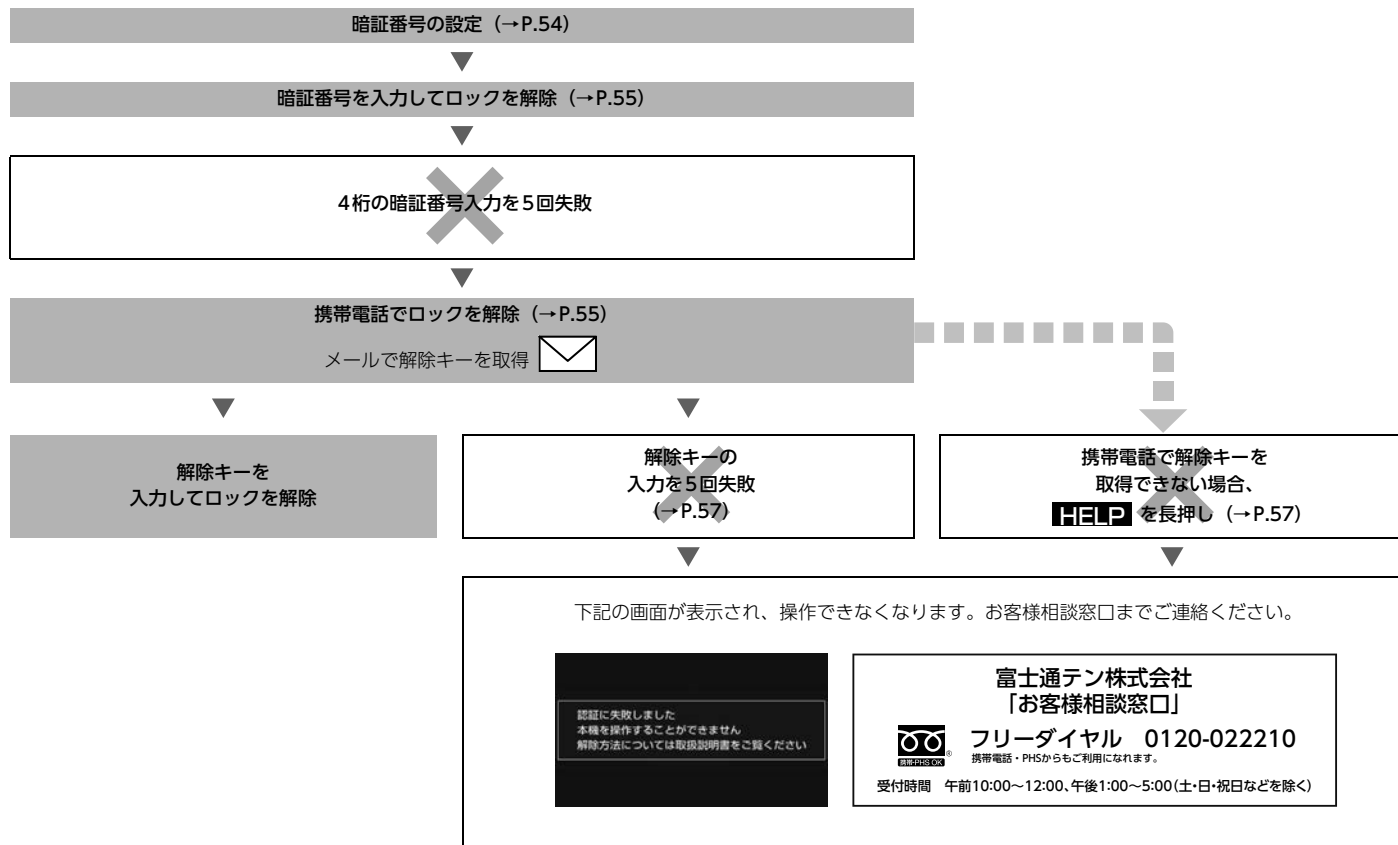
■ インジケータの設定

エンジンスイッチをOFF(LOCK)にすると、セキュリティインジケータを点滅させ、盗難発生を抑止します。

エンジンスイッチ
OFF（LOCK）

▼

■ AVN-SZX04i / AVN-ZX04i /AVN-SZ04i / AVN-Z04i

■ AVN-SZ04iW / AVN-Z04iW

ESNの設定～ロック解除の流れについて

ESNを設定する

チェック

- ESN の設定をしている場合、バッテリーの交換などを行うと、ロックがかかりますのでESNの設定を解除してください。
- ESNの設定は、4桁の暗証番号が必要です。
（登録した暗証番号を忘れないよう、メモなどに控えておくことをおすすめします。）

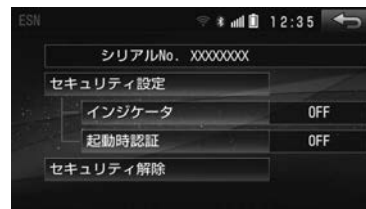
1 MENU ⇨ 設定·編集 ⇨ 共通設定 ⇨ ESN設定 ⇨ セキュリティ設定 ⇨ 暗証番号を入力 ⇨ 完了

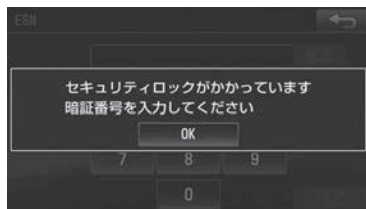
1文字ずつ修正

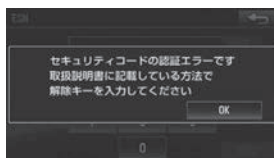
2 もう一度、同じ暗証番号を入力 ⇨ 完了 ⇨ はい

- ESNが作動します。

3 インジケータ ⇨ ON 、または OFF

4 起動時認証 ⇨ ON 、または OFF

ロックを解除する

1 OK にタッチ

2 暗証番号を入力 ⇨ 完了

● 暗証番号の入力を5回失敗すると、次の画面が表示されます。その場合は、**「ロックの解除に５回連続で失敗した場合」**（→P.55）をご覧ください。

ロックの解除に５回連続で失敗した場合

ロックを解除するには、解除キーの入力が必要です。
解除キーは携帯電話からE-iSERVにメールを送ると取得できます。

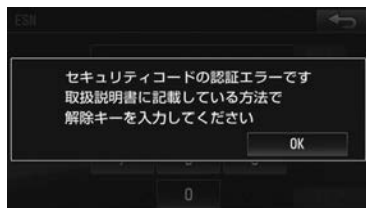
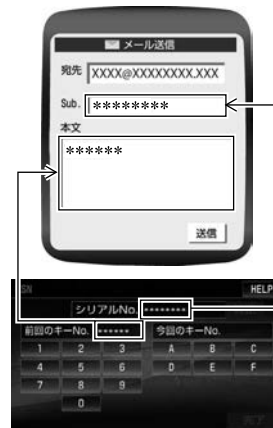
チェック

- 携帯電話の対応機種については、ECLIPSE ホームページをご覧ください。「お客様サポート」→「FAQ」（http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/）をご覧ください。
- 携帯電話以外から送信されたメールや、ファイルが添付されているメールには対応していません。
- E-iSERV (esn_admin@eismail.ten.fujitsu.com)
からのメールを受信できるよう設定しておいてください。

1 携帯電話で、2次元バーコードを読み取り、メーラーを立ち上げる。

● 2次元バーコードは、セキュリティ保護のため、Web上では公開しておりません。製品に同梱されている「取扱説明書」の55ページを参照してください。

● 携帯電話にメール作成画面が表示されます。

2 **OK** にタッチ

3 メールのタイトルにシリアルNo.（8桁）、本文に前回のキーNo.（6桁）を入力 ⇨ メールを送信

- 誤った文字を入力すると、エラーメールが返信されます。
- 解除キーが取得できない場合、**HELP** を長押しします。**「認証に失敗したとき」**（→P.57）
- 今回のキーNo.が記載されたメールが、E-iSERVより返信されます。

4 今回のキーNo.を入力 ⇨ 完了

■ **認証に失敗したとき**

"認証に失敗しました　本機を操作することができません　解除方法については取扱説明書をご覧ください"のメッセージが表示され、操作できなくなります。

この場合、お買い上げの販売店、またはお客様相談窓口（ 0120－022210）までご連絡ください。

ワンポイント

- メールサーバーの通信状況やメンテナンス状況によっては、メールの返信に時間がかかる場合があります。
- E-iSERVのメンテナンス等サービスに関する情報は、ホームページでご覧ください。
  http://www.e-iserv.jp/top/index.html
- ESNでは、解除コード取得の際、お客様から送られたメールや個人情報は厳重に管理していますが、警察からの捜査協力依頼があった場合は、個人情報を提供することがあります。

インジケータ／起動時認証の設定を変更する

次の項目を変更します。

- インジケータ
- 起動時認証

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ 共通設定 ⇨ ESN設定

2 インジケータ ⇨ ON 、または OFF

3 起動時認証 ⇨ ON 、または OFF

ESNの設定を解除する

1 MENU ⇨ 設定・編集 ⇨ 共通設定 ⇨ ESN設定 ⇨ セキュリティ解除 ⇨ 暗証番号を入力 ⇨ 完了 ⇨ はい

共通設定を初期化する

次の項目を初期化します。

- **BEEP音通知**（→P.38）
- **テーマカラー切替**（→P.42）
- **LEDスイッチ照明設定**（→P.36）
- **マルチウィンドウ設定**（→P.47）
- **ラジオアンテナ**（→P.133）

チェック

●初期化された内容は元に戻すことができません。

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ 共通設定 ⇨ 初期状態 ⇨ はい

個人情報を初期化する

次の項目を初期化します。

項目	初期化される内容
メンテナンス	・ 各種項目・自動通知設定 ・ 販売店の設定
メモリ地点	・ 登録したメモリ地点 ・ 登録した迂回メモリ地点
目的地履歴	目的地を設定したときに自動で記憶された地点
走行履歴	保存した走行履歴
カンタン初期設定	カンタン初期設定開始画面の再表示設定
メニュー画面	カスタムバーの設定
ルート学習	ルート学習の設定
周辺施設表示	設定したジャンル
一時停止案内	一時停止案内の設定
学校存在案内	学校存在案内の設定
ナビ補正	現在地修正
車両情報	設定した車両情報
オーディオソース	選択したオーディオソース
カバーアート	設定したカバーアート 表示の切り替え

項目	初期化される内容
フリックによるオーディオ操作	・ 映像全画面でのフリック操作 ・ 説明メッセージの再表示設定
ラジオ	プリセットスイッチに記憶した周波数
地上デジタルTV放送	・ プリセットスイッチに記憶したチャンネル ・ 地域の設定
Bluetooth Audio	Bluetooth Audioの設定情報
DS	DSソフトの情報
ハンズフリー	・ 登録した電話帳データ ・ 発信履歴および着信履歴 ・ 登録した携帯電話の情報 ・ ハンズフリー関連の設定、編集項目
Wi-Fi	Wi-Fiの設定
オープニング画面	オープニング画面の設定
VICS割込設定	走行履歴情報アップロードの設定
エコナビ情報機能	・ 燃費設定 ・ 燃費履歴 ・ 計測期間 ・ エコ運転評価履歴 ・ 走行距離 ・ エコドライブインフォメーションの設定
ステアリングスイッチ	ステアリングスイッチ設定
システムチェック	距離補正学習状態

チェック

- 初期化された内容は元に戻すことができません。
- 初期化中は、オーディオの音声が停止します。
- Bluetooth機器を登録している場合は登録が削除されますので再度登録をおこなってください。(→P.215)

1 MENU ⇨ 設定・編集 ⇨ 共通設定 ⇨ 個人情報初期化 ⇨ 初期化する ⇨ はい

ナビをお使いになる前に

- 地図データベースに情報が無い場合、各種表示や各種検索、ルート案内などができません。
- 探索されるルートは目的地周辺までの参考です。必ずしも最短のルートや渋滞していないルートではありません。
- 一度探索されたルートと別のルートを再探索できますが、周囲の状況によって、再探索されなかったり同じルートが探索されることがあります。
- 各種表示やルート案内などは、実際と異なったり、周囲の状況によって表示や案内がされない場合があります。
- 所要時間は、VICS情報や渋滞統計データを考慮した時刻ではありません。設定した平均車速から計算しているため、走行条件などにより多少の誤差が生じる場合があります。
- 各種拡大図案内や音声案内などは、周囲の状況により案内されなかったり異なる場合があります。また、案内のタイミングがずれるなど誤った案内が行われることがあります。

現在地を表示する

1 現在地 を押す

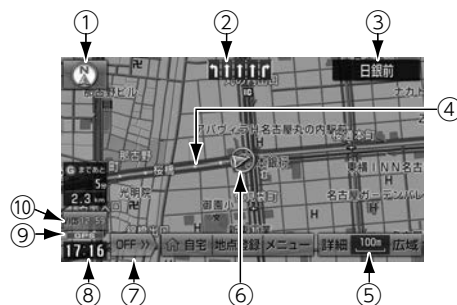
現在地付近の地名

- 現在地画面で、もう一度 現在地 を押すと、現在地付近の地名が表示されます。
- 座標 にタッチすると、現在地の緯度や経度が表示されます。
- 現在地が道路上の場合、路線名・路線番号が表示される場合があります。(25m～200mスケール図の場合)

ワンポイント

- 取り付け後やバッテリーを交換したあとは、実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されることがあります。数分間走行しても自動で修正されないときは、現在地の修正を行ってください。(→P.306)

地図画面の見方

地図表示には現在地画面と移動させた地図画面があります。

◆ 現在地画面

◆ 移動させた地図画面

番号	表示／タッチスイッチ	内容
①	方位マーク	・ 地図に方角を表示 ・ 地図の向きを切り替え（→P.68）
②	交差点の車線	交差点の車線を表示
③	名称	状況により次の名称を表示 ・ 交差点 ・ 走行している道路、または路線番号 ・ 高速道路走行時：サービスエリア・パーキングエリア・インターチェンジ・ジャンクションの方面
④	走行履歴	過去に走行した道路上に点を表示 ・ 走行履歴は非表示にできます。（→P.70）
⑤	スケール	・ 地図の縮尺を表示 ・ スケールバーを表示（→P.67）
⑥	自車位置マーク	現在位置と車が向いている方向を表示
⑦	OFF ▶▶	スイッチを消す スイッチを再表示
⑧	時計	現在の時刻を表示 ・ 時計を表示する／しないを切り替えることができます。（→P.123）

番号	表示／ タッチスイッチ	内容
⑨	GPSマーク	GPS衛星から発信される位置情報の受信状態や測位状態を次のように色分けして表示 ・ 青色：良好（緯度・経度・高度の3次元測位） ・ 黄色：不良（緯度・経度の2次元測位） ・ 赤色：受信不可（測位不可）
⑩	VICSタイム スタンプ	VICS情報が提供された時刻を表示 ・ VICS情報の表示については、**「地図情報（レベル3）について」**（→P.120）をご覧ください。
⑪	カーソル位置地名	カーソル位置の地名を約6秒間表示 ・ 地名表示の設定を変更することができます。（→P.123）
⑫	カーソル マーク	検索した地図や移動させた地図の中心を表示 ・ 地図に直接タッチすることで地図を動かせます。
⑬	立体ランドマーク	施設を立体的なマークで表示

ワンポイント

● 一方通行マークの表示を【する】に設定（→P.123）している場合、100mスケール以下の地図で一方通行を ➡ で表示します。

● 市街図を表示している場合、➡ は常時表示されます。

● 地図上に表示される道路の色や施設マークについては、巻末の**「VICSマーク一覧」**、**「施設表示の凡例」**をご覧ください。

ハイウェイモード画面の見方

高速道路・都市高速・有料道路では自動でハイウェイモード画面が表示されます。

番号	表示／スイッチ	内容
①	道路名称	走行中の道路名称、または選んだ施設（サービスエリア・パーキングエリア・インターチェンジ）のある道路名称を表示
②	施設名称	施設（サービスエリア・パーキングエリア・インターチェンジ）の名称を表示
③	距離	現在地からの距離を表示
④	通過予想時刻	施設（サービスエリア・パーキングエリア・インターチェンジ）の通過予想時刻を表示
⑤	▲▲・▼▼	表示されていない前後の施設を表示
⑥	現区間	サービスエリア、パーキングエリア、インターチェンジを選んだ場合に、現在地からのハイウェイモード画面に戻る

番号	表示／スイッチ	内容
⑦	設備マーク	選んだ施設（サービスエリア・パーキングエリア）にある設備を最大7つまで表示
⑧	VICSマーク・表示	VICSで受信した交通情報を表示 ・VICSマークについては、**「VICSマーク一覧」**（→巻末）、VICS表示については**「地図情報（レベル3）について」**（→P.120）をご覧ください。

■ **設備マーク**

マーク	内容	マーク	内容
	レストラン		ＦＡＸ
	ドラッグストア		ショッピングコーナー
	仮眠施設		休憩所
	お風呂		スナックコーナー
	キャッシュコーナー		トイレ
	ハイウェイ情報ターミナル		ハイウェイオアシス
	郵便局・ポスト		スマートインターチェンジ

● ガソリンスタンドは、ロゴマークが表示されます。

ハイウェイモード画面を解除する

1 現在地 ⇨ メニュー ⇨ 表示変更 ⇨ 地図表示 ⇨ 高速略図解除

● ハイウェイモード画面を再表示する場合は、高速略図表示 にタッチ。

ワンポイント

●目的地案内中、出口インターチェンジ、分岐するジャンクション、サービスエリア、またはパーキングエリアの手前では、高速分岐模式図（→P.100）が自動で表示され、ハイウェイモードが解除されます。

●ターンリスト図は、同時に表示できません。

地図を動かす

現在地からの直線距離を表示

- 地図にタッチすると、タッチした地点が地図の中心となるように動きます。
- 地図スライド操作を【しない】に設定（→P.123）している場合、タッチし続けると連続して地図が動きます。
- カーソル位置が道路上にある場合、路線名・路線番号が表示される場合があります。（50m～200mスケール図の場合）

ワンポイント

- 地図を動かした状態で走行しても、地図は現在地に戻りません。
  現在地 を押してください。

フリック操作で動かす

チェック

- 地図スライド操作を【する】に設定（→P.123）している場合、フリック操作で地図を動かすことができます。
- 走行中や地図を3D表示しているときは、フリック操作で地図を動かすことができません。

1 地図上にタッチし、フリック

- 指を払った方向に地図が移動します。
- 地図が移動する量は、払う速度により変化し、自動で動きが止まります。
- 地図が移動しているときに画面にタッチして止めることもできます。

地図の縮尺を切り替える

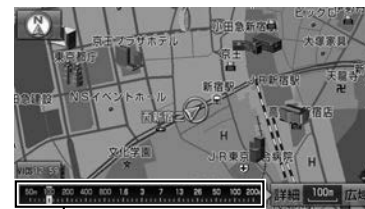
次の範囲で切り替えることができます。

縮尺	スケール表示
1/2500	25m
1/5000	50m
1/1万	100m
1/2万	200m
1/4万	400m
1/8万	800m
1/16万	1.6k
1/32万	3k
1/64万	7k
1/128万	13k
1/256万	26k
1/512万	50k
1/1024万	100k
1/2048万	200k

● ピンチ操作（→P.68）の場合は、上記よりも細かく調整できます。（停車中にパーキングブレーキをかけている場合）

1 広域 、または 詳細 にタッチ

タッチするごとに1段階ずつ切り替え

▼

スケールバー

● 停車中にパーキングブレーキをかけている場合は、次の操作が可能です。

・ 広域 、または 詳細 に1秒以上タッチし続けると、連続で切り替わる。

・ スケールバーの数字にタッチすると、タッチした数字の縮尺に切り替わる。

● 100m （スケール表示）にタッチしても、スケールバーを表示できます。

ピンチ操作で縮尺を切り替える

チェック

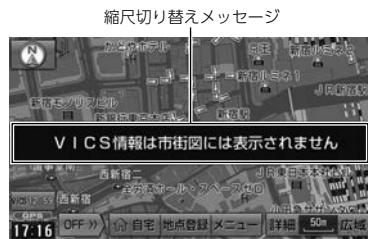
●走行中は、ピンチ操作で縮尺を切り替えることができません。

1 地図上に2本の指でタッチし、ピンチイン、またはピンチアウト

● 指を広げる（ピンチアウト）と地図が拡大し、狭める（ピンチイン）と、地図が縮小します。

縮尺切り替えメッセージの表示

縮尺を切り替えたときに、メッセージが表示されることがあります。

縮尺切り替えメッセージ

地図の向きを切り替える

次の向きで地図を表示できます。

チェック

●3D表示（→P.71）にしている場合や、地図を移動（→P.66）させている場合は、地図向きを切り替えることはできません。

● ノースアップ表示
地図の向き：北を上にして固定
自車位置マークの位置：画面中央

● ヘディングアップ表示
地図の向き：進行方向が上になるように回転
自車位置マークの位置：画面中央より下

市街図を表示する

市街図が収録されている地域では25mスケール図と50mスケール図の市街図表示に切り替えることができます。

▼

1 50mスケール図を表示させているときに、**市街図** にタッチ

市街図の縮尺を切り替える

1 **広域** 、または **詳細** にタッチ

ワンポイント

- 市街図が収録されていない地域に地図、または現在地を移動させると、市街図表示は自動で解除されます。
- 走行中、市街図で地図の移動はできません。
- 収録されている市街図については **「市街図収録都市リスト」** (→P.352)をご覧ください。

市街図を解除する

1 50mスケールの市街図を表示させているときに、**広域** にタッチ

走行履歴を表示する

25m～50kmスケール図の地図に約1000kmまでの走行履歴を表示できます。保存できる距離を超えて走行した場合は、古い履歴から削除されます。

オレンジ色の点線で表示

1 現在地 ⇨ メニュー ⇨ 表示変更 ⇨
走行履歴の 表示

走行履歴の表示を解除する

1 現在地 ⇨ メニュー ⇨ 表示変更 ⇨
走行履歴の 解除 ⇨ はい

- はい ：保存している走行履歴を消去して、表示も解除
- いいえ ：保存している走行履歴はそのまま保存し、表示のみ解除

地図を3D表示に切り替える

ヘディングアップ表示（→P.68）の地図が立体的に表示されます。

3D表示に切り替える

チェック

●3D表示中は次の操作ができません。

・地図の向きを切り替える（→P.68）

・スライド・フリック操作（→P.28）

1 現在地 ⇨ メニュー ⇨ 表示変更 ⇨ 地図表示 ⇨ 3D

ワンポイント

●3D表示にした場合の角度を調整できます。（→P.123）

2D表示に戻す

1 現在地 ⇨ メニュー ⇨ 表示変更 ⇨ 地図表示 ⇨ 2D

施設マークを表示する

、または マークから半径約10km以内にあるお好みの施設マーク（コンビニなど）を最大200件表示できます。

◆施設表示

チェック

●Wi-Fiを使って施設情報を本機に追加できます。
追加方法については**「施設情報をナビに追加する」**（→P.265）をご覧ください。

1 現在地 ⇨ メニュー ⇨ 表示変更 ⇨ 周辺施設 ⇨ 表示させる施設を選択 ⇨ 表示

- 表示したい施設が他にある場合は、その他施設を表示 にタッチすると施設のリストが表示されるので、表示したい施設にタッチします。
- 最大7つまで選択できます。
- もう一度施設にタッチすると、選んだ施設マークが解除されます。
- 追加施設を表示 ：Wi-Fiを使ってダウンロードした施設（→P.265）を表示
- 解除 ：施設マークを地図から消す

ワンポイント

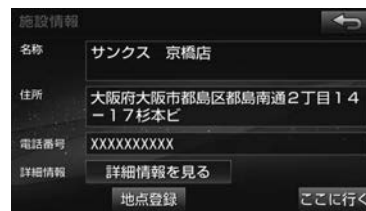
●施設表示画面に表示させる項目を変更することができます。（→P.73）

施設の情報を見る

1 地図上の施設マークを選択

- 同じ建物に複数の施設がある場合、施設マークにタッチするごとに、施設名称が切り替わります。

2 情報 にタッチ

▼

- Wi-Fi経由で追加した施設（→P.265）の場合、詳細情報を見る にタッチすると施設の詳細情報を確認できます。

施設表示画面の項目を変更する

地図上に表示する施設マークをよく利用する店舗やジャンルにカスタマイズできます。

1 MENU ⇨ 設定·編集 ⇨ ナビ詳細設定 ⇨ 周辺施設呼び出しジャンル ⇨ 変更する

2 変更する施設のジャンルを選択

3 表示したい施設のジャンルを順に選択 ⇨ 完了

50音で探す

施設名称や地名から、地図を呼び出せます。

1 MENU ⇨ 目的地 ⇨ 50音 ⇨ 施設名称や地名を入力 ⇨ 検索

● 入力切替 にタッチすると、携帯電話やスマートフォンと同じ方法で入力できます。

▼

● 次の方法で文字を入力できます。

・文字にタッチするたびに、「あ→い→う」と文字が順に切り替わります。 > にタッチすると、入力した文字が確定し、次の文字を入力できます。

・文字にタッチし続けると、その行の文字が周りに表示されます。そのまま入力したい文字に指をずらすと、その文字が入力されます。この場合、 > にタッチして文字を確定する必要はありません。

2 施設名称、または地名を選択

● 同一名称の施設が複数ある場合は、エリアで絞る （→P.75）、または ジャンルで絞る （→P.75）にタッチすることで絞り込むことができます。

● チェーン店など同じ名称の施設が複数ある場合は、施設名称の右側に検索された件数が表示されます。施設名称にタッチすると、まとめて表示されたリストを見ることができます。

● 地図が表示されてからの操作は、**「目的地を設定して案内を始める」**（→P.83）をご覧ください。

エリアで絞る

エリアを指定して、施設名称、または地名を絞り込めます。

1 **エリアで絞る** ⇨ 施設を検索したいエリアを選択

- 目的地周辺：すでに設定されている目的地の周辺で探す
- **現在地周辺** :現在地の周辺で探す
- **先程の地図** :直前に表示していた地図で探す
- **住所指定** :住所から地域を絞り込んで探す
- **住所指定** にタッチしてからの操作は、**「住所で探す」**（→P.75）をご覧ください。

2 絞り込まれたリストから、表示させる施設名称、または地名を選択

ジャンルで絞る

施設のジャンルを指定して、施設を絞り込めます。

1 **ジャンルで絞る** ⇨ 施設のジャンル、さらに詳細な施設のジャンルの順に選択

ワンポイント

- **ジャンルで絞る** で施設を絞り込んだ後、**エリアで絞る** でさらに絞り込むこともできます。

住所で探す

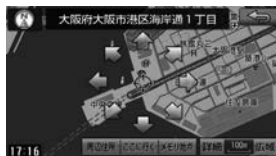
1 MENU ⇨ **目的地** ⇨ **住所** ⇨ 住所を選択（都道府県→市区町村→詳細な住所→丁目（字）の順）

- 詳細な住所がわからない場合は、**○○主要部** にタッチすると、タッチした地名の広域図が表示されます。

2 番地を入力 ⇨ 検索

● 入力した番地に、該当する住所がない場合は、その丁目（字）の広域図を表示します。

● 周辺住所 にタッチすると、番地リストから詳細住所を選択できます。

▼

● リストの一番上の住所を右の地図画面上に で表示します。リストを切り替えると、 の位置も移動します。

● 地図が表示されてからの操作は、**「目的地を設定して案内を始める」**（→P.83）をご覧ください。

履歴で探す

過去に目的地設定した履歴（100件）から地図を呼び出せます。

1 MENU ⇨ 目的地 ⇨ 目的地履歴 ⇨ 履歴を選択

● 地図が表示されてからの操作は、**「目的地を設定して案内を始める」**（→P.83）をご覧ください。

ワンポイント

●自宅は、目的地履歴に記憶されません。

●目的地履歴は削除できます。削除方法については**「目的地履歴を消す」**（→P.116）をご覧ください。

電話番号で探す

電話番号を入力すると、周辺の地図、またはその局番を使用している地域の地図を呼び出せます。

1 MENU ⇨ 目的地 ⇨ 電話番号 ⇨ 市外局番から電話番号を入力 ⇨ 検索

1 文字ずつ修正

● 住所一覧 ：市内局番までを入力して地図を呼び出した場合に住所を絞りこむ

▼

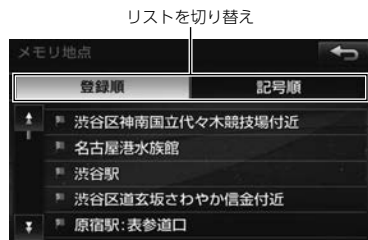
- 住所一覧で地名を選択すると ○○主要部 が表示されたリストが表示されることがあります。タッチすると、タッチした地名の広域図が表示されます。
- 住所一覧 から番地を入力して検索できない場合は 周辺住所 が表示されて、詳細な住所を検索できます。
- 同じ電話番号で複数の地点がある場合は施設名称にタッチ。
- 地図データに収録された「個人宅」の電話番号を入力した場合は名字を入力します。
- 地図が表示されてからの操作は、**「目的地を設定して案内を始める」**（→P.83）をご覧ください。

ワンポイント

- 同じ施設名称が、複数表示されることがあります。
- 一般情報誌などに記載されているデパートの美術館・アミューズメントパーク・ホールなどの電話番号は、実際の場所と問い合わせ先や管理会社の場所が離れていることがあります。この場合、問い合わせ先や管理会社の電話番号で検索すると、実際の場所と違う地図が表示されます。
- 地図に表示される住所は、隣接する地名が表示されることがあります。また、表示される電話番号は途中で切れていることや省略されていることがあります。
- 局番が変更になった場合は検索できません。また、一部地域では検索できない場合があります。
- 収録されていない電話番号を入力して地図を表示し、メモリ地点として登録した地点は、最大400件記憶され、次に同じ番号を入力すると記憶された地点の地図が表示されます。

メモリ地点から探す

メモリ地点をあらかじめ登録（→P.105）しておくと、メモリ地点から目的地を設定できます。

1 MENU ⇨ 目的地 ⇨ メモリ地点 ⇨ 目的地に設定したいメモリ地点を選択

- 地図が表示されてからの操作は、**「目的地を設定して案内を始める」**（→P.83）をご覧ください。

施設／ジャンルで探す

1 MENU ⇨ 目的地 ⇨ ジャンル ⇨ 施設のジャンルを選択

- ジャンルにタッチすると更に詳細なジャンルが表示されます。
- エリアで絞る ：エリアを指定して施設を絞り込む（→P.75）

2 施設名称を選択

- 地図が表示されてからの操作は、**「目的地を設定して案内を始める」**（→P.83）をご覧ください。
- ルート沿い考慮 ：距離・方向をルート案内に連動して表示（目的地が設定されている場合のみ）

最後に表示していた地図を呼び出す

1 MENU ⇨ 目的地 ⇨ 先程の地図

● 地図が表示されてからの操作は、**「目的地を設定して案内を始める」**（→P.83）をご覧ください。

マップコードで探す

1 MENU ⇨ 目的地 ⇨ マップコード ⇨ マップコードを入力 ⇨ 検索

● 地図が表示されてからの操作は、**「目的地を設定して案内を始める」**（→P.83）をご覧ください。

ワンポイント

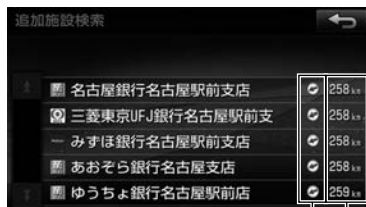
●マップコードとは、日本全国のすべての位置を数字としてコード化し、数字の入力により場所を特定することができるものです。住所では特定できないところ（景勝地や山、川、海など）もマップコードで位置を特定できます。マップコードについての詳細は、ホームページをご覧ください。
（URL　http://www.e-mapcode.com）

追加データから探す

Wi-Fiを使ってダウンロードした施設を、目的地に設定できます。

チェック

事前に施設データをダウンロードして本機に追加する必要があります。
(→P.265)

1 MENU ⇨ 目的地 ⇨ 追加施設 ⇨ 施設ジャンルを選択 ⇨ 施設名称を選択

周辺の施設を探す

1 現在地 ⇨ メニュー ⇨ 周辺検索 ⇨ 施設ジャンルを選択

● 表示したい施設が他にある場合は、その他施設を探す にタッチすると施設のリストが表示されるので、表示したい施設にタッチします。

2 施設を選択

リストを切り替え

現在地の進行方向から見た向き

現在地、または地図を動かした地点からの距離

▼

● リスト表示 ：前の画面に戻る

● 地図を動かした場合は、動かした地点周辺の施設が表示されます。

● 地図が表示されてからの操作は、**「目的地を設定して案内を始める」**（→P.83）をご覧ください。

● ルート沿い考慮 ：距離・方向をルート案内に連動して表示（目的地が設定されている場合のみ）

自宅に帰る

1 現在地 ⇨ 自宅 ⇨ はい

- 自宅が登録されていない場合は、メッセージが表示されます。はい にタッチすると自宅を登録できます。(→P.104)
- すでに目的地が設定されている場合は、メッセージが表示されます。
  - ・自宅へ帰る ：すでに設定されていた目的地は消去され、自宅が新規目的地として設定されます。
  - ・自宅を追加 ：目的地に追加したい区間を選択すると、自宅を追加目的地として設定されます。

区間を選択

- 自宅へのルート案内中に地図画面で 自宅案内中 → はい の順にタッチすると、自宅へのルート案内を終了します。

提携駐車場を探す

検索した施設と提携している駐車場がある場合表示できます。

チェック

●施設を中心とした半径2km以内で、最大50件までの提携駐車場を検索できます。

1 目的地の地図を表示し、提携P にタッチ

- 地図は次の方法で表示できます。
  - ・50音（→P.74）
  - ・住所（→P.75）
  - ・目的地履歴（→P.76）
  - ・電話番号（→P.77）
  - ・メモリ地点（→P.78）
  - ・ジャンル（→P.78）
  - ・先程の地図（→P.79）
  - ・マップコード（→P.79）
  - ・追加施設（→P.80）
  - ・周辺の施設を探す（→P.81）
  - ・地図を動かす（→P.66）

2 駐車場名称にタッチ

ワンポイント

●設定した車の情報（→P.123）から該当する提携駐車場を検索します。設定されていない場合は、提携する駐車場がすべて検索されます。

目的地を設定して案内を始める

1 目的地の地図を表示 ⇨ **ここに行く**

- 地図は次の方法で表示できます。
  - ・50音（→P.74）
  - ・住所（→P.75）
  - ・目的地履歴（→P.76）
  - ・電話番号（→P.77）
  - ・メモリ地点（→P.78）
  - ・ジャンル（→P.78）
  - ・先程の地図（→P.79）
  - ・マップコード（→P.79）
  - ・追加施設（→P.80）
  - ・周辺の施設を探す（→P.81）
  - ・地図を動かす（→P.66）

- ⇧ ：矢印の方向に地図が動く
- 検索した施設に情報がある場合、**情報** にタッチして施設情報を表示します。
- 目的地を追加したい場合は、**ここを追加** にタッチ（→P.89）
- 目的地付近に高速道路や橋、トンネルなどがある場合、道路の種類を選ぶ画面が表示されることがあります。
  - ・**設定する** ：高速道路や橋、トンネル上に目的地が設定されます。
  - ・**他の道路** ：設定したい道路に変更できます。

2 全ルート画面の **案内開始** にタッチ

- ルートを変更したいときは、**「全ルートを再表示する」**（→P.92）をご覧ください。
- **現在地** を押す、または走行して約3秒以上操作しなかった場合は、自動で目的地案内が始まります。
- **案内開始** に約３秒以上タッチすると、探索されたルートでのデモ走行を見ることができます。
- デモ走行中に **現在地** を押すとデモ走行を終了し、目的地案内を開始します。

ワンポイント

- デモ走行の速度を速くしたい場合は、**広域** 、遅くしたい場合は **詳細** にタッチしてください。
- 目的地を設定した地図の地点は、自動で記憶されます。（最大100件）100件を超えたときは、古いものから自動で削除されます。

ルート探索について

目的地を設定すると自動でルート探索を開始します。

- ルート探索中に、ほかの画面に切り替えても探索は続けています。
- 目的地までの距離が近すぎる場合は、ルートは探索されません。
- 5000kmを超えるルートは探索できません。
- 受信したVICS情報を利用して交通状況を考慮したルートを探索することができます。(→P.123)
- 目的地や出発地の周辺は、細街路（→P.101）を探索することがあります。
- ルート探索が終了すると、全ルート画面（現在地から目的地までの全体ルート）が表示されます。**「全ルート画面について」**（→P.85）をご覧ください。

ワンポイント

- 高速道路や有料道路のインターチェンジ・サービスエリア・パーキングエリア内などでルートを探索すると、周辺の一般道から案内を開始するルートが探索されることがあります。この場合は、ルートを再探索（→P.94）してください。

全ルート画面について

番号	表示／タッチスイッチ	機能
①	**情報**	目的地までのルート情報（案内道路情報）を表示（→P.87）
②	インターチェンジ名称	有料道路を通る場合、一番最初に入るインターチェンジの名称と一番最後に出るインターチェンジの名称を表示 ・ タッチすると、乗り降りするインターチェンジを変更できます。（→P.87）
③	有料道路距離	目的地までの有料道路の距離を表示
④	料金案内	目的地までの有料道路の料金を表示 ・ 料金が特定できない場合は、「不明」、または「○○○円以上」と表示されます。 ・ 全ルートを再表示（→ P.92）した場合は、残りの料金が表示されます。
⑤	距離	最終目的地までの距離を表示
⑥	**案内開始** （案内開始後は、**案内にもどる**）	目的地案内（→P.83）、またはデモ走行（→P.83）を開始
⑦	**ルート変更**	探索条件を変更 ・ 目的地の追加（→P.89） ・ 目的地の消去（→P.92） ・ 目的地の並べ替え（→P.90） ・ 目的地ごとにルート条件を変更（→P.86） ・ インターチェンジを指定（→P.87） ・ 探索ルートを変更（→P.94） ・ スマートICを考慮したルートを探索
⑧	**５ルート**	探索されたルートを別のルートに変更（→P.86） ・ 目的地案内開始後にもう一度全ルート画面を表示させた場合、表示されません。
⑨	ICマーク	有料道路を通る場合、一番最初に入るインターチェンジと、一番最後に出るインターチェンジを表示
⑩	ルート	目的地までのルートを表示

ワンポイント

● 料金は設定した車の情報（→P.123）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。

● 高速道路上に目的地を設定した場合や高速道路走行中にルートを変更した場合は、料金案内は行いません。

季節規制区間探索時のメッセージについて

季節規制区間を含むルートが探索された場合、「季節交通規制区間を回避するルートが探索できませんでした」のメッセージが表示されます。

ルートを確認して選ぶ

推奨ルートを含めた５つのルートから選ぶことができます。

チェック

●次の場合は、5ルートを表示できません。
・目的地が2カ所以上設定されている場合
・インターチェンジが指定されている場合
・目的地案内が開始されたあと

1 目的地を設定（→P.83）⇨ 全ルート画面を表示 ⇨ **5ルート** ⇨ ルート名称を選択

▼

ルート名称	特長
推奨	時間・距離・道路形状等、総合的に最も推奨するルートを探索
有料優先	なるべく有料道路を優先的に利用するルートを探索
一般優先	有料道路をなるべく利用しないルートを探索
距離優先	距離の短いルートを探索
別ルート	推奨で探索されたルートと違う道を利用するルートを探索

● **全行程** ：5つのルートの距離・料金・所要時間、エコ度を表示

ワンポイント

●渋滞考慮探索（→P.123）が【する】に設定されている場合は、渋滞を考慮したルートになります。
●料金は設定した車の情報（→P.123）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。

ルート情報（案内道路情報）の表示

目的地までのルートをインターチェンジ・ジャンクション・道路の種別などで分割し、それぞれの区間の距離・有料道路料金・各地点の通過予想時刻を一覧で表示できます。

1 目的地を設定（→P.83）⇨ 全ルート画面を表示 ⇨ **情報**

▼

● **地図** ：設定したそれぞれの地点の周辺地図を表示

ワンポイント

●料金は設定した車の情報（→P.123）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。

インターチェンジを指定する

探索ルートが有料道路を通る場合、乗り降りするインターチェンジを指定できます。

1 目的地を設定（→P.83）⇨ 全ルート画面を表示 ⇨ 変更するインターチェンジを選択

2 指定するインターチェンジ名称を選択 ⇨ **案内開始**

● **∧** ・ **∨** ・ **＞** ・ **＜** ：インターチェンジ（路線変更含む）を切り替え

● 指定したインターチェンジに出口（または入口）が２か所以上ある場合、**次候補** にタッチしてインターチェンジを指定し、**セット** にタッチします。

■ **次の手順でも操作できます**

MENU → 設定･編集 → ルート変更 → （変更したいインターチェンジを選ぶ）→（インターチェンジを指定）→ 案内開始

ワンポイント

- 指定できるインターチェンジは入口、出口ともに1カ所ずつです。
- スマートICを選択することもできます。この場合、ETC車載器の取付有無や通行可能な車・時間などは考慮されません。事前に国土交通省のホームページでご確認ください。

インターチェンジ指定を解除する

1 現在地 ⇨ メニュー ⇨ 表示変更 ⇨ 全ルート表示 ⇨ 変更するインターチェンジを選択

2 入口指定解除 （または 出口指定解除 ）⇨ 案内開始

■ **次の手順でも操作できます**

MENU → 設定･編集 → ルート変更 → 解除したいインターチェンジを指定→ 入口指定解除 （または 出口指定解除 ）→ 案内開始

目的地を追加する

目的地は最大5ヶ所まで設定できます。

1 MENU ⇨ 設定·編集 ⇨ ルート変更 ⇨ 目的地の追加 ⇨ 目的地設定画面から地図を表示

● 目的地は次の方法で探せます。
- 50音（→P.74）
- 住所（→P.75）
- 目的地履歴（→P.76）
- 電話番号（→P.77）
- メモリ地点（→P.78）
- ジャンル（→P.78）
- 先程の地図（→P.79）
- マップコード（→P.79）
- 追加施設（→P.80）

2 ここを追加 ⇨ 目的地に設定したい区間を選んで 設定 ⇨ 案内開始

区間を選択

■ **次の手順でも操作できます**

● 現在地 → メニュー → 表示変更 → 全ルート表示 → ルート変更 → 目的地の追加 →目的地設定画面から地図を表示→ ここを追加 → 目的地に設定したい区間を選んで 設定 → 案内開始

● MENU → 目的地 →目的地設定画面から地図を表示→ ここを追加 → 目的地に設定したい区間を選んで 設定 → 案内開始

● 現在地 → 行きたい地点に地図を動かす→ ここに行く → ここを追加 → 案内開始

ワンポイント

●地図を動かして、目的地を追加した場合は、1番最初の目的地に設定されます。

●追加した目的地を並べ替えることもできます。（→P.90）

●インターチェンジ（→P.87）が指定されている場合に目的地を追加すると、指定されている地点によっては、インターチェンジの指定が解除されることがあります。

目的地を並べ替える

2つ以上の目的地を並べ替えて再探索することができます。

1 現在地 ⇨ メニュー ⇨ 表示変更 ⇨ 全ルート表示 ⇨ ルート変更 ⇨ 目的地の並び替え

● インターチェンジが指定されている場合は、確認画面が表示されます。
- はい ：解除して、並べ替える
- いいえ ：並べ替えを中止してもとの画面に戻る

2 行きたい順に目的地を選択 ⇨ 完了

● すでに選ばれている目的地にもう一度タッチすると、その目的地の順番が解除され、以降の順番が繰り上げられます。

3 探索開始 ⇨ 案内開始

■ **次の手順でも操作できます**

MENU → 設定･編集 → ルート変更 → 目的地の並び替え →行きたい順に目的地を選択→ 完了 → 探索開始 → 案内開始

到着予想時間／残距離表示を切り替える

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にある場合）で、目的地が2カ所以上設定されている場合、目的地までの残距離と到着予想時間を切り替えることができます。

1 到着予想時間／残距離表示にタッチ

● 目的地が2ヵ所設定されている場合は、タッチするたびに到着予想時間／残距離表示の目的地が切り替わります。

到着予想時間／残距離表示

● 目的地が3ヵ所以上設定されている場合は、表示させたい目的地までの到着予想時間／残距離表示にタッチします。

● [<]：もとの表示に戻る

ワンポイント

● 状況により目的地までの残距離表示が異なります。
- 現在地がルート上にある場合：表示されているルートを通っての距離
- ルートからはずれた場合：現在地から目的地までの直線距離

● 到着予想時間は設定した平均車速（→P.123）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

● 到着予想時間の表示方法（所要時間／到着予想時刻）を切り替えることができます。（→P.123）

目的地を消す

1 MENU ⇨ 目的地 ⇨ 目的地消去

- 目的地が1ヵ所のみ設定されていた場合は、手順3へ。

2 消したい目的地を選択

全ての目的地を消す

3 はい ⇨ 案内開始

■ 次の手順でも操作できます

- MENU → 設定・編集 → ルート変更 → 目的地の消去 → (消したい目的地を選択) → はい → 案内開始
- 現在地 → メニュー → 表示変更 → 全ルート表示 → ルート変更 → 目的地の消去 → (消したい目的地を選択) → はい → 案内開始

全ルートを再表示する

出発地から目的地までの全ルートを表示できます。

1 現在地 ⇨ メニュー ⇨ 表示変更 ⇨ 全ルート表示

▼

全ルート画面表示を解除

- 再表示された全ルートの料金表示は、現在地から目的地までの残りの料金です。

今の案内ルートから変えたいとき

次の方法でルートを再探索できます。

- 探索ルートの条件を変える（→P.86）
- 出入口のインターチェンジを変える（→P.87）
- 目的地を追加する（→P.89）
- 複数設定した目的地を並べ替える（→P.90）
- 目的地を消す（→P.92）

ルートを再探索する

探索ルート条件を変える

1 現在地 ⇨ メニュー ⇨ 再探索 ⇨ 探索条件を選択

タッチスイッチ	機能
推奨	現在地から次の目的地※1の間で、時間・距離・道路形状等、総合的に最も推奨するルートを探索
有料優先	現在地から次の目的地※1の間で、なるべく有料道路を優先的に利用するルートを探索
一般優先	現在地から次の目的地※1の間で、有料道路をなるべく利用しないルートを探索
距離優先	現在地から次の目的地※1の間で、距離の短いルートを探索
別ルート※2	現在地から次の目的地※1の間で、現在選ばれているルートとは別のルートを探索

タッチスイッチ	機能
次の G 消去※3	現在地から次の目的地を消去して探索
有料道から探索※4 一般道から探索※4	自車位置が一般道にある場合に、付近の有料道路を通るルートが探索されたとき、一般道から探索 にタッチすると、一般道路を通るルートに変更（逆の場合は、有料道から探索 にタッチ）
スマート IC 考慮	スマートICを考慮したルートを探索

※1　現在地と次の目的地の間にインターチェンジが指定されている場合は、現在地から指定されているインターチェンジの間で、ルートが探索されます。
※2　5ルート同時表示（→P.86）から選んだ場合は、推奨ルートとは別のルートが探索されます。
※3　2つ以上、目的地を設定している場合のみ表示されます。
※4　有料道路と一般道が並行している場所のように、案内可能な別の道路がある場合のみ表示されます。

各区間の探索ルート条件を変える

各区間ごとに探索する条件を変えることができます。例えば、現在地から目的地１までは一般道路、目的地１から目的地２までは高速道路など、分けて設定できます。

1 現在地 ⇨ メニュー ⇨ 表示変更 ⇨ 全ルート表示 ⇨ ルート変更 ⇨ 探索条件変更 ⇨ 各区間ごとに探索条件を選択

2 探索開始 ⇨ 案内開始

■ 次の手順でも操作できます

MENU → 設定･編集 → ルート変更 → 探索条件変更 →各区間ごとに探索条件を選択→ 探索開始 → 案内開始

自動再探索（ハイパーリルート）

ルートからはずれたときの状況により、次のいずれかで自動で再探索されます。

・周辺探索：もとのルートへ戻るルートを探索

・全ルート探索：現在地から目的地の間で、選ばれている条件でルートを探索（現在地と次の目的地の間にインターチェンジが指定されている場合は、現在地から指定されているインターチェンジの間で、ルートが探索されます。）

案内画面について

ルート案内をサポートするいくつかの画面をご紹介します。
案内画面の表示内容については、（→P.98）をご覧ください。

ハイウェイモード

高速道路走行時に渋滞情報や、
サービスエリア・パーキングエリアの
情報を表示

高速入り口 3D拡大図

高速道路を走行するルート案内の場合、
入り口に近づくと 3Dで拡大表示

交差点拡大図

案内中に右左折対象の
交差点が近づくと
自動で拡大表示

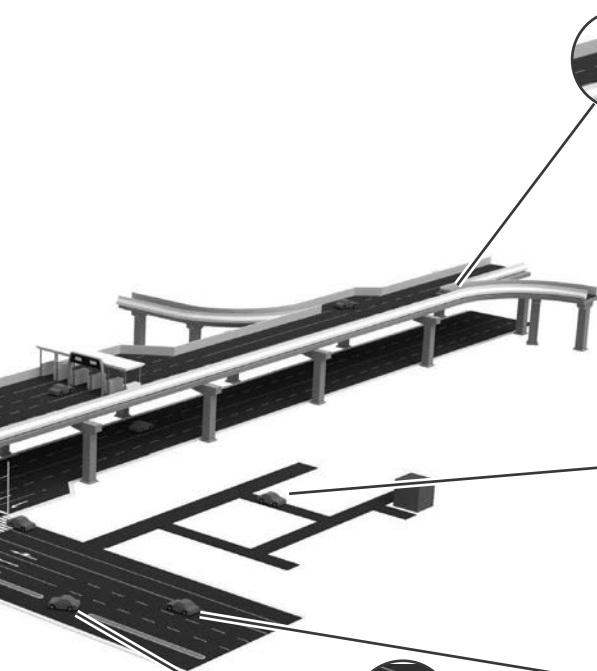
リアル交差点拡大図

交差点拡大図を実際の
風景に近い描写で表示

難交差点拡大図

レーンが複雑な交差点を、
拡大表示

3D 交差点拡大図

交差点を立体的に拡大表示

高速分岐案内

高速道路で、インターチェンジやジャンクションなどの分岐を拡大表示

市街図案内

市街地では、細かな道や建物のかたち、一方通行などがわかる詳細な地図を表示

側道案内

側道に入る必要があるルートを拡大表示

ターンリスト

現在地から 3 つ先までの分岐する交差点・インターチェンジ・ジャンクションなどの名称、案内方向、距離などを表示

レーンリスト

推奨レーンがある場合、700m手前から推奨レーンを表示

案内画面の見方

案内画面の表示方法については、**「拡大図を解除する」**（→P.101）をご覧ください。

◆ **通過する交差点**

◆ **分岐する交差点（交差点拡大図）**

番号	表示	内容
①	到着予想時間／目的地方向マーク	状況により次のマークを表示 ■ **到着予想時間** 次の目的地へ到着するまでの所要時間（到着予想時刻）を表示 ・ 到着予想時間については、**「ナビ詳細設定を変更する」**（→P.123）をご覧ください。 ・ 到着予想時間表示の切り替えについては**「到着予想時間／残距離表示を切り替える」**（→P.91）をご覧ください。 ■ **目的地方向マーク** ルートからはずれた場合、目的地の方向を表示
②	料金案内	料金所に近づくと、料金を画面表示と音声で案内 ・ 料金案内をする／しないを切り替えることができます。（→P.123）
③	残距離	現在地から次の目的地までの距離を表示 ・ ルートからはずれた場合、現在地から目的地までの直線距離を表示 ・ 残距離表示の切り替えについては、**「到着予想時間／残距離表示を切り替える」**（→P.91）をご覧ください。
④	交差点車線	推奨車線を青色で表示
⑤	案内ポイント	交差点案内を表示 ・ ■（赤色）…交差点拡大図を表示 ・ ●●● …信号機がある交差点の名称・レーンを表示 ・ ■（灰色）…レーンを表示
⑥	ルート	目的地までのルートを表示 ・ 案内ルートの線の色を変更できます。（→P.123）
⑦	交差点名称	次に案内する交差点の名称を表示

番号	表示	内容
⑧	VICSタイムスタンプ	ルート上（約10km以内）にVICS情報がある場合、タイムスタンプの時刻を次のように色分けして表示 ・ 渋滞：赤色 ・ 混雑：橙色 ・ 規制：黄色 ・ 順調：白色
⑨	残距離	交差点までの距離を表示

レーンリスト図案内について

交差点の手前で走行する交差点の名称と車線のレーンリスト図を表示させることができます。

案内ポイントの色によって交差点案内の方法が変わります。

- ・ 分岐する交差点の案内：赤色
- ・ 通過する交差点の案内：緑色→青色→橙色→灰色

1 **レーン表示** にタッチ

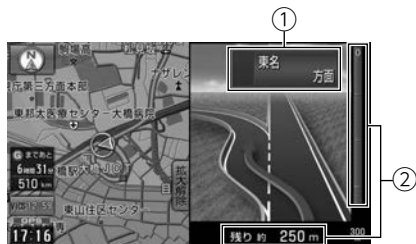
● **レーン解除** ：レーンリスト図を解除

ワンポイント

- ●レーンリスト図を自動で表示するように設定できます。(→P.123)
- ●地図上の案内ポイントとレーンリスト図の案内ポイントは同じ色で表示されます。

高速分岐案内

高速道路を走行中、分岐点に近づくと、高速分岐模式図が自動で表示されます。

案内画面の表示方法については、**「拡大図を解除する」**（→P.101）をご覧ください。

① **分岐点名称表示：**インターチェンジの出口名称、ジャンクション、サービスエリア、またはパーキングエリアの名称を表示

② **残距離表示**：分岐点までの距離を表示

案内図を切り替える

自動表示を設定していない場合は、手動で切り替えることができます。

1 現在地 ⇨ メニュー ⇨ 表示変更 ⇨ 地図表示 ⇨ 表示したい案内図を選択

● ○○解除 ：各案内図を解除

ワンポイント

●各案内図の自動表示設定は変更できます。（→P.123）

拡大図を解除する

1 拡大解除 にタッチ

● 現在地 、または 拡大表示 ：拡大図を再表示

ワンポイント

●各拡大図の自動表示設定は変更できます。(→P.123)

細街路の表示について

現在地周辺や目的地周辺では、細街路（幅5.5m未満の道路）もルートが探索されます。

ワンポイント

●細街路では、交通規制（一方通行など）により、通行できないルートが探索されることがあります。

フェリー航路の案内

フェリーの航路は ━━━ （破線）で表示されます。

● フェリーターミナルまで音声案内が行われます。

● フェリー利用後、しばらく走行すると目的地案内が再開されます。

ワンポイント

●フェリー航路を使用する全ルート画面では、フェリー料金を表示しません。ただし、所要時間は、フェリー時間を含んでいます。

音声案内

案内地点に近づくと、自動で音声案内します。

＜音声案内例＞

・交差点で曲がるとき
「およそ700m先、○○を右方向です。」
↓
「まもなく右方向です。」
↓
「右方向です。」

・高速道路で分岐点に近づいたとき
「およそ○○km先、○○方向、○○方面です。」

・目的地の手前では
「目的地周辺です。目的地は右側にあります。」

● 分岐交差点までの距離に応じた音声案内が行われます。

チェック

●もう一度音声案内を聞きたいときは、 現在地 を押します。

ワンポイント

●音声案内は目的地周辺までの案内をします。

●音声案内の音量は調節できます。（→P.38）

●ナビ詳細設定で【する】に設定すると、音声案内されるものがあります。音声案内の例などの詳細はナビ詳細設定（→P.123）をご覧ください。

●ナビ画面から他のモードの画面に切り替えた場合でも音声案内を行います。

案内を中止する・再開する

チェック

●目的地案内を中止しても、目的地は消去されません。

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ 案内中止

● 案内再開 ：案内を再開

案内ルート上にある周辺施設を探す

目的地を設定している時に、案内ルートを考慮した周辺施設のリストを表示できます。

1 現在地 ⇨ メニュー ⇨ 周辺検索 ⇨
検索したい施設ジャンルを選択 ⇨ ルート沿い考慮

▼

施設位置アイコン

現在地、または地図を
動かした地点からの距離

メモリ地点について

メモリ地点を登録すると、次の設定ができます。

・ 地図にマークを表示
・ 地点に近づいたときに音が鳴るように設定（→P.106）
・ メモリ地点から目的地を設定（→P.78）

自宅を登録する

1 現在地 ⇨ メニュー ⇨ メモリ地点 ⇨ 自宅の 登録

● すでに自宅が登録されている場合、はい にタッチすると自宅を再登録できます。前に登録していた自宅は消去されます。

2 登録方法を選択 ⇨ セット

● 自宅は、次の方法で探せます。
・ 地図から登録：直前に表示していた地図を表示
・ 住所から登録（→P.75）
・ 電話番号から登録（→P.77）

■ **次の手順でも操作できます**

MENU → 設定･編集 → メモリ地点登録編集 → 自宅の 登録 →登録方法を選択→ セット

自宅の登録を消す

1 現在地 ⇨ メニュー ⇨ メモリ地点 ⇨ 自宅の 消去 ⇨ はい

メモリ地点を登録する

メモリ地点は最大400件登録できます。

地点を検索して登録する

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ メモリ地点登録編集 ⇨ メモリ地点の 登録 ⇨ 地図の呼び出し方法を選んで、登録

- 地図は次の方法で呼び出せます。
  - ・50音から登録（→P.74）
  - ・住所から登録（→P.75）
  - ・履歴から登録（→P.76）
  - ・先程の地図から登録（→P.79）
  - ・ジャンルから登録（→P.78）
  - ・マップコードから登録（→P.79）
  - ・電話番号から登録（→P.77）
  - ・現在地周辺から登録：現在地を中心とした地図を表示

2 セット ⇨ 完了

■ **次の手順でも操作できます**

- 現在地 → メニュー → メモリ地点 → メモリ地点の 登録 →地図を表示→ セット → 完了
- MENU → 目的地 → 地図の呼び出し方法を選んで、地図を表示→ メモリ地点

現在地を地点登録する

1 現在地 ⇨ 地点登録

- 現在地の位置に、メモリ地点が マークで表示されます。
- 地図を動かして 地点登録 にタッチしても、メモリ地点を登録できます。

ワンポイント

- 現在地が高速道路（有料道路含む）上にあるときは、方向付きメモリ（→P.106）で登録されます。

メモリ地点を修正する

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ メモリ地点登録編集 ⇨ メモリ地点の 修正 ⇨ 修正したい地点を選択 ⇨ 修正・入力 ⇨ 完了

● 次の項目を修正できます。
- ・記号（→P.106）
- ・名称（→P.107）
- ・地図の名称表示（→P.108）
- ・名称読み（→P.108）
- ・位置（→P.109）
- ・電話番号（→P.109）

■ **次の手順でも操作できます**

● 現在地 → メニュー → メモリ地点 → メモリ地点の 修正 → 修正したい地点を選択→各項目を修正→ 完了

● 現在地 →地図を動かして修正したいメモリ地点を選択 → 情報 → 修正 → 各項目を修正→ 完了

マークを変更する

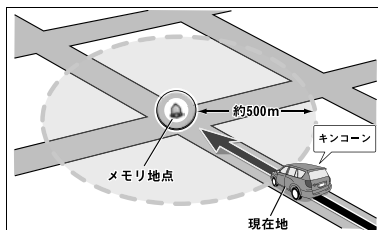
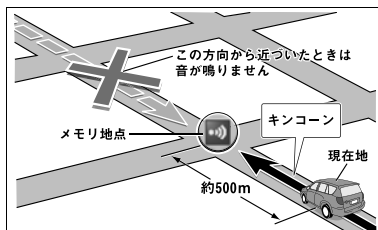
1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ メモリ地点登録編集 ⇨ メモリ地点の 修正 ⇨ 修正したい地点を選択 ⇨ 記号 ⇨ 希望の記号を選択

● 記号なし ：マークを表示しない

● 音声付き ：メモリ地点に約500mまで近づくと音が鳴る

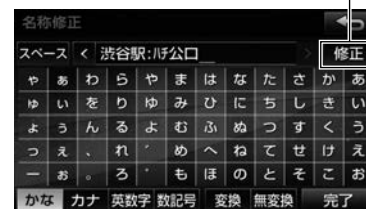
● 音確認 ：音を試聴

● 方向付き ：設定した方向からメモリ地点に約500m まで近づくと音が鳴る

● ［↰］、［↱］で向きを調整し、セット にタッチ。

◆音声付き

◆方向付き

名称を入力する

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ メモリ地点登録編集 ⇨ メモリ地点の 修正 ⇨ 修正したい地点を選択 ⇨ 名称 ⇨ 名称を入力 ⇨ 完了

1文字ずつ修正

● 文字の入力方法については **「文字を入力する」**（→P.30）をご覧ください。

ワンポイント

● 入力できる文字数は最大12文字（半角24文字）です。

地図に名称を表示する

名称表示（青色）

チェック

●800mスケール図より詳細な地図で表示できます。

1 MENU ⇨ **設定･編集** ⇨ **メモリ地点登録編集** ⇨ メモリ地点の **修正** ⇨ 修正したい地点を選択 ⇨ **地図の名称表示** ⇨ **する** 、または **しない**

ワンポイント

●名称を入力していない場合は、**地図の名称表示** をタッチする前に、**名称** にタッチして、文字を入力してください。

●地図に表示できる文字数は最大12文字（半角24文字）です。

名称読みを入力する

1 MENU ⇨ **設定･編集** ⇨ **メモリ地点登録編集** ⇨ メモリ地点の **修正** ⇨ 修正したい地点を選択 ⇨ **名称読み** ⇨ 名称を入力 ⇨ **完了**

1文字ずつ修正

● 文字の入力方法については**「文字を入力する」**（→P.30）をご覧ください。

ワンポイント

●入力することができる文字数は半角カナのみで、最大24文字です。

位置を修正する

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ メモリ地点登録編集 ⇨ メモリ地点の 修正 ⇨ 修正したい地点を選択 ⇨ 位置 ⇨ ⇧ で修正する位置に地図を動かす ⇨ セット

ワンポイント

●表示されている住所とマップコードも修正されます。

電話番号を入力する

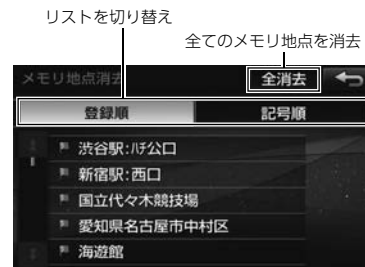
1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ メモリ地点登録編集 ⇨ メモリ地点の 修正 ⇨ 修正したい地点を選択 ⇨ 電話番号 ⇨ 市外局番から電話番号を入力 ⇨ 完了

1 文字ずつ修正

メモリ地点を消す

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ メモリ地点登録編集 ⇨ メモリ地点の 消去 ⇨ 消去する地点を選択 ⇨ はい

リストを切り替え

全てのメモリ地点を消去

■ **次の手順でも操作できます**

- ● 現在地 → メニュー → メモリ地点 → メモリ地点の 消去 → 消去したい地点を選択→ はい
- ● 現在地 →地図を動かして消去したいメモリ地点を選択 → 情報 → 消去 → はい

迂回メモリ地点について

迂回メモリ地点を登録しておくと、登録した地点・エリアを迂回するルートを探索することができます。工事や事故による通行止め・渋滞地点がわかっている場合などに便利です。

ワンポイント

●高速道路（都市高速・有料道路を含む）およびフェリー航路は、迂回させる範囲内に設定しても迂回させることはできません。迂回させたいときは、迂回地点を地図上に設定してください。

迂回メモリ地点を登録する

1 MENU ⇨ **設定･編集** ⇨ **メモリ地点登録編集** ⇨ 迂回メモリの **登録** ⇨ 地図の呼び出し方法を選択 ⇨ ⇨ 登録する地点の地図を表示

● 迂回メモリ地点は、次の方法で探せます。

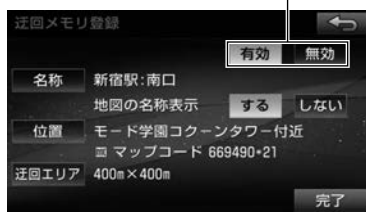
・50音から登録（→P.74）
・住所から登録（→P.75）
・履歴から登録（→P.76）
・先程の地図から登録（→P.79）
・ジャンルから登録（→P.78）
・マップコードから登録（→P.79）
・電話番号から登録（→P.77）
・現在地周辺から登録：現在地を中心とし地図を表示

2 矢印にタッチして位置を調整

● ⇧ ：矢印の方向に地図が動く

3 セット ⇨ ∧ 、または ∨ で迂回範囲を設定 ⇨ セット

4 完了 にタッチ

迂回するルートを探索する／しない

■ **次の手順でも操作できます**

現在地 → メニュー → メモリ地点 → 迂回メモリの 登録 →地図を表示→ セット →迂回範囲を設定→ セット → 完了

迂回メモリ地点を修正する

1 MENU ⇨ 設定・編集 ⇨ メモリ地点登録編集 ⇨ 迂回メモリの 修正 ⇨ 修正したい迂回メモリ地点を選択 ⇨ 修正・入力 ⇨ 完了

迂回するルートを探索する／しない

● 次の項目を修正・入力できます。
- 名称（→P.107）
- 地図の名称表示（→P.108）
- 位置（→P.109）
- 迂回エリア（→P.110）

■ **次の手順でも操作できます**

現在地 → メニュー → メモリ地点 → 迂回メモリの 修正 →修正したい迂回メモリを選択→修正・入力→ 完了

迂回メモリ地点を消す

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ メモリ地点登録編集 ⇨ 迂回メモリの 消去 ⇨ 消去したい迂回メモリ地点を選択

すべての迂回メモリ地点を消去

2 はい にタッチ

■ **次の手順でも操作できます**

現在地 → メニュー → メモリ地点 → 迂回メモリの 消去 →消去したい迂回メモリを選択→ はい

地点の移行について

本機に登録したメモリ地点と迂回メモリ地点を、SD メモリーカードに保存できます。

保存したデータは一部の製品に移行する事ができます。

対応製品の詳細は、ECLIPSE ホームページをご覧ください。

「お客様サポート」→「FAQ」（http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/）をご覧ください。

チェック

- 地点データの移行操作時は、他の操作はできません。
- 使用できるSDメモリーカードの仕様は、**「SDメモリーカード」**（→ P.327）をご覧ください。

パスワードを設定する

チェック

- 地点データを読み込むときや移行するときにはパスワードが必要です。パスワードを忘れないよう、メモなどに控えておくことをおすすめします。
- パスワードを忘れた場合、初期化すると再度パスワードを設定できますが、本機に登録している地点データも消去されますのでご注意ください。

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ メモリ地点登録編集 ⇨ メモリ地点移行 ⇨ パスワードの 設定

パスワードを初期化

2 数字4桁のパスワードを入力 ⇨ 完了

1文字ずつ修正

- すでにパスワードが設定されている場合は、現在のパスワードを入力後に新しいパスワードを入力します。

3 もう一度、パスワードを入力 ⇨ 完了

地点をSDメモリーカードに移す

⚠重 要

SD メモリーカードにデータを移行中は、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしないでください。データが破損する恐れがあります。

チェック

- あらかじめパスワードを設定してください。（→P.113）
- 地点をSD メモリーカードに移すと、本機に登録しているメモリ地点と迂回メモリ地点は消去され、パスワードも初期化されます。
- すでに地点データを保存しているSD メモリーカードを使用した場合、上書き保存となり、保存していたデータは消去されます。消去されたデータは保証できませんのでご注意ください。

1 MENU ⇨ ▲ ⇨ ▲AV SD

2 SDメモリーカードを音楽用SD差し込み口に “カチッ” と音がするまで差し込む ⇨ CLOSE

- ▲マークを奥にして、ロックせずに差し込んでください。

3 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ メモリ地点登録編集 ⇨ メモリ地点移行 ⇨ 保存の SD ⇨ パスワードを入力 ⇨ 完了

4 OK にタッチ

- すでにSDメモリーカードにメモリ地点が保存されている場合は、メッセージが表示されます。はい → はい の順にタッチすると、保存されているデータに上書きされます。

SDメモリーカードに保存した地点を本機に移す

チェック

- 地点データを移すには、事前に設定したパスワードが必要です。(→P.113)
- 地点データを移すと、本機に登録していた地点データは、すべて置き替えられます。
- 地点データを移すと、SD メモリーカードに保存していた地点データはすべて消去されます。

1 MENU ⇨ ▲ ⇨ ▲AV SD

2 SDメモリーカードを音楽用SD差し込み口に“カチッ”と音がするまで差し込む ⇨ CLOSE

- ▲マークを奥にして、ロックせずに差し込んでください。

3 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ メモリ地点登録編集 ⇨ メモリ地点移行 ⇨ 読み込みの SD ⇨ 保存したときに使用したパスワードを入力 ⇨ 完了

1 文字ずつ修正

4 はい ⇨ OK

ワンポイント

- 保存できる地点の件数は、ナビにより異なります。保存できる地点の件数や、SDメモリーカードへの保存方法などは、データを移すナビの説明書をご覧ください。

目的地履歴を消す

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ ナビ詳細設定 ⇨ 履歴削除 ⇨ 削除する ⇨ 消したい履歴を選択

全ての目的地履歴を消す

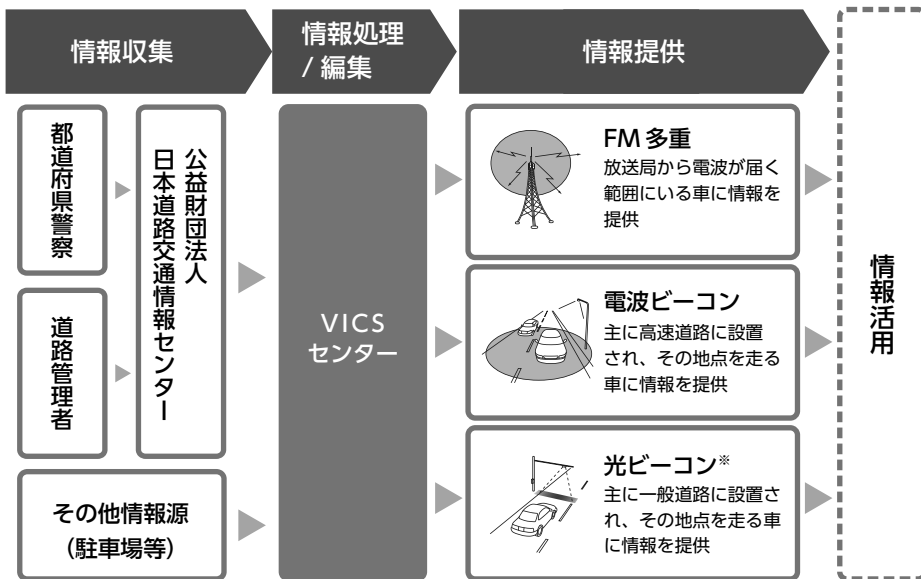
2 はい にタッチ

ワンポイント

●目的地に設定した地点は、最大100件まで自動で記憶されます。100件を超えた場合は、古いものから自動で削除されます。

VICSについて

道路交通情報通信システム（VICS：Vehicle Information and Communication System）は渋滞や事故、工事、所要時間、駐車場の道路交通情報をリアルタイムに送信し、地図画面等に表示するシステムです。また、道路交通情報の提供をとおして、安全性の向上、交通の円滑による環境の保全等を促進することを目的としています。

VICSは大きく分けて、「情報収集」「情報処理／編集」「情報提供」「情報活用」の4つのブロックからなります。

※ 本機は対応していません。

緊急情報について

緊急情報は地震などの災害がおこった際、放送局がFM文字多重放送によって独自に放送するもので、法令に基づき、国や地方公共団体などが要請する**「緊急警報放送（EWS）を受信した場合は」**（→P.180）とは異なります。

⚠ 重 要

- 災害発生時に、万一、本機の不具合やお取り扱いの誤りなどにより、情報伝達が行われなかった場合でも、災害により発生した損害について補償するものではございませんので、予めご了承ください。

統計データについて

本機には、渋滞の統計データが収録されています。

収録された統計データは、ルート探索時に使用されます。また、統計データを地図上に表示することができます。（→P.119）

表示された統計データの見方は、**「地図情報（レベル3）について」**（→P.120）をご覧ください。

VICS情報の提供内容について

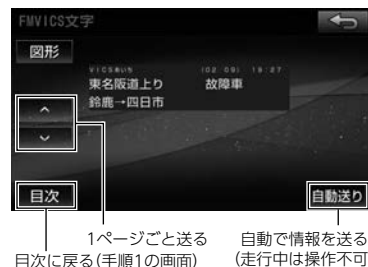
VICS情報は文字表示（レベル1）、簡易図形表示（レベル2）、または地図表示（レベル3）から渋滞・交通規制等を表示します。

ワンポイント

- アンテナが下がっているとVICS情報が受信されません。VICS情報を受信するには、ラジオアンテナを伸ばしてください。（→P.133）

文字情報（レベル1）を表示する

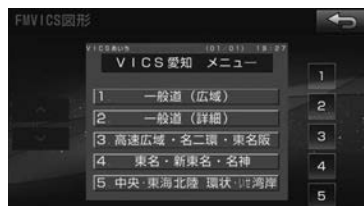
1 MENU ⇨ 情報 ⇨ VICS 、または DSRC/VICS ⇨ FM文字 ⇨ 表示させる文字情報の番号を選択

2 ∧ 、∨ 、または 自動送り にタッチ

- 自動送りを解除する場合は、停止 にタッチ。

ワンポイント

- 緊急情報を受信した場合は、他の情報より優先して割込表示されます。割込んだ情報は 割込情報 から再表示できます。

簡易図形情報（レベル2）を表示する

1 MENU ⇨ 情報 ⇨ VICS 、または DSRC/VICS ⇨ FM図形 ⇨ 表示させる情報の番号を選択

2 ∧ 、 ∨ 、または 自動送り にタッチ

● 自動送りを解除する場合は、 停止 にタッチ。

ワンポイント

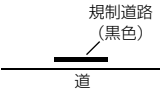
●緊急情報を受信した場合は、他の情報より優先して割込表示されます。割込んだ情報は 割込情報 から再表示できます。

地図情報（レベル3）を表示する

1 現在地 ⇨ メニュー ⇨ 表示変更 ⇨ VICS交通情報 ⇨ VICS設定

● 全道路 ・ 高速道 ・ 一般道 ：表示する道路にタッチ
● 非表示 ：表示を解除

2 設定したい項目を選択 ⇨ する 、または しない

● VICSマーク（→巻末）は、事象・規制情報の表示、または駐車場情報の表示が【する】に設定されていないと表示されません。

地図情報（レベル3）について

チェック

●VICSマークは200mスケール図以下、渋滞情報／規制情報は800mスケール図以下の地図で表示できます。

▼

規制情報や駐車場情報などの詳細

現在地からの直線距離

番号	表示	内容
①	VICSマーク	規制情報、駐車場、サービスエリア・パーキングエリアの情報をマークで表示 ・ VICSマークの詳細は、巻末をご覧ください。

番号	表示	内容
②	タイムスタンプ	・ VICS情報の受信状況と情報が提供された時刻を表示 ・ VICS 12:59 :表示中の地図にVICS情報がある場合 時刻の色で、渋滞状況をお知らせします。 （赤色：渋滞／橙色：混雑／規制：黄色／順調：白色） ・ VICS 10:21 :VICS情報を受信しているが、表示中の地図にVICS情報がない場合 ・ VICS --:-- :VICS情報を受信していない場合 ・ ルート上（約10km以内）にVICSの渋滞・規制案内がある場合は、タイムスタンプがタッチスイッチに切り替わり、タッチすると渋滞・規制案内情報を音声で案内します。
③	渋滞情報／規制情報	・ 渋滞情報（現況（VICS）情報／統計データ） 渋滞の長さと混雑状況を、線の長さと色で表示 （赤色：渋滞／橙色：混雑／水色：順調） ・ 現況（VICS）情報 地図上に矢印で表示されます。 先頭 ・ 統計データ 地図上に破線で表示されます。 ・ 規制情報 規制道路を黒色の線で表示 規制道路（黒色） 道

ワンポイント

●VICS情報は継続して受信されないと、提供時刻の約30分後に自動で消去されます。

受信する放送局を変更する

1 MENU ⇨ 情報 ⇨ VICS 、または DSRC/VICS ⇨ VICS選局 ⇨ オート 、または マニュアル

● 通常は、オート でご使用ください。オートで受信されない場合のみ、マニュアル から、放送局（または放送エリア）を選択してください。

自動で選ぶ

1 MENU ⇨ 情報 ⇨ VICS 、または DSRC/VICS ⇨ VICS選局 ⇨ オート

手動で選ぶ（エリア選択）

選んだ都道府県の放送局が受信されます。

1 MENU ⇨ 情報 ⇨ VICS 、または DSRC/VICS ⇨ VICS選局 ⇨ マニュアル

2 受信させる放送局のある都道府県名を選択 ⇨ 完了

手動で選ぶ（周波数選択）

選んだ周波数の放送局が受信されます。受信状態がかわっても放送局は自動で切り替わりません。

1 MENU ⇨ 情報 ⇨ VICS 、または DSRC/VICS ⇨ VICS選局 ⇨ マニュアル

2 TUNE▲ 、または TUNE▼ にタッチして、放送局の周波数を選択 ⇨ 完了

ワンポイント

● 新規エリアについては周波数を手動で選択しないと受信できない場合があります。
● VICS情報のサービスエリアについては、**「VICS情報有料放送サービス契約約款」**（→P.354）をご覧ください。
● VICSシステムでは、地図データに情報提供する道路をあらかじめ設定しています。（VICSリンク）
VICSリンクは毎年追加・更新・削除されるため、データベースの更新を行わないと、VICS地図情報（レベル3）の一部が表示されなくなることがあります。最新の情報に対応するためには、地図データの更新を行う必要があります。ただし、情報提供サービス維持のため、変更前のVICSリンクにも変更後3年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。
VICSリンクにより設定された道路は、将来の計画も含めた情報提供の可能性のある道路です。したがって、現時点では情報提供されていない道路もあります。

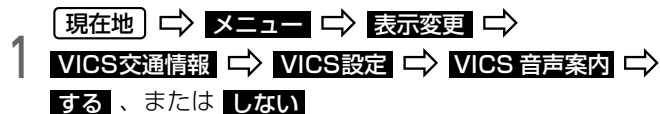
●VICS情報が受信できる代表的な周波数（2014年11月現在）

北海道（旭川地区　85.8MHz）（函館地区　87.0MHz）
（札幌地区　85.2MHz）（室蘭地区　88.0MHz）
（釧路地区　88.5MHz）（帯広地区　87.5MHz）
（北見地区　86.0MHz）

青森県	86.0MHz	秋田県	86.7MHz
岩手県	83.1MHz	山形県	82.1MHz
宮城県	82.5MHz	福島県	85.3MHz
茨城県	83.2MHz	栃木県	80.3MHz
群馬県	81.6MHz	埼玉県	85.1MHz
千葉県	80.7MHz	東京都	82.5MHz
神奈川県	81.9MHz	山梨県	85.6MHz
静岡県	88.8MHz	長野県	84.0MHz
岐阜県	83.6MHz	愛知県	82.5MHz
三重県	81.8MHz	新潟県	82.3MHz
石川県	82.2MHz	富山県	81.5MHz
福井県	83.4MHz	滋賀県	84.0MHz
京都府	82.8MHz	大阪府	88.1MHz
兵庫県	86.5MHz	奈良県	87.4MHz
和歌山県	84.7MHz	岡山県	88.7MHz
広島県	88.3MHz	鳥取県	85.8MHz
島根県	84.5MHz	山口県	85.3MHz
香川県	86.0MHz	徳島県	83.4MHz
高知県	87.5MHz	愛媛県	87.7MHz
福岡県	84.8MHz	大分県	88.9MHz
佐賀県	81.6MHz	長崎県	84.5MHz
熊本県	85.4MHz	宮崎県	86.2MHz
鹿児島県	85.6MHz	沖縄県	88.1MHz

VICS音声案内を設定する

目的地案内中の現在地画面から約10km以内のルート上のVICS情報（渋滞や交通規制など）を音声でお知らせします。

1 現在地 ⇨ メニュー ⇨ 表示変更 ⇨ VICS交通情報 ⇨ VICS設定 ⇨ VICS 音声案内 ⇨ する 、または しない

ナビ詳細設定を変更する

1 MENU ⇨ **設定·編集** ⇨ **ナビ詳細設定** ⇨ 設定したい項目を選択 ⇨ 各項目を設定 ⇨ **完了**

- **設定初期化** にタッチすると、次の設定項目以外が初期設定の状態に戻ります。
  - ・3D地図表示設定
  - ・平均車速の設定
  - ・渋滞考慮探索設定
  - ・車両情報設定
  - ・ナビ補正

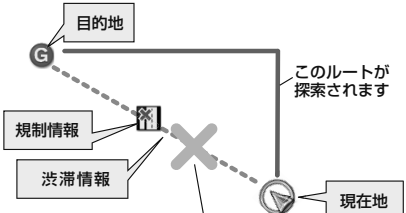
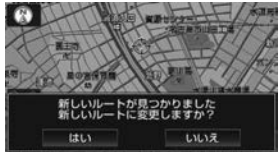
- 次の項目が設定できます。
- 設定値の**太字**が初期設定です。

項目	設定値	機能
2D 時フロントワイド(ヘディングアップ)	**する**／しない	進行方向が上になるように回転する地図で、進行方向の地図を広く表示 進行方向を広く表示
2D 時フロントワイド(ノースアップ)	する／**しない**	北を上にして固定された地図で、進行方向の地図を広く表示 進行方向を広く表示
3D 時ルート方向アップ	する／**しない**	3D表示画面でルートが表示されている方向の地図を表示

項目	設定値	機能
3D 地図表示設定	変更する	3D表示（→P.71）の角度を設定 設定後にタッチ　角度を上げる 初期設定の状態に戻す　角度を下げる
昼の地図色	変更する	昼画と夜画の地図色を変更 ・ **ベーシック** ・ WEB調 ・ ビビッド ・ ダーク ・ 文字強調
夜の地図色		
ルート線の色	**ブルー** レッド グリーン パープル	ルート案内時に表示される線の色を変更

項目	設定値	機能
自車位置マーク変更	**ノーマル** クルマ ジュエリー ヒヨコ	地図に表示される自車位置マークを変更 **ノーマル**・クルマ・ジュエリー・ヒヨコ
	カスタム	・ テザリングに対応しているスマートフォンをお持ちの場合、専用サイトからお好みの自車位置マークをダウンロードして追加できます。(→P.266) ダウンロードした自車位置マークは、 カスタム にタッチすると設定できます。
地図の文字サイズ変更※	大 **中** 小	地図上に表示される地名などの文字サイズを変更 大　**中**　小
シーズンレジャーランドマーク表示	**する**／しない	桜の名所（ ）や紅葉の名所（ ）を時季にあわせて表示 ・ 全ルート画面（→P.85）を除く、800mスケール図より詳細な地図に表示できます。 ・ マークが表示される時季は名所ごとに異なります。

※ 3D表示では、文字サイズは変更されません。

項目	設定値	機能
地図 スクロール 時の 地名表示	**する**／ しない	地図を動かした場合に、画面上部に地名などを表示 ・ 200m スケール図より広域な地図を表示している場合、路線名・路線番号は表示されません。 地名・路線名・路線番号を表示
一方通行 マークの表示	する／ **しない**	100mスケール図以下の地図に一方通行マーク（➡）を表示 ・ 【しない】に設定していても、市街図では一方通行マークは常時表示されます。
地図スライド 操作	**する**／ しない	地図画面でスライド・フリック操作（➞P.28）をする（2D表示時のみ）
交差点拡大図 自動表示	**する**／ しない	交差点拡大図を自動で表示
リアル交差点 拡大図表示	**する**／ しない	リアル交差点拡大図を自動で表示
高速分岐 模式図表示	**する**／ しない	高速分岐模式図を自動で表示
レーンリスト 自動表示	**する**／ しない	レーンリスト図を自動で表示
ターンリスト 自動表示	する／ **しない**	ターンリスト図を自動で表示

項目	設定値	機能
料金案内	**する**／ しない	目的地案内中に料金所に近づくと、料金を画面表示と音声で案内 料金案内 ＜音声案内例＞ ・「およそ○○m先、料金所です。料金は○○円です。」 料金は、設定した車の情報（➞P.128）から計算しています。 次の場合、実際と異なる料金を案内することがあります。 ・ 通行料金が変更されたとき ・ ETCによる割引が適用されたとき ・ 自車位置が並行する別の道路へずれて再探索されたとき ・ 有料道路内で再探索したとき ・ 有料道路内に目的地を設定したとき また、次の場合は、料金案内を行いません。 ・ 高速道路上に目的地を設定したとき ・ 高速道路走行中にルート変更したとき

項目	設定値	機能
県境案内	**する**／ しない	都道府県の県境を通過した場合、都道府県のマークを表示し、音声で案内 県境案内
3D交差点 拡大図	する／ **しない**	交差点拡大図を立体的に表示
到着予想時間 表示	**所要時間**／ 到着時刻／ 設定する	到着予想時刻の表示内容を変更 ・ 所要時間 : 目的地までの所要時間を表示 ・ 到着時刻 : 目的地の到着予想時刻を表示 ・ 設定する : ルート案内中の画面に表示される到着予想時間の算出基準となる平均車速を変更 速度を変更 (5km/hずつ) 設定後にタッチ ・ 初期設定値は次の通りです。 一般道：30km/h 有料道：60km/h 高速道：80km/h

項目	設定値	機能
細街路での 音声案内	**する**／ しない	目的地周辺で細街路（幅5.5m未満の道路）を通るときに音声で案内 <音声案内例> 「実際の交通規制や道幅に注意して走行してください。」 ・ ルート案内中に設定を変更するとルートが再探索されます。
ハートフル 音声	**する**／ しない	その日に初めてエンジンスイッチをACC、またはON にした時や、自宅を目的地にして到着した時など、日付やあいさつなどを音声で案内 <音声案内例> ・ 「今日は○月○日○曜日です。」 ・ 「お疲れ様でした。」 ・ 「メリークリスマス。」
エコドライブ インフォ メーション	**する**／ しない	エコな運転に役立つアドバイスを音声で案内 ・ ハートフル音声と重なった場合は、ハートフル音声が優先されます。 ・ エコドライブインフォメーションは、約1週間に1回案内されます。
一時停止案内	**する**/ しない	一時停止交差点に近づくと、 マークと音声で案内 <音声案内例> 「この先一時停止があります。」
踏切案内	する/ **しない**	踏切に近づくと、 マークと音声で案内 <音声案内例> 「この先踏切です。」 ・ 地図上に (黄色) で表示されます。

項目	設定値	機能
合流案内	する/ **しない**	高速道路走行中、合流地点に近づくと、マークと音声で案内 <音声案内例> 「この先、左からの合流があります。」 ・ 地図上に（黄色）で表示されます。
カーブ案内	する/ **しない**	急カーブに近づくと、マークと音声で案内 ・「この先、カーブがあります。」 ・「この先、カーブが連続します。」
減少レーン案内	する/ **しない**	減少するレーンをマークと音声で案内 <音声案内例> 「この先、右側（左側）車線が減少します。」
事故多発地点案内	する/ **しない**	事故多発地点に近づくと、マークと音声で案内 <音声案内例> 「事故多発地点です。ご注意ください。」
学校存在案内	する/ **しない**	学校に近づくと、マークと音声で案内 <音声案内例> 「近くに学校があります。」 ・ 通学時間帯以外は案内しない場合があります。

項目	設定値	機能
渋滞考慮探索	**する**／ しない	本機に収録されている渋滞統計データ（→P.117）や、受信したVICS情報※をもとに、現在地から約10km以内の渋滞・規制情報を考慮したルートを探索 目的地 / このルートが探索されます / 規制情報 / 渋滞情報 / 現在地 / このルートは探索されません ・ 5 ルート同時表示（→P.86）やルートの探索条件などで、渋滞が考慮されたルートになります。 ・ 現在地から10km以内の情報が考慮されるため、遠方の渋滞情報は考慮されません。
新旧ルート比較表示※	**する**／ しない	目的地案内中に受信した渋滞・規制情報を基に新しいルートが見つかった場合、変更できる 新しいルートが見つかりました 新しいルートに変更しますか？ / はい / いいえ

※ 別売のITSスポット対応DSRCユニットを接続しているとき、または通信ユニット（AVN-SZX04i/AVN-SZ04i/AVN-SZ04iW）を接続してオンデマンドVICSを利用しているときのみ

項目	設定値	機能
ルート学習	**する**／しない	いつも通る道を、ナビに学習させてルート探索する 実際に通ったルート 探索ルート ナビが学習すると… 探索ルート！ ・ 例えば、よく行く目的地への案内中に、探索されたルートとは異なるルートを通った場合、そのルートをナビに学習させることができます。学習が完了すると、次回のルート探索に反映されます。 ・ 幅5.5m 以下の道路では、ルート学習はできません。（自宅登録時の自宅周辺を除く） ・ 学習した道路が使われない場合もあります。 ・ 自車位置が実際の道路と異なる場所に表示されているときは、ルート学習ができない場合があります。（高速道路、または高架道路と並行している道路がある場合など。） ・ ルート学習は、推奨ルートのみ反映されます。 ・ 地図データを更新した場合、道路の改良、新規開通などの変化により、ルート学習が反映されない場合があります。
	消去	ルート学習した結果を消す
周辺施設呼び出しジャンル	変更する	施設表示画面の項目を変更（→P.73）

項目	設定値	機能
車両情報設定	変更する	料金の計算や提携駐車場を検索する場合の基準となる車の情報を変更 車のナンバープレート分類番号にタッチ 寸法未入力状態に戻る 寸法を変更 設定後にタッチ ・ 目的地が設定されている場合は操作できません。
時刻表示	**する**／しない	地図画面上に時計 17:16 を表示 ・ 時刻はGPS電波を利用して自動で調整されるため、手動で調整できません。
ナビ補正	補正する	現在地の修正（→P.306）
履歴削除	削除する	目的地履歴を削除（→P.116）

ワンポイント

●案内マークは50 ～ 800m スケール図の地図で表示できます。（全ルート画面を除く）

オーディオ操作画面を表示する

1 AV を押す

- 選択されているオーディオソースの操作画面が表示されます。
- オーディオ操作画面が表示されているとき、AV を押す、または ソース選択 にタッチすると、AVソース選択画面（→P.131）が表示されます。

オーディオをOFFにする

1 オーディオ操作画面を表示（→P.130）⇨ ソース選択 ⇨ AV OFF

- AV を“ピッ”と音がするまで押して、オーディオOFFにすることもできます。

ワンポイント

- ナビの電源は切ることができません。
- ハンズフリー操作中（発信中、着信中、応答保留中、通話中）は、AV の長押しでオーディオをOFFにすることはできません。

■ 次の手順でも操作できます

MENU → AV → AV OFF

オーディオソースを選ぶ

1 MENU ⇨ AV ⇨ オーディオソースを選択 ⇨ 各オーディオ操作画面が表示される

● 次のオーディオソースを選択できます。

スイッチ	ページ
AM	134
FM	
DISC	137、138、140、142
SD REC	162
SD	164、166
TV	183
Bluetooth Audio	245
DS	248
USB	152、154
iPod ※	195、197
外部入力	199、201、203
交通情報	135

※ iPodを接続した場合のみ表示されます。

● 次の場合、スイッチが選択ができません。
- DISC ：ディスクが挿入されていない場合
- SD REC ／ SD ：音楽用SDが挿入されていない場合
- USB ：USBメモリが「USB接続コード」に接続されていない場合

音量を調整する

1 VOL + 、または - VOL を押す

ワンポイント

- 調整レベルは0～80です。
- 音量はお使いになるオーディオソースに合わせて調整してください。
- DVD／外部入力（AUX/VTRモード）／外部入力（HDMIモード）／iPod／Bluetooth Audio／DSを再生している場合に音量を調整すると、各オーディオソースの音量レベルとして記憶できます。調整した音量レベルは、他のオーディオソースでは反映されません。

カバーアートを設定する

音楽ファイルにカバーアートが収録されている場合、カバーアート表示を【する】に設定すると、カバーアートが操作画面に表示されます。

- 次のオーディオソースの操作画面に表示できます。
  - ・USB（→P.152）
  - ・SD（→P.164）
  - ・iPod（→P.195）

チェック

- JPEG、またはBMP形式で保存されたカバーアートのみ表示できます。

1 MENU ⇨ 設定・編集 ⇨ AV ⇨ AV詳細設定 ⇨ カバーアート表示 ⇨ する 、または しない

ワンポイント

- カバーアートは、機種やソフトウェアバージョンなどにより表示できない場合があります。
- カバーアート表示には時間がかかることがあり、その間は操作はできません。
- 複数のカバーアートデータが収録されている場合は、先頭に収録されている画像のみ表示します。

ラジオアンテナを上げる／下げる

チェック

● ラジオアンテナを下げたまま、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にした場合、次にエンジンスイッチをACC、またはONにしてもラジオアンテナは、下がったままになります。ラジオアンテナを上げる場合は、【上げる】に設定してください。

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ 共通設定 ⇨ ラジオアンテナ ⇨ 上げる 、または 下げる

● 下げる にタッチした場合は、メッセージを確認後、OK にタッチ。

ワンポイント

● ラジオアンテナを下げた状態では、VICS情報（→P.117）を受信できません。VICS情報を受信する場合、ラジオアンテナを【上げる】に設定してください。

ラジオを聞く

ラジオ操作画面を表示（→P.130）

◆ ラジオ操作画面

ワンポイント

- 受信電波の状態や選局方法（手動/自動）により選局できないことや、記憶される放送局が異なることがあります。
- **AUTO.P スイッチについて**
  - 受信できる放送局を周波数が低い順に6 局まで自動で記憶します。
  - AUTO.P で選局しても、手動で記憶させた放送局は消去されません。
- **エリアスイッチについて**
  - 地図上の自車位置情報を基に放送局を表示します。

番号	スイッチ／表示	機能
①	選局モード	プリセットスイッチの選局モードを表示 ・ AUTO.P： AUTO.P で選局した場合に表示 ・ エリア.P： エリア で選局した場合に表示 ・ マニュアル.P：手動で記憶した場合に表示
②	プリセットスイッチ	・ 受信した放送局を表示 ・ 放送局を選局後、“ピー”と音がするまでタッチすると、プリセットスイッチに記憶※1
③	⏮、⏭	押すごとに、1ステップ※2ずつ周波数を切り替えて放送局を受信 ・ “ピッ”と音がするまで押すと、受信中の周波数に一番近い放送局を自動で選局 ・ もう一度押すと、選局を解除
④	<、>	タッチするごとに、1ステップ※2ずつ周波数を切り替えて放送局を受信 ・ “ピッ”と音がするまで押すと、受信中の周波数に一番近い放送局を自動で選局 ・ もう一度押すと、選局を解除
⑤	エリア	・ 今いる地域の放送局をプリセットスイッチに表示 ・ もう一度タッチすると、エリアモードを解除
⑥	AUTO.P	・ “ピー”と音がするまでタッチすると、受信できる放送局を一時的にプリセットスイッチに記憶 ・ もう一度タッチすると、AUTO.Pモードを解除

※1 選局モードがエリア.Pの場合は、記憶できません。エリア にタッチして、表示を解除してください。
※2 AMは 9kHz、FMは 0.1MHzずつ切り替わります。

交通情報放送を聞く

交通情報局（1620kHz）を受信します。

1 MENU ⇨ AV ⇨ 交通情報

記憶されている周波数を変更する

1620kHz以外の周波数で交通情報が放送されている場合、受信中の周波数を変更できます。

1 MENU ⇨ AV ⇨ AM ⇨ 記憶したい放送局の周波数を選択 ⇨ ソース選択

2 交通情報 に“ピッ”と音がするまでタッチ

ワンポイント

- 交通情報を受信中、|◀◀、▶▶| を押しても交通情報局は切り替わりません。

ディスクについて

- 次のディスクを再生できます。
  ＜音楽ディスク＞
  - ・CD
  - ・MP3/WMA/AACを記録したディスク

  ＜映像ディスク＞
  - ・DVD-VIDEO
  - ・DVD-VR
- ディスクを挿入する（→P.33）と再生をはじめます。

チェック

- 再生できるディスクの種類については**「ディスク」**（→P.328）をご覧ください。
- 再生できる圧縮データの記録方式については**「再生できる圧縮ファイルと対応メディア一覧」**（→P.326）、**「再生できる圧縮ファイルの仕様について」**（→P.333）をご覧ください。
- 再生できるディスクの記録方式については**「ディスクのファイルフォーマット」**（→P.331）をご覧ください。
- ディスクの取り扱い方法により、ディスクが正常に再生できないことがあります。**「ディスクの取り扱いについて」**（→P.342）をご覧ください。
- 自動録音（→P.160）に設定した場合、録音が自動で開始されます。（MP3/WMA/AACのデータは録音できません。）

ワンポイント

- 別売の後席用モニターを接続した場合、走行中でも後席でDVDをご覧いただけます。

CDを聞く

DISC操作画面を表示（→P.130）

◆ **CD操作画面**

ワンポイント

●CDにアーティスト名などの情報が収録されていなくても、地図用SDのデータベースに該当する情報がある場合は、情報が表示されます。（→P.158）

番号	スイッチ／表示	機能
①	⏮ ⏮	・ 曲を頭出し※1 ・ 連続して押すと、前の曲に切り替え※1 ・ 押し続けると、曲を早戻し※2
②	⏭ ⏭	・ 次の曲に切り替え※1 ・ 押し続けると、曲を早送り※2
③	曲名※3	曲リストを表示 ページを切り替え 再生したい曲にタッチ
④	アルバム名	再生中のCDのアルバム名を表示
⑤	アーティスト名	再生中のCDのアーティスト名を表示
⑥	⏸	曲の再生を一時停止
	▶	曲を再生
⑦	RPT ※3	・ 再生中の曲をリピート再生 ・ もう一度タッチすると、リピート再生を解除
⑧	RAND ※3	・ CD内のすべての曲をランダム再生 ・ もう一度タッチすると、ランダム再生を解除
⑨	録音開始	音楽用SDへの録音を開始（→P.160）
	録音停止	音楽用SDへの録音を停止（→P.161）

※1　音楽用SDへ録音中は、録音が完了した曲のみ操作できます。
※2　音楽用SDへ録音中は、操作できません。
※3　音楽用SDへ録音中は、操作できません。録音が完了したときは、他のオーディオソースに切り替えてから再度、DISCに切り替えると操作できます。（録音停止 にタッチして録音を停止した場合は、他のオーディオソースに切り替える必要はありません。）

MP3/WMA/AACを聞く

DISC操作画面を表示（→P.130）

◆ **MP3/WMA/AAC操作画面**

番号	スイッチ／表示	機能
①	⏮ ⏮	・ ファイルを頭出し ・ 連続して押すと、前のファイルに切り替え ・ 押し続けると、ファイルを早戻し
②	⏭ ⏭	・ 次のファイルに切り替え ・ 押し続けると、ファイルを早送り
③	ファイル名	ファイルリストを表示 FILE LIST 12:35 フォルダ：1 THE LOVE OF LOOK 1 THE LOOK 2 Wonder 3 I Remember 4 Cry me 5 CRUCIAL 再生したいファイルにタッチ ページを切り替え
④	フォルダ名	フォルダリストを表示 ページを切り替え FOLDER LIST 12:35 1 THE LOVE OF LOOK 2 LOVE Letter 3 THE LOOK 4 Cry me 5 CRUCIAL フォルダにタッチすると、ファイルリストを表示 ▼ FILE LIST 12:35 フォルダ：THE LOVE OF LOOK 1 THE LOOK 2 Wonder 3 I Remember 4 Cry me 5 CRUCIAL 完了 再生したいファイルにタッチ 操作画面に戻る ページを切り替え

番号	スイッチ／表示	機能
⑤	<、>	フォルダを切り替え、フォルダ内の先頭のファイルを再生
⑥	アーティスト名※	再生中のファイルのアーティスト名を表示
⑦	II	ファイルの再生を一時停止
	▶	ファイルを再生
⑧	RPT	タッチするごとに、リピート再生を次のように変更 再生中のファイルをリピート再生→再生中のフォルダ内の全ファイルをリピート再生→リピート再生を解除
⑨	RAND	タッチするごとに、ランダム再生を次のように変更 再生中のフォルダ内の全ファイルをランダム再生→全ファイルをランダム再生→ランダム再生を解除

※ タグ情報がある場合のみ表示されます。

DVD-VIDEOを見る

DISC操作画面を表示（→P.130）

◆ DVD-VIDEO操作画面

①にタッチ

◆ 各種切替画面

番号	スイッチ	機能
①	各種切替	各種切替画面を表示
②	トップメニュー メニュー 選択	・ディスクのメニュー※を表示 ・ディスクメニューの操作スイッチが表示されない場合は、選択 にタッチ ・一部のメニューはアイコンに直接タッチして操作できます。 メニュー項目を選択　選んだ項目を再生
③	全画面	全画面の映像を表示 (映像にタッチして表示することもできます。) ・本機の電源を入れたあと、初めて 全画面 、または映像にタッチしたときは、メッセージが表示されます。了解 ／ 次回表示しない ／ ⮌ のいずれかにタッチすると、メッセージは解除され全画面表示になります。 了解 ：本機の電源が入っている間は、次回このメッセージを表示しない 次回表示しない ：次回からこのメッセージを表示しない ⮌ ：次回もこのメッセージを表示

※ ディスクによってメニュー項目は違います。また、ディスクの設定にしたがって再生するため、操作したとおりに動作しない場合があります。

番号	スイッチ	機能
④	▶▶I	・次のチャプターに切り替え ・“ピッ”と音がするまで押すと、映像を早送り
	I◀◀	・チャプターを頭出し ・連続して押すと、前のチャプターに切り替え ・“ピッ”と音がするまで押すと、映像を早戻し
⑤	チャプターリピート	・再生中のチャプターをリピート再生 ・もう一度タッチすると、リピート再生を解除
⑥	マルチＷ	マルチウィンドウ画面を表示（→P.45）
⑦	I◀◀	・チャプターを頭出し ・連続してタッチすると、前のチャプターに切り替え ・“ピッ”と音がするまでタッチすると、映像を早戻し
⑧	■	ディスクの再生を停止
⑨	II	ディスクの再生を一時停止
	▶	ディスクを再生
⑩	▶▶I	・次のチャプターに切り替え ・“ピッ”と音がするまでタッチすると、映像を早送り ・一時停止中にタッチし続けると、スローで再生
⑪	音声	ディスクに複数の音声が収録されている場合、音声を切り替えて再生 タッチするごとに音声を切り替える
⑫	サーチ	タイトル番号を指定して、ディスクを再生 1文字ずつ修正 タイトル番号を入力 入力後にタッチ
⑬	リターン	ディスクのあらかじめ決められた位置から再生
⑭	字幕	ディスクに複数の字幕が収録されている場合、字幕を切り替えて表示 字幕を消す タッチするごとに字幕言語を切り替える

番号	スイッチ	機能
⑮	Wide	画面サイズを切り替え（→P.48） ・ ディスクやパッケージに次のマークが表示されている場合、Wide にタッチして画面サイズを切り替えることができます。 ・ 16:9 LB ：ワイド画面 ・ 4:3 ：標準画面 ※「16：9」や「4：3」は、画像アスペクト比（TV画面の横と縦の比率）を表します。
⑯	画質調整	画質調整画面を表示（→P.39）
⑰	アングル	・ ディスクに複数のアングルが収録されている場合、アングルを切り替えて表示 ・ マルチアングルマークの表示を【表示】に設定（→P.147）した場合、アングルが切り替え可能な場合に [マーク] が表示されます。 アングル番号 タッチするごとにアングルを切り替える
⑱	DVD 初期設定	DVDの初期設定を変更（→P.145）

DVD-VRを見る

DISC操作画面を表示（→P.130）

◆ DVD-VR 操作画面

①にタッチ

◆ 各種切替画面

番号	スイッチ	機能
①	各種切替	各種切替画面を表示
②	TITLE▲	次のプログラム（プレイリスト※）に切り替え
	TITLE▼	・ プログラム（プレイリスト※）の頭出し ・ 連続してタッチすると、前のプログラム（プレイリスト※）に切り替え
③	全画面	全画面の映像を表示 (映像にタッチして表示することもできます。) ・ 本機の電源を入れたあと、初めて 全画面 、または映像にタッチしたときは、メッセージが表示されます。了解 ／ 次回表示しない ／ ⮌ のいずれかにタッチすると、メッセージは解除され全画面表示になります。 了解 ：本機の電源が入っている間は、次回このメッセージを表示しない 次回表示しない ：次回からこのメッセージを表示しない ⮌ ：次回もこのメッセージを表示
④	▶▶I	・ 次のチャプターに切り替え ・ “ピッ”と音がするまで押すと、映像を早送り
	I◀◀	・ チャプターを頭出し ・ 連続して押すと、前のチャプターに切り替え ・ “ピッ”と音がするまで押すと、映像を早戻し
⑤	マルチW	マルチウィンドウ画面を表示（→P.45）

※ プレイリストを切り替える場合、再生モードを【プレイリスト】に設定します。（→P.144）

番号	スイッチ	機能
⑥	I◀◀	・ チャプターを頭出し ・ 連続してタッチすると、前のチャプターに切り替え ・ “ピッ”と音がするまでタッチすると、映像を早戻し
⑦	■	ディスクの再生を停止
⑧	II	ディスクの再生を一時停止
	▶	ディスクを再生
⑨	▶▶I	・ 次のチャプターに切り替え ・ “ピッ”と音がするまでタッチすると、映像を早送り ・ 一時停止中にタッチし続けると、スローで再生
⑩	音声	ディスクに複数の音声が収録されている場合、音声を切り替えて再生 タッチするごとに音声を切り替える

番号	スイッチ	機能
⑪	サーチ	タイトル番号を指定して、ディスクを再生 1文字ずつ修正 タイトル番号を入力　入力後にタッチ
⑫	ページ送り	静止画をページ送り
⑬	字幕	ディスクに複数の字幕が収録されている場合、字幕を切り替えて表示 タッチするごとに字幕言語を切り替える
⑭	主/副	音声多重放送の主音声・副音声を切り替え 主音声 → 副音声 → 主/副
⑮	Wide	画面サイズを切り替え（→P.48）

番号	スイッチ	機能
⑯	再生モード ※	再生モードを切り替え プレイリストを再生 プログラムを再生
⑰	DVD 初期設定	DVDの初期設定を変更（→P.145）
⑱	画質調整	画質調整画面を表示（→P.39）

※ ディスク内にプレイリストがないときは、再生モード は表示されません。

DVD初期設定を変更する

次の項目の設定を変更できます。

スイッチ	機能	ページ
音声※	音声言語を設定	145
字幕※	字幕言語を設定	146
ソフトメニュー※	メニュー言語を設定	146
マルチアングルマーク※	マルチアングルマークの表示を設定	147
視聴制限※	再生できるDVD-VIDEOを制限	147
オートスタート※	走行中の自動再生を設定	148
音声ダイナミックレンジ	音声の最大値と最小値の比を設定	149
映像出力切替	画面サイズを設定	149
初期状態	視聴制限以外を初期化	—

※ DVD-VIDEOのみ

チェック

- 設定を変更しても、ディスクが機能に対応していない場合、設定内容は反映されません。
- ディスクに優先される音声言語が記録されている場合、設定した言語に切り替わらないことがあります。
  この場合は、**「DVD-VIDEOを見る」**（→P.140）、**「DVD-VRを見る」**（→P.142）で言語を切り替えてください。
- ディスクに優先されるソフトメニュー言語が記録されていると、ディスク内容にしたがって再生を行うため、設定した言語に切り替わらない場合があります。

音声言語を設定する

ディスクやパッケージに次のマークが表示されている場合、音声を切り替えて再生できます。

マーク	意　味
③)))	音声のトラック数を表します。

1 MENU ⇨ AV ⇨ DISC ⇨ DVD-VIDEO操作画面（→P.140）の 各種切替 ⇨ DVD 初期設定

2 音声 ⇨ お好みの言語を選択

● その他 ：言語コードを入力して言語を指定

● 言語コードについては**「言語コード一覧」**（→P.150）をご覧ください。

字幕言語を設定する

ディスクやパッケージに次のマークが表示されている場合、字幕を切り替えて表示できます。

マーク	意　味
2	字幕の数を表します。

1 MENU ⇨ AV ⇨ DISC ⇨ DVD-VIDEO操作画面（→P.140）の 各種切替 ⇨ DVD 初期設定

2 字幕 ⇨ お好みの言語を選択

● その他 ：言語コードを入力して言語を指定

言語コードを入力

入力後にタッチ

● 言語コードについては **「言語コード一覧」**（→P.150）をご覧ください。

メニュー言語を設定する

ディスクに収録されているメニューなどの表示言語を設定できます。

1 MENU ⇨ AV ⇨ DISC ⇨ DVD-VIDEO操作画面（→P.140）の 各種切替 ⇨ DVD 初期設定

2 ソフトメニュー ⇨ お好みの言語を選択

● その他 ：言語コードを入力して言語を指定

言語コードを入力

入力後にタッチ

● 言語コードについては **「言語コード一覧」**（→P.150）をご覧ください。

マルチアングルマークの表示を設定する

ディスクやパッケージに次のマークが表示されている場合、アングルを切り替えて表示できます。

マーク	意　味
3	アングル数を表します。

マルチアングルマークの表示を【表示】に設定した場合、アングルが切り替え可能な場合に が表示されます。

マルチアングルマーク

1 MENU ⇨ AV ⇨ DISC ⇨ DVD-VIDEO操作画面（→P.140）の 各種切替 ⇨ DVD 初期設定

2 マルチアングルマーク ⇨ 表示 、または 非表示

視聴制限を設定する

成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴制限レベルを段階的に設定できます。

チェック

● 一度、暗証番号を入力すると次回以降、本機能の利用時に暗証番号が必要です。暗証番号を忘れないようご注意ください。

1 MENU ⇨ AV ⇨ DISC ⇨ DVD-VIDEO操作画面（→P.140）の 各種切替 ⇨ DVD 初期設定

1 文字ずつ消去

2 視聴制限 ⇨ 暗証番号を入力 ⇨ 完了

3 お好みの視聴制限レベルを選択

● 次のレベルに設定できます。

レベル	機能
1	子ども向けのDVDソフトのみを再生（一般向けと成人向けのDVDソフトの再生を禁止）
2～7	子ども向けと一般向けのDVDソフトのみを再生（成人向けのDVDソフトの再生を禁止）
8（初期設定）	すべてのDVDソフトを再生

ワンポイント

●暗証番号を忘れた場合は、修正 に10回タッチすると、初期化（暗証番号未設定の状態）できます。

走行中の自動再生（オートスタート）を設定する

走行中はディスクメニューを操作できません。

オートスタートを【ON】に設定すると、走行中にディスクメニューを自動で実行し本編を再生します。

1 MENU ⇨ AV ⇨ DISC ⇨ DVD-VIDEO操作画面（→P.140）で 各種切替 ⇨ DVD 初期設定

2 オートスタート ⇨ ON 、または OFF

ワンポイント

●別売の後席用モニターを接続している場合、走行中にリモコンでディスクメニューを操作する場合は、オートスタートを【OFF】に設定してください。

●オートスタートを【ON】に設定してもディスクやディスクメニューの操作により、本編を再生しないことがあります。

音声ダイナミックレンジを設定する

1 MENU ⇨ AV ⇨ DISC ⇨ DVD-VIDEO/VR操作画面（→P.140、142）で 各種切替 ⇨ DVD 初期設定

2 音声ダイナミックレンジ ⇨ MAX ／ STD ／ MIN のいずれかを選択

- MAX ：音声の最大値と最小値の比を最大にする
- STD ：音声の最大値と最小値の比を中間にする
- MIN ：音声の最大値と最小値の比を最小にする

映像出力を切り替える

1 MENU ⇨ AV ⇨ DISC ⇨ DVD-VIDEO/VR操作画面（→P.140、142）の 各種切替 ⇨ DVD 初期設定

2 映像出力切替 ⇨ 16：9（ワイド） ／ 4：3（レターボックス） ／ 4：3（パンスキャン） のいずれかを選択

- **16：9**（ワイド）：通常のワイドサイズで表示
  （4：3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は左右両端が黒表示、または左右に伸びた表示になります。）
- **4：3**（レターボックス）：上下両端を黒く表示
  （4：3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったりに表示されます。）
- **4：3**（パンスキャン）：左右両端がカットされた映像
  （4：3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったりに表示されます。）

ワンポイント

- 後席用モニターなどの別のディスプレイを接続した場合、本機で設定した画面サイズにより、後席用モニターで表示されるサイズは異なります。

言語コード一覧

「音声」、「字幕」、「ソフトメニュー」の言語は、次のコード番号から選択できます。

コード	言語名称
1001	日本語
0514	英語
0618	フランス語
0405	ドイツ語
0920	イタリア語
0519	スペイン語
1412	オランダ語
1821	ロシア語
2608	中国語
1115	韓国語
0512	ギリシャ語
0101	アファル語
0102	アブバジャ語
0106	アフリカーンス語
0113	アムハラ語
0118	アラビア語
0119	アッサム語
0125	アイマラ語
0126	アゼルバイジャン語
0201	バシキール語
0205	ベラルーシ語
0207	ブルガリア語
0208	ビハーリー語
0209	ビスラマ語
0214	ベンガル語
0215	チベット語
0218	ブルトン語
0301	カタロニア語

コード	言語名称
0315	コルシカ語
0319	チェコ語
0325	ウェールズ語
0401	デンマーク語
0426	ブータン語
0515	エスペラント語
0520	エストニア語
0521	バスク語
0601	ペルシア語
0609	フィンランド語
0610	フィジー語
0615	フェロー語
0625	フリジア語
0701	アイルランド語
0704	スコットランドゲール語
0712	ガルシア語
0714	グアラニ語
0721	グジャラート語
0801	ハウサ語
0809	ヒンディー語
0818	クロアチア語
0821	ハンガリー語
0825	アルメニア語
0901	国際語
0905	Interlingue
0911	イヌピアック語
0914	インドネシア語
0919	アイスランド語

コード	言語名称
0923	ヘブライ語
1009	イディッシュ語
1023	ジャワ語
1101	グルジア語
1111	カザフ語
1112	グリーンランド語
1113	カンボジア語
1114	カンナダ語
1119	カシミール語
1121	クルド語
1125	キルギス語
1201	ラテン語
1214	リンガラ語
1215	ラオス語
1220	リトアニア語
1222	ラトビア語
1307	マダガスカル語
1309	マオリ語
1311	マケドニア語
1312	マラヤーラム語
1314	モンゴル語
1315	モルダビア語
1318	マラータ語
1319	マライ語
1320	マルタ語
1325	ビルマ語
1401	ナウル語
1405	ネパール語

コード	言語名称
1415	ノルウェー語
1503	プロバンス語
1513	オモロ語
1518	オリヤー語
1601	パンジャブ語
1612	ポーランド語
1619	アフガニスタン語
1620	ポルトガル語
1721	ケチュア語
1813	レートロマン語
1814	キルンディー語
1815	ローマ語
1823	キンヤルワンダ語
1901	サンスクリット語
1904	シンド語
1907	サンド語
1908	セルボクロアチア語
1909	セイロン語
1911	スロバック語
1912	スロベニア語
1913	サモア語
1914	ショナ語
1915	ソマリ語
1917	アルバニア語
1918	セルビア語
1919	シスワティ語
1920	セストゥ語
1921	スンダ語

コード	言語名称
1922	スウェーデン語
1923	スワヒリ語
2001	タミル語
2005	テルグ語
2007	タジク語
2008	タイ語
2009	チグリス語
2011	ツルキ語
2012	タガログ語
2014	セツワナ語
2015	ニュージーランド語
2018	トルコ語
2019	ツォンガ語
2020	タタール語
2023	トウィ語
2111	ウクライナ語
2118	ウルドゥー語
2126	ウズベグ語
2209	ベトナム語
2215	ポラピュク語
2315	ウォルフ語
2408	コーサ語
2515	ヨルバ語
2621	ズールー語

USBメモリについて

USBメモリに保存した次の圧縮データを再生できます。
<音楽ファイル>
- ・MP3
- ・WMA
- ・AAC

<動画ファイル>
- ・WMV
- ・AVI
- ・MPEG4

チェック

●別売の「USB接続コード」※をお買い求めください。
※ AVN-SZX04i、AVN-ZX04iは同梱されています。
●再生できる圧縮データの記録方式については**「再生できる圧縮ファイルと対応メディア一覧」**(→P.326)、**「再生できる圧縮ファイルの仕様について」**(→P.333)をご覧ください。

ワンポイント

●別売の後席用モニターを接続している場合、走行中でも後席で映像をご覧いただけます。

USBメモリを接続する／取りはずす

重 要

●USBメモリを取りはずすときは、オーディオソースをUSB以外に変更してください。USBメモリのデータが破損するおそれがあります。

チェック

●使用できるUSBメモリの仕様については、**「USBメモリ」**(→P.332)をご覧ください。

1 USBメモリをUSB接続コードに接続する／取りはずす

ワンポイント

●接続したUSBメモリが正しく認識されない場合、一度取り外してもう一度接続してください。

音楽を聞く

USB操作画面を表示（→P.130）

◆ USB（オーディオモード）操作画面

番号	スイッチ／表示	機能
①		・ ファイル（曲）を頭出し ・ 連続して押すと、前のファイル（曲）に切り替え ・ 押し続けると、ファイル（曲）を早戻し
②		・ 次のファイル（曲）に切り替え ・ 押し続けると、ファイル（曲）を早送り
③	ファイル（曲）名※	ファイル（曲）リストを表示 ファイル選択　12:35 フォルダ：ROOT FOLDER 1 THE LOOK 2 Wonder 3 I Remember 4 Cry me 5 CRUCIAL 再生したいファイル（曲）にタッチ ページを切り替え
④	フォルダ（アルバム）名※	フォルダ（アルバム）リストを表示 フォルダ名別に表示 アーティスト名別に表示 アルバム名別に表示 フォルダ選択　12:35 フォルダ　アーティスト　アルバム 1 ROOT FOLDER 2 Collection 3 m4a 4 The member 5 mp3_wma_m4a フォルダ（アルバム）にタッチすると、ファイル（曲）リストを表示 ページを切り替え ファイル選択　12:35 フォルダ：ROOT FOLDER 1 THE LOOK 2 Wonder 3 I Remember 4 Cry me 5 CRUCIAL 完了 再生したいファイル（曲）にタッチ 操作画面に戻る ページを切り替え

※ フォルダモード時の操作で説明しています。アルバムモードやアーティストモード時、タグ情報がある場合のみアルバム名や曲名が表示されます。

番号	スイッチ／表示	機能
⑤	＜、＞	フォルダ（アルバム）を切り替え、フォルダ（アルバム）内の先頭のファイル（曲）を再生
⑥	アーティスト名※	再生中のファイル（曲）のアーティスト名を表示
⑦	カバーアート	音楽ファイル（曲）にカバーアートが収録されている場合、カバーアート表示を【する】に設定（→P.132）すると、カバーアートを表示
⑧	ビデオ	USB（ビデオモード）操作画面（→P.154）を表示
⑨	⏸	ファイル（曲）の再生を一時停止
	▶	ファイル（曲）を再生
⑩	RPT	タッチするごとに、リピート再生を次のように変更 再生中のファイル（曲）をリピート再生→再生中のフォルダ（アルバム）内の全ファイル（曲）をリピート再生→リピート再生を解除
⑪	RAND	タッチするごとに、ランダム再生を次のように変更 再生中のフォルダ（アルバム）内の全ファイル（曲）をランダム再生→全ファイル（曲）をランダム再生→ランダム再生を解除

※ タグ情報がある場合のみ表示されます。

映像を見る

USB操作画面を表示（→P.130）

◆ USB（ビデオモード）操作画面

↓④にタッチ

◆ 各種切替画面

番号	スイッチ	機能
①	ファイル名	ファイルリストを表示 ビデオ選択 12:35 1△△△△.mp4 2○○○○.mp4 3 XXXX.mp4 4 スポーツ.mp4 5 運動会.mp4 再生したいファイルにタッチ ページを切り替え
②	フォルダ名	フォルダリストを表示 ページを切り替え フォルダ選択 12:35 1 ROOT FOLDER 2 ビデオ_1 3 ビデオ_2 4 ビデオ_3 5 ビデオ_4 フォルダにタッチすると、ファイルリストを表示 ページを切り替え ビデオ選択 12:35 1△△△△.mp4 2○○○○.mp4 3 XXXX.mp4 4 スポーツ.mp4 5 運動会.mp4 完了 再生したいファイルにタッチ 操作画面に戻る
③	全画面	全画面の映像を表示（映像にタッチして表示することもできます。） ・ 本機の電源を入れたあと、初めて 全画面 、または映像にタッチしたときは、メッセージが表示されます。了解 ／ 次回表示しない ／ ⮌ のいずれかにタッチすると、メッセージは解除され全画面表示になります。 了解 ：本機の電源が入っている間は、次回このメッセージを表示しない 次回表示しない ：次回からこのメッセージを表示しない ⮌ ：次回もこのメッセージを表示
④	各種切替	各種切替画面を表示

番号	スイッチ	機能
⑤	▶▶I	・ 次のファイルに切り替え ・ 押し続けると、ファイルを早送り
	I◀◀	・ ファイルを頭出し ・ 連続して押すと、前のファイルに切り替え ・ 押し続けると、ファイルを早戻し
⑥	ミュージック	USB（オーディオモード）操作画面（→P.152）を表示
⑦	II	ファイルの再生を一時停止
	▶	ファイルを再生
⑧	マルチW	マルチウィンドウ画面を表示（→P.45）
⑨	RPT	タッチするごとに、リピート再生を次のように変更 再生中のファイルをリピート再生→再生中のフォルダ内の全ファイルをリピート再生→リピート再生を解除
⑩	RAND	タッチするごとに、ランダム再生を次のように変更 再生中のフォルダ内の全ファイルをランダム再生→全ファイルをランダム再生→ランダム再生を解除
⑪	Wide	画面サイズを切り替え（→P.48）
⑫	画質調整	画質調整画面を表示（→P.39）

SDメモリーカードについて

パソコンで記録した音楽データと本機で録音した音楽データを再生できます。
パソコンで記録した場合、次の圧縮ファイルを再生できます。

＜音楽ファイル＞
- ・MP3
- ・WMA
- ・AAC

＜動画ファイル＞
- ・WMV
- ・AVI
- ・MPEG4

重 要

録音用フォルダ（SDA）内のデータをパソコンなどで編集すると、再生できなくなったり、データが破損する恐れがあります。

チェック

- ●使用できる音楽用SD※については**「SDメモリーカード」**（→P.327）をご覧ください。
  ※ AVN-SZX04i、AVN-ZX04iは同梱されています。
- ●録音できるデータの仕様や注意事項については**「SDメモリーカードへの録音について」**（→P.157）をご覧ください。
- ●再生できる圧縮データの記録方式については**「再生できる圧縮ファイルと対応メディア一覧」**（→P.326）、**「再生できる圧縮ファイルの仕様について」**（→P.333）をご覧ください。

ワンポイント

- ●別売の後席用モニターを接続している場合、走行中でも後席で映像をご覧いただけます。
- ●音楽CDを録音すると、SDメモリーカード内に録音用フォルダ（SDA）ができます。
- ●録音用フォルダ（SDA）内にパソコンで記録した音楽ファイルを入れると、その音楽ファイルは再生できません。
- ●SDメモリーカードには寿命があります。通常に使用していても書き込みや消去などの基本動作が正常に動作しなくなる可能性があります。

SDメモリーカードへの録音について

音楽CDをAAC（Advanced Audio Coding）圧縮技術で圧縮し、音楽用SDに録音できます。CDを録音すると、「Gracenote音楽認識サービス」により、アーティスト名やアルバム名を検索し、該当する名称のグループを自動で作成します。

録音した音楽の構成について

録音された音楽をアーティスト、録音日、マイベストに分類し、各プレイモード内にプレイリスト（アルバム）を分けて管理できます。

録音可能なデータ

- 音楽用SDに録音できるデータは、音楽CDのみです。
- SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）に対応しているため、次のCDからは録音できません。
  - ・オーディオ機器を使用して録音したCD-RやCD-RW（パソコンを使用して作成、または複製したCD-RやCD-RWは、ライティングソフトウェアの仕様に依存されます）
  - ・録音が禁止されている音楽CD
- 圧縮ファイルを記録したCD-RやCD-RWからは録音できません。
- DTS-CDからは録音できません。

録音の仕様

- 録音されたデータは暗号化されて音楽用SDに記録されるため、本機以外では再生できません。
- 録音したデータは、パソコンに保存できます。保存したデータは、録音時に使用した音楽用SDであれば、同じフォルダ構成でもう一度データを保存できます。
- 最大3000個のアルバムを作成でき、1つのアルバムに最大99曲まで録音できます。録音可能な曲の総数は、最大9999曲です。ただし、録音する音楽用SDの容量によっては、最大9999曲まで録音できません。
- 音楽を録音しながら録音された音楽を再生する裏録音を行っているため、録音中に他のオーディオソースに切り替えることができます。オーディオソースを切り替えても録音は継続されます。
- 録音中の再生音は、音楽用SDに録音された音のため、CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
- 次の操作をしない限り、録音された曲を継続して再生します。
  - ・録音停止
  - ・録音完了後のエンジンスイッチのOFF（LOCK）
  - ・録音完了後のオーディオソースの切り替え
- 音飛びなどが発生した場合、録音をやり直します。
- 音飛びなど、何らかの原因で録音が完了していない場合、画面に が表示されます。
- 音楽用SDの容量がなくなった場合、録音が中止され録音途中の曲を削除します。
- 録音の開始時や終了時は、約5秒間音楽が停止します。
- すでに録音されている曲は、重複して録音できません。

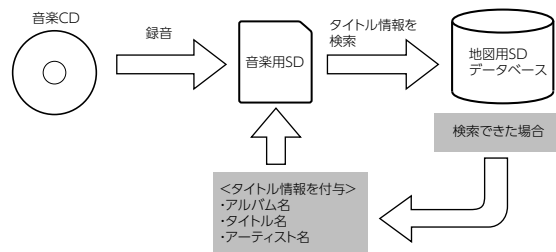
録音についての注意

- 本機の故障、誤作動または不具合により録音できなかった録音内容、および消失した音楽データについては保証できません。
- 録音した音楽データは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 音楽作品は、著作権法により保護されています。
  したがって、本機で録音した音楽用SDを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）等権利者に直接お尋ねください。
- エンジンスイッチをACCにして録音しているときに、エンジンスイッチをONにすると、録音したデータが消失する恐れがあります。
- ノンストップCD（曲と曲の間の無音部分が無いCD）を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがありますが、録音するディスクに依存しますのでご了承ください。
- バッテリーターミナルをはずし、もう一度接続した場合、地図画面を表示してから約2分間は録音ができません。

データベースについて

データベース情報は、Gracenoteメディアデータベース（→P.355）を使用しています。

オートタイトリング機能について

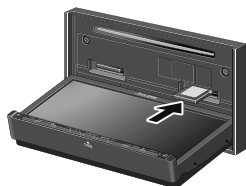
CDを音楽用SDに録音した場合、地図用SDに収録されているデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、タイトルを検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。

ワンポイント

- 自動で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。
- 「Gracenote音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100％保証するものではありません。
- 本機で音楽用SDに録音したCDの音楽情報がデータベースにない場合、アーティスト名は「NO DATA」、アルバムタイトルは録音した日時、曲名は「TRACK1、TRACK2…」と表示されます。

SDメモリーカードの容量を確認する

音楽用SD内の録音アルバム数や録音曲数などを確認できます。

1 MENU ⇨ ▲ ⇨ ▲AV SD

2 音楽用SDを音楽用SD差し込み口に “カチッ” と音がするまで差し込む ⇨ CLOSE

- ▲マークを奥にして、ロックせずに差し込んでください。

3 MENU ⇨ 情報 ⇨ データ管理 ⇨ 確認

ワンポイント

- データ管理画面に表示される空き領域は、実際の空き容量と異なることがあります。

SDメモリーカードへ録音する

次の方法から録音できます。

<自動録音>

CDの再生と同時に録音を開始する（→P.160）

<選んで録音>

お好みの曲を選んで録音する（→P.160）

⚠ 重 要

- エンジンスイッチをONにした状態で録音してください。
- 録音中に車のエンジンスイッチをOFF（LOCK）にする場合は、録音を停止してください。音楽用SD内のデータが破損するおそれがあります。

チェック

- 走行中および録音中は、録音方法を変更できません。

■ 録音中の動作について

残りの録音曲数

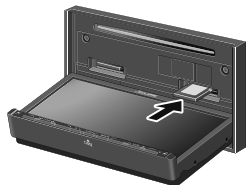
録音を途中で停止

- 録音された音楽が再生されます。
- 録音が完了すると、自動で録音を終了しますが、再生は継続されます。

自動で録音する

CD を再生すると同時に、自動で録音を開始します。

1 MENU ⇨ ▲ ⇨ ▲AV SD

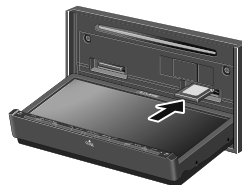
2 音楽用SDを音楽用SD差し込み口に“カチッ”と音がするまで差し込む ⇨ CLOSE

- ▲マークを奥にして、ロックせずに差し込んでください。

3 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ AV ⇨ CD⇒SD 録音設定 ⇨ 自動録音 ⇨ する ⇨ CD を差し込む

- 再生と録音を開始します。

お好みの曲を選んで録音する

1 MENU ⇨ ▲ ⇨ ▲AV SD

2 音楽用SDを音楽用SD差し込み口に“カチッ”と音がするまで差し込む ⇨ CLOSE

- ▲マークを奥にして、ロックせずに差し込んでください。

3 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ AV ⇨ CD⇒SD 録音設定 ⇨ 自動録音 ⇨ しない

4 選んで録音 ⇨ する ⇨ CDを差し込む ⇨ A V ⇨ 録音開始

5 録音したい曲を選択 ⇨ 完了

全ての曲を選択／選択を解除

- 複数の曲を選択できます。
- 選んだ曲にもう一度タッチすると、キャンセルできます。
- 選んだ曲の再生と録音を開始します。

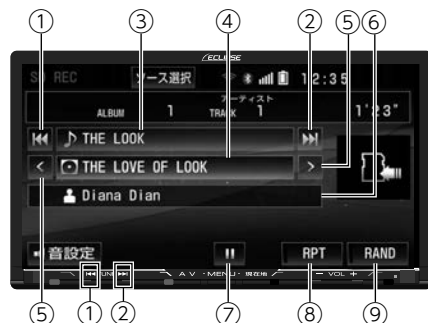
録音をやめる

1 MENU ⇨ A V ⇨ DISC ⇨ 録音停止

SDメモリーカードを聞く（SD REC）

SD REC操作画面を表示（→P.130）

チェック

●録音したデータ（→P.159）を再生します。

◆ SD REC操作画面

番号	スイッチ／表示	機能
①	⏮（画面）／⏮（本体）	・曲を頭出し ・連続して押すと、前の曲に切り替え ・押し続けると、曲を早戻し※
②	⏭（画面）／⏭（本体）	・次の曲に切り替え ・押し続けると、曲を早送り※
③	曲名	曲リストを表示 トラック選択 12:35 アルバム：THE LOVE OF LOOK 1 THE LOOK 2 Wonder 3 I Remember 4 Cry me 5 CRUCIAL 再生したい曲にタッチ ページを切り替え

※ 録音中は操作できません。

番号	スイッチ／表示	機能
④	アルバム名	アルバムリストを表示
⑤	＜、＞	アルバムを切り替え、アルバム内の先頭の曲を再生
⑥	アーティスト名	再生中の曲のアーティスト名を表示
⑦	II	曲の再生を一時停止
	▶	曲を再生
⑧	RPT	タッチするごとに、リピート再生を次のように変更 再生中の曲をリピート再生→再生中のアルバム内の全曲をリピート再生→リピート再生を解除
⑨	RAND	タッチするごとに、ランダム再生を次のように変更 再生中のアルバム内の全曲をランダム再生→全曲をランダム再生→ランダム再生を解除

※ マイベスト は、オリジナルの楽曲集が作成されていない場合、選択できません。（→P.176）

SDメモリーカードを聞く（SD）

SD操作画面を表示（→P.130）

チェック

● パソコンで記録した圧縮データを再生します。再生できる圧縮データの記録方式については**「再生できる圧縮ファイルと対応メディア一覧」**（→P.326）、**「再生できる圧縮ファイルの仕様について」**（→P.333）をご覧ください。

◆ SD（オーディオモード）操作画面

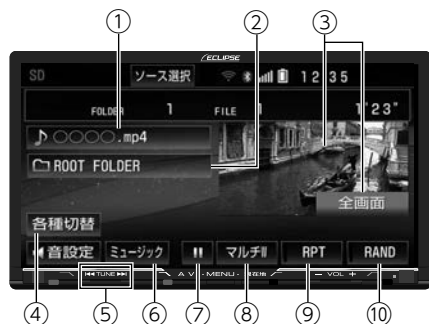
番号	スイッチ／表示	機能
①		・ファイル（曲）を頭出し ・連続して押すと、前のファイル（曲）に切り替え ・押し続けると、ファイル（曲）を早戻し
②		・次のファイル（曲）に切り替え ・押し続けると、ファイル（曲）を早送り
③	ファイル（曲）名※	ファイル（曲）リストを表示 再生したいファイル（曲）にタッチ ページを切り替え
④	フォルダ（アルバム）名※	フォルダ（アルバム）リストを表示 フォルダ名別に表示 アーティスト名別に表示 アルバム名別に表示 ページを切り替え フォルダ（アルバム）にタッチすると、ファイル（曲）リストを表示 ページを切り替え 再生したいファイル（曲）にタッチ 操作画面に戻る

※ フォルダモード時の操作で説明しています。アルバムモードやアーティストモード時、タグ情報がある場合のみアルバム名や曲名が表示されます。

番号	スイッチ／表示	機能
⑤	<、>	フォルダ（アルバム）を切り替え、フォルダ（アルバム）内の先頭のファイル（曲）を再生
⑥	アーティスト名※	再生中のファイル（曲）のアーティスト名を表示
⑦	カバーアート	音楽ファイル（曲）にカバーアートが収録されている場合、カバーアート表示を【する】に設定（→P.132）すると、カバーアートを表示
⑧	ビデオ	SD（ビデオモード）操作画面（→P.166）を表示
⑨	II	ファイル（曲）の再生を一時停止
	▶	ファイル（曲）を再生
⑩	RPT	タッチするごとに、リピート再生を次のように変更 再生中のファイル（曲）をリピート再生→再生中のフォルダ（アルバム）内の全ファイル（曲）をリピート再生→リピート再生を解除
⑪	RAND	タッチするごとに、ランダム再生を次のように変更 再生中のフォルダ（アルバム）内の全ファイル（曲）をランダム再生→全ファイル（曲）をランダム再生→ランダム再生を解除

※ タグ情報がある場合のみ表示されます。

映像を見る

SD操作画面を表示（→P.130）

◆ SD（ビデオモード）操作画面

④にタッチ

◆ 各種切替画面

番号	スイッチ	機能
①	ファイル名	ファイルリストを表示 再生したいファイルにタッチ ページを切り替え
②	フォルダ名	フォルダリストを表示 ページを切り替え フォルダにタッチすると、先頭のファイルを再生 ページを切り替え 再生したいファイルにタッチ 操作画面に戻る
③	全画面	・ 全画面の映像を表示（映像にタッチして表示することもできます。）
④	各種切替	各種切替画面を表示
⑤	▶▶|	・ 次のファイルに切り替え ・ 押し続けると、ファイルを早送り
	|◀◀	・ ファイルを頭出し ・ 連続して押すと、前のファイルに切り替え ・ 押し続けると、ファイルを早戻し
⑥	ミュージック	SD（オーディオモード）操作画面（→P.164）を表示

番号	スイッチ	機能
⑦	▮▮	ファイルの再生を一時停止
	▶	ファイルを再生
⑧	マルチW	マルチウィンドウ画面を表示（→P.45）
⑨	RPT	タッチするごとに、リピート再生を次のように変更 再生中のファイルをリピート再生→再生中のフォルダ内の全ファイルをリピート再生→リピート再生を解除
⑩	RAND	タッチするごとに、ランダム再生を次のように変更 再生中のフォルダ内の全ファイルをランダム再生→全ファイルをランダム再生→ランダム再生を解除
⑪	Wide	画面サイズを切り替え（→P.48）
⑫	画質調整	画質調整画面を表示（→P.39）

タイトル情報を個別に取得する

タイトル情報が付与されていない音楽データは、専用のアプリケーションから個別にタイトル情報を取得し、付与できます。

専用のアプリケーションソフトの動作環境について

■ **動作環境**

<OS>

・Microsoft Windows Vista (32bit SP2)
・Microsoft Windows 7 (32bit SP1/64bit SP1)
・Microsoft Windows 8※(32bit/64bit)
・Microsoft Windows 8.1※(32bit/64bit)
※Windows RT非対応

■ **必要なもの**

・SDHCメモリーカードリーダー／ライター、またはSDHCカードスロット搭載PC
・録音で使用した音楽用SD
・パソコンでインターネット接続可能な環境

タイトル情報をダウンロードする

1 MENU ⇨ ▲ ⇨ ▲AV SD ⇨ 音楽用SDメモリーカードを“カチッ”と音がするまで押して取り出す ⇨ CLOSE

2 パソコンでECLIPSEホームページの「お客様サポート」から「Gracenoteデータベース（CDDB)／MCDB更新サービス」にアクセスし、専用のアプリケーションをインストールする

● **お客様サポートURL：**
http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/

3 専用のアプリケーションからサイトにアクセスする

4 サイトの案内にしたがって、タイトル情報を音楽用SDにダウンロードする

タイトル情報を取得する

1 MENU ⇨ ▲ ⇨ ▲AV SD

2 タイトル情報をダウンロードした音楽用SDを音楽用SD差し込み口に“カチッ”と音がするまで差し込む ⇨ CLOSE

● ▲マークを奥にして、ロックせずに差し込んでください。

3 MENU ⇨ 設定・編集 ⇨ AV ⇨ サウンドライブラリ編集 ⇨ SDから取得 ⇨ タイトル取得を開始

- 中止 にタッチすると取得を中止します。
- タイトル情報を取得すると自動で画面が切り替わります。

タイトル情報を再取得する

録音時に本機のデータベースから付与されたタイトル情報が違っている場合は、もう一度、データベースを検索し、該当する情報を付与できます。

1 MENU ⇨ 設定・編集 ⇨ AV ⇨ サウンドライブラリ編集 ⇨ 修正 ⇨ アルバムリストを表示

リストを切り替え

2 編集したいアルバムを選択 ⇨ SD で検索 ⇨ タイトル情報を取得

検索を中止

- 検索が終了すると、画面が自動で切り替わります。

3 複数候補がある場合は、タイトルを選択 ⇨ 登録

タイトル情報を削除する

録音時に地図用SDのデータベースから付与されたタイトル情報を削除できます。

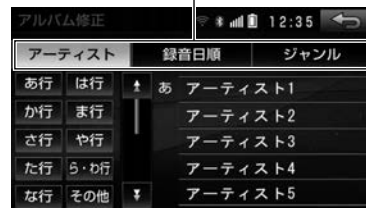
タイトル情報が削除された音楽データは、専用のアプリケーションを使用して、個別にタイトル情報を取得できます。(→P.168)

1 MENU ⇨ 設定·編集 ⇨ AV ⇨ サウンドライブラリ編集 ⇨ 修正 ⇨ アルバムリストを表示 ⇨ 削除したいアルバムを選択

2 タイトル情報を削除 ⇨ はい

アルバム情報を編集する

1 MENU ⇨ 設定·編集 ⇨ AV ⇨ サウンドライブラリ編集 ⇨ 修正 ⇨ アルバムリストを表示

リストを切り替え

2 編集したいアルバムを選択 ⇨ 各項目を編集

● 次の項目を編集できます。

機能	ページ
タイトル情報の再取得	169
タイトル情報の削除	170
アルバムタイトル、アルバム読み修正	171
ジャンル修正	172
トラック（曲）タイトル、トラック（曲）読み修正	172
アーティスト名、アーティスト読み修正	173
アルバムの削除	174
トラック（曲）の削除	174

チェック

●走行中および録音中は、アルバムの編集はできません。

アルバムタイトル、アルバム読みを変更する

1. MENU ⇨ **設定·編集** ⇨ AV ⇨ **サウンドライブラリ編集** ⇨ **修正** ⇨ アルバムリストを表示

2. 編集したいアルバムを選択 ⇨ **アルバム** 、または **アルバム読み**

3. アルバム、またはアルバム読みを入力 ⇨ **完了**

1文字ずつ修正

● 文字の入力方法については**「文字を入力する」**（→P.30）をご覧ください。

ワンポイント

●読みは半角カタカナのみ入力できます。

ジャンルを変更する

1 MENU ⇨ 設定・編集 ⇨ AV ⇨ サウンドライブラリ編集 ⇨ 修正 ⇨
アルバムリストを表示

2 編集したいアルバムを選択 ⇨ ジャンル ⇨ ジャンルを選択 ⇨ 完了

トラック（曲）名、トラック（曲）読みを変更する

1 MENU ⇨ 設定・編集 ⇨ AV ⇨ サウンドライブラリ編集 ⇨ 修正 ⇨
アルバムリストを表示

2 編集したいアルバムを選択 ⇨ トラック名を修正 ⇨ 修正したい曲を選択 ⇨ トラック、または トラック読み ⇨ 曲名、または曲名読みを入力 ⇨ 完了

1 文字ずつ修正

● 文字の入力方法については**「文字を入力する」**（→P.30）をご覧ください。

ワンポイント

●読みは半角カタカナのみ入力できます。

アーティスト名、アーティスト読みを変更する

■ アーティスト名を変更する

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ AV ⇨ サウンドライブラリ編集 ⇨ 修正 ⇨ アルバムリストを表示

2 編集したいアルバムを選択 ⇨ アルバムアーティスト ⇨ リストから選択する

- リストにはすでに登録されているアーティストのみ表示されます。
- マニュアル入力する ：文字を入力して修正
- 文字の入力方法については**「文字を入力する」**（→P.30）をご覧ください。

3 アーティスト名を選択

■ アーティスト読みを変更する

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ AV ⇨ サウンドライブラリ編集 ⇨ 修正 ⇨ アルバムリストを表示

2 編集したいアルバムを選択 ⇨ アルバムアーティスト読み ⇨ アーティスト読みを入力 ⇨ 完了

1文字ずつ修正

- 文字の入力方法については**「文字を入力する」**（→P.30）をご覧ください。

ワンポイント

- 読みは半角カタカナのみ入力できます。
- アーティスト読みが入力されていないと、アルバムリストでアーティストからの検索ができなくなります。

アルバムを削除する

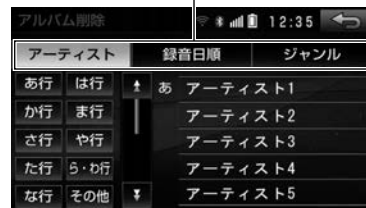
1 MENU ⇨ 設定·編集 ⇨ AV ⇨ サウンドライブラリ編集 ⇨ 削除 ⇨ アルバムリストを表示

2 削除したいアルバムを選択 ⇨ このアルバムを削除 ⇨ はい

ワンポイント

● 削除するアルバム内の曲がマイベストにも登録されている場合は、同時に削除されます。

トラック（曲）を削除する

1 MENU ⇨ 設定·編集 ⇨ AV ⇨ サウンドライブラリ編集 ⇨ 削除 ⇨ 削除したい曲が含まれているアルバムリストを表示

2 削除したい曲が含まれているアルバムを選択 ⇨ トラックを削除 ⇨ 削除したい曲を選択 ⇨ 削除

● 選択した曲にもう一度タッチすると選択を解除します。

3 はい にタッチ

ワンポイント

- 削除する曲がマイベストにも登録されている場合は、マイベスト内の曲も同時に削除されます。
- すべての曲を削除すると、曲が収録されていたアルバムも削除されます。

マイベストについて

録音した曲の中からお気に入りの曲を集めたマイベストを作成できます。作成した楽曲集は、マイベストから簡単に表示できます。

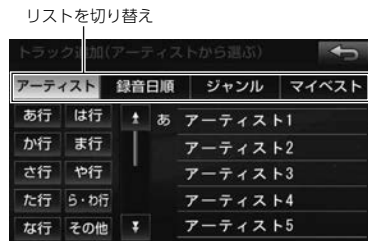
ワンポイント

- マイベストは999個作成できます。
- 1つのマイベストには99曲まで登録できます。
- 同じ曲を同じマイベストに2回以上登録してもマイベストに重複して表示されません。

マイベストを作成する

1 MENU ⇨ 設定·編集 ⇨ AV ⇨ サウンドライブラリ編集 ⇨ 新規作成 ⇨ 名称を入力 ⇨ 完了

● 文字の入力方法については **「文字を入力する」**（→P.30）をご覧ください。

2 登録したい曲が含まれているアルバムリストを表示

3 登録したい曲が含まれているアルバムを選択 ⇨ 登録したい曲を選択 ⇨ 登録

● 選択した曲にもう一度タッチすると選択を解除します。

● 続けて曲を追加する場合は 追加 にタッチ。（手順2へ）

4 完了 にタッチ

マイベストを編集する

1 MENU ⇨ 設定·編集 ⇨ AV ⇨ サウンドライブラリ編集 ⇨ 各項目を編集

● 次の項目を編集できます。

機能	ページ
マイベストの名称修正	177
トラック（曲）の追加	177
トラック（曲）の並べ替え	178
トラック（曲）の削除	179
マイベストの削除	179

チェック

●走行中や録音中は、マイベストの編集ができません。

マイベストの名称を修正する

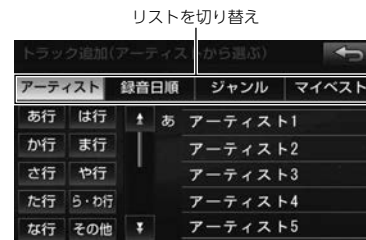
1 MENU ⇨ 設定·編集 ⇨ AV ⇨ サウンドライブラリ編集 ⇨ 名称修正 ⇨ 修正したいマイベストを選択 ⇨ 名称を入力

● 文字の入力方法については**「文字を入力する」**（→P.30）をご覧ください。

トラック（曲）を追加する

1 MENU ⇨ 設定·編集 ⇨ AV ⇨ サウンドライブラリ編集 ⇨ 編集 ⇨ 曲を追加したいマイベストを選択 ⇨ トラックを追加

2 追加したい曲が含まれているアルバムリストの表示方法を選択

リストを切り替え

3 追加したい曲が含まれているアルバムを選択 ⇨ 追加したい曲を選択 ⇨ **登録**

全ての曲を選択／選択を解除

- 選択した曲にもう一度タッチすると選択を解除します。
- 続けて曲を追加する場合は **追加** にタッチ。(手順2へ)

4 **完了** にタッチ

トラック（曲）を並べ替える

1 MENU ⇨ **設定･編集** ⇨ AV ⇨ **サウンドライブラリ編集** ⇨ **編集** ⇨ 並べ替えをしたいマイベストを選択

2 **トラックを並び替え** ⇨ 移動したい曲を選択 ⇨ 移動先の **挿入**

3 **完了** にタッチ

トラック（曲）を削除する

チェック

●削除した曲は、マイベストから削除されますが、音楽用SDには保存されています。マイベスト以外のアルバムリストから検索して再生できます。

1 MENU ⇨ 設定·編集 ⇨ AV ⇨ サウンドライブラリ編集 ⇨ 編集 ⇨ 削除したい曲が含まれているマイベストを選択

2 トラックを削除 ⇨ 削除したい曲を選択 ⇨ 削除

全ての曲を選択／選択を解除

● 選択した曲にもう一度タッチすると選択を解除します。

3 はい にタッチ

マイベストを削除する

チェック

●マイベストに登録した曲は、マイベストから削除されますが、音楽用SDには保存されています。マイベスト以外のアルバムリストから検索して再生できます。

1 MENU ⇨ 設定·編集 ⇨ AV ⇨ サウンドライブラリ編集 ⇨ 編集 ⇨ 削除したいマイベストを選択 ⇨ このマイベストを削除 ⇨ はい

テレビについて

地上デジタルTV放送をご覧いただけます。

初めて地デジ機能をご使用になる場合は、次の操作をしてください。

- miniB-CASカードの設定（→P.34）
- 居住地域/ホームプリセットの登録（→P.181）
- miniB-CASカードの動作確認（→P.182）

ワンポイント

●別売の後席用モニターを接続すると、走行中でも後席で地上デジタルTV放送をご覧いただけます。

緊急警報放送（EWS）を受信した場合は

EWS（Emergency Warning System）とは、緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせする放送です。

緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があった場合に放送されます。

緊急警報放送を受信した場合、メッセージが表示されます。OK、または視聴するにタッチすると緊急警報放送をご覧いただけます。

居住地域／ホームプリセットを登録する

番組やデータ放送の地域情報を受信するために、居住地域や放送局（チャンネル）を登録します。

初めて起動した場合や、引越しをした場合は必ず設定してください。

1 MENU ⇨ AV ⇨ TV ⇨ 開始 ⇨
郵便番号を入力 ⇨ 次へ

1文字ずつ修正

2 データ放送用の地方、都道府県を選択 ⇨ 次へ ⇨
スキャン用の地方、都道府県を選択

● 東京都島部（伊豆・小笠原諸島）と鹿児島県島部（南西諸島の鹿児島県域）にお住まいの方は、沖縄地方 その他 にタッチしてください。

3 スキャン ⇨ 放送局の受信を開始

選択をやり直す

4 放送局受信完了 ⇨ OK ⇨ 完了

● 最大36局まで受信し、受信した放送局のうちプリセットスイッチに表示された12局が記憶されます。

ワンポイント

●プリセットスイッチの順番を変更したり、放送局を追加する場合は、**「プリセットスイッチの編集」**（→P.192）をご覧ください。

●受信する地域により、放送局を表示するまで約5分程度かかる場合があります。

●引越しなどでお住まいの地域や都道府県が変わった場合は、もう一度設定してください。（→P.193）

miniB-CASカードの動作確認をする

1 MENU ⇨ AV ⇨ TV ⇨ 設定 ⇨ 初期設定 ⇨ B-CAS カード情報 ⇨ B-CAS カードテスト ⇨ OK

- B-CASカード情報画面でカードの情報を確認できます。

ワンポイント

- テストで異常を検出した場合、miniB-CASカードの抜き差しを行ってください。抜き差ししても読み取れない場合は、お買い上げの販売店にご相談いただくか、カードを交換してください。

テレビを見る

TV操作画面を表示（→P.130）

◆ TV操作画面

ワンポイント

- 電波の受信状態が悪くなり、受信レベルが弱くなると、映像が静止して、音声が出なくなることがあります。
- アンテナインジケータの受信レベルは目安です。受信レベルの状態が良くても映像が静止したり、音声が途切れることがあります。
- AAC5.1ch放送には対応していないため、2ch再生となります。

番号	スイッチ／表示	機能
①	プリセットスイッチ※1	受信した放送局を表示
②	d操作	データ放送画面を表示（→P.186）
③	アンテナインジケータ	圏外 受信不可　受信状態が悪い ←→ 受信状態が良い
④	全画面 ※2	映像を全画面で表示（映像にタッチして表示することもできます。） ・ 本機の電源を入れたあと、初めて 全画面 、または映像にタッチしたときは、メッセージが表示されます。了解 ／ 次回表示しない ／ ⮌ のいずれかにタッチすると、メッセージは解除され全画面表示になります。 了解 ：本機の電源が入っている間は、次回このメッセージを表示しない 次回表示しない ：次回からこのメッセージを表示しない ⮌ ：次回もこのメッセージを表示
⑤	⏮、⏭	放送局を切り替え
⑥	設定	テレビの設定を変更（→P.188）
⑦	マルチW	マルチウィンドウ画面を表示（→P.45）
⑧	放送局リスト	放送局リスト画面を表示（→P.184）

※1　あらかじめチャンネルを設定する必要があります。（→P.181）
※2　全画面で表示される放送と、4:3画面（画面の左右両端が黒表示）で表示される放送があります。

番組を選ぶ

番組はプリセットスイッチ以外にも次の方法で選ぶことができます。

1 MENU ⇨ AV ⇨ TV ⇨ 放送局リスト ⇨ 放送局を選択 ⇨ 全画面

◆放送局リスト画面

● 放送局リスト画面で次の操作ができます。

スイッチ	機能
サービスリスト	選択している放送局のサービスリストを表示 見たい番組を選択
番組内容	選択している放送局の番組内容を表示
番組表	番組表を表示（→P.185）

ワンポイント

放送局リストに表示される内容と実際の放送が異なる場合があります。

EPG(電子番組表）から見たい番組を選ぶ

1 MENU ⇨ AV ⇨ TV ⇨ 放送局リスト ⇨ 番組表 ⇨ 見たい番組を選択 ⇨ チャンネル切替

● 番組表画面の操作については、**「番組表画面を操作する」**（→P.185）をご覧ください。

番組表画面を操作する

次の操作ができます。

番号	機能
①	番組表の時間帯を切り替え
②	他のチャンネルの番組表に切り替え
③	番組表の日付を切り替え
④	選択した放送局の番組表をリストで表示
⑤※	すべての番組表を表示
⑥	選択した放送局を選局し、番組情報を取得後、番組の一覧を更新

※ 1時間枠内に3番組以上の番組がある場合に表示されます。

データ放送を見る

データ放送とは映像の他に、図形や文字の情報を付加した放送です。

受信するデータ放送により、番組に連動した情報、独立した情報を見ることができます。

1 MENU ⇨ AV ⇨ TV ⇨ d操作 ⇨ d

データ放送を操作する

画面に表示される説明の順に操作すると、さまざまな情報を見ることができます。受信したデータ放送は色ボタンなどで操作します。

また、データ放送の内容により、文字入力が必要な場合は、文字を入力できます。操作方法は受信したデータ放送により異なります。

● 次の操作ができます。

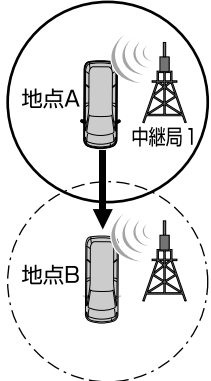
番号	機能
①	スイッチを表示／非表示
②	色ボタン・カーソルを表示 色ボタン カーソルで選んだ項目を決定 色ボタン・カーソルの表示位置を左下／右上に切り替え カーソル
③	10キー（数字入力ボタン）を表示 10キー 10キーの表示位置を左下／右上に切り替え 入力した数字を決定
④	データ放送画面を表示 ・ 再度タッチすると、データ放送が解除されます。
⑤	1つ前のデータ放送画面に戻る
⑥	データ放送を解除し、映像を全画面で表示

ワンポイント

- 番組によっては、独自の画面キーボードを表示します。その場合は、画面にしたがって操作してください。
- データ放送の内容により、入力する文字の種類は限定されることがあります。（カナのみなど）
- データ放送には双方向サービス（クイズやテレビショッピングに視聴者がリアルタイムで参加できるサービス）をおこなっている番組があります。本機にはデジタルテレビ放送用の通信機能がないため、双方向通信に対応していません。
- ワンセグ放送のデータ放送には対応していません。

設定を変更する

1 MENU ⇨ AV ⇨ TV ⇨ 設定

2 各項目を設定

◆ 設定画面

● 次の項目を設定できます。

番号	項目	機能
①	プリセットモード設定	プリセットモードを切り替え ・ ホーム ：ホームプリセットで記憶した放送局（→P.181、191）を表示 （普段ご覧になる場合は、このモードを使用してください。） ・ トラベル ：一時的にプリセットスイッチに放送局を記憶 （旅先などで一時的に使用する場合に便利です。 自宅に戻られた際は ホーム に設定を変更します。） ・ エリア ：今いる地域の放送局をプリセットスイッチに表示 （移動中などで今いる地域の放送局が分からない場合に使用すると便利です。）
②	スキャン	・ ①で トラベル を選択した場合、“ピー”と音がするまでタッチすると、自動で選局を開始 ・ 選局後、 OK にタッチするとプリセットスイッチにチャンネルを記憶
③	地デジ　ワンセグ受信設定	地デジの受信モードを設定 ・ ワンセグ自動切替 ：地上デジタルTV放送が受信できない状態になると、自動でワンセグ放送に切り替え※1 （受信可能になると、再び地上デジタルTV放送に切り替わります。） ・ 地デジ ：常に地上デジタルTV放送を受信 ・ ワンセグ ：常にワンセグ放送を受信
④	初期設定	ホームプリセットの設定を変更（→P.191）やminiB-CASカードの情報を表示（→P.182）
⑤	各種切替	各種設定を変更（→P.190）

番号	項目	機能
⑥	放送局サーチ設定 (ネットワークフォロー)	現在受信している放送局が受信できなくなった場合、その系列局や中継局を自動で探し受信できるように設定※2 地点A 中継局 1 地点Aで、中継局1を受信中。 地点B 中継局1が受信できなくなると、地点Bの周辺にある中継局を自動で受信。 ・ **系列局+中継局**:受信していたエリアから外れた場合、その地点の周辺にある中継局を探す。中継局が見つからなかった場合は、系列局を探し、受信するとプリセットスイッチのチャンネルを更新 ・ **中継局**:受信していたエリアから外れた場合、その地点の周辺にある中継局のみを探し、受信するとプリセットスイッチのチャンネルを更新 ・ **OFF**: 系列局や中継局はサーチしない

※1 **ワンセグ自動切替** に設定すると、次のようになることがあります。

・自動で切り替わった番組が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。

・ワンセグ放送のサービスを行なっていない放送局をご覧になっている場合は、ワンセグ放送に切り替わりません。

※2 放送局のサーチ中は、映像および音声が出ず、“放送局サーチ中です”のメッセージが表示されます。

画面表示／音声を切り替える

設定画面を表示（→P.188）

◆**各種切替画面**

番号	スイッチ	機能
①	映像※1	マルチビュー放送で複数の映像が提供された場合、タッチするごとに、映像を切り替え
②	文字スーパー	放送中の番組が文字スーパー（天気予報やニュースなどを字幕で放送するサービス）を提供している場合、タッチするごとに、日本語→英語→表示なしの順に切り替え
③	字幕	放送中の番組が字幕を提供している場合、タッチするごとに、日本語→英語→字幕なしの順に切り替え
④	音声	放送中の番組が複数の音声を提供している場合、タッチするごとに、音声を切り替え
⑤	主／副※2	タッチするごとに、主音声→副音声→主／副音声の順に切り替え
⑥	画質調整	画質調整画面を表示（→P.39）
⑦	Wide	画面サイズを変更（→P.48）
⑧	全画面	映像を全画面で表示（映像にタッチして表示することもできます。）

※1　映像を切り替えると同時に、音声と字幕も切り替わることがあります。
※2　副音声、または主／副音声を選択している場合、受信状態によって主音声・副音声が頻繁に切り替わることがあります。

初期設定を変更する

引越しなどでお住まいの地域が変わった場合、状況にあわせて次の設定を変更してください。

・**ホームプリセットの設定**（→P.191）
・**居住地域の設定**（→P.193）

ホームプリセットの設定を変更する

次の方法から設定できます。
＜初期スキャン＞
新たに放送局を記憶（→P.191）
＜追加スキャン＞
プリセットスイッチに新たに受信できる放送局を追加（→P.192）

チェック

● プリセットスイッチの順番を変更したり、放送局を追加する場合は、**「プリセットスイッチの編集」**（→P.192）をご覧ください。

■ 初期スキャンで記憶する

現在プリセットスイッチに記憶されている放送局をすべて消去して、新たに放送局を記憶させます。

1 MENU ⇨ AV ⇨ TV ⇨ 設定 ⇨ 初期設定 ⇨ ホームプリセット設定 ⇨ 初期スキャン

2 スキャン用の地方、都道府県を選択 ⇨ スキャン ⇨ 放送局の受信を開始

受信を中止

3 放送局受信完了 ⇨ OK ⇨ 完了

● 最大36局まで受信し、受信した放送局のうちプリセットスイッチに表示された12局が記憶されます。

■ 追加スキャンで記憶する

現在記憶されているプリセットスイッチに新たに受信できる放送局を追加できます。

1 MENU ⇨ AV ⇨ TV ⇨ 設定 ⇨ 初期設定 ⇨ ホームプリセット設定 ⇨ 追加スキャン を“ピッ”と音がするまでタッチ ⇨ 放送局の受信を開始

放送局の受信を中止

2 放送局受信完了 ⇨ OK ⇨ 完了

- 最大36局まで受信し、受信した放送局のうちプリセットスイッチに表示された12局が記憶されます。
- プリセットスイッチに空きがある場合は、受信感度がよい放送局がプリセットスイッチに表示されます。

■ プリセットスイッチの編集

プリセットスイッチの順番を変更したり、放送局を追加できます。

1 MENU ⇨ AV ⇨ TV ⇨ 設定 ⇨ 初期設定 ⇨ ホームプリセット設定

2 放送局を変更するプリセットスイッチを選択

3 < 、または > にタッチして放送局を選択 ⇨ 完了

- 他に変更したいプリセットスイッチがある場合は、手順2、手順3を繰り返してください。

居住地域の設定を変更する

1 MENU ⇨ AV ⇨ TV ⇨ 設定 ⇨ 初期設定 ⇨ 地域設定 ⇨ 郵便番号7桁を入力 ⇨ 次へ

1文字ずつ修正

2 データ放送用の地方、都道府県を選択 ⇨ 完了

- 東京都島部（伊豆・小笠原諸島）と鹿児島県島部（南西諸島の鹿児島県域）にお住まいの方は、沖縄地方･その他 にタッチしてください。

放送局から受信したメールを見る

1 MENU ⇨ AV ⇨ TV ⇨ 設定 ⇨ 初期設定 ⇨ メールインフォメーション ⇨ 見たいメールリストを選択

リストを切り替え

iPodについて

iPodを接続するとiPodの音楽ファイルやビデオファイルを再生できます。

チェック

- iPodを接続する場合は、別売の「iPod接続コード」および「USB接続コード」※をお買い求めください。
  ※ AVN-SZX04i、AVN-ZX04iは同梱されています。
- iPodビデオを見る場合は、別売の「拡張配線コード」をお買い求めください。
- iPod/iPhoneの機種によっては、iPodビデオ再生に対応していない場合があります。
- 対応しているiPodの種類（世代）については、ECLIPSEホームページをご覧ください。
  「お客様サポート」→「iPod/iPhone適合情報」
  （http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/）をご覧ください。

ワンポイント

- iPod の写真表示機能には対応していません。
- ポッドキャスト機能に対応していますが、iPod/iPhone 本体と異なる動作になる場合があります。
- 別売の後席用モニターを接続している場合、走行中でも後席でiPodビデオをご覧いただけます。

iPodを接続する／取りはずす

重 要

- 音楽の再生中は、iPod保護のため、iPodから接続コードのコネクタを取りはずさないでください。

チェック

- iPodを取りはずすときは、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にする、またはオーディオソースをiPod以外に切り替えてください。
- Lightningコネクタを使用する場合は、Apple純正ケーブルを使用してください。

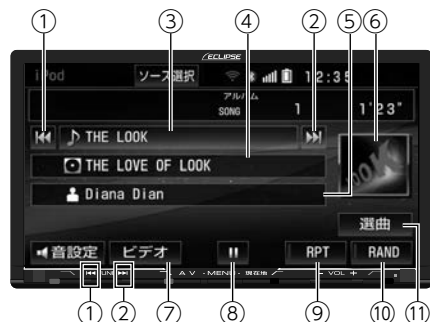
1 iPodと接続コードのコネクタを接続する／取りはずす

2 接続コードのUSBコネクタをUSB接続コードに接続する／取りはずす

ワンポイント

- iPodを接続してしばらくすると、オーディオソース選択画面の USB が iPod に変わります。
- iPodを接続しても、オーディオソースは自動でiPodに切り替わりません。
- エンジンスイッチがON、またはACCになっている場合、接続しているiPodのバッテリーが充電されます。
- エンジンスイッチをOFF（LOCK）にした後は、必ずiPodを取りはずしてください。iPodを接続したままにすると、iPodの電源が切れず、iPodのバッテリーを消費する場合があります。

音楽を聞く

iPod操作画面を表示（→P.130）

◆ **iPod（オーディオモード）操作画面**

番号	スイッチ	機能
①	⏮ / ⏮	・ファイル（曲）を頭出し ・連続して押すと、前のファイル（曲）に切り替え ・押し続けると、ファイル（曲）を早戻し
②	⏭ / ⏭	・次のファイル（曲）に切り替え ・押し続けると、ファイル（曲）を早送り
③	ファイル（曲）名	ファイル（曲）リストを表示 再生したいファイル（曲）にタッチ ページを切り替え
④	アルバム名	アルバム名を表示
⑤	アーティスト名	再生中のファイル（曲）のアーティスト名を表示
⑥	カバーアート	音楽ファイル（曲）にカバーアートが収録されている場合、カバーアート表示を【する】に設定（→P.132）すると、カバーアートを表示
⑦	ビデオ	iPod（ビデオモード）操作画面（→P.197）を表示
⑧	⏸	ファイル（曲）の再生を一時停止
	▶	ファイル（曲）を再生
⑨	RPT	タッチするごとに、リピート再生を次のように変更 再生中のファイル（曲）をリピート再生→リピート再生を解除

番号	スイッチ	機能
⑩	RAND	タッチするごとに、ランダム再生を次のように変更 再生中のアルバム内の全ファイル（曲）をランダム再生→全ファイル（曲）をランダム再生→ランダム再生を解除
⑪	選曲	選曲リストを表示 ページを切り替え プレイモード※を選択 アルバムやアーティストなどにタッチ ページを切り替え 再生したいファイル（曲）にタッチ 操作画面に戻る

※ プレイモードは「プレイリスト」「アーティスト」「アルバム」「曲」「Podcasts」「オーディオブック」「ジャンル」「作曲者」から選ぶことができます。

ワンポイント

- iPodに収録されているファイル数、ソフトウェアバージョンによっては、操作画面による操作を行っても、すぐに反応しなかったり、正しく動作しない場合があります。
- 正しく動作しない場合、iPodの接続をはずし、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にした後、ACC、またはONにして、iPod本体をリセットしてからもう一度接続してください。
- 表示されるリストの順番や表示項目がiPodと異なることがあります。

映像を見る

iPod操作画面を表示（→P.130）

チェック

- ビデオ音声の入力方法を設定してください。（→P.198）

◆ iPod（ビデオモード）操作画面

◆ 各種切替画面

番号	スイッチ／表示	機能
①	ビデオ名	ビデオリストを表示 再生したいビデオにタッチ ページを切り替え
②	ビデオリスト名	ビデオリストを表示 ページを切り替え ページを切り替え ビデオリストにタッチ 再生したいビデオにタッチ 操作画面に戻る
③	アーティスト名	アーティスト名を表示
④	全画面	全画面の映像を表示（映像にタッチして表示することもできます。） ・ 本機の電源を入れたあと、初めて 全画面 、または映像にタッチしたときは、メッセージが表示されます。了解 ／ 次回表示しない ／ ⮌ のいずれかにタッチすると、メッセージは解除され全画面表示になります。 了解 ：本機の電源が入っている間は、次回このメッセージを表示しない 次回表示しない ：次回からこのメッセージを表示しない ⮌ ：次回もこのメッセージを表示

番号	スイッチ／表示	機能
⑤	⏮ (黒)	・ビデオを頭出し ・連続して押すと、前のビデオに切り替え ・押し続けると、ビデオを早戻し
	⏮ (白)	
⑥	⏭ (黒)	・次のビデオに切り替え ・押し続けると、ビデオを早送り
	⏭ (白)	
⑦	各種切替	各種切替画面を表示
⑧	ミュージック	iPod（オーディオモード）操作画面（→P.195）を表示
⑨	マルチW	マルチウィンドウ画面を表示（→P.45）
⑩	⏸	ビデオの再生を一時停止
	▶	ビデオを再生
⑪	Wide	画面サイズを切り替え（→P.48）
⑫	画質調整	画質調整画面を表示（→P.39）

iPodビデオの音声入力方法を変更する

iPodビデオ再生時の音声入力を変更できます。

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ AV ⇨ iPod 設定 ⇨ iPod ビデオ音声入力 ⇨ USB 、または VTR

- USB ：USBから音声を入力
- VTR ：VTR入力端子（RCA）から音声を入力

外部入力（VTR）について

VTR機器を本機に接続すると、ビデオをご覧になれます。

チェック

●別売の「拡張配線コード」や「USB接続コード」※をお買い求めください。

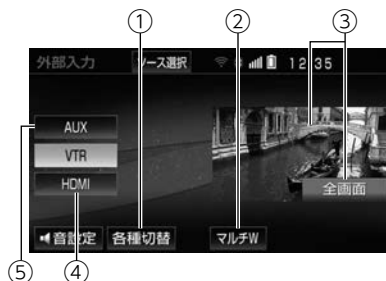
※ AVN-SZX04i、AVN-ZX04iは同梱されています。
スマートフォンの動画再生など接続する機器により必要となる場合があります。

●接続するVTR機器により、映像が正常に表示されない場合があります。

ワンポイント

●別売の後席用モニターを接続すると、走行中でも後席でビデオをご覧いただけます。

映像を見る

VTR操作画面を表示（→P.130）

◆ VTR 操作画面

①にタッチ

◆ 各種切替画面

番号	スイッチ	機能
①	各種切替	各種切替画面を表示
②	マルチW	マルチウィンドウ画面を表示（→P.45）
③	全画面	全画面の映像を表示 （映像にタッチして表示することもできます。）
④	HDMI	HDMI画面（→P.203）を表示
⑤	AUX	AUX画面（→P.201）を表示
⑥	Wide	画面サイズを切り替え（→P.48）
⑦	画質調整	画質調整画面を表示（→P.39）

VTR機器の音声入力方法を変更する

接続したVTR機器に合わせて、音声入力を変更できます。

1 MENU ⇨ 設定·編集 ⇨ AV ⇨ VTR設定 ⇨ VTR音声入力 ⇨ VTR 、または USB

- VTR ：VTR入力端子（RCA）から音声を入力
- USB ：USBから音声を入力

外部入力（AUX）について

ポータブルオーディオなどを本機のAUX入力（RCA）端子に接続すると、音楽を再生できます。

チェック

- ポータブルオーディオを接続する場合は、別売の「拡張配線コード」をお買い求めください。
- ポータブルオーディオを接続／取りはずすときは、次のことを確認してください。
  - ・ポータブルオーディオの電源が切れていること
  - ・オーディオソースがAUX以外になっている、またはOFFになっていること

音楽を聞く

AUX操作画面を表示（→P.130）

◆AUX操作画面

番号	スイッチ	機能
①	VTR	VTR画面（→P.199）を表示
②	HDMI	HDMI画面（→P.203）を表示

ワンポイント

- 接続された機器によって音量レベルが異なります。
- ポータブルオーディオの電源は、ポータブルオーディオに付属されているバッテリー等を使用してください。車に装着されているシガーライターソケットやアクセサリーソケットなどで充電しながら再生すると、雑音が出ることがあります。

外部入力（HDMI）について

HDMI機器を接続すると、映像をご覧になることができます。

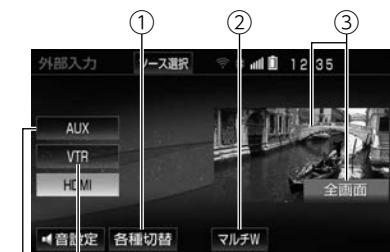
チェック

- 別売の「HDMI延長コード」および市販の変換ケーブルをお買い求めください。
- 使用できるHDMI機器の仕様については「HDMI機器」（→P.337）をご覧ください。
- 接続するHDMI機器により、映像が正常に表示されない場合があります。

ワンポイント

- 別売の後席用モニターには映像を表示できません。

映像を見る

HDMI操作画面を表示（→P.130）

◆ HDMI 操作画面

①にタッチ

◆ 各種切替画面

番号	スイッチ	機能
①	各種切替	各種切替画面を表示
②	マルチW	マルチウィンドウ画面を表示（→P.45）
③	全画面	全画面の映像を表示（映像にタッチして表示することもできます。）
④	VTR	VTR画面（→P.199）を表示
⑤	AUX	AUX画面（→P.201）を表示
⑥	Wide	画面サイズを切り替え（→P.48）
⑦	画質調整	画質調整画面を表示（→P.39）

イコライザを設定する(EQ)

音楽にあわせて音域の設定を変更したり、お好みの音域に調整できます。

イコライザを選択する

あらかじめ設定されているイコライザを選択し、お好みの音質に設定できます。

1 AV ⇨ 各オーディオ操作画面の 音設定 ⇨ EQ1 〜 EQ5 を選択

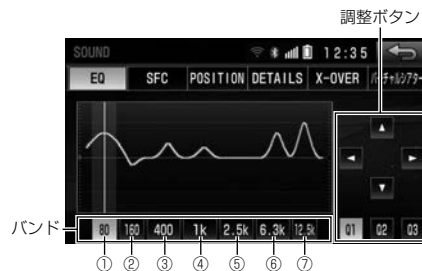
● 次のイコライザを選択できます。

スイッチ	イコライザ
EQ1	高域を強調したパターン
EQ2	低域高域を強調したパターン
EQ3	低域を強調したパターン
EQ4	低域高域を少し強調したパターン
EQ5	ボーカル帯域を強調したパターン
FLAT	EQ補正なし

パラメトリックイコライザを設定する

イコライザの中心周波数、レベル、Qカーブ（帯域幅）をそれぞれ設定できます。

1 AV ⇨ 各オーディオ操作画面の 音設定 ⇨ SETTINGS

2 調整したいバンドを選択し、調整

番号	中心周波数（Hz）
①	63 ↔ 80 ↔ 100
②	125 ↔ 160 ↔ 200
③	250 ↔ 315 ↔ 400 ↔ 500
④	630 ↔ 800 ↔ 1k ↔ 1.25k
⑤	1.6k ↔ 2k ↔ 2.5k ↔ 3.15k

番号	中心周波数（Hz）
⑥	4k ↔ 5k ↔ 6.3k ↔ 8k
⑦	10k ↔ 12.5k ↔ 16k

● 次の調整ができます。

調整ボタン	機能
◀	中心周波数を高くする
▶	中心周波数を低くする
▲	レベルを上げる
▼	レベルを下げる
Q1	Qカーブ（帯域幅）を広くする
Q2	Q1 と Q3 の中間のQカーブにする
Q3	Qカーブを狭くする

3 各バンドごとに設定を繰り返す（手順2）⇨ ⮌ ⇨ EQ1 〜 EQ5 のいずれかに“ピー”と音がするまでタッチ

● 調整したイコライザが記憶されます。

● SOUND（EQ）画面で FLAT に“ピー”と音がするまでタッチすると、記憶した EQ1 〜 EQ5 の調整値が初期化されます。

ワンポイント

● 周波数レベルは-10〜+10の21段階です。

● 隣りあうバンドの中心周波数の値が近い場合、周波数レベルが-10〜 +10の範囲を超えた値になることがあります。

● 外部入力機器（iPod、ポータブルオーディオ機器、VTR機器など）を接続する場合、外部入力機器のEQ設定レベルを高くしていると音が割れることがあります。この場合は、EQ設定レベルを低くしてください。

SFC（音場）を設定する

再生する音楽に残響音を加え、さまざまな環境の臨場感を擬似的に再現できます。

チェック

●SFCは、バーチャルシアター（→P.212）と同時に設定できません。

●DSモードでは効果を得られません。

1 AV ⇨ 各オーディオ操作画面の 音設定 ⇨ SFC ⇨ 設定したいモードを選択

モード

● 次のモードを選択できます。

モード	モードの種類
CONCERT	コンサートホール
LIVE	ライブハウス
CATHEDRAL	残響音の多い教会
STADIUM	野外スタジアム
CLUB	ディスコ、クラブ
OFF	SFC OFF

● ▲ 、または ▼ にタッチすると、レベル（-5～+5）を調整できます。調整後、モードに“ピー”と音がするまでタッチすると、調整したレベルが記憶されます。

● OFF に“ピー”と音がするまでタッチすると、調整したレベルは初期化されます。

音量バランスを調整する

乗車人数や乗車位置などにあわせて、音の中心位置を変更できます。

チェック

● POSITION（ポジショニングセレクター）は、FADER BALANCE（音量バランス）（→P.208）と同時に設定できません。

POSITION（ポジションセレクター）を設定する

1 AV ⇨ 各オーディオ操作画面の 音設定 ⇨ POSITION ⇨ シートを選択

● 次のポジションを設定できます。

表示	ポジション
	運転席を中心にした音場
	助手席を中心にした音場
	前席を中心にした音場
	後席を中心にした音場
OFF	設定を解除

2 CAR TYPE ⇨ CAR BODY TYPE ⇨ 車のボディタイプを選択

● 次のボディタイプを選択できます。

タッチスイッチ	モードの種類
COMPACT	コンパクト車
SEDAN	セダン
WAGON	ワゴン車
MINI_VAN_S	小さいミニバン
MINI_VAN_L	大きいミニバン
SUV	スポーツ・ユーティリティ・ビークル
SMALL	軽自動車
OTHER	その他

3 TWEETER ⇨ Yes 、または No

● Yes ：ツィーター有り
● No ：ツィーター無し

FADER BALANCE（音量バランス）を設定する

前後（フェダー）・左右（バランス）スピーカの音量レベルを調整します。

チェック

●FADER BALANCE（音量バランス）は、POSITION（ポジショニングセレクター）（→P.207）と同時に設定できません。

1 A V ⇨ 各オーディオ操作画面の 音設定 ⇨ POSITION ⇨ FADER BALANCE ⇨ 音場の中心にしたいポイントにタッチ

● ▲ 、▼ 、◀ 、▶ にタッチし続けると連続的に変化し、センター値で停止します。もう一度タッチすると、調整を再開できます。

ワンポイント

●各スピーカ（フロント、リヤ、左、右）の調整値は15段階です。

HARMONIZER（ハーモナイザー）を設定する

圧縮音楽データを作成する場合に失われた音の響きや奥行き感などを自動で補正します。

チェック

●MP3/WMA/AAC/iPod/USBメモリ/SDメモリーカード/Bluetooth Audio/HDMIを再生する場合に効果があります。

1 AV ⇨ 各オーディオ操作画面の 音設定 ⇨ DETAILS ⇨ HARMONIZER ⇨ Hi ／ Low ／ Off のいずれかを選択

- Hi ：補正レベル大
- Low ：補正レベル小
- Off ：補正なし

E-VOLUTIONを設定する

圧縮された音楽データは、録音の条件により音量レベルが異なることがあります。音楽データの音量レベルを自動で調整することにより、曲ごとの音量レベルの差を減らします。

チェック

●MP3/WMA/AAC/iPod/USBメモリ/パソコンで記録したSDメモリーカードを再生する場合に効果があります。

1 AV ⇨ 各オーディオ操作画面の 音設定 ⇨ DETAILS ⇨ E-VOLUTION ⇨ On

- Off ：E-VOLUTIONの設定を解除

2 インジケータ ⇨ On 、または Off

- On ：再生している曲の補正レベルをインジケータで表示（例：E-VOL+2）

インジケータ表示

- 補正レベルは-5～+5の11段階です。

3 補正音量レベル ⇨ Hi ／ Mid ／ Low のいずれかを選択

● 補正音量レベル ：補正する音量レベルを設定

Low ＜ Mid ＜ Hi

音量レベル小 ◀━━▶ 音量レベル大

4 反応速度 ⇨ Fast ／ Mid ／ Slow のいずれかを選択

● 反応速度 ：補正レベルを設定

Fast ＜ Mid ＜ Slow

楽曲の音量変化にあわせて素早く補正※1 ◀━━▶ 楽曲の音量変化にあわせて緩やかに補正※2

※1 音量変化が小さい曲向け
※2 音量変化が大きい曲向け

ワンポイント

●E-VOLUTION は再生中に音量補正を行うため、楽曲や設定状況により、原曲のイメージと異なる場合があります。必要に応じて設定を調整してください。
●音源や早送り／早戻し、選曲のタイミングによって、補正レベルを継続する場合があります。

LOUDNESS（ラウドネス）を設定する

聞きとりにくい低音・高音を補正することで、小音量でも音を聞きとりやすくします。

チェック

●AMラジオ・DSモードでは効果を得られません。

1 AV ⇨ 各オーディオ操作画面の 音設定 ⇨ DETAILS ⇨ LOUDNESS ⇨ On 、または Off

サブウーファを設定する

チェック

● サブウーファを接続する場合は、別売の「拡張配線コード」をお買い求めください。

出力方式を設定する

サブウーファの出力方法を設定することができます。接続されているサブウーファの出力方式（ステレオ、またはモノラル）に合わせて設定してください。

1 AV ⇨ 各オーディオ操作画面の 音設定 ⇨ X-OVER ⇨ STEREO 、または MONO

位相を切り替える

サブウーファから出力される音の中には、フロント/リヤスピーカの音と同じ周波数帯域のものがあり、車内条件により打ち消しあってしまうことがあります。
この現象を防ぐものがサブウーファの位相切り替えです。

1 AV ⇨ 各オーディオ操作画面の 音設定 ⇨ X-OVER ⇨ NORMAL 、または REVERSE

各スピーカとサブウーファの出力タイミングをずらす

各スピーカとサブウーファの出力タイミングを同じにする

サブウーファレベルを設定する

サブウーファの出力レベルを調整します。

1 AV ⇨ 各オーディオ操作画面の 音設定 ⇨ X-OVER ⇨ ▲ 、または ▼

● 出力レベルは-6～+6の13段階です。

X-OVER（クロスオーバ）を設定する

フロント/リヤスピーカ（中高域）とサブウーファ（低域）の再生する周波数帯域を分割して、音のつながりを改善できます。

1 AV ⇨ 各オーディオ操作画面の 音設定 ⇨ X-OVER ⇨ SLOPEの < 、または > にタッチしてスロープを選択

- スロープはPASS／6／12／18／24 (dB/oct) の中から選択できます。
- 数値が大きいほど、スロープの傾きが急になり、フロント/リヤスピーカとサブウーファとの音の混ざりが少なくなります。
- 【PASS】に設定すると、効果を得ることができません。

2 FREQUENCYの < 、または > にタッチしてカットオフ周波数を選択

- カットオフ周波数は、63/80/100/125/160/200(Hz)の中から選択できます。

ワンポイント

- サブウーファが接続されていない場合は、スロープを【PASS】に設定してください。【PASS】以外に設定すると、低域音が遮断されます。

バーチャルシアターを設定する

車に搭載されているスピーカや車内の状況により、スピーカの位置などを擬似的に補正し、低音や音の拡がりを感じることができます。

チェック

- バーチャルシアターは、SFC（→P.206）と同時に設定できません。
- ラジオ・DSモードでは効果を得られません。

1 AV ⇨ 各オーディオ操作画面の 音設定 ⇨ バーチャルシアター ⇨ バーチャルシアター ⇨ On ⇨ TWEETER ⇨ Yes 、または No

- Yes ：ツィーター有りの場合にタッチ
- No ：ツィーター無しの場合にタッチ

2 BASS ⇨ Hi ／ Mid ／ Low のいずれかを選択

- Hi ：補正レベル大
- Mid ：補正レベル中
- Low ：補正レベル小

3 FIELD ⇨ Hi ／ Mid ／ Low のいずれかを選択

- Hi ：補正レベル大
- Mid ：補正レベル中
- Low ：補正レベル小

Bluetooth®機能について

チェック

● 使用できるBluetooth機器の仕様は、「**Bluetooth®機器**」（→P.337）をご覧ください。

Bluetoothの無線通信機能を使って、次の機能を利用できます。

＜ハンズフリー＞

Bluetooth対応のスマートフォンや携帯電話を直接操作せずに、電話機能を使用できます。(→P.223)

※ 本書では、ハンズフリーに使用するBluetooth機器を「携帯電話」の名称で記載します。

＜Bluetooth Audio＞

Bluetooth機器に収録されている音楽を再生できます。(→P.243)

＜スマートフォン連携＞

スマートフォンアプリと本機が連携する機能です。(→P.254)

● 各機能をご利用いただくには、Bluetooth機器（スマートフォン・携帯電話・ポータブル機など）を本機に登録し、接続する必要があります。

ワンポイント

● 動作確認済の携帯電話の機種については、ECLIPSEホームページをご覧ください。
「お客様サポート」→「Bluetooth適合情報」（http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/）をご覧ください。

登録～接続の流れについて

Bluetooth機器をBluetooth接続可能な状態にする

Bluetooth機器を登録する**（→P.215）**

接続方法を設定する

自動接続に設定する**（→P.216）**

自動接続は、次の場合に適しています。

・ Bluetooth機器が自動接続に対応している
・ Bluetooth機能の使用頻度が高い

自動で接続する**（→P.217）**

エンジンスイッチをACC、またはONにするたびにBluetooth機器と本機を自動で接続します。

手動接続に設定する**（→P.216）**

手動接続は、次の場合に適しています。

・ Bluetooth機器が自動接続に対応していない
・ Bluetooth機能の使用頻度が低い

手動で接続する

手動で接続する場合、使用する機能によって方法が異なります。次をご覧ください。

・ ハンズフリー（→P.224）
・ Bluetooth Audio（→P.243）

接続するBluetooth機器を選んで接続する**（→P.218）**

Bluetooth機器の種類やBluetooth通信の状況により、接続できない場合があります。
その場合は、手動で接続してください。

ワンポイント

● Bluetooth機器を本機に近づけすぎないでください。音質が劣化したり、Bluetooth接続状態が悪化することがあります。

Bluetooth®機器を登録する

Bluetooth機能を使うには、Bluetooth機器を登録する必要があります。
Bluetooth機器は、本機に最大5台まで登録できます。

チェック

- Bluetooth機器をBluetooth接続可能な状態にしてください。
- ハンズフリー、スマートフォン連携を利用しない場合は、携帯電話の接続を切っておいてください。(→P.221)

1 MENU ⇨ 設定·編集 ⇨ Bluetooth ⇨ 機器登録・接続 ⇨ 追加

- 他のBluetooth機器が接続されている場合は、メッセージが表示されます。はい にタッチすると、追加登録できます。
- すでにBluetooth機器が登録可能台数を超えている場合、確認のメッセージが表示されます。その場合、はい にタッチし、置き換える機器を選んでください。

2 画面に表示されている案内にしたがってBluetooth機器を操作する

- Bluetooth機器によって、表示される画面や操作が異なります。
  - ・PIN-Codeで登録 (→P.215)
  - ・暗証番号で登録 (→P.216)

PIN-Codeで登録する場合

1 本機に表示されているPIN-Codeを入力する

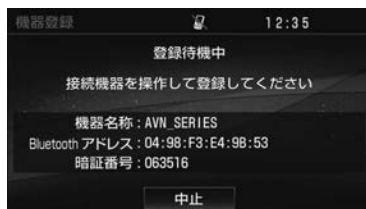
登録を中止

- PIN-Codeを入力後にBluetooth機器の操作が必要になる場合があります。
- Bluetooth機器でPIN-Codeが入力できないときは、本機のPIN-CodeをBluetooth機器のPIN-Codeに変更してから操作してください。(→P.220)

2 完了 にタッチ

- 「Bluetooth機器からの接続を待ちましたが 完了していません 車載機からの接続に切り替えます」のメッセージが表示されたとき
  - ・了解 ：Bluetooth接続を開始
  - ・中止 ：Bluetooth接続をしません
- 失敗画面が表示されたときは画面の案内にしたがい、操作してください。

暗証番号で登録する場合

1 本機に表示されている暗証番号を確認し、表示にしたがって操作する

2 完了 にタッチ

- 「Bluetooth機器からの接続を待ちましたが 完了していません 車載機からの接続に切り替えます」のメッセージが表示されたとき
  - ・了解 ：Bluetooth接続を開始
  - ・中止 ：Bluetooth接続をしません
- 失敗画面が表示されたときは画面の案内にしたがい、操作してください。

ワンポイント

- PIN-Codeとは、Bluetooth機器を本機に登録するための番号です。
- Bluetooth機器を登録すると、使用する機器として選択されます。
  複数登録している場合は、使用する機器を選択できます。(→P.218)
- 携帯電話の設定によっては、接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。

Bluetooth®機器の接続方法を設定する

エンジンスイッチをACC、またはONにするたびに、選択されているBluetooth機器を自動で接続する、しないを設定できます。

1 MENU ⇨ 設定・編集 ⇨ 「Bluetooth」 ⇨ Bluetooth 詳細設定 ⇨ ACC ON 時の自動接続 ⇨ する 、または しない

自動で接続する

ACC ON時の自動接続を【する】に設定した場合、エンジンスイッチをACC、またはONにするたびに、選択されているBluetooth機器を自動で接続します。

チェック

●同梱の「マイク＆スイッチ」が接続されている場合のみ自動で接続します。

1 Bluetooth機器を接続可能な状態にする

2 エンジンスイッチをACC、またはONにする

Bluetooth接続確認表示

ワンポイント

●Bluetooth接続確認表示は電話機の接続確認案内やポータブル機の接続確認表示を【する】に設定した場合（→P.220）に表示されます。
●ハンズフリーが接続できなかった場合は、音声でもお知らせします。
●手動接続に設定した場合（→P.216）や、自動接続ができない場合は、手動で接続してください。
・ハンズフリー（→P.224）
・Bluetooth Audio（→P.243）
・スマートフォン連携（→P.257）

再接続について

自動で再接続される場合

エンジンスイッチがACC、またはONの場合に、一度成立したBluetooth接続がネットワークの状況により切れた場合、自動で再接続します。
（接続完了のメッセージは表示されません。）

ワンポイント

●再接続の処理は一定時間行われます。その間に接続できなかった場合は、手動で接続してください。

手動で再接続する場合

Bluetooth機器、または本機を操作して接続を切った場合、自動で再接続されません。
その場合、次のいずれかの方法で再接続してください。

■ **手動でBluetooth接続をする**
・ハンズフリー（→P.224）
・Bluetooth Audio（→P.243）
・スマートフォン連携（→P.257）

■ **接続するBluetooth機器を選んで接続する**
（→P.218）

接続するBluetooth®機器を変更する

1 MENU ⇨ 設定·編集 ⇨ 「Bluetooth」 ⇨ 機器登録・接続 ⇨ Bluetooth機器を接続可能な状態にする ⇨ 使用するBluetooth機器名称を選択

ハンズフリー接続中

Bluetooth Audio接続中

● [アイコン] ／ [アイコン] にタッチすると、電話機の接続ができます。

● [アイコン]（音符マーク灰色）にタッチすると、ポータブル機の接続ができます。

2 全接続 ／ 電話機の接続 ／ ポータブル機の接続 のいずれかを選択

● 他のBluetooth機器が接続されている場合は、メッセージにしたがって、接続を切ってください。

登録したBluetooth®機器の情報を確認・変更する

1 MENU ⇨ 設定·編集 ⇨ 「Bluetooth」 ⇨ 機器登録・接続 ⇨ 設定を確認・変更したいBluetooth機器名称を選択

ハンズフリー接続中

Bluetooth Audio接続中

2 **機器詳細情報** ⇨ 各項目を確認・変更

● 次の項目の設定を確認・変更できます。

番号	項目	機能
①	機器名称	本機に表示されるBluetooth機器名称を確認・変更
②	接続方法	Bluetooth Audio機器と本機の接続方法を選択※ 本機側から接続 Bluetooth Audio機器から接続※
③	機器アドレス	Bluetooth機器固有のアドレスを表示
④	自局電話番号	Bluetooth機器の電話番号を表示
⑤	スマートフォン連携	スマートフォン連携（→P.254）機能を使用するかを設定 スマートフォン連携を使用する スマートフォン連携を使用しない
⑥	対応プロファイル	Bluetooth機器が対応しているプロファイルを表示

※【ポータブル機から】を選択した場合、自動接続を【する】に設定（→P.216）しても自動接続は行ないません。
接続方法は機器により異なります。Bluetooth Audio機器の説明書をご覧ください。

Bluetooth®設定を確認・変更する

1 MENU ⇨ 設定・編集 ⇨ 「Bluetooth」 ⇨ Bluetooth 詳細設定 ⇨ 各項目を確認・変更

設定を初期化

● 次の項目の設定を確認・変更できます。

番号	項目	機能
①	ACC ON時の自動接続	エンジンスイッチをACC、またはONにするたびに、Bluetooth機器を本機と自動で接続する/しないを設定
②	機器名称	Bluetoothネットワーク上での本機の名称を表示・変更
③	PINコード（パスキー）	Bluetooth機器を本機に登録するときのパスワードを変更 数字を入力 入力後にタッチ
④	機器アドレス※	本機の機器アドレスを表示
⑤	電話機の接続確認案内	携帯電話がBluetooth接続されたときの、接続完了メッセージの表示と接続確認の音声案内する/しないを設定
⑥	ポータブル機の接続確認表示	Bluetooth Audio機器がBluetooth接続されたときに、接続完了のメッセージを表示する/しないを設定
⑦	対応プロファイル	本機が対応しているプロファイルを表示

※ 機器名称やPINコード（パスキー）を他のBluetooth 機器と同じにしてしまい、ネットワーク内での本機の区別がつけられなくなってしまった場合に参考にできます。

Bluetooth®機器の接続を切る

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ Bluetooth ⇨ 機器登録・接続 ⇨ 接続を切りたいBluetooth機器名称を選択 ⇨ 全切断 ／ 電話機の切断 ／ ポータブル機の切断 のいずれかを選択

登録したBluetooth®機器を削除する

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ Bluetooth ⇨ 機器登録・接続 ⇨ 削除 ⇨ 削除したいBluetooth機器名称を選択 ⇨ はい

表示されるアイコンについて

◆ハンズフリー操作画面

◆Bluetooth Audio操作画面

番号	表示	機能
①	Bluetooth接続状態表示※1	Bluetooth機器の接続状態 ■ ハンズフリー 未接続　不安定※2（灰色）　良好（青色） ■ Bluetooth Audio 未接続（灰色）　不安定※2（青色）　良好（青色）
②	受信レベル表示※1	圏外　弱 ←→ 強
③	電池残量表示※1	無　少 ←→ 多

※1　Bluetooth機器によりアイコンが表示されない場合や、表示が一致しない場合があります。
※2　通話時や音楽再生時に音質が劣化することがあります。

ワンポイント

●次のような場所にBluetooth機器がある場合、Bluetooth接続状態が不安定、または未接続になることがあります。
・シートのうしろや下にあるとき
・車の収納ボックスの中にあるとき
・金属製のものに近くに置いている、または覆われているとき
場所を移動させても接続状態が変わらない場合は、再接続してください。

ハンズフリーについて

● 発信、着信後は、マイクおよびスピーカを通して通話できます。

● 着信音や通話の音声はフロントスピーカから出ます。

● ハンズフリーで音声や呼出音などが出ると、オーディオ音声はミュート（消音）されます。

チェック

●同梱の「マイク＆スイッチ」が接続されていないと通話することができません。

●使用できるBluetooth機器の仕様は、**「Bluetooth®機器」**（→P.337）をご覧ください。

●ハンズフリーを使うためには、機器の登録が必要です。（→P.215）

ワンポイント

●携帯電話を本機に近づけすぎないでください。音質が劣化したり、Bluetooth接続状態が悪化することがあります。

●通話中、マイクが通話相手の声を拾うと、相手にエコーが聞こえることがあります。その場合は、受話音量を調整してください。（→P.237）

●使用する携帯電話やネットワークの影響により、ノイズやエコーなどが発生することがあります。

●他のBluetooth 機器（ポータブルオーディオ）が同時にBluetooth 接続されている場合、ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。

ハンズフリーが使用できない場合

次の場合は、ハンズフリー機能を使用できません。

● 回線が混雑しているなど、発信規制中のとき

● 携帯電話から電話帳データを転送中のとき

● 携帯電話がダイヤルロックしているとき

● 携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき

● 携帯電話の設定が、ハンズフリーモード以外のとき

ワンポイント

●携帯電話は、Bluetooth接続により、電池が早く消耗します。

●携帯電話の機種によっては、Bluetooth接続中にディスプレイの照明がついたままになることがあります。携帯電話本体で照明をOFFにしてください。

●携帯電話の設定によっては、Bluetooth接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してください。

●通話中にエンジンスイッチをOFF（LOCK）にすると、携帯電話の機種によって、通話が切れる場合があります。

●携帯電話の三者通話を契約している場合は、携帯電話本体で三者通話を解除してからお使いください。

ハンズフリーの設定を変更する

次の内容を設定できます。

機能	ページ
ハンズフリーの音量設定	239
電話帳データの転送	227
電話帳データの入力	229
電話帳データの編集	230
電話帳データの削除	230
ハンズフリー画面の設定	241
使用するBluetooth機器の変更	218
登録したBluetooth機器の情報の表示／変更	218
本機のBluetooth設定の表示／変更	220

手動で接続する

携帯電話との自動接続に失敗した場合や自動接続を【しない】に設定（→P.216）したときは手動で接続してください。

1 MENU ⇨ 情報 ⇨ 電話 ⇨ Bluetooth機器を接続可能な状態にする ⇨ 接続 ⇨ 接続したいBluetooth機器名称を選択 ⇨ 全接続 、または 電話機の接続

● ／ にタッチすると、電話機の接続ができます。

● 他のBluetooth機器が接続されている場合は、メッセージの指示にしたがって、接続を切ってください。

■ **次の手順でも操作できます**

MENU → 設定・編集 → 「Bluetooth」 → 機器登録・接続 → Bluetooth機器を接続可能な状態にする → 接続したいBluetooth機器名称を選択 → 全接続 、または 電話機の接続

ワンポイント

●携帯電話の状態によっては、一度でBluetooth接続できない場合があります。その場合、しばらくしてからもう一度接続操作をしてください。

電話帳データについて

本機の電話帳データは携帯電話１台につき、2500名分のデータを登録できます。

ワンポイント

●本機と接続している携帯電話の電話帳のみ表示できます。

●電話帳は、１名につき最大３件の電話番号が登録できます。

携帯電話の電話帳データ転送について

携帯電話に登録されている電話番号（電話帳データ）を、本機に転送できます。

チェック

●転送する場合はバッテリー上がり防止のため、エンジンをかけた状態で行ってください。

ワンポイント

●電話帳データを転送するときは、次のような制限があります。

・１名につき、４件以上の電話番号を登録していると、本機の電話帳に同じ名称で３件ずつに分けて登録されます。

・名称・名称読みは機種によって、転送されないことや、正しく表示されないことがあります。

・シークレットメモリは転送されませんが、機種によっては転送される場合があります。

・携帯電話に登録しているグループ名は転送されません。

・本機に表示される電話帳アイコンは携帯電話の情報を基に自動で付与されます。
携帯電話の機種や使用環境によっては、すべて同じアイコンが表示されることがあります。

・機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワードの入力を求められることがあります。この場合、認証パスワードは“1234”を入力してください。

●一括転送可能な機種は、次のような特徴があります。

・転送には10分程度かかる場合があります。

・電話帳データ転送画面が表示されている場合でも他画面に切り替えることができます。この場合、電話帳データ転送は継続されます。

●電話帳データ転送中は、次のように対応します。

・転送中に着信があると、着信が優先されることがあり、その場合は携帯電話本体での通話に切り替わります。通話転送後、もう一度転送操作をやり直してください。

・電話帳データ転送中に発信した場合、転送を継続して発信を中止します。

・電話帳データ転送中にエンジンスイッチをOFF（LOCK）にした場合、転送は中止されます。
この場合は、エンジンスイッチをONにしたあと、もう一度転送してください。

●転送が中断されたときは、転送が完了したデータのみ保存されます。

●本機の電話帳データは携帯電話に転送できません。

●電話帳データ転送中は、Bluetooth Audioの接続が切れることがあります。この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります。）

携帯電話の対応プロファイルを確認する

電話帳の転送・編集方法等は、ご使用の携帯電話のプロファイルが「PBAP」に対応か非対応かによって、操作方法が異なります。

まずはじめに、ご使用の携帯電話のプロファイルをご確認（→P.218）のうえ、対応している方法で操作してください。

電話帳／履歴データの転送方法を設定する

PBAPに対応した携帯電話で、電話帳自動転送や履歴自動転送を【する】に設定した場合、エンジンスイッチをACC、またはON にし、初めて携帯電話がBluetooth 接続されたときや使用する携帯電話を切り替えて、Bluetooth接続されたときに、携帯電話の電話帳/履歴データを自動で転送します。

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ 電話 ⇨ 電話帳設定 ⇨ 電話帳編集 ⇨ 転送 ⇨ 電話帳自動転送 ⇨ する 、または しない ⇨ 履歴自動転送 ⇨ する 、または しない

携帯電話の電話帳データを転送する

PBAPに対応している携帯電話の場合

■ 自動で転送する

電話帳自動転送を【する】に設定（→P.226）した場合、初めて携帯電話がBluetooth接続されたときや、使用する携帯電話を切り替えてBluetooth接続されたときに、携帯電話の電話帳データを自動で転送します。

転送失敗画面が表示されたら次の手順で再度転送してください。

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ 電話 ⇨ 電話帳設定 ⇨ 電話帳編集 ⇨ 転送 ⇨ 電話帳転送

転送を中止する

● スマートフォン連携を【する】に設定（→P.258）している場合、メッセージが表示されます。はい にタッチすると電話帳データを転送します。

> **■ 次の手順でも操作できます**
>
> MENU → 情報 → 電話 → 電話帳 → 機能 → 転送 → 電話帳転送 →（はい）

■ 手動で転送する

電話帳自動転送を【しない】に設定（→P.226）した場合、手動で電話帳データを転送できます。

チェック

●PBAPとOPPの両方に対応している電話機のみ手動で転送できます。

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ 電話 ⇨ 電話帳設定 ⇨ 電話帳編集 ⇨ 転送 ⇨ 電話帳転送 ⇨ 上書き、または 追加

● 上書き ：現在のデータに上書き

● 追加 ：現在のデータに追加

● スマートフォン連携を【する】に設定（→P.258）している場合、メッセージが表示されます。はい にタッチすると電話帳データを転送します。

2 携帯電話を操作して電話帳データを転送 ⇨ 完了

転送を中止する

● 携帯電話側の操作は、電話帳データ転送画面表示中に行ってください。

■ **次の手順でも操作できます**

MENU → 情報 → 電話 → 電話帳 → 機能 → 転送 → 電話帳転送 → 上書き 、または 追加 → （ はい ）→携帯電話を操作して電話帳データを転送→ 完了

OPPに対応している携帯電話の場合

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ 電話 ⇨ 電話帳設定 ⇨ 電話帳編集 ⇨ 転送

● すでに電話帳データがある場合は、上書き 、または 追加 にタッチ。

・ 上書き ：現在のデータに上書き

・ 追加 ：現在のデータに追加

● スマートフォン連携を【する】に設定（→P.258）している場合、メッセージが表示されます。はい にタッチすると電話帳データを転送します。

2 携帯電話を操作して電話帳データを転送 ⇨ 完了

転送を中止する

● 携帯電話側の操作は、電話帳データ転送画面表示中に行ってください。

■ **次の手順でも操作できます（電話帳登録済みの場合のみ）**

● MENU → 情報 → 電話 → 電話帳 → 機能 → 転送 → 上書き 、または 追加 → （ はい ）→携帯電話を操作して電話帳データを転送→ 完了

● MENU → 情報 → 電話 → 電話帳 → 転送 → 上書き 、または 追加 → （ はい ）→携帯電話を操作して電話帳データを転送→ 完了

電話帳データを入力する

本機の電話帳に直接データを入力して電話帳を作ることができます。

- 1名につき、次の項目を登録できます。
  - ・名称
  - ・名称読み
  - ・電話番号（最大3件）
  - ・アイコン（各電話番号にそれぞれ1つ）

チェック

●PBAPに対応した携帯電話は、電話帳データを入力できません。

1 MENU ⇨ 設定·編集 ⇨ 電話 ⇨ 電話帳設定 ⇨ 電話帳編集 ⇨ 新規追加 ⇨ 名称を入力 ⇨ 完了

- 文字の入力方法については **「文字を入力する」** （→P.30）をご覧ください。

2 名称読みを入力 ⇨ 完了

3 電話番号を入力 ⇨ 完了 ⇨ アイコンを選択 ⇨ いいえ

- 電話番号を追加する場合は、はい にタッチ。（手順3へ）

履歴内容画面から登録する

1 MENU ⇨ 情報 ⇨ 電話 ⇨ 履歴 ⇨ 登録したい履歴を選択 ⇨ 新規登録 、または 追加登録

- 新規登録 ：電話帳に新規データを追加
- 追加登録 ：電話帳リスト画面から追加する電話帳を選択

電話帳データを編集する

本機の電話帳に登録済みのデータを編集できます。

チェック

●PBAPに対応した携帯電話は、電話帳データを修正できません。

名称／名称読みを修正する

1 MENU ⇨ 設定・編集 ⇨ 「電話」 ⇨ 電話帳設定 ⇨ 電話帳編集 ⇨ 編集 ⇨ 修正するデータを選択 ⇨ 名称 、または 名称読み ⇨ 文字を入力 ⇨ 完了

● 文字の入力方法については**「文字を入力する」**(→P.30)をご覧ください。

電話番号／アイコンを修正する

1名につき電話番号とアイコンを最大3件登録できます。

1 MENU ⇨ 設定・編集 ⇨ 「電話」 ⇨ 電話帳設定 ⇨ 電話帳編集 ⇨ 編集 ⇨ 修正するデータを選択 ⇨ 電話番号1 ／ 電話番号2 ／ 電話番号3 のいずれかを選択 ⇨ 電話番号を入力 ⇨ 完了 ⇨ アイコンを選択 ⇨ 完了

電話帳データを削除する

PBAPに対応した携帯電話で、電話帳データを削除する場合は事前に「電話帳自動転送」を【しない】に設定してください。(→P.226)

1 MENU ⇨ 設定・編集 ⇨ 「電話」 ⇨ 電話帳設定 ⇨ 電話帳編集 ⇨ 削除 ⇨ 削除したいデータを選択 ⇨ 削除 ⇨ はい

● 全選択 → 削除 の順にタッチすると、すべての電話帳データを削除します。

● 全選択解除 ：選択を解除します。

携帯電話の履歴データを転送する

PBAPに対応した携帯電話で、履歴自動転送を【する】に設定（→P.226）した場合、エンジンスイッチをACC、またはONにし、初めて携帯電話がBluetooth接続されたときや使用する携帯電話を切り替えて、Bluetooth接続されたときに、携帯電話の電話帳データを自動で転送します。

転送失敗画面が表示されたら操作をやり直してください。

履歴データを削除する

PBAPに対応した携帯電話で、履歴データを削除する場合は、事前に履歴自動転送を【しない】に設定してください（→P.226）。

1 MENU ⇨ 設定・編集 ⇨ 「電話」 ⇨ 電話帳設定 ⇨ 履歴削除 ⇨ 全履歴削除 ／ 着信履歴削除 ／ 発信履歴削除 のいずれかを選択 ⇨ 削除したいデータを選択 ⇨ 削除 ⇨ はい

- 全選択 → 削除 の順にタッチすると、すべての電話帳データを削除します。
- 全選択解除 ：選択を解除します。

■ **次の手順でも操作できます**

- MENU → 情報 → 電話 → 履歴 → 「全履歴」 ／ 「着信履歴」 ／ 「発信履歴」 のいずれかを選択→ 削除 → 削除したいデータを選択 → 削除 → はい
- MENU → 情報 → 電話 → 履歴 → 削除したいデータを選択 → 削除 → はい

電話をかける

チェック

●あらかじめ本機に携帯電話を登録（→P.215）、接続（→P.217）をする必要があります。

1 MENU ⇨ 情報 ⇨ 電話

◆ダイヤル画面

● 次の方法で電話をかけることができます。

スイッチ	機能
ダイヤル	電話番号を入力して電話をかける（→P.233）
電話帳	登録した電話帳から電話をかける（→P.233）
ワンタッチダイヤル	ワンタッチダイヤルから電話をかける（→P.233）
履歴	発信/着信履歴から電話をかける（→P.234）

ワンポイント

●電話をかけるとき、次の点に注意してください。

・走行中は安全のため画面に電話番号などが表示されず、一部の操作ができなくなります。

・電話をかけると同時に着信があると、画面表示と携帯電話の動作が異なることがあります。

●携帯電話の機種によっては、次のようなことがあります。

・発信音や呼出音が鳴らない

・発信中画面が表示されず、相手が電話に出る前に通話中画面が表示される

・通信事業者のサービスにより発信中画面で10キー入力する必要がある場合、10キー入力をしてもトーン信号を送れない

・Bluetooth Audio再生中に発信すると、発信中画面の表示や発信音が遅れる

●携帯電話を直接操作して発信することもできます。

●携帯電話本体から発信し、通話しているときに、本機に接続された場合、発信履歴には記憶されません。

●携帯電話本体から発信した場合、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の説明書でご確認ください。

●携帯電話の通話から本機の通話に切り替えたい場合は通話転送の操作をしてください。（→P.238）

ダイヤル発信する

1 MENU ⇨ 情報 ⇨ 電話 ⇨ 電話番号を入力 ⇨ ☎

電話帳から発信する

チェック

●あらかじめ本機に電話帳を登録する必要があります。(→P.226)

1 MENU ⇨ 情報 ⇨ 電話 ⇨ 電話帳

● 電話帳データが登録されていない場合はメッセージが表示されます。
PBAPに対応している携帯電話の場合、はい にタッチすると電話帳転送を開始します。(→P.227)
PBAPに対応していない携帯電話の場合、転送 、または 編集 にタッチして電話帳を登録してください。(→P.228、229)

2 通話相手を選択 ⇨ 電話番号を選択 ⇨ ☎

ワンタッチ発信する

チェック

●あらかじめ本機にワンタッチダイヤルを登録する必要があります。(→P.240)

1 MENU ⇨ 情報 ⇨ 電話 ⇨ ワンタッチダイヤル ⇨ 電話番号を選択

ページを切り替え

履歴から発信する

過去に発信した電話番号や着信した電話番号の履歴から電話をかけることができます。

1 MENU ⇨ 情報 ⇨ 電話 ⇨ 履歴 ⇨ 通話相手を選択

2 にタッチ

ワンポイント

●発信履歴や着信履歴が10件を超えると、古い履歴から自動で削除されます。

●発信履歴は、次のように記憶されます。

・同一電話番号に連続で発信した場合は、最新の発信履歴のみ記憶されます。

●着信履歴は、次のように記憶されます。

・本機の電話帳に登録してある電話番号から着信した場合、そのデータに名称情報・画像情報※があると、名称や画像も記憶されます。
※PBAPに対応した携帯電話のみ

・同一電話番号から着信した場合は、すべて記憶されます。

・不在着信および着信拒否も記憶されます。

・相手先電話番号の情報がない場合は、「通知不可」と記憶されます。

●履歴を削除することもできます。(→P.231)

電話を切る

1 にタッチ

● 電話を切ると画面が解除されます。

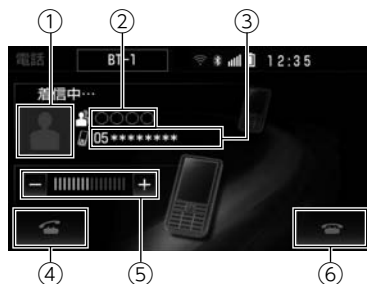
電話を受ける

1 にタッチ

ワンポイント

●ハンズフリーを使用する場合は、次のようなことがあります。
- ・ドライブモードなど、携帯電話の設定によっては、着信できないことがあります。
- ・携帯電話をマナーモードや着信音消去に設定すると、着信音が聞こえないことがあります。
- ・着信音は、本機のスピーカや、携帯電話から聞こえるなど機種によって異なります。
- ・着信音は携帯電話で設定している着信音が鳴りますが、機種によっては、本機に登録されている着信音が鳴ることや着信音が聞こえないことがあります。
- ・機種によっては、着信時に相手の電話番号が表示されないことがあります。
- ・携帯電話本体を直接操作して電話を受けたり、携帯電話を自動着信応答に設定した場合は、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。

●Bluetooth Audio再生中に着信があると、着信中画面の表示や着信音が遅れることがあります。

着信中画面を操作する

◆着信中画面（全画面）

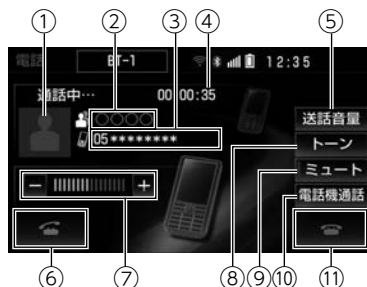
◆着信中画面（簡易画面）※1

番号	スイッチ／表示	機能
①	写真データ	アドレス帳に登録されている写真データを表示※2
②	着信相手の名前	アドレス帳に登録されている名称を表示
③	着信相手の電話番号	着信相手の電話番号を表示
④		・ 電話を受ける ・ 通話中画面を表示（→P.237）
⑤	− 、＋	着信音の音量を調整
⑥		・ 応答保留にする（応答保留中にもう一度タッチすると電話を切る） ・ タッチし続けると着信拒否する※3 電話を切る 応答保留を解除して、電話を受ける

※1　着信割り込み表示を【簡易】に設定（→P.241）している場合に表示されます。
※2　PBAPに対応した携帯電話のみ登録できます。
※3　携帯電話が着信拒否に対応している場合のみ使用できます。着信拒否すると、着信中画面が解除されます。

ワンポイント

- 携帯電話の機種によっては、応答保留できないことがあります。
- 携帯電話本体で応答保留にしたり、応答保留を解除すると、携帯電話本体での通話に切り替わることがあります。
- 着信音の音量は、VOL ＋ 、 - VOL やステアリングスイッチ（→P.281）でも調整できます。

通話中画面を操作する

◆通話中画面(全画面)

◆通話中画面(簡易画面)※1

ワンポイント

- 通話中にオーディオ操作画面に切り替えた場合、メッセージが表示され、オーディオの操作はできません。
- 通話相手から聞こえる音量は、VOL +、- VOL やステアリングスイッチ (→P.281) でも調整できます。

番号	スイッチ／表示	機能
①	写真データ	アドレス帳に登録されている写真データを表示※2
②	通話相手の名前	アドレス帳に登録されている名称を表示
③	通話相手の電話番号	通話相手の電話番号を表示
④	通話時間※3	通話時間を表示
⑤	送話音量	通話相手に聞こえる音量を調整
⑥	(受話器ボタン)	割り込み通話中、通話相手を切り替え（→P.238)
⑦	－、＋	通話相手から聞こえる音量を調整
⑧	トーン	通話中に10 キー入力が必要な場合に10 キーを表示 番号を入力 電話を切る
⑨	ミュート	・ お客様の音声を通話相手に聞こえないようにする※4 (通話相手の音声は聞こえます。) ・ ミュート状態の場合は作動表示灯が点灯
⑩	電話機通話／ハンズフリー通話	本機と携帯電話間で通話を転送（→P.238)
⑪	(受話器ボタン)	通話を終了

※1　着信割り込み表示を【簡易】に設定（→P.241）している場合に表示されます。
※2　PBAPに対応した携帯電話のみ登録できます。
※3　画面に表示される通話時間は、通話時間の目安です。そのため、携帯電話の表示と一致しないことがあります。
※4　携帯電話の機種により、送話音をミュート（消音）できないことがあります。

通話を転送する

本機と携帯電話の間で、通話を転送できます。

チェック

●走行中は、ハンズフリーの通話から携帯電話本体の通話に切り替えることはできません。

1 通話中画面で、電話機通話 （ハンズフリー通話）にタッチ

● 転送に失敗して音声が聞こえなくなった場合、もう一度 電話機通話 （ハンズフリー通話）にタッチ。

ワンポイント

●発信中、通話中、着信中、応答保留中に携帯電話本体でも通話を転送できます。
●携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えると、ハンズフリー画面が表示され、タッチスイッチで操作できます。
●携帯電話の機種により、転送方法や動作が異なったり、転送ができない機種もあります。

割込通話を操作する

通話中に第三者から着信が入った場合、割込通話（キャッチホン）で両者と通話できます。

チェック

●電話会社と割込通話の契約をしている必要があります。
●携帯電話がHFP Ver. 1.5プロファイルに対応していない場合、割込通話はできません。

割込通話を受ける

通話中に第三者から着信が入った場合、次の画面が表示されます。

1 ☎ にタッチ

● はじめに通話していた相手は保留になります。
● ☎ ：タッチするごとに、通話相手を切り替え

割込通話を拒否する

1 ☎ にタッチ

ワンポイント

● 携帯電話の機種により、両者とも通話が切れる場合があります。

音量の設定をする

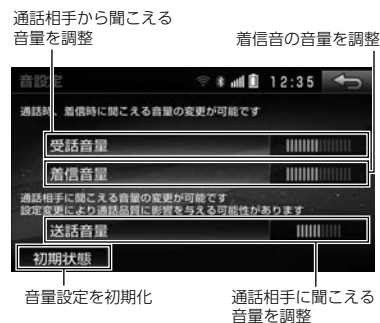
受話音量や送話音量、着信音量を設定できます。

1 MENU ⇨ 設定·編集 ⇨ 電話 ⇨ 音量設定 ⇨ 各項目（受話音量 ／ 着信音量 ／ 送話音量）にタッチし、＋ 、または － にタッチして調整する

通話相手から聞こえる音量を調整

着信音の音量を調整

音量設定を初期化

通話相手に聞こえる音量を調整

ワンポイント

● 通話中、車内のマイクが通話相手の声を拾うと、相手にエコーが聞こえることがあります。その場合は、受話音量を調整してください。

ワンタッチダイヤルを登録する

よく利用する電話番号をワンタッチダイヤルに登録すると、走行中もワンタッチで電話をかけることができます。
ワンタッチダイヤルは18件まで登録できます。

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ 電話 ⇨ 電話帳設定 ⇨ ワンタッチダイヤル編集 ⇨ 登録 ⇨ 登録したいデータを選択 ⇨ 登録したい電話番号を選択 ⇨ 登録したいスイッチを選択

■ **次の手順でも操作できます**

- MENU → 情報 → 電話 → ワンタッチダイヤル → 機能 → 登録 → 登録したいデータにタッチ→登録したい電話番号にタッチ→登録したいスイッチにタッチ
- MENU → 情報 → 電話 → ワンタッチダイヤル → 未登録 → はい → 登録したいデータにタッチ→登録したい電話番号にタッチ

ワンポイント

- 登録済みのスイッチにタッチした場合は確認のメッセージが表示され、はい にタッチするとデータが上書きされます。

ワンタッチダイヤルを削除する

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ 電話 ⇨ 電話帳設定 ⇨ ワンタッチダイヤル編集 ⇨ 削除 ⇨ 削除したいワンタッチダイヤルを選択 ⇨ 削除 ⇨ はい

- 全選択 → 削除 → はい の順にタッチすると、すべてのワンタッチダイヤルを削除します。

ハンズフリー画面の設定を変更する

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ 電話 ⇨ 電話詳細設定 ⇨ 各項目を設定する

設定を初期化

● 次の項目を設定できます。

項目	機能
着信割込み表示	電話がかかってきたときの画面表示方法を設定 ◆ 全画面　◆ 簡易画面
電話帳転送確認表示	PBAPに対応している携帯電話とBluetooth接続後、電話帳データの自動転送が完了したときのメッセージを表示 する／しないを設定※
履歴の転送確認表示	PBAPに対応している携帯電話とBluetooth接続後、履歴データの自動転送が完了したときのメッセージを表示する／しないを設定※
着信時の画像表示	PBAPに対応している携帯電話で電話帳データに画像が転送された場合、着信画面に画像を表示する／しないを設定 画像データ
画像回転	PBAPに対応している携帯電話で着信時の画像表示を【する】に設定した場合、表示される画像の方向を設定 画像の向きを選択

※ 自動転送については **「電話帳／履歴データの転送方法を設定する」**（→P.226）をご覧ください。

車を手放す場合

ハンズフリーを使用すると、多数の個人情報が登録されます。車を手放す場合は、**個人情報の初期化**を行ってください。(→P.59)

なお、個人情報の初期化を行うと、元の状態に戻すことはできませんので、ご注意ください。ハンズフリーでは、次の情報が初期化されます。

- 電話帳データ
- 発信履歴および着信履歴
- ワンタッチダイヤル
- 携帯電話の登録情報
- ハンズフリー関連の設定・編集項目

Bluetooth® Audioについて

動作確認済のBluetooth機器を接続すると、機器に収録している音楽を再生できます。
ただし、機器により、一部機能が制限される場合があります。

チェック

- 使用できるBluetooth機器の仕様は、**「Bluetooth®機器」**（→P.337）をご覧ください。
- Bluetooth Audioを使うためには、機器の登録が必要です。（→P.215）

手動で接続する

本機から接続する

接続方法を【車載機から】に設定した場合（→P.218）、本機を操作して接続します。

1. MENU ⇨ **AV** ⇨ **Bluetooth Audio** ⇨ **接続** ⇨ Bluetooth機器を接続可能な状態にする ⇨ 接続したいBluetooth機器名称を選択 ⇨ **全接続** 、または **ポータブル機の接続**

- ♪（音符マーク灰色）にタッチすると、ポータブル機の接続ができます。
- 他のBluetooth機器が接続されている場合は、メッセージにしたがって、接続を切ってください。

■ **次の手順でも操作できます**

MENU → **設定・編集** → Bluetooth → **機器登録・接続** → Bluetooth機器を接続可能な状態にする → 接続したいBluetooth機器名称を選択 → **全接続** 、または **ポータブル機の接続**

Bluetooth®機器から接続する

接続方法を【ポータブル機から】に設定した場合（→P.218）、Bluetooth機器を操作して接続します。

1 MENU ⇨ AV ⇨ Bluetooth Audio ⇨ 接続 ⇨ Bluetooth機器を接続可能な状態にする ⇨ 接続したいBluetooth機器名称を選択 ⇨ 全接続 、または ポータブル機の接続 を選択

- （音符マーク灰色）にタッチすると、ポータブル機の接続ができます。
- 他のBluetooth機器が接続されている場合は、メッセージの指示にしたがって、接続を切ってください。

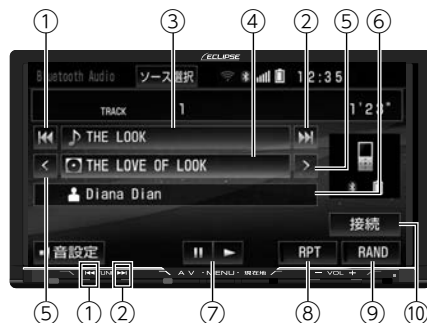
2 Bluetooth機器を操作して、接続する

- Bluetooth機器の操作は機器接続中画面の表示中におこなってください。

■ **次の手順でも操作できます**

MENU → 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → Bluetooth機器を接続可能な状態にする → 接続したいBluetooth機器名称を選択 → 全接続 、または ポータブル機の接続 → Bluetooth機器を操作して接続

音楽を聞く

Bluetooth Audio操作画面を表示（→P.130）

◆Bluetooth Audio操作画面

番号	スイッチ	機能
①	⏮ ⏮	・ 曲を頭出し ・ 連続して押すと、前の曲に切り替え ・ 押し続けると、曲を早戻し
②	⏭ ⏭	・ 次の曲に切り替え ・ タッチし（押し）続けると、曲を早送り
③	曲名	曲リストを表示 ページを切り替え トラックリスト 12:35 1 THE LOOK 2 Wonder 3 I Remember 4 Cry me 5 CRUCIAL 再生したい曲にタッチ
④	アルバム名	アルバムリストを表示 ページを切り替え リストから選択する 12:35 1 THE LOVE OF LOOK 2 LOVE Letter 3 THE LOOK 4 Cry me 5 CRUCIAL アルバムにタッチすると、曲リストを表示 ▶ ページを切り替え リストから選択する 12:35 1 THE LOOK 2 Wonder 3 I Remember 4 Cry me 5 CRUCIAL 再生したい曲にタッチ
⑤	<、>	アルバムを切り替え
⑥	アーティスト名	アーティスト名を表示

番号	スイッチ	機能
⑦	II	曲の再生を一時停止
	▶	曲を再生
⑧	RPT	タッチするごとに、リピート再生を次のように変更 再生中の曲をリピート再生→再生中のアルバム内の全曲をリピート再生→リピート再生を解除
⑨	RAND	タッチするごとに、ランダム再生を次のように変更 再生中のアルバム内の全曲をランダム再生→全曲をランダム再生→ランダム再生を解除
⑩	接続	Bluetooth機器がBluetooth接続されていない、またはBluetooth機器を変更する場合、手動で接続（→P.243）

ワンポイント

- Bluetooth機器によっては、自動で再生が開始されない場合があります。この場合、機器本体を操作すると再生が開始されることがあります。
- Bluetooth機器によっては機能に対応していないため、操作できない場合があります。
- Bluetooth機器に収録されている音楽ファイル数、ソフトウェアバージョンによっては、操作画面による操作を行っても、すぐに反応しなかったり、正しく動作しない場合があります。

DSモードについて

ニンテンドーDS®ソフト「クルマでDS」※を接続すると、ニンテンドーDSと連動したゲームをお楽しみいただけます。
ゲームの内容や操作方法については、DSソフトの説明書をご覧ください。
※ 別途お買い求めください。

警告

- 安全のため、運転手は走行中にDSを操作しないでください。
- 走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。また、運転中の操作は処罰の対象になります。
- 運転手がDSを操作する時は車を安全な場所に停車させてから操作してください。その際は禁止された場所に駐停車しないでください。
- 安全のため、車を乗り降りする時はDSの電源を切るか、DSを閉じてください。また、まわりに注意して乗り降りしてください。
- 万一、ゲームが運転の妨げになる場合は、ゲームを停止する、または安全な場所に停車してナビの音量を下げてください。DSを閉じるとゲームを停止できます。
- 夜間の車内などでは、DSの画面が明るく感じることがありますので、輝度を調整してください。
- 乗物酔いの際は使用を中止してください。

注意

- DS本体、またはDSソフトを車内に放置しないでください。
  炎天下など、車内が高温となり、故障の原因となります。

チェック

- スマートフォン連携を【する】に設定（→P.258）していると、DSモードは使用できません。

DSを登録する

DSモードを使用するには、DSソフトを本機に登録します。

チェック

- DSソフトをすでに登録していると、別のソフトが登録できません。
  別のソフトを使用するときは、すでに登録しているDSソフトを削除してから別のソフトを登録してください。
  登録の削除については、**「DSの登録を削除する」**（→P.252）をご覧ください。

1 MENU ⇨ AV ⇨ DS ⇨ 登録 ⇨ はい

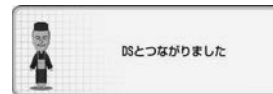
- はい にタッチすると、メッセージの内容に同意されたものとみなし、本機能を使用できます。
- 他のBluetooth機器が接続されている場合は、メッセージの指示にしたがって、接続を切ってください。
- 本機が電話帳データ転送中にDSを登録すると、メッセージが表示されます。OK にタッチして転送終了後にもう一度登録してください。

2 登録待ち受け画面でDSソフトの説明にしたがって、DS本体を操作する。

登録を中止

- DS本体の操作は、登録待ち受け画面表示中に行ってください。
- DS本体に複数の機器アドレスが表示されている場合、本機の画面に表示されている機器アドレスを選択してください。

■ 接続が完了した場合

メッセージが表示され、DSの音声が車のスピーカから出たら接続完了です。

■ 接続に失敗した場合

“DSの接続に失敗しました” のメッセージが表示されます。
はじめから操作をやり直してください。

DSを接続する

ゲームをはじめるには、本機とDS本体を操作してDSを接続してください。ゲームを中断したり、他のオーディオソースに切り替えると、DSとの接続が切れます。ゲームを再開する場合は、もう一度接続してください。

チェック

● 本機に登録しているDSソフトのみ接続できます。別のDSソフトを使用する場合は、すでに登録しているDSソフトを削除してから登録し直してください。
登録の削除については、**「DSの登録を削除する」**（→P.252）をご覧ください。

1 MENU ⇨ AV ⇨ DS ⇨ 接続

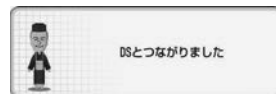
● 他のBluetooth機器を接続している場合は画面の指示にしたがい、スマートフォン連携を【しない】（→P.258）に設定してください。

● 本機が電話帳データ転送中にDSを接続すると、メッセージが表示されます。 OK にタッチして転送終了後にもう一度接続してください。

2 接続待ち受け画面でDSソフトの説明にしたがって、DS本体を操作する。

接続を中止

■ 接続が完了した場合

メッセージが表示され、DSの音声が車のスピーカから出たら接続完了です。

■ 接続に失敗した場合

“DSの接続に失敗しました” のメッセージが表示されます。はじめから操作をやり直してください。

ワンポイント

● DSを使用中に他のBluetooth 機器を使用する場合、確認のメッセージが表示されます。DSとの通信を切る場合、 はい にタッチしてください。

■ DSの自動接続

エンジンスイッチをOFF（LOCK）にする前にDSモードを使用していた場合、もう一度エンジンスイッチをACC、またはONにしてDS本体で接続操作をすると、自動で接続されます。

ワンポイント

● スマートフォン連携が有効になっている場合、スマートフォンの接続が優先され、DSが自動で接続されない場合があります。スマートフォン連携を【しない】に設定してください。（→P.258）

DSで目的地を設定する

DSを使って目的地や経由地を設定できます。設定すると、本機にメッセージが表示されます。操作方法は、DSソフトの説明書をご覧ください。

- 案内開始 ：設定した目的地や経由地の案内を始める

DSとの通信を切る

1 MENU ⇨ AV ⇨ DS ⇨ 切断

- オーディオソースを切り替えて通信を切ることもできます。

DSの登録を削除する

1 MENU ⇨ AV ⇨ DS ⇨ 設定 ⇨ 削除 ⇨ はい

- DSを使用している場合は、確認のメッセージが表示されます。DSの登録を削除する場合、はい にタッチ。

ワンポイント

- DSの登録を削除しても、DSソフトに登録されている本機の情報は削除されません。

スマートフォン連携について

スマートフォン連携機能とは、対応のスマートフォンにアプリをインストールすることで、本機とスマートフォンを連携させることができる機能です。

使用できるアプリ・接続方法については、次をご覧ください。

＜Wi-Fi＞

テザリングに対応しているWi-Fi通信機器を使用して接続（→P.254）

＜MirrorLink™＞

USB接続コードを使用して接続（→P.255）

＜Bluetooth＞

Bluetoothの無線通信機能を使用して接続（→P.256）

チェック

●MirrorLink™を使用する場合は、別売の［USB接続コード］※をお買い求めください。

※ AVN-SZX04i、AVN-ZX04iは同梱されています。

Wi-Fi接続でアプリを利用する

Wi-Fi接続に対応したアプリを本機で利用することができます。

事前に「App Store」、または「Google Play」にて対応アプリをスマートフォンにインストールしてください。

Wi-Fi接続で利用できるアプリの詳細は、次のサイトをご確認ください。

- パソコンから確認する場合
  ＜直接入力用アドレス＞
  http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/pc/manual/index.html
- スマートフォンから確認する場合
  ＜2次元バーコード＞

＜直接入力用アドレス＞
http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/smapho/manual/index.html

接続中のアプリを表示する

チェック

●Wi-Fiの接続方法については**「Wi-Fi連携」**（→P.260）をご覧ください。

1 MENU ⇨ 設定・編集 ⇨ Wi-Fi ⇨ 接続中アプリ

- 接続中のアプリ名が表示されます。

MirrorLink™接続でアプリを利用する

別売の「USB接続コード」に接続すると、スマートフォンの画面や音声をナビで表示・再生できます。

また、ナビ画面を操作することで、スマートフォンを操作できます。

事前に「Google Play」にて対応アプリをスマートフォンにインストールしてください。

ミラーリンクに対応したアプリの詳細は次のサイトをご確認ください。

- パソコンから確認する場合
  ＜直接入力用アドレス＞
  http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/pc/manual/index.html
- スマートフォンから確認する場合
  ＜2次元バーコード＞

＜直接入力用アドレス＞
http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/smapho/manual/index.html

接続中のアプリを表示する

チェック

- 別売の「USB接続コード」※をお買い求めください。
  ※ AVN-SZX04i、AVN-ZX04iは同梱されています。
- 機種によってはUSBの変換ケーブルを使用してください。
- ミラーリンクを使用するには、MirrorLink™対応のスマートフォンが必要です。
  動作確認済のスマートフォンの機種については、ECLIPSEホームページをご覧ください。「お客様サポート」→「MirrorLink適合情報」（http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/）をご覧ください。
- スマートフォンの機種により、操作スイッチが表示されない場合があります。

1 スマートフォンを接続する。

2 MENU ⇨ 情報 ⇨ MirrorLink ⇨ アプリケーションを選択

- ◀、▶ ：ページの切り替え
- WIDE にタッチすると、画面サイズを切り替えることができます(→P.48)

3 アプリケーションを操作する

● **アプリリスト** にタッチすると、アプリケーションリスト画面に戻ります。

● アプリケーションにより、操作スイッチが表示されない場合があります。

ワンポイント

●スマートフォンを接続しても、自動でミラーリンクに切り替わりません。

●ミラーリンク使用中に接続する機器を抜き差しすると、雑音が出ることがあります。

●アプリ画面を終了する場合は、ご使用のアプリを終了させてください。

●アプリ連携機能では、シングルタップとダブルタップの操作に対応しています。

Bluetooth®接続でアプリを利用する

Bluetooth接続に対応したアプリを本機で利用することができます。

Bluetooth接続でスマートフォン連携を利用するためには、次のアプリをダウンロードしてください。

＜NaviCon＞

● NaviConでは次の操作ができます。

・ 地図の移動

・ 地図の縮尺移動

・ 目的地の設定

● NaviConアプリは次のURLからダウンロードできます。

＜2次元バーコード＞

＜直接入力用アドレス＞
http://www.denso.co.jp/ja/products/aftermarket/info/navicon/index.html

● スマートフォンの設定や利用方法については、「App Store」、または「Google Play」のヘルプをご覧ください。

● スマートフォンアプリ単体に関するお問い合わせについては、アプリ内のお問い合わせフォームからお尋ねください。

チェック

●使用できるBluetooth機器の仕様は、「Bluetooth®機器」（→P.337）をご覧ください。
●スマートフォン連携機能を使うためには、スマートフォンの登録が必要です。（→P.215）
●DSモード（→P.248）と同時に使用できません。
●iPodモード中（→P.195）のiPhoneでは、スマートフォン連携を使用できません。

ワンポイント

●ナビ画面の状態によっては、スマートフォンアプリと連携していても、動作しない場合があります。
●スマートフォンの地図操作やアプリケーションの操作については、アプリケーションのヘルプをご覧ください。

手動で接続する（Bluetooth®接続）

スマートフォンとの自動接続に失敗した場合や自動接続の設定（→P.216）を【しない】に設定した場合、手動でBluetooth接続してください。

1 MENU ⇨ 設定·編集 ⇨ Bluetooth ⇨ 機器登録·接続 ⇨ スマートフォンをBluetooth接続が可能な状態にする

2 接続したい機器名称を選択 ⇨ 全接続 、または 電話機の接続

● 他のBluetooth機器が接続されている場合は、メッセージにしたがって、接続を切ってください。

● 接続したい機器名称の にタッチしても接続できます。

ワンポイント

●スマートフォンの状態によっては、一度でBluetooth接続できない場合があります。その場合、しばらくしてからもう一度接続してください。

■ **次の手順でも操作できます**

MENU → 情報 → 電話 → スマートフォンを接続可能な状態にする → 接続 → 接続したい機器名称の

スマートフォン連携を利用する（Bluetooth®接続）

登録したスマートフォンをスマートフォン連携機能で利用できるように設定します。

1. MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ Bluetooth ⇨ 機器登録･接続

2. 使用する機器名称を選択 ⇨ 機器詳細情報 ⇨ スマートフォン連携 ⇨ する ⇨ はい

● DSが接続中の場合は、メッセージが表示されます。はい にタッチすると、DSの接続が切れます。

NaviConアプリを利用する

1. スマートフォンを操作して、NaviConアプリを起動する。

● NaviConが起動し、接続が完了すると、接続インジケータが「オンライン」と表示され、スマートフォンと本機の画面上に同じ位置の地図が表示されます。

ワンポイント

●本アプリは、株式会社デンソーが提供します。

アプリの音量を設定する

1 MENU ⇨ 設定・編集 ⇨ 「スマホ連携」 ⇨ 音量設定 ⇨ 各項目を設定

● 次の項目を設定できます

番号	項目	機能
①	音量	スマートフォンアプリの音声案内の音量を調整
②	高速時の自動音量切替	車速が約80km/h以上になった場合、設定した音量が自動で1段階上がるように設定 ・ タッチするごとにON/OFFを切り替え ・ 車速が約70km/h以下になると、もとの音量に戻る

Wi-Fi連携について

Wi-Fi連携とは、テザリングに対応しているスマートフォンを使用してWi-Fi接続することにより、本機とスマートフォンを連携できる機能です。

Wi-Fi連携では、次の機能を利用できます。

＜ソフトウェアアップデート＞
ソフトウェアのバージョンアップデータをダウンロード（→P.346）

＜スマートフォン連携＞
スマートフォンアプリと本機を連携（→P.254）

＜Wi-Fiサービス機能＞
次のデータをダウンロードして、本機で使用

・ 追加データ：本機に登録されていない施設情報　（→P.265）
・ コンテンツデータ：自車位置マークなどのデータ（→P.266）

ワンポイント

- 機能により、Wi-Fiを同時に利用できないことがあります。
- MirrorLink™を使用しているときは、Wi-Fi接続をしているアプリは使用できません。
- 使用できるWi-Fi機器の仕様は、**「Wi-Fi通信」**（→P.338）をご覧ください。
- 対応のスマートフォン機種やOSバージョンについては、ECLIPSEホームページをご覧ください。
「お客様サポート」→「Wi-Fiテザリング適合情報」（http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/）をご覧ください。
機種により、一部の機能に対応していない場合があります。「制限内容」などの利用条件も併せてご確認ください。

表示されるアイコンについて

表示	機能
Wi-Fi受信レベル	Wi-Fi通信機器のWi-Fi受信レベルの目安を表示

● Wi-Fi受信レベルは、スマートフォン連携使用時に青色から緑色に変わります。

Wi-FiのON/OFFを切り替える

チェック

● Wi-Fi通信機器がWi-Fi接続できる状態になっていることを確認してください。

1 MENU ⇨ 設定・編集 ⇨ Wi-Fi ⇨ Wi-Fi

● タッチするごとにWi-FiのON/OFFが切り替わります。

Wi-Fi接続するネットワークを選択する

チェック

●Wi-Fi通信機器がWi-Fi接続できる状態になっていることを確認してください。

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ Wi-Fi ⇨ 利用できるネットワーク ⇨ 利用するネットワークを選択

接続したことがあるネットワーク

● パスワードの入力が必要な場合は、パスワードを入力し、完了 にタッチ。

● 中断 ：接続を中止

Wi-Fiネットワークを追加する

利用するWi-Fi通信機器を追加できます。

チェック

●Wi-Fi通信機器がWi-Fi接続できる状態になっていることを確認してください。

●接続するWi-Fi通信機器のネットワークSSID、セキュリティ方式およびパスワードをご確認ください。

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ Wi-Fi ⇨ 利用できるネットワーク ⇨ Wi-Fiネットワークを追加 ⇨ ネットワークSSIDを入力 ⇨ 完了

1文字ずつ修正

2 セキュリティ方式にタッチ

● パスワードの入力が必要な場合は、パスワードを入力し、完了 にタッチ。

● 中断 ：接続を中止

Wi-Fiネットワークの情報を表示する

利用できるWi-Fi通信機器の情報を表示できます。

チェック

● Wi-Fi通信機器がWi-Fi接続できる状態になっていることを確認してください。

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ Wi-Fi ⇨ 利用できるネットワーク ⇨ 詳細 ⇨ 表示したいネットワークを選択

● 詳細画面では、次の情報を表示できます。

項目	機能
ネットワークSSID	ネットワークの名称を表示
MACアドレス	Wi-Fiネットワーク上でWi-Fi通信機器を識別するためのIDを表示
セキュリティ	Wi-Fi通信機器のセキュリティ方式を表示
チャンネル	現在、Wi-Fiネットワークで使用しているチャンネルを表示

簡単設定からWi-Fi接続する

PINコードの入力や、Wi-Fi通信機器のボタン操作により、簡単に接続できます。

チェック

● Wi-Fi通信機器がWi-Fi接続できる状態になっていることを確認してください。

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ Wi-Fi ⇨ 簡単設定 ⇨ PINコード 、または プッシュボタン

● PINコード ：画面に表示されているPINコードをWi-Fi通信機器に入力

PINコード

接続を中止

● プッシュボタン ：Wi-Fi通信機器のプッシュボタンを押す

接続を中止

Wi-Fiの詳細設定を変更する

チェック

●Wi-Fi通信機器がWi-Fi接続できる状態になっていることを確認してください。

1 MENU ⇨ 設定·編集 ⇨ Wi-Fi ⇨ Wi-Fi詳細設定 ⇨ 各項目を表示・変更する

◆Wi-Fi詳細設定画面

● Wi-Fi詳細設定画面では、次の設定や情報を表示できます。

項目	機能
優先ネットワークの変更・削除	Wi-Fi接続するネットワークの優先順位を変更・ネットワークを削除 優先順位　優先順位を入れ替え 選択したネットワークを削除
優先ネットワークへの自動接続	優先ネットワークで設定した優先順位にしたがってネットワークと自動で接続 自動で接続 手動で接続 ・【しない】に設定した場合：Wi-Fiネットワークを選んで接続する（→P.262）
他画面での接続表示	ナビ画面やオーディオ操作画面などを表示中、Wi-Fi通信機器との接続状態をメッセージで表示する／しないを設定
MACアドレス	Wi-Fiネットワーク上で本機を識別するためのIDを表示

施設情報をナビに追加する

Wi-Fiを使って施設情報をダウンロードして、本機に追加できます。追加した施設は、目的地に設定したり施設マークを表示できます。

© (株) トヨタマップマスター

チェック

● Wi-Fi通信機器が、Wi-Fi接続できる状態になっていることを確認してください。

1 MENU ⇨ 設定·編集 ⇨ 追加データ ⇨ 追加データを取り込む ⇨ 追加したい施設ジャンルを選択

● 施設ジャンルにタッチすると、全都道府県の施設情報をダウンロードできます。

● エリア指定 →都道府県の選択→ 完了 の順にタッチすると、ダウンロードするエリアを指定することもできます。
(初期状態は、全都道府県を選択しています。)

- 全選択 :全国を選択
- 全解除 :選択した都道府県を解除
- 各都道府県名にタッチして解除することもできます。

ワンポイント

● 通信できない状態が5分以上続くと、確認メッセージが表示されます。はい にタッチすると、ダウンロードを再開します。

● ダウンロードに失敗すると確認メッセージが表示されます。了解 にタッチし、もう一度ダウンロードしてください。

追加した施設情報を削除する

追加した施設情報を削除できます。

エリアを指定して削除する

1 MENU ⇨ 設定·編集 ⇨ 追加データ ⇨ 追加データを削除する ⇨ 削除したい施設を選択 ⇨ 都道府県を選択 ⇨ 削除 ⇨ はい

施設を指定して削除する

1 MENU ⇨ 設定·編集 ⇨ 追加データ ⇨ 追加データを削除する ⇨ 削除したい施設の 削除 ⇨ はい

すべての追加施設を削除する

1 MENU ⇨ 設定·編集 ⇨ 追加データ ⇨ 追加データを削除する ⇨ 全削除 ⇨ はい

ワンポイント

- 店舗を個別に指定して削除することはできません。

自車位置マークをダウンロードする

Wi-Fiを使って自車位置マークをダウンロードして、本機で使用できます。ダウンロードした自車位置マークは、自車位置マーク変更（→P.123）で切り替えることができます。

チェック

- Wi-Fi通信機器がWi-Fi接続できる状態になっていることを確認してください。

1 MENU ⇨ 情報 ⇨ コンテンツ更新 ⇨ 自車マーク ⇨ ダウンロードしたいデータを選択 ⇨ はい

ワンポイント

- 通信できない状態が5分以上続くと、確認メッセージが表示されます。はい にタッチすると、ダウンロードを再開します。
- ダウンロードに失敗すると確認メッセージが表示されます。了解 にタッチし、もう一度ダウンロードしてください。
- 保存できるダウンロードデータは1件です。ダウンロードするたびにデータが上書きされます。

バックアイカメラ

バックアイカメラについて

⚠ 注 意

●バックアイカメラの映像はバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた映像です。また、車により見え方が異なります。
十分にご注意ください。

⚠ 重 要

●高圧洗車機を使用する場合、カメラ、またはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落する恐れがあります。

別売のバックアイカメラを装着した場合、バックギアにシフトすると、ディスプレイに後方のカメラ映像を映します。また、俯瞰（ふかん）機能付きバックアイカメラを接続している場合、カメラ映像の視点を切り替えることができます。

◆バックアイカメラの映像

◆俯瞰機能付きバックアイカメラの映像

ワンポイント

●バックアイカメラは、障害物等を確認するための補助手段として使用してください。
●水滴などがカメラのレンズに付着すると、映りが悪くなることがあります。
●ディスプレイだけを見ながら後退することは絶対にしないでください。
必ずルームミラー、ドアミラーを併用し、後方および周囲の安全を十分確認してください。
●次のような状況では使用しないでください。
・凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
・坂道など平坦でない道路
・バックドアが完全に閉まっていないとき
・タイヤチェーン、応急タイヤを使用しているとき
●ディスプレイが冷えている場合は、映像が尾を引き見づらくなる場合があります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
●カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。
●カメラを強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取りつけ角度がずれてバックアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
●カメラは防水構造ですので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
バックアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
●カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
●カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・
油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。
付着した場合は、すぐにふき取ってください。
●寒い場合にお湯をかけるなどして急激な温度変化をあたえると、
バックアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
●カメラをぶつけた場合は、故障などによりバックアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
●直射日光を長時間画面に映さないでください。
焼き付け現象が残ることがあります。

- ディスプレイに写る範囲は車によって異なります。
- バックギアにシフトした瞬間は、いったん画面が白くなりますが故障ではありません。
- バックアイカメラのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- 次の場合、画面が見づらくなることがありますが、故障ではありません。
  - ・太陽光、ヘッドライトなどの強い光が当たって画面の上下に白帯が出た場合
  - ・長時間の使用で温度が上昇し、白キズや縦線が出た場合
  - ・50Hz電源地域の蛍光灯付近で使用し、画面のちらつき（フリッカー現象）が起きた場合

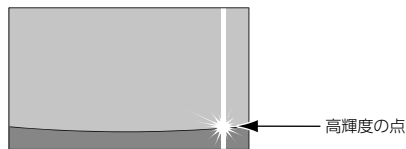
バックアイカメラの映像を映す

1 バックギアにシフトする

- バックギア以外にシフトすると、カメラ映像の表示が解除されます。

ワンポイント

- カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- 映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 次のような場合は、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  - ・暗いところ
  - ・レンズ付近の温度が高いときや低いとき
  - ・カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき
  - ・カメラ付近に泥などの異物がついたとき
  - ・太陽光やヘッドライトの光が直接カメラのレンズに当たったとき
  - ・高輝度の点（車体に反射した太陽光等）がカメラに映り、CCDカメラ特有のスミヤ現象※が発生したとき

<画面の状況>

※ スミヤ現象：高輝度の点の上下（縦方向）に尾を引く現象。

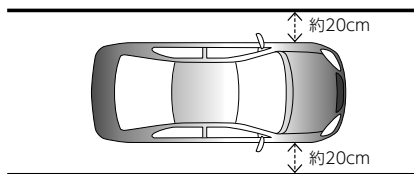
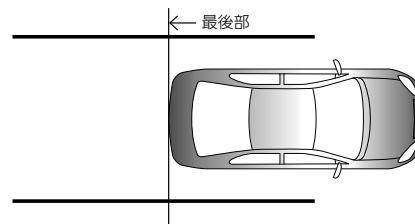
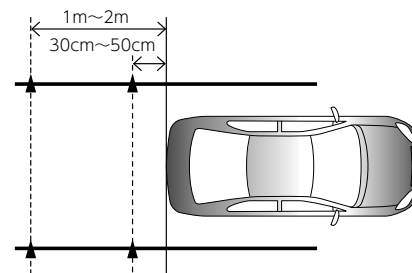
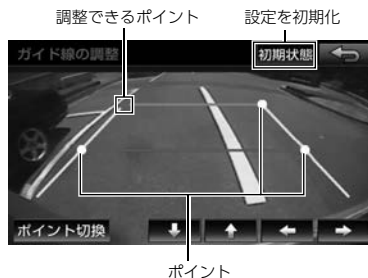
ガイド線を設定する・調整する

⚠警告

- 車を降りて目印をつけるときは、必ずエンジンを切ってください。
- ガイド線を調整するときは、安全な場所に停車してください。

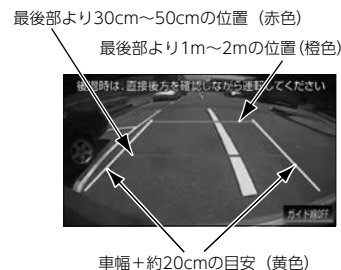
チェック

- 距離はあくまで推奨です。
  ガイド線を表示する場合は、必ず車に合わせた調整をしてください。
- 俯瞰機能付きバックアイカメラを接続している場合、ガイド線の設定は通常モードか俯瞰モードに合わせた設定になります。ガイド線の設定をしていないモードを表示する場合は、ガイド線の表示を解除してください。(→P.270)

1 車の幅＋両側約20cmの位置に、直線の目印をガムテープなどでつける

2 車を約2.5m直進させ、最後部に直線の目印をつける

3 最後部から30cm～50cmおよび1m～2m離れた左右4ヵ所をマーキングする

4 MENU ⇨ 設定・編集 ⇨ 運転支援 ⇨ カメラ設定 ⇨ バックカメラガイド線の調整 ⇨ 調整したいポイント、または ポイント切替

● ポイント切替 ：調整できるポイントを切り替え

5 ⬇、⬆、⬅、➡ にタッチし、マーキングした4点と合わせる ⇨ ⮌

ガイド線の見方について

カメラの位置や表示ガイド線の位置により、車と立体物の距離が異なります。
バックギアにシフトすると、バックアイカメラの映像に切り替わり、車幅や距離感覚を補うガイド線が表示されます。

ガイド線の表示を解除する

1 ガイド線 OFF にタッチ

● ガイド線 ON ：ガイド線を表示

視点を切り替える

ディスプレイに表示する映像を、上から見た俯瞰モードに切り替えることができます。

- 通常モード
  後方を全体的に確認したいときにご利用ください。
- 俯瞰モード
  後方の段差、縁石、車の輪止めなどを確認したいときにご利用ください。

※ 俯瞰機能付きバックアイカメラを装着している場合のみ操作できます。

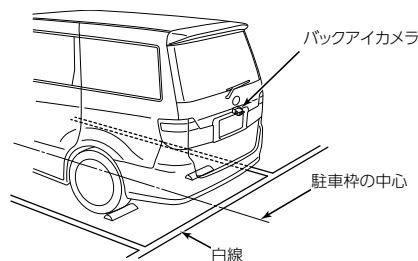
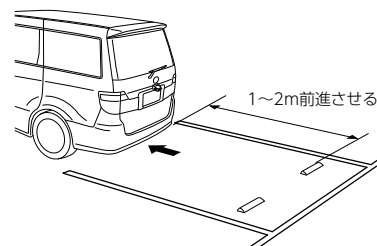
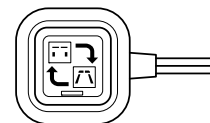
■ バックアイカメラの初期設定をする

⚠ 注 意

- 初期設定する場合は、安全な場所に停車してください。

チェック

- バックアイカメラの初期設定は必ず駐車枠（白線など）と車の輪止めのある駐車場で行ってください。

1 駐車枠（白線）の中央に車を止める

2 車を1～2 m前進させる

3 カメラ映像を表示中に、画像切り替えスイッチを5秒以上押す

4 画像切り替えスイッチを押す

- スイッチを押すごとに、視点の高さが切り替わります。

5 画像切り替えスイッチを3秒以上押す

6 画像切り替えスイッチを押す

● スイッチを押すごとに、角度が切り替わります。

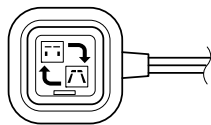
7 画像切り替えスイッチを3秒以上押す

ワンポイント

●設定中にバックギア以外にシフトすると、設定は保存されません。
●設定できる角度は6段階です。

■ 視点を切り替える

1 カメラ映像を表示中に、画像切り替えスイッチを押す

● スイッチを押すごとに、通常モードと俯瞰モードが切り替わります。

フロントアイカメラ

フロントアイカメラについて

⚠ 重 要

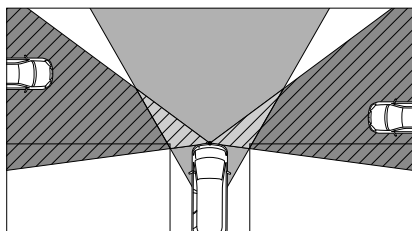
●高圧洗車機を使用する場合、カメラ、またはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落する恐れがあります。

別売のフロントアイカメラを装着した場合、ディスプレイに車の左右の映像を映します。

見通しの悪い交差点やT字路等でも、車の先端部に取り付けられたカメラで状況を確認でき、安全な運転をサポートします。

フロントアイカメラの映像は次の方法で表示できます。

・ 低速走行時にスイッチ操作で表示
・ 高速走行から低速走行に減速した時に自動で表示

◆フロントアイカメラの映像

運転手からの視野範囲
フロントアイカメラによる視野範囲（視野範囲は車や取り付け位置によって異なります）

ワンポイント

- フロントアイカメラは、障害物等を確認するための補助手段として使用してください。
- 水滴などがカメラのレンズに付着すると、映りが悪くなることがあります。
- フロントアイカメラで映し出す範囲は限られていますので、ディスプレイだけを見ながら移動することは絶対にしないでください。必ず前方および周囲の安全を十分確認してください。
- 次のような状況では使用しないでください。
  - ・凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
  - ・坂道など平坦でない道路
  - ・タイヤチェーン、応急タイヤを使用している場合
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。
- カメラを強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれてフロントアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラ本体は、レンズの結露防止のため防滴密閉構造になっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にしないでください。防滴性能が劣化し故障等の原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると映像が鮮明に表示されません。水滴、雪、泥などが付着した場合は水を含ませた柔らかい布等で拭き取ってください。ゴミ等が付いた状態で、乾いた布等で強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。
- カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷付き、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着した場合は、すぐにふき取ってください。
- 寒い場合にお湯をかけるなどして急激な温度変化をあたえると、フロントアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラをぶつけた場合は、故障などによりフロントアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
- 直射日光を長時間画面に映さないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- フロントアイカメラのカメラは広角レンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- 次の場合、画面が見づらくなることがありますが、故障ではありません。
  - ・太陽光、ヘッドライトなどの強い光が当たって画面の上下に白帯が出たとき
  - ・長時間の使用で温度が上昇し、白キズや縦線が出たとき
  - ・50Hz電源地域の蛍光灯付近で使用し、画面のちらつき（フリッカー現象）が起きたとき

フロントアイカメラの映像を映す

低速走行時に手動、または自動で表示できます。

⚠ 重 要

- 高速走行時は安全のためフロントアイカメラ映像を表示できません。低速走行時にのみ表示できます。

■ 手動で表示する

1 現在地 を長押しする

- もう一度 現在地 を押す、または車速が15km/h以上になった場合に、表示が解除されます。

■ 自動表示の設定をする

- **自動表示条件**：車速が15km/h以上から13km/h以下になったとき
- **自動解除条件**：車速が10km/h以上になったとき

1 MENU ⇨ 設定·編集 ⇨ 「運転支援」 ⇨ カメラ設定 ⇨ フロントカメラ自動表示 ⇨ する 、または しない

ワンポイント

- バックアイカメラ映像の表示中は、フロントアイカメラ映像を表示できません。
- 映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  - ・暗いところ
  - ・レンズ付近の温度が高いときや低いとき
  - ・カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき
  - ・カメラ付近に泥などの異物がついたとき
  - ・太陽光やヘッドライトの光が直接カメラのレンズに当たったとき

■ 一時停止データと連動した自動表示の設定をする

地図用SDに収録されている一時停止交差点の情報を基に、一時停止交差点でのみフロントカメラの映像を自動で表示できます。

1 MENU ⇨ 設定·編集 ⇨ 「運転支援」 ⇨ カメラ設定 ⇨ フロントカメラ一時停止データ連動 ⇨ する 、または しない

ETC

ETCについて

ETC（Electronic Toll Collection）システムは、有料道路の利用時に料金所、検札所の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。

チェック

● ETCシステムを使用するには、別売のナビゲーション対応のETC車載器を接続し、ETCカードを差し込んでください。
ETCカードについては、各ETCカード発行会社へお問い合わせください。

■ 車の情報などをETC車載器に登録する（セットアップ）

ETC車載器のご利用には、取り付けられる車の情報などをETC車載器に登録する「セットアップ」が必要です。

また、車を変更する場合には、新しい車の情報などをETC車載器に登録する「再セットアップ」が必要です。詳しくは、ETC車載器を購入された販売店へお問い合わせください。

ETCメニュー画面を表示する

1 MENU ⇨ 情報 ⇨ ETC

メッセージ表示位置

● 次のメッセージが表示されます。

メッセージ	ETCユニットの状態
ETCカード認証完了	ETCカードの認証完了
ETCカード未挿入	ETCカードが挿入されていない
ETCカード確認中	ETCカードを読み込み中
ETCカード異常	ETCカードの読み込み異常
システム異常	ETCシステムに異常発生（ETCアンテナが外れた場合も含む）
未セットアップ	ETCがセットアップされていない
セットアップ完了	ETCのセットアップ完了

走行中の表示について

⚠ 注 意

●ETCレーンに進入する場合は、発進制御装置（開閉バー）の手前で十分止まることができる速度まで減速し、開閉バーが開いて安全であることを確認してから通過してください。万一、開閉バーが開かない場合に衝突するおそれがあります。また、前走車がいる場合は、前走車が急停止しても十分止まることができる車間距離を確保してください。万一、前走車が急停止した場合に追突するおそれがあります。

●走行中は、交通事故防止のためETC車載器からETCカードの抜き差しをしないでください。

⚠ 重 要

●走行中にETC車載器からETCカードの抜き差しを行うとETCカード内のデータが破損する恐れがあります。

●ETCレーン通過時はETCレーン周辺に表示されている案内表示板や標識などにしたがって走行してください。

●ETCレーンを通行する場合は、路側表示器の表示にしたがって走行してください。路側表示器に停止の表示があった場合は車を停止し、係員の指示にしたがってください。

●必ず入口料金所で使用したETCカードを使用して出口料金所を通過してください。入口料金所情報が無い他のETCカードに差し替えると出口料金所を通過できません。

●出口にETCレーンが無い場合は、係員にETCカードを渡し精算してください。

●ETCレーンを通過しても本機が無反応だった場合は、通信が正常に行われていません。係員の指示にしたがってください。係員が不在の場合は、近くのインターホンでお問い合わせください。

チェック

●ETC車載器を用いたサービス（スマートICなど）については、サービス提供者から案内される利用方法をご確認ください。

■ ETCレーンの通過案内について

ETCレーンを通過して料金を徴収された場合に、「支払い料金は○○円です」と音声および画面表示で案内します。

ワンポイント

●ETCゲートを通過する手前で、ETCゲートの通行の可否を音声と画面表示で案内します。
※ センターからの情報がない場合は通行可の案内は行われません。

●予告アンテナおよび経路チェックアンテナを通過した場合も同様に案内されます。

●予告アンテナを通過したときにエラーが表示された場合は、その先の料金所でETCを利用できません。ETC混在レーン、または一般レーンへ進入し、係員の指示にしたがってください。エラーコードについては**「ETC統一エラーコード一覧」**（→P.316）をご覧ください。なお、予告アンテナが設置されていない料金所もあります。

●払い戻しアンテナを通過したときに払い戻しを受ける場合も、同様に案内されます。

●ETCの利用料金は路側表示器に表示される場合があります。

■ ETCカードの有効期限案内について

ETCカード有効期限案内対応のETC車載器を接続している場合、有効期限が当月、または切れていると、音声と画面表示で案内されます。

ETCカードを挿入する、または挿入した状態で車のエンジンスイッチをACC、またはONにすると、「ETCカードの有効期限が切れています」などと案内されます。

⚠ 重 要

- 本機能は、ETCカードの有効期限を確認するための補助手段として使用してください。ETCを使用する前に、必ずETCカードに記載されている有効期限を確認してください。
- ETCカード有効期限案内非対応のETC車載器を接続している場合は、ETCカードの有効期限が切れていても案内されません。有効期限は、事前に確認してください。
  有効期限切れのETCカードでは、開閉バーが開かず、ETCレーンが通行できません。

履歴を表示する

ETC車載器に挿入しているETCカードの利用履歴を表示できます。

⚠ 警 告

- 走行中は安全のため、運転者は利用履歴の確認を行わないでください。わき見や前方不注意により交通事故の原因になります。

1 MENU ⇨ 情報 ⇨ ETC ⇨ 履歴情報表示

- 最新 ：最も新しい履歴を表示
- 詳細 ：履歴の内容を表示

ワンポイント

- ETCゲート付近で履歴を表示させると、ETCシステムが通信できないことがあります。
- 履歴は最大100件まで表示され、古い履歴から自動で削除されます。

登録情報を表示する

1 MENU ⇨ 情報 ⇨ ETC ⇨ 登録情報表示

● 統一エラーコードは、最後に表示されたコードが表示されたままになります。統一エラーコードについては**「ETC統一エラーコード一覧」**(→P.316)をご覧ください。

ワンポイント

●セットアップカード情報有効年月日は、現在使用されていないため表示されません。

ETCの設定を変更する

1 MENU ⇨ 設定・編集 ⇨ ETC ⇨ ETC通知設定 ⇨ 各項目にタッチ ⇨ する 、または しない ⇨ 完了

● 次の項目を設定できます。

番号	機能
①	・ ETCゲートの通行可否を画面に表示 ・ 料金徴収を画面に表示
②	通行の可否や利用料金を音声で案内
③	エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACCの位置にしたとき、ETCカード認識時の異常やETC車載器の異常を画面で警告
④	エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACCの位置にしたとき、ETCカード認識時の異常やETC車載器の異常を音声で警告
⑤	エンジンスイッチをACCからOFF（LOCK）の位置にしたとき、カードの抜き忘れを警告

ワンポイント

●ハートフル音声とETC音声案内が重複することがあります。どちらかの音声を優先して聞く場合、優先しない音声案内を【しない】に設定します。(→P.123)

ステアリングスイッチ

ステアリングスイッチを設定する

ステアリングスイッチ装着車の場合、オーディオの主要機能や、ハンズフリーの音量調整をステアリングスイッチで操作できます。

ステアリングスイッチは次の方法で設定できます。

- **自動車メーカーを指定して設定**（トヨタ/ダイハツ/ホンダ/スバル/マツダ/スズキ/三菱の場合）（→P.279）
- **自動車メーカーを指定しないで設定**
（→P.280）

チェック

●対応車種については、ECLIPSEホームページをご覧ください。
「お客様サポート」→「ステアリングリモコン適合情報」（http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/）をご覧ください。

■ 自動車メーカーを指定して設定する

1 MENU ⇨ 設定·編集 ⇨ 「運転支援」 ⇨ ステアリングスイッチ設定 ⇨ 自動車メーカーを選択

設定をOFFにする

2 OK にタッチ

● “ステアリングスイッチを設定できませんでした　設定内容もしくは接続状態に不備がある可能性があります”のメッセージが表示された場合、お買い上げの販売店にご相談ください。

ワンポイント

●自動車メーカーを設定しても、車種によっては設定値が合わず、ステアリングスイッチが動作不良を起こす場合があります。その場合、**「自動車メーカーを指定しないで設定する」**（→P.280）の手順でステアリングスイッチを設定してください。

■ 自動車メーカーを指定しないで設定する

ステアリングスイッチの動作を本機に記憶できます。

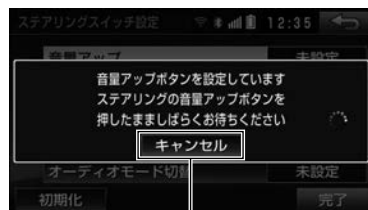
● 音量スイッチ

● モード切り替えスイッチ

● 選局（選曲）スイッチ

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ 「運転支援」 ⇨ ステアリングスイッチ設定 ⇨ その他 ⇨ 設定する

● すでにステアリングスイッチの設定がされている場合、確認メッセージが表示されます。はい にタッチすると、設定できます。

2 設定したい項目を選択 ⇨ 画面に表示される案内にしたがって、ステアリングスイッチを押す

設定を中止

3 設定したい項目ごとに、手順2の操作を繰り返す ⇨ 完了 ⇨ OK

設定が完了

設定を初期化

ハンズフリー・オーディオ機能共通の操作

スイッチ名称	スイッチ	機能
音量スイッチ	(+)・(−)	・ 押すごとに1ステップずつ音量を変更 ・ 長押しすると、押し続けている間、音量が連続して変化

オーディオ機能の操作

■ 共通操作

スイッチ名称	スイッチ	機能
モード切替スイッチ	(MODE)	**■ オーディオ電源がOFF の場合** オーディオの電源をON
		■ オーディオ電源がON の場合 ・ 押すごとにモードを切り替え TV→AM→FM→(Bluetooth Audio)→(DS)→(CD/MP3・WMA・AAC/DVD)→(SD※1)→(SD REC※2)→(USB/iPod)→(外部入力)→(MirrorLink™)→TVに戻ります。 (　)：再生、または視聴できない場合は、切り替わりません。 ・ 長押しするとオーディオの電源をOFF

※1　パソコンで記録した音楽ファイルを再生
※2　本機で録音した音楽を再生

ワンポイント

●ハンズフリー機能使用中は、(MODE) スイッチを操作できません。

■ 各オーディオ機能の操作

操作項目	スイッチ名称	スイッチ	機能
ラジオ	選局スイッチ	(∧)・(∨)	・ 押すごとに、プリセットスイッチに記憶させた放送局を切り替え ・ 長押しすると、受信中の周波数に一番近い放送局を自動で選局 (→P.134)
CD	選曲スイッチ	(∧)	・ 次の曲に切り替え
		(∨)	・ 曲の頭出し ・ 連続で押すと、前の曲に切り替え
MP3 WMA AAC	選曲スイッチ	(∧)	・ 次のファイルに切り替え ・ 長押しすると、次のフォルダに切り替え (→P.138)
		(∨)	・ ファイルの頭出し ・ 連続で押すと、前のファイルに切り替え ・ 長押しすると、前のフォルダに切り替え (→P.138)
SD REC	選曲スイッチ	(∧)	・ 次の曲に切り替え ・ 長押しすると、次のアルバムに切り替え (→P.162)
		(∨)	・ 曲の頭出し ・ 連続で押すと、前の曲に切り替え ・ 長押しすると、前のアルバムに切り替え (→P.162)

操作項目	スイッチ名称	スイッチ	機能
SD	選曲スイッチ	(∧)	・次のファイル（曲）に切り替え ・長押しすると、次のフォルダ（アルバム）に切り替え（→P.164、166）
		(∨)	・ファイル（曲）の頭出し ・連続で押すと、前のファイル（曲）に切り替え ・長押しすると、前のフォルダ（アルバム）に切り替え（→P.164、166）
USBメモリ	選曲スイッチ	(∧)	・次のファイル（曲）に切り替え ・長押しすると、次のフォルダ（アルバム）に切り替え（→P.152、154）
		(∨)	・ファイル（曲）の頭出し ・連続で押すと、前のファイル（曲）に切り替え ・長押しすると、前のフォルダ（アルバム）に切り替え（→P.152、154）
テレビ	選局スイッチ	(∧)・(∨)	・押すごとに、プリセットスイッチに記憶させた放送局を切り替え（→P.183）
DVD	選曲スイッチ	(∧)	次のチャプターに切り替え
		(∨)	・チャプターの頭出し ・連続で押すと、前のチャプターに切り替え

操作項目	スイッチ名称	スイッチ	機能
iPod	選曲スイッチ	(∧)	次のファイル（曲）／ビデオに切り替え
		(∨)	・ファイル（曲）／ビデオの頭出し ・連続で押すと、前のファイル（曲）／ビデオに切り替え
Bluetooth Audio	選曲スイッチ	(∧)	・次の曲に切り替え ・長押しすると、次のアルバムに切り替え（→P.245）
		(∨)	・曲の頭出し ・連続で押すと、前の曲に切り替え ・長押しすると、前のアルバムに切り替え（→P.245）

ワンポイント

●ハンズフリー機能使用中は、(∧)・(∨) スイッチを操作できません。

ITSスポットサービス（DSRC）

ITSスポットサービス（DSRC）について

ITSスポットサービス（DSRC）は、従来のETCシステム（→P.275）に加え、高速道路に設置されたDSRC路側アンテナとITSスポットサービス対応DSRCユニットが双方向通信を行うことにより、道路上の渋滞や事故、合流などの情報をリアルタイムで提供するサービスです。

サービスをご利用いただくためには、別売のITSスポットサービス対応DSRCユニットが必要です。

※ 今後サービスが追加された場合は、新しいサービスに対応できないことがあります。

チェック

● 各サービスをご利用される前に、ITS スポット対応DSRC ユニットのセットアップ手続きが必要です。セットアップ手続きについては、ITS スポット対応DSRC ユニットを購入された販売店へお問い合わせください。

主なサービス

提供サービス	内容
ETC	自動料金支払い機能 ・ ETCについては、**「ETC」**（→P.275）をご覧ください。

提供サービス	内容	
安全運転支援情報提供サービス	見通しの悪いカーブ先の渋滞や、停止中の車、合流状況など前方障害物の情報を事前に案内（音声・図形表示） ・ 安全運転支援情報提供サービスについては、**「VICS・ITSスポットのお問い合わせ先 について」**（→P.363）をご覧ください。	
交通情報提供サービス	交通情報・緊急情報	VICSによる交通情報と緊急情報を案内（音声、図形表示） ・ VICS サービス（FM 多重放送、電波・光ビーコン）については、**「渋滞情報（VICS機能）」**（→P.117）をご覧ください。
	ダイナミックルートガイダンス	高速道路で県境を越えた広範囲な交通情報をリアルタイムに受信し、最速ルートで案内
	前方状況情報	進行方向先の交通状況を案内（音声、図形表示、画像表示）
	電子標識情報	標識の画像を表示
	長文読上げ情報	ハイウェイラジオなどの情報を音声で案内（→P.284）

提供サービス	内容
その他のサービス（プローブ情報）	ITSスポットサービス対応DSRCユニット装着車から収集した走行履歴などの情報を表示 ・走行履歴情報をアップロードする／しないを設定できます。（→P.285） ・走行履歴情報アップロードを【する】にした場合、走行履歴などの情報（走行位置の履歴や車に関する情報など）を、ITSスポットサービス(DSRC）の路側無線装置へ送ることができます。詳しくは、**「道路管理者等からのお知らせとお願い」**（→P.339）をご覧ください。

ワンポイント

- ITS スポットサービス（DSRC）により提供される情報にはいくつかの種類があります。この種類は、情報画面上に表示される情報種別で判別できます。

情報種別

- 表示される画面の使い方などについては、**「ETCメニュー画面を表示する」**（→P.275）をご覧ください。
- エラーコードなどについては、**「ETC統一エラーコード一覧」**（→P.316）をご覧ください。

長文読上げ情報

ハイウェイラジオの長文読上げ情報を受信した場合、メッセージが表示されます。

1 はい にタッチ

読上げしない

- 約15秒以上操作しなかった場合は、もとの画面に戻ります。

ワンポイント

- 読上げ情報は、1回読上げると終了します。
- もう一度読上げ情報を聞く場合は、**「割込情報を呼び出す」**（→P.287）をご覧ください。
- 現在地 を押すと、現在地画面を表示させた状態で、読上げ情報を聞くことができます。
- ＡＶ を押すと、読上げを中止します。

割込情報について

VICS 文字情報・図形情報以外の割込情報を受信できます。

ワンポイント

- 割込情報の音量は、ナビの音量設定で調整できます。(→P.38)

■ 施設情報提供サービス

進行方向先のサービスエリアやパーキングエリアの混雑情報や施設情報を画面や音声で案内します。

■ 電子標識情報

標識の画像を表示して、自動車専用道路に入ったことを知らせます。

割込情報を設定する

1 現在地 ⇨ メニュー ⇨ 表示変更 ⇨ DSRC VICS 交通情報 ⇨ DSRC/VICS 設定 ⇨ DSRC/VICS 割込設定 ⇨ 設定する ⇨ 各項目を選択し、設定する ⇨ 完了

項目	機能
注意警告情報自動割込	安全運転支援案内サービスを表示する／しないを設定
ビーコン文字情報自動割込	文字情報を表示する／しないを設定
ビーコン図形情報自動割込	図形情報を表示する／しないを設定
自動割込の表示時間	5 秒 ／ 10秒 ／ 15秒 ／ 20秒 ／ 25秒 ／ 30秒 から、自動割込の表示時間を設定
DSRC表示情報自動割込	ITS スポットサービス（DSRC）により提供される情報を表示する／しないを設定
DSRC読上げ情報自動割込	ハイウェイラジオの長文読上げを自動でする／しないを設定
走行履歴情報アップロード	走行履歴などの情報を、ITSスポットサービス（DSRC）の路側無線装置へアップロードする／しないを設定

ワンポイント

- 走行履歴情報のアップロードに関して、**「道路管理者等からのお知らせとお願い」**（→P.339）をご覧ください。
- 割込情報を【しない】に設定した場合、手動で呼び出すことができます。（→P.287）

DSRC音声案内を設定する

目的地案内中の現在地画面から約10km以内のルート上のDSRC/VICS情報（渋滞や交通規制など）を音声でお知らせします。

1 現在地 ⇨ メニュー ⇨ 表示変更 ⇨ DSRC VICS 交通情報 ⇨ DSRC/VICS 設定 ⇨ VICS 音声案内 ⇨ する 、または しない

ビーコンについて

別売のITSスポットサービス対応DSRCユニットのビーコンアンテナで、FM多重放送に加え電波ビーコンの情報を受信できます。

- ビーコンが設置されている付近の道路交通情報が提供されます。
- ビーコンから受信した最新の渋滞情報を考慮したルート探索が可能です。
- ビーコンからの割り込み情報を受信できます。

ワンポイント

- ビーコンの運用時間は24時間です。運用時間は予告なく変更されることがあります。

割込情報（ビーコン即時案内）を表示する

ビーコンからVICS 情報が受信された場合、VICS 文字情報、または図形情報が自動で表示されます。

チェック

- ビーコンユニットを装着していない場合でも、緊急情報が受信された場合は、割込情報が表示されます。

■ 割込情報を切り替えるとき

1 ∧ 、または ∨ にタッチ

- 文字 : 文字情報に切り替え
- 図形 : 図形情報に切り替え

◆文字情報画面

- 解除 にタッチする、または約15 秒以上操作しなかった場合は、もとの画面に戻ります。

■ 割込情報を呼び出す

割込情報の表示を【しない】に設定した場合、受信された割込情報を手動で表示できます。

チェック

●提供時刻より約30分以上経過した割込情報は、表示できません。

1 MENU ⇨ 情報 ⇨ DSRC/VICS ⇨ DSRC呼び出しの 割込情報 ⇨ ∧ 、または ∨ にタッチして、割込情報を切り替える

- 文字 ：文字情報に切り替え
- 図形 ：図形情報に切り替え
- 解除 ：割込表示を解除（ビーコン受信時のみ）
- 表示情報 ：DSRC呼び出しの表示情報に切り替え
- 読上げ情報 ：DSRC読上げ情報に切り替え

リモコン

リモコンについて

別売のリモコンをご利用いただくことで、地図画面やオーディオの主要機能を操作できます。

⚠ 警 告

- 走行中のリモコン操作は大変危険ですので、運転者は絶対に操作しないでください。

⚠ 注 意

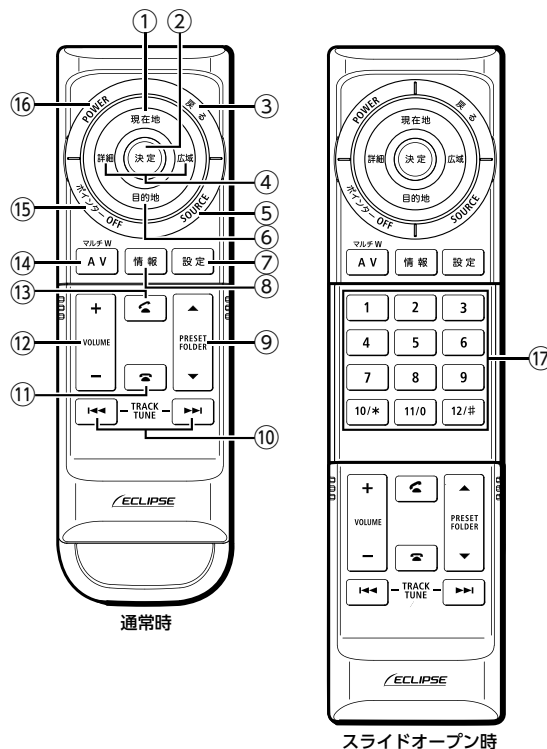
- リモコンを落としたり、水をかけたり、強い衝撃を与えないでください。
- リモコンをダッシュボードの上やエアコン吹き出し口のそばなど温度が高くなる場所に置かないでください。変形や故障の原因となります。

ワンポイント

- 送信部を本機に向けてご使用ください。
- 直射日光などの強い光が本機に当たると、リモコンの操作を受け付けないことがあります。
- 汚れは乾いた布で拭き取ってください。汚れがひどい場合は、水でうすめた中性洗剤を布につけて拭き取ってください。アルコールやシンナーなどでは拭かないでください。塗装がはがれることがあります。
- リモコンを長時間使用しない場合は、電池を取り出してください。

リモコンの使い方

通常時

スライドオープン時

■ ボタン名と機能について

<table>
<tr><th>番号</th><th>ボタン名</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>①</td><td>現在地ボタン</td><td>・ 現在地を表示
・ 別売のフロントアイカメラ装着時は、音が鳴るまで押すと、フロントアイカメラ映像を表示</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td rowspan="2">決定ボタン</td><td>・ 押すと、ポインター非表示時にポインターを表示
・ 押すと、ポインター表示中に画面上のスイッチを選択し決定</td></tr>
<tr><td>・ 動かすと、地図やポインターを移動※2
カーソルの移動例：ポインターや地図を８方向へ移動させる場合</td></tr>
<tr><td>③</td><td>戻るボタン※1</td><td>・ 一つ前の画面に戻る
・ 選択した内容を解除</td></tr>
<tr><td>④</td><td>詳細/広域ボタン</td><td>・ 地図画面で地図縮尺を切り替え
・ ボタンを押し続けると、縮尺を連続して切り替え</td></tr>
<tr><td>⑤</td><td>SOURCE
ボタン※3</td><td>ボタンを押すごとにオーディオソースを切り替え
TV→AM→FM→Bluetooth Audio→DS→(CD/MP3・WMA・AAC/DVD)→(SD※4)→(SD REC※5)→(USB/iPod)→外部入力→(MirrorLinkTM)→TVに戻ります。
（　）：ディスクなどが挿入されていなかったり、機器が接続されていない場合は、切り替わりません。</td></tr>
<tr><td>⑥</td><td>目的地ボタン</td><td>目的地を設定</td></tr>
<tr><td>⑦</td><td>設定ボタン</td><td>設定・編集画面を表示</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>番号</th><th>ボタン名</th><th colspan="3">機能</th></tr>
<tr><td>⑧</td><td>情報ボタン</td><td colspan="3">情報画面を表示</td></tr>
<tr><td rowspan="4">⑨</td><td rowspan="4">PRESET FOLDER
ボタン※3</td><td colspan="2">ラジオ、テレビ
モード時</td><td>プリセットスイッチに記録した放送局を切り替え</td></tr>
<tr><td colspan="2">MP3/WMA/AAC、SD、USBモード時</td><td>フォルダ（アルバム）を切り替え</td></tr>
<tr><td colspan="2">iPodモード時</td><td>リストを切り替え</td></tr>
<tr><td colspan="2">SD REC、Bluetooth Audioモード時</td><td>アルバムを切り替え</td></tr>
<tr><td rowspan="5">⑩</td><td rowspan="5">TRACK TUNE
ボタン※3</td><td rowspan="3">短押し</td><td>ラジオ、テレビ
モード時</td><td>放送局の周波数を選局</td></tr>
<tr><td>CD、MP3/WMA/AAC、SD REC、SD、Bluetooth Audio、iPod、USBモード時</td><td>曲の選曲</td></tr>
<tr><td>DVD</td><td>チャプターの選択</td></tr>
<tr><td rowspan="2">長押し</td><td>ラジオモード時</td><td>受信中の周波数に一番近い放送局を自動的に選局</td></tr>
<tr><td>CD、DVD、MP3/WMA/AAC、SD REC、SD、Bluetooth Audio、iPod、USBモード時</td><td>早送り／早戻し</td></tr>
</table>

※1　画面に が表示されているときに操作できます。
※2　オーディオ操作画面が表示されているときは操作できません。
※3　オーディオがOFFのときは操作できません。
※4　パソコンで記録した音楽ファイルを再生します。
※5　本機で録音した音楽を再生します。

番号	ボタン名	機能	
⑪	オンフックボタン	ハンズフリーの発信を中断／応答を保留／着信拒否／通話を終了	
⑫	VOLUMEボタン	オーディオやハンズフリー機能を使用している場合の受話音や着信音の音量を調整	
⑬	オフフックボタン	ハンズフリーを発信／着信を受ける／応答保留を解除	
⑭	AV/マルチWボタン	・オーディオ操作画面を呼び出し ・映像が表示されるモード時はマルチウィンドウと全画面を切り替え	
⑮	ポインターOFFボタン	表示中のポインターを消す	
⑯	POWERボタン	オーディオの電源を入れる／切る	
⑰	10キー入力ボタン	ナビ画面	電話番号、マップコード、郵便番号を入力
		ラジオ、デジタルテレビモード時	プリセットスイッチに記録した番号を入力

電池をセットする

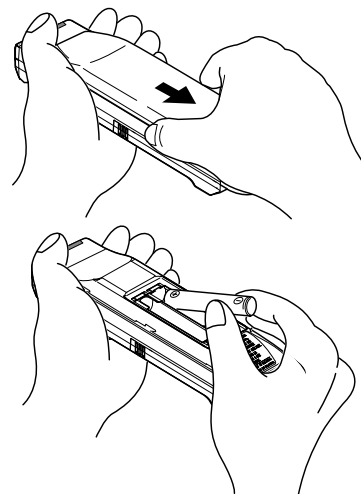
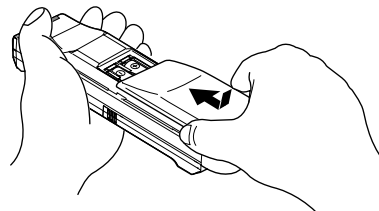
⚠ 警 告

●事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医者と相談してください。

チェック

●電池は単4形をお使いください。

●万一、電池の液もれがおこったときは、よく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。

1 リモコンの裏ブタを矢印の方向にスライドし、電池を入れる

2 裏ブタを矢印の方向にスライドして戻す

エコ機能について

エコ機能とは、燃料消費量の少ないルートにアイコンを表示したり、運転内容をエコな観点で評価したりすることで、環境にやさしい運転をサポートする機能です。

ワンポイント

- エコな運転に役立つアドバイスを音声で案内する／しないを設定できます。(→P.123)

燃費を計算する

給油した量と給油した時点での走行距離から燃費が計算され、燃費の履歴から平均燃費が計算されます。燃費の履歴は後から編集できます。

チェック

- 満タンに給油しない場合、燃費が正確に計算されません。

給油量を入力する

給油時に給油量を入力すると、それまでの燃費が計算されます。燃費の計算が終了すると、走行距離はリセットされます。

1 MENU ⇨ 情報 ⇨ エコ ⇨ 燃費履歴 ⇨ データ入力 ⇨ 給油量入力

- 前回給油時に給油量を入力しなかった場合、給油量を入力しても正しい燃費は計算されません。その場合、給油後、走行距離リセット → はい の順にタッチして走行距離をリセットし、次回給油時に改めて給油量を入力してください。

2 給油量を入力 ⇨ 完了

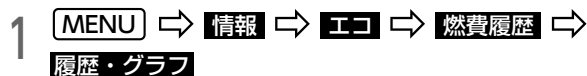
1文字ずつ修正

ワンポイント

- 走行距離の表示は、0.0km～999.9km です。
- 入力できる給油量は、0.1L～99.9L です。

履歴とグラフを表示する

平均燃費や燃費の履歴を表示できます。

1 MENU ⇨ 情報 ⇨ エコ ⇨ 燃費履歴 ⇨ 履歴・グラフ

ワンポイント

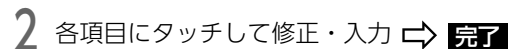
- グラフの表示は、最大40km/Lです。
- 数値の表示は、0.1km/L～99.9km/Lです。

履歴を編集する

計算された燃費は、履歴に最大100件まで保存されます。過去の燃費の確認や給油量、走行距離などを修正できます。

1 MENU ⇨ 情報 ⇨ エコ ⇨ 燃費履歴 ⇨ 履歴一覧 ⇨ 編集したい履歴を選択

- 履歴消去 → はい の順にタッチすると、すべての履歴が消去されます。

2 各項目にタッチして修正・入力 ⇨ 完了

- 開始日編集 ：計測開始日を修正・入力
- 終了日編集 ：計測終了日を修正・入力
- 走行距離編集 ：走行距離を修正・入力
- 給油量編集 ：給油量を修正・入力
- 前へ ：前の履歴を表示
- 次へ ：次の履歴を表示
- 本履歴を削除 → はい の順にタッチすると、選択した履歴が削除されます。

ワンポイント

- 入力できる走行距離は、0.0km～999.9kmです。
- 入力できる給油量は、0.1L～99.9Lです。

燃費を設定する

履歴・グラフ（→P.292）に表示されている平均燃費などを参考に燃費を設定すると、５ルート同時表示画面のルートの中で最もエコなルートにアイコンが表示されます。

また、全行程一覧表画面（→P.86）にはルートごとにエコ度が３段階で表示されます。

エコ度

全行程一覧

探索条件	料金	全行程	有料道路	所要時間	エコ度
推奨	13700円	526km	523km	6時間52分	
有料優先	13700円	526km	523km	6時間52分	
一般優先		520km	0.0km	17時間19分	
距離優先	8050円	492km	289km	10時間23分	
別ルート	13700円	526km	523km	6時間52分	

◆全行程一覧画面

1 MENU ⇨ 情報 ⇨ エコ ⇨ 燃費設定 ⇨ 燃費を設定したい道路を選択し、設定 ⇨ 完了

- ＞ ：燃費を上げる
- ＜ ：燃費を下げる

ワンポイント

- フェリー航路は、燃料消費量の対象になりません。
- 設定できる燃費設定は、0.1km/L ～99.9km/L です。

エコ運転評価を表示する

全体の運転時間のうち、エコ運転ができた時間の割合を計算し、評価結果が5段階で表示されたり、エコ運転に関するアドバイスが表示されます。

チェック

- エコ運転の評価期間は、日付が変わった時点でリセットされます。
  最大10日間（当日含む）の評価履歴を確認できます。（→P.293）

最新評価を表示する

1 現在地 ⇨ メニュー ⇨ 表示変更 ⇨ 地図表示 ⇨ 地図＆エコ情報

ワンポイント

- 評価を行うのに十分な走行時間が経過していない場合は、“判定中” というメッセージが表示されます。

評価履歴を表示する

1 MENU ⇨ 情報 ⇨ エコ ⇨ エコ運転評価履歴

- 履歴消去 → はい の順にタッチすると、評価履歴を消去できます。

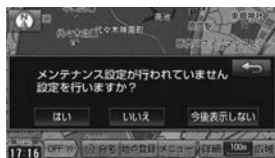
メンテナンス機能について

メンテナンス機能は、GPS情報と車速信号を使用して、車のエンジンオイル/タイヤの交換時期、定期点検/車検の時期を画面と音声（初回のみ）でお知らせします。

メンテナンスの案内表示について

設定した日をすぎる、または設定した距離を走行すると、エンジンスイッチをACC、またはONにするたびに案内されます。

- **次回表示しない** ：次にナビを起動したときは案内しない

メンテナンス項目が設定されていないときは、メッセージが表示されます。

- **する** ：メンテナンス項目を設定（→P.295）
- **しない** ：メンテナンス項目を設定せずにナビ画面を表示
- **次回表示しない** ：次にナビを起動したときは案内しない

ワンポイント

- メンテナンス内容および時期の設定はお買い上げの販売店へご相談ください。
- お知らせするメンテナンス時期は、事前に走行距離や年月日を基に設定した項目をお知らせするものです。車の使用状況により、お知らせするメンテナンス時期と実際に必要なメンテナンス時期に誤差が生じる場合があります。
- メンテナンス機能で計測される走行距離と実際の走行距離で誤差が生じることがあります。

メンテナンス項目を設定する

1 MENU ⇨ 設定・編集 ⇨ メンテナンス ⇨ 項目設定 ⇨ 設定する項目を選択

タッチするごとにON/OFFを切り替え

- すでに設定されている項目にタッチすると、設定内容を修正できます。
- 次の項目を設定できます。
  - ・エンジンオイル交換
  - ・タイヤ交換
  - ・定期点検
  - ・車検
- 自動通知 ：タッチするごとに、メンテナンス案内表示（→P.294）のする／しないを切り替え

2 お知らせ日 、または お知らせ距離 ⇨ 数字を入力 ⇨ 完了

1 文字ずつ修正

◆お知らせ日入力画面

1 文字ずつ修正

◆お知らせ距離入力画面

3 設定完了 にタッチ

メンテナンス時期を更新する

1 MENU ⇨ 設定·編集 ⇨ メンテナンス ⇨ 項目設定 ⇨ 更新する項目を選択

● 自動全更新 → はい の順にタッチすると、すべての項目を更新します。

2 自動更新 ⇨ はい

ワンポイント

●新しい日付は、メンテナンスの時期を設定した日・現在の日・案内する予定だった日から自動で計算され、変更されます。(項目により、計算方法は異なります。)

メンテナンス設定を消去する

1 MENU ⇨ 設定·編集 ⇨ メンテナンス ⇨ 項目設定 ⇨ 消去する項目を選択

● 設定全消去 → はい の順にタッチすると、すべての項目を消去します。

2 設定消去 ⇨ はい

販売店を設定する

販売店を設定すると、メンテナンスの案内表示に販売店の情報を表示したり、販売店の地図を表示できます。

1 MENU ⇨ 設定・編集 ⇨ 「メンテナンス」 ⇨ 項目設定 ⇨ 販売店設定 ⇨ 検索方法を選び、販売店を設定する地点の地図を表示する

● 「**目的地を探す**」(→P.74)、「**地図を動かす**」(→P.66)をご覧ください。

2 セット ⇨ 完了

● 販売店に行く → ここに行く の順にタッチすると、目的地に設定できます。

販売店を修正・消去する

1 MENU ⇨ 設定・編集 ⇨ 「メンテナンス」 ⇨ 項目設定 ⇨ 販売店設定 ⇨ 修正する項目を選択 ⇨ 完了

● 販売店の修正・入力方法は次をご覧ください。
- 販売店名：「**名称を入力する**」(→P.107)
- 位置：「**位置を修正する**」(→P.109)
- 電話番号：「**電話番号を入力する**」(→P.109)

● 販売店の消去 → はい の順にタッチすると、販売店の設定が消去されます。

システムチェックをする

チェック

●本機の取り付けが正しく行われていないと、正確な情報を表示できません。

1 MENU ⇨ 情報 ⇨ SYSTEM CHECK ⇨ 各項目を確認する

◆SYSTEM CHECK画面

● メンテナンス ：メンテナンス画面を表示（→P.295）

● 次の項目を確認できます。

項　目		内　容
GPS受信個数		電波を受信しているGPS衛星の個数
GPS測位レベル	3D測位	緯度・経度・高度の3次元で測位している状態
	2D測位	緯度・経度の2次元で測位している状態
	NG	測位していない状態
GPS受信強度		GPSの受信強度レベル
車速パルス	ON	走行している状態
	OFF	停車している状態
推定速度		速度の表示
パーキング信号	ON	パーキングブレーキがかかっている状態
	OFF	パーキングブレーキがかかっていない状態
リバース信号	ON	バックギアにシフトしている状態
	OFF	バックギア以外にシフトしている状態
イルミ信号	ON	車のライトが点灯している状態
	OFF	車のライトが消灯している状態
距離補正学習状態		自動で行われる距離補正の学習状況
地図SDカード	OK	地図用SDが挿入されている状態
	NG	地図用SDが挿入されていない状態
音楽用SDカード	OK	音楽用SDが挿入されている状態
	NG	音楽用SDが挿入されていない状態

項　目		内　容
フロントカメラ接続	OK	フロントアイカメラが接続されている状態
	NG	フロントアイカメラが接続されていない状態
バックカメラ接続	OK	バックアイカメラが接続されている状態
	NG	バックアイカメラが接続されていない状態
GPSアンテナ接続	OK	GPSアンテナが接続されている状態
	NG	GPSアンテナが接続されていない状態
USBメモリ接続状態	OK	USBメモリが接続されている状態
	NG	USBメモリが接続されていない状態
iPod/iPhone接続状態	OK	iPod/iPhoneが接続されている状態
	NG	iPod/iPhoneが接続されていない状態
HDMI機器接続状態	OK	HDMI機器が接続されている状態
	NG	HDMI機器が接続されていない状態
ETCユニット	OK	ETCユニットが接続されている状態
	NG	ETCユニットが接続されていない状態
DSRCユニット	OK	DSRCユニットが接続されている状態
	NG	DSRCユニットが接続されていない状態
マイク＆スイッチ	OK	マイク＆スイッチが接続されている状態
	NG	マイク＆スイッチが接続されていない状態

項　目		内　容
通信ユニット接続状態	OK	通信ユニットが接続されている状態
	NG	通信ユニットが接続されていない状態

ワンポイント

- 表示が実際の状態と異なる場合は販売店にお問い合わせください。

地図更新について

パソコンを使って地図データを更新することができます。

地図更新１回無料サービスについて

チェック

●本サービスは、AVN-ZX04i/AVN-Z04i/AVN-Z04iwのみ対象となります。

2015年から2017年に発売予定の地図更新ダウンロード版のうち１回を無料でダウンロードできます。

詳しくは、ECLIPSEホームページをご覧ください。

「お客様サポート」→「My Page」（https://www.e-iserv.com/jp/MyPage/Index.do）をご覧ください。

ワンポイント

●パソコンをお持ちでないお客様には、一部費用をご負担頂き、地図SDをお送りするサービスもございます。
詳細につきましては弊社お客様相談窓口までお問い合わせください。

富士通テン株式会社
「お客様相談窓口」

フリーダイヤル　0120-022210
携帯電話・PHSからもご利用になれます。

受付時間　午前10:00～12:00、午後1:00～5:00（土･日･祝日などを除く）

地図用SDのコードを確認する

チェック

●地図を更新するには、現在ご使用中の地図用SDコード情報が必要です。

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ 地図更新 ⇨ コードを確認する

携帯電話のキャリアを選択

▼

2次元バーコード

2次元バーコードを拡大／縮小

地図データの情報を表示する

地図用SDに収録されている地図データの情報を確認することができます。

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ 地図更新 ⇨ 使用データ

精度と誤差

GPS衛星の電波の性質と受信状態

GPSアンテナとGPS衛星の間に障害物があると、衛星からの電波を受信できなくなります。

また、測位するには3個以上の電波を同時に受信する必要がありますので、次のような場所ではGPSによる測位ができなくなることがあります。

- トンネルの中
- 高層ビルなどの障害物で周囲を囲まれたところ
- 建物の中や地下、屋内駐車場
- 樹木などが密集しているところ
- 高架道路の下
- 崖下の道、洞門

さらに、GPSアンテナの上、または周囲に障害物がある場合も、衛星からの電波を受信できなくなることがあります。

チェック

- GPS衛星は地球を周回しているので、同じ場所でも電波の受信状態が変化します。また、水平線に近い衛星の電波は障害物の影響を受けやすくなります。
- GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、故意に測位精度を落とすことがあります。

現在地表示の誤差

本機は現在地を測位するために、GPS衛星電波、車速センサーおよび振動ジャイロセンサーからの情報を使用していますが、それぞれに誤差が含まれているため、表示している現在地が実際の位置と一致しないことがあります。

ワンポイント

- 実際の位置と一致しない場合は、表示している現在地を修正できます。(→P.306)

タイヤによる誤差

本機では車の移動した距離を車速センサーで測定(タイヤの回転数に比例)しているので、次の場合には誤差が大きくなり現在地を正しく測定できなくなることがあります。

- 規格外のタイヤを使用した場合
- 雪道や砂利道などのスリップしやすい道を走行している場合
- タイヤの空気圧が適正でない場合
- タイヤを交換した場合(自動で距離補正が行われます。)

マップマッチングによる現在地検出の補正

マップマッチングとは、GPSなどで得られた現在地の情報と今までに走行してきた道路を比較して、最も適切な道路上に現在地を補正するシステムです。

本機では、自立航法と衛星航法を組み合わせて得られた現在地の情報を、道路形状に合わせて補正しています。

しかし、マップマッチングで補正しても現在地が実際の位置からずれる場合があります。

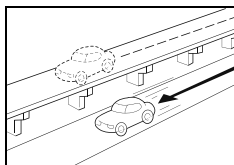
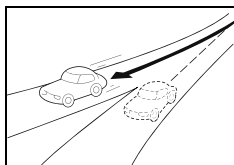
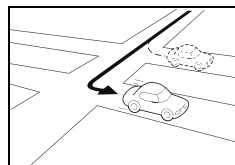
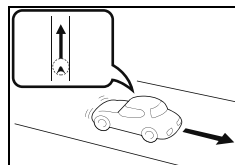
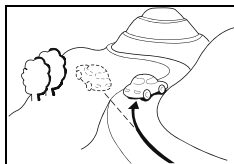
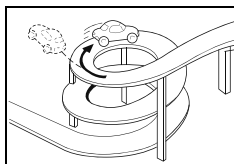
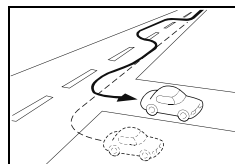
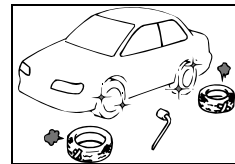
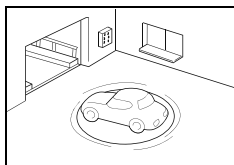
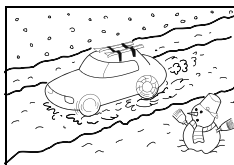
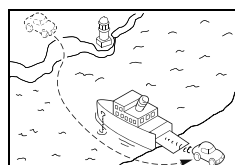
また、地図データと実際の道路形状が異なる道路を走行すると自車位置マークがずれる場合があります。

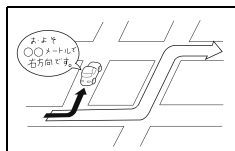
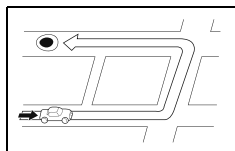
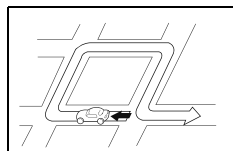
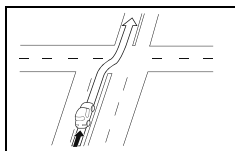
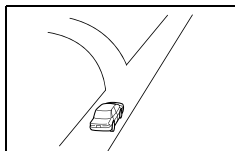
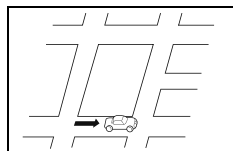
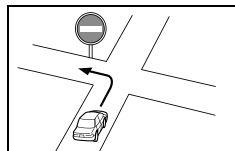
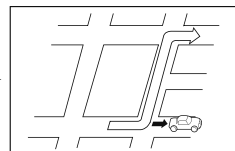
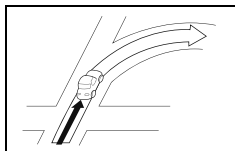
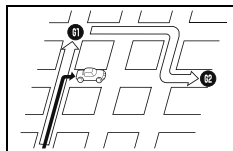
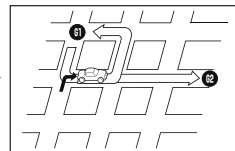
ワンポイント

- 本機の電源を入れた直後は、動作が安定していないため、自車位置マークが実際と異なる動きをする場合があります。しばらく走行すると、動作が安定するため、通常の動きに戻ります。

現在地表示、ルート案内の精度

道路条件や走行状態によっては、正確な現在地表示やルート案内が行われないことがあります。

■ 現在地表示

並走している道路に現在地が表示される。

角度の小さなＹ字路を曲がった場合、他方の道路に現在地が表示される。

右左折の場合、手前、または先の道路に現在地が表示される。

後退時に現在地がずれて表示される。

急勾配の道路を走行した場合、現在地がずれて表示される。

同一方向のカーブが連続する道路を走行した場合、現在地がずれて表示される。

車線変更など蛇行運転をした場合、現在地がずれて表示される。

タイヤを交換した場合、自車位置マークがずれて表示される。

駐車場のターンテーブルなどで、エンジンスイッチがOFF(LOCK)の状態で旋回した場合、自車位置マークの向きがずれて表示される。

雪道などの滑りやすい路面を走行している場合や、タイヤチェーンなどを装着して走行している場合、現在地がずれて表示される。

フェリーなど、自車走行以外で移動した場合、GPSによる測位ができるまで移動前の場所に現在地が表示される。

■ **ルート案内**

案内ルートをはずれて手前の交差点で曲がったときに間違って音声案内される場合がある。

ルート探索時に、ルートが遠回りになる場合がある。

Uターンするルートを案内する場合がある。

直線道路を走行中に、直進の案内が出る場合がある。(交差点の形状がわかりにくい場合など)

方面の案内で、いくつもの地名を表示する場合がある。

ルートの再探索などの場合、ルートが表示されるまでに車も進むため、案内された道路を通り過ぎてしまう場合がある。

通行できない道を通るルートが案内されることがある。

交差点で曲がるのに案内が出ない場合がある。

複数目的地の場合、次の目的地を通らずに再探索すると、次の目的地に戻るルートが探索される。

ワンポイント

●離島や周囲に案内可能な道路がないところが現在地・目的地として設定されている場合に、ルートが探索されないことがあります。

●現在地と目的地が近い場合はルートが表示されない場合があります。

自車位置を補正する

次のとき、自車位置マークの位置を補正できます。

・ 自車位置マークの位置が実際の現在地と異なるとき
・ 自車位置マークの向きが実際の進行方向と異なるとき

1 MENU ⇨ 設定･編集 ⇨ ナビ詳細設定 ⇨ ナビ補正 ⇨ 補正する ⇨ ⇧ にタッチして現在地を修正 ⇨ セット ⇨ ↺ 、または ↻ で向きを調整 ⇨ セット ⇨ 完了

ワンポイント

● 補正できない場合は、販売店で点検を受けてください。
● 本機は、GPSと車速信号により、自動で距離の補正をしていますが、タイヤを交換したり、本機を別の車に取り付けたときなどは、誤差が生じることがあります。
この場合は、GPS電波の受信状態が良好な道路を約30km走行してください。

次のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

共通の操作

メッセージ	原　因	処　置
セキュリティコードの認証エラーです 取扱説明書に記載している方法で解除キーを入力して下さい OK	ESNのロック、または起動時認証を解除する場合、誤った暗証番号を５回入力したため。	２次元バーコードからシリアルNo.（8桁）と前回のコードNo.（6桁）を送信してください。ロックを解除するコードが返信されます。 ２次元バーコードが読み取れない場合は、アドレスに送信してください。（→P.55） アドレスは、製品に同梱されている「取扱説明書」の55ページを参照してください。

ナビ関係

メッセージ	原　因	処　置
施設情報は800m図より広域の地図には表示されません	施設（施設マーク）表示中に800mスケール図より広域な地図にしたため。	800mスケール図以下の詳細な地図に切り替えてください。（→P.67）
周辺に該当する施設がありません	周辺の施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	場所を移動するか、ほかの施設で検索してください。（→P.81）
ルート沿いに該当する施設がありません	ルート沿いの周辺施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	ほかの施設で検索してください。（→P.81）
自宅が登録されていません 自宅登録を行いますか？ はい　いいえ	自宅が登録されていない場合に、自宅 にタッチしたため。	はい にタッチするとメモリ地点メニュー画面を表示します。（→P.104） いいえ にタッチするともとの画面に戻ります。
該当する電話番号が検索できません 確認して修正して下さい	電話番号で地図を呼び出す場合に、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	電話番号をもう一度入力し直しても地図が呼び出せない場合は、ほかの方法で地図を呼び出してください。（→P.74）

メッセージ	原　因	処　置
該当するマップコードが収録されていません 確認して修正して下さい	マップコードで地図を呼び出す場合に、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	マップコードをもう一度入力しなおしても地図が呼び出せない場合は、ほかの方法で地図を呼び出してください。(→P.74)
履歴が登録されていません	履歴で地図を呼び出す場合に、過去に目的地を設定していないことが原因で、地図を呼び出せなかったため。	目的地を設定すると目的地履歴に登録されます。目的地履歴が記憶されていない場合は、ほかの方法で地図を呼び出してください。(→P.74)
目的地周辺に河川などの水域があります 目的地を移動しますか？ はい いいえ	目的地と最寄りの道路との間に、河川などがあるため。	はい にタッチしたあと、地図を移動して、道路付近に目的地を設定してください。表示されている位置に目的地を設定する場合は、いいえ にタッチしてください。
目的地周辺に線路があります 目的地の移動をしますか？ はい いいえ	目的地の近くに線路があるため。	はい にタッチしたあと、地図を移動して、道路付近に目的地を設定してください。表示されている位置に目的地を設定する場合は、いいえ にタッチしてください。
目的地はこれ以上設定できません	目的地を5カ所設定した後に、さらに追加しようとしたため。	不要な目的地を消去してから追加してください。(→P.92)
メモリ地点が登録されていません メモリ地点を登録してからお使い下さい	メモリ地点が登録されていない場合に、メモリ地点で地図を呼び出そうとしたため。	メモリ地点を登録してからお使いください。(→P.105)
これ以上登録できません 消去してからお使い下さい	メモリ地点や迂回メモリ地点を登録した数が限界数の場合に、さらに登録しようとしたため。	不要なメモリ地点を消去してから登録してください。(→P.109)
VICSの文字情報を受信中です しばらくお待ち下さい	VICSメニューを受信していないため。	しばらくしてもメッセージを表示する場合、選局し直してください。(→P.121)
VICSの図形情報を受信中です しばらくお待ち下さい	VICSメニューを受信していないため。	しばらくしてもメッセージを表示する場合、選局し直してください。(→P.121)
VICS情報は800m図より 広域の地図には表示されません	VICS表示中に800mスケール図より広域の地図にしたため。	800mスケール図以下の詳細な地図に切り替えてください。(→P.67)

メッセージ	原　因	処　置
VICSの文字情報を受信していません	FM多重放送を行っている放送局を選局していない、または情報を受信していないため。	選局し直してVICSの情報を受信してください。（→P.121）
VICSの図形情報を受信していません	FM多重放送を行っている放送局を選局していない、または情報を受信していないため。	選局し直してVICSの情報を受信してください。（→P.121）

オーディオ

メッセージ	原因	処置
DISCをお確かめください	ディスクが汚れている、または裏返しになっているため。	ディスクが汚れている場合はクリーニングしてください。 裏返しの場合は正しく入れてください。 AV を“ピッ”と音がするまで押し続けて裏返しのディスクを取り出してください。
DISCが入っていません	再生可能なディスクが入っていないため。	再生可能なディスクを入れてください。
高温のためDISC停止中です※	プレーヤーの温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままでお待ちください。
異常検知でDISC停止中です	何らかの原因でプレーヤーが動かないため。	ディスクを取り出してください。
異常検知でSDオーディオ停止中です	なんらかの原因でプレーヤーが動かないため。	音楽用SDを取り出してください。
地図SDカードが音楽SDスロットに挿入されています SD/SDHCカード（～32GB）を挿入してください	地図用SDを音楽用SD差し込み口に挿入したため。	地図用SDは、地図用SD差し込み口に挿入してください。(→P.32)
SDカードが正しく挿入されていることをお確かめください	SDメモリーカードが正しく挿入されていないため。	SDメモリーカードを正しく挿入してください。(→P.32)
SDカードにアクセスできません SDカードのロックを解除してください	音楽用SDがロックされているため。	音楽用SDのロックを解除してください。

※ この状態の場合は、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えない場合は販売店にご相談ください。

メッセージ	原因	処置
このSDカードは規格外のフォーマットです ファイルシステムをお確かめください (FAT16/32にのみ対応しています)	対応していない音楽用SDを挿入したため。	本機で使用できる音楽用SDを確認してください。(→P.327)
このSDカードは規格外のフォーマットです ファイルシステムをお確かめください (FAT32にのみ対応しています)		
地図SDカードには録音できません SDカードをご確認ください	地図用SDを音楽用差し込み口に挿入した状態で録音を開始したため。	音楽用SDを挿入してください。(→P.32)
SDカードの空き容量が不足しています これ以上録音できません	録音中に音楽用SDの容量が一杯になったため。	音楽用SD内の音楽データを削除する(→P.174)、または容量に余裕のある音楽用SDを使用して、もう一度録音してください。
音飛びが発生しました 録音をもう一度行います	再生曲を録音中に音飛びが発生したため。	しばらくお待ちください。録音をやり直します。
録音禁止されているため録音をキャンセルします	録音が禁止されているCDを録音しようとしたため。	録音が禁止されているCDは録音できません。ご了承ください。
録音アルバムが一杯なので アルバムを削除してから録音開始して下さい	音楽用SD内のアルバム数が一杯になり、これ以上、自動でアルバムを作成できないため。	アルバムを削除してから、録音を開始してください。(→P.174)
録音トラックが一杯なので トラックを削除してから録音開始して下さい	音楽用SD内の曲数が一杯になり、これ以上、音楽を録音できないため。	曲を削除してから、録音を開始してください。(→P.174)
これ以上登録できません 既存のマイベストを削除してください	音楽用SD内のマイベスト数が一杯になり、これ以上、新規でマイベストを作成できないため。	マイベストを削除してから、新規でマイベストを作成してください。(→P.179)
これ以上作成できません 既存のトラックを削除してください	マイベスト内の曲数が一杯になり、これ以上、曲を追加できないため。	曲を削除してから、曲を追加してください。(→P.179)
これ以上登録出来ません 既存の曲を削除してください		

メッセージ	原因	処置
USBメモリとの通信に失敗しました USBメモリを再接続してください	USBメモリ接続コードが正しく接続されていないため。	USBメモリを再接続してください。(→P.151)
このUSBメモリには対応していません 正しい規格のUSBメモリを挿入してください	対応していないUSBメモリを接続したため。	対応しているUSBメモリをご確認ください。 (→P.332)
異常検知でUSBオーディオ停止中です※	何らかの原因で再生が停止したため。	USBメモリを再接続してください。(→P.151)
iPodとの通信に失敗しました ケーブルから外して再接続してください	iPodからの応答がないため。	本機との接続を確認してください。(→P.194)
異常検知でiPod停止中です※	何らかの原因で再生が停止したため。	iPodを再接続してください。(→P.194)
異常が発生しました 再生を行うためには iPodの再接続を行ってください		
USB機器が規定電流を超えたため電源を停止しました	過電流を検知したため。	USBメモリやiPodを再接続してください。 (→P.151、P.194)
再生できるデータがありません	iPodに再生可能な音楽データが記録されていないため。	iPod内のデータおよび本機との接続を確認してください。(→P.194)
	ディスクに再生可能な圧縮ファイルが記録されていないため。	再生可能な圧縮ファイルを確認してください。 (→P.326)
	対応していないDVDを入れているため。	対応しているDVDを入れてください。(→P.328)
再生できるファイルがありません	再生可能な圧縮ファイルが収録されていないため。	再生可能な圧縮ファイルを確認してください。 (→P.326)
入力番号が正しくありません	DVDに対応していない言語コードを入力したため。	DVDに対応している言語コードを確認してください。
	暗証番号が正しく入力されなかったため。	正しい暗証番号を入力してください。

※ 再接続しても動作しない場合は、販売店にご相談ください。

メッセージ	原因	処置
TV放送を受信できません	地上デジタルTV放送の受信エリア外にいるため。	地上デジタルTV放送を受信できるエリアに移動してください。
データ放送を表示できませんでした	データ放送を正常に受信できなかったため。	もう一度、操作し直してください。
正常に動作しませんでした 正しく装着されていないか、故障しています ご確認ください	**「miniB-CASカードの動作確認をする」**（→P.182）で異常を検出したため。カードの読み取り不良が考えられます。	miniB-CASカードの抜き差しを行ってください。それでも読み取れない場合は、お買い上げの販売店にご相談いただくか、カードを交換してください。
B-CASカードが正常に動作しませんでした カード端子面を清掃の上、ご確認ください** （エラーコード）**	miniB-CAS カードとの通信で異常を検出したため。カードの読み取り不良が考えられます。	miniB-CAS カードのカード面を清掃して、もう一度挿入してください。それでも読み取れない場合は、お買い上げの販売店にご相談いただくか、カードを交換してください。
	miniB-CASカードを挿入していないため。	miniB-CASカードを挿入してください。
	使用できないminiB-CASカードが挿入されているため。（エラーコード：A1FF、A102）	miniB-CASカードを確認してください。
	miniB-CASカードを交換する必要があるため。（エラーコード：6400）	お買い上げの販売店にご相談いただき、miniB-CASカードを交換してください。
	miniB-CASカード内のセキュリティ情報が改ざんされているおそれがあるため。（エラーコード：A104）	
	有効な条件を満たしていないminiB-CASカードが挿入されているため。（エラーコード：EC01、EC02）	

Bluetooth®

メッセージ	原因	処置
Bluetooth機器の登録ができませんでした 再度登録してください	本機とBluetooth機器のパスキーが一致しないなどの理由で登録できなかったため。	PINコード（パスキー）を確認のうえ、もう一度Bluetooth機器を登録してください。(→P.215)
電話機の接続ができませんでした Bluetooth機器の設定を確認してください 再度接続ができない場合は Bluetooth機器を再起動してください	何らかの理由でBluetooth機器が本機に接続できなかったため。	Bluetooth機器の設定を確認してください。 Bluetooth機器に添付の説明書をご覧ください。
ポータブル機の接続ができませんでした Bluetooth機器の設定を確認してください 再度接続ができない場合は Bluetooth機器を再起動してください	Bluetooth機器が本機に自動接続できなかったため。	手動で接続してください。(→P.243)
電話機が接続されていません	携帯電話が接続されていないため。	携帯電話を接続してください。**「登録～接続の流れについて」**(→P.214)
電話機をご確認ください	携帯電話がBluetooth接続されていないため。 携帯電話に異常がある。(携帯電話の電源OFF、充電不足、故障などの異常ではないか。) 携帯電話にロックがかかっている。 携帯電話が動作確認済みの機種でないため。	次の点を確認してください。 ・携帯電話とBluetooth接続されているか。 ・携帯電話が動作確認済みの機種であるか。 ・携帯電話の充電は十分であるか。 ・携帯電話のロックが解除されているか。

その他の便利機能

メッセージ	原　因	処　置
ETCカードが読めません カードをご確認下さい	ETCカードが正しく読めないため。	カードをお確かめの上、正しく挿入してください。
ETCゲートをご利用できません または センター情報：○○○○○○ ETCゲートをご利用できません	本機とETC車載器の接続に異常があるか、セットアップがされていないため。	お近くの販売店にお問い合わせください。
	路側アンテナ側から「ETC車線通行不可＆徐行」の通知があった場合に表示されます。	料金所の係員の指示にしたがってください。 （末尾にエラーコードが表示されている場合は、**「ETC統一エラーコード一覧」**（→P.316）をご覧ください。）
ETCカードに書き込みできません カードをご確認下さい	ETCカードにデータを書き込む事ができなかったため。	お近くの販売店、もしくはカード発行会社にご相談ください。
ETCゲートとの通信に失敗しました	ETC車載器と料金所間におけるデータ通信が失敗したため。	係員の指示に従ってください。
ETCに異常が発生しました ETCはご利用できません	ETC車載器に何らかの異常があるため。	お近くの販売店にお問い合わせください。
センター情報：○○○○○○ ETCゲートを通過できます	路側アンテナ側から「ETC車線通行可＆徐行」の通知があった場合に表示されます。	徐行して、ETCゲートを通過してください。
ETCカードの有効期限は今月末です	ETCカードの有効期限が今月末で切れるため。	お近くの販売店、もしくはカード発行会社にご相談ください。
ETCカードの有効期限が切れています	ETCカードの有効期限が切れるため。	お近くの販売店、もしくはカード発行会社にご相談ください。

ETC統一エラーコード一覧

エラーコード	原因	処置	お問い合わせ先
01	**ETCカード挿入異常**	ETCカードの挿入状態をご確認のうえ、もう一度挿入してください。	—
02	**データの処理異常**	＜ETCカード挿入時＞ 挿入されたETCカードのデータが読み出せませんでした。もう一度挿入してください。 ＜ETC利用時＞ 料金所にて車の停止が案内（表示）されることがあります。車の停止後、係員の指示にしたがってください。	お買い上げの販売店
03	**ETCカード異常**	挿入されたカードがETCカードであると認識できませんでした。正しいETCカードであること、および挿入方向などをご確認の上、もう一度挿入してください。	ETCカード発行会社
04	**ETC車載器の故障**	お買い上げの販売店にお問い合わせください。	お買い上げの販売店
05	**ETCカード情報の異常**	挿入されたカードがETCカードであると認識できませんでした。正しいETCカードであることをご確認の上、もう一度挿入してください。	お買い上げの販売店
06	**ETC車載器情報の異常**	ETC車載器と料金所間におけるデータ処理にエラーが発生しました。係員の指示にしたがってください。	—
07	**通信異常（ETCアンテナ外れ検知時含む）**	ETC車載器と料金所間におけるデータ処理にエラーが発生しました。係員の指示にしたがってください。	—
	ETCアンテナが正しく接続されていない	お買い上げの販売店にお問い合わせください。	お買い上げの販売店

エラーコード	原因	処置	お問い合わせ先
–	**ETCが利用不可**	＜予告アンテナ通過時＞ ETCがご利用できません。ETC混在車線、または一般車線に進入し、係員の指示にしたがってください。 ＜料金所通過時＞ ETCがご利用できません。係員の指示にしたがってください。係員が不在の場合にはお近くのインターホンにてお問い合わせください。	お買い上げの販売店
	ETC車載器の未セットアップ	車の情報などがETC車載器に登録されていません。ETC車載器のセットアップ作業をご依頼ください。	お買い上げの販売店

共通の操作

症　状	原　因	処　置
画面が暗い、見えにくい。	・ 夜画面になっていませんか？ ・ 太陽の光などの外光が表示部にあたると画面が見え難くなります。 ・ 液晶パネルを斜め方向から見ると、白っぽく見えたり黒っぽく見えたりすることがあります。	昼画面に切り替えてください。(→P.40) 画質と画面の設定から、コントラスト、明るさを調整してください。(→P.39、40)

ナビの操作

症　状	原　因	処　置
地図が表示されない。	地図用SDが差し込まれていない。	地図用SDを差し込んでください。（→P.32）
自車位置マークが表示されない。 走行しても地図が動かない。	現在地画面でタッチして、地図をスクロールさせていませんか？	現在地画面を表示させてください。（→P.62）
GPSマークが表示されない。	GPS情報を利用できない状態ではありませんか？	GPSマークは3個以上のGPS衛星から電波を受信すると表示されます。 SYSTEM CHECK画面でGPS受信強度をご確認ください。（→P.298） 場所を移動してもGPS受信強度が点灯しない状態が続く場合は、お買上の販売店にご相談ください。
案内音声が聞こえない。	音量設定が消音になっていませんか？	音量を大きくしてください。（→P.38）
走行位置から自車位置マークがずれている。	GPS衛星の状態や車の走行場所、運転条件などにより、自車位置マークがずれることがあります。また、地図データに収録されていない道路を走行すると、自車位置マークがずれることがあります。 GPS衛星の受信状況が悪く、GPSマークが赤色や黄色で表示されていませんか？	しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動で修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。） GPS情報が利用されず、現在地が自動で修正されない場合は、現在地の修正を行ってください。（→P.306） 3個以上のGPS衛星から電波を受信するとGPSマークを表示します。SYSTEM CHECK画面でGPS受信強度をご確認ください。（→P.298）合わせて、精度と誤差について（P.302～305）をご確認ください。
目的地設定画面やナビメニュー画面の一部が選択できない。（50音、住所選択、メモリ地点等）	走行中ではありませんか？	車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態で操作してください。 SYSTEM CHECK画面でパーキング信号がONになっていれば、パーキングブレーキがかかった状態です。（→P.298）

症　状	原　因	処　置
リストの中に目的の市町村名がない。	リストを50音ごとに動かしていませんか？	1ページずつ動かしてください。(→P.31)
高速道路上で案内が終了してしまう。	目的地が高速道路上に設定されていませんか？	目的地が高速道路周辺の場合や目的地を設定するときに道路の種類を選択します。(→P.83) 目的地が別の道路上の場合は、目的地設定をやり直してください。
地図上にVICS情報が表示されない。	VICS放送を行っている放送局を受信していますか？	FM多重でVICS放送を行っている局を選択してください。
	VICS表示が非表示になっていませんか？ また、表示項目を「しない」にしていませんか？	VICS表示の設定を確認してください。(→P.119)
VICS 12:59 **の時間が現在時刻と違う。**	VICS情報の提供時刻を表示しています。VICS情報を長時間受信していない場合、古い時間が表示されます。	情報を受信次第更新されます。
ハートフル音声で今日の日付の案内をしない。	エンジンスイッチをACC、またはONにして、すぐに操作をしていませんか？	しばらくの間、エンジンスイッチをACC、またはONの状態にしていると音声案内されます。
	本機を起動したときに、現在地以外の画面が表示されていませんか？	現在地を表示させてください。(→P.62)
自宅に到着してもハートフル音声が「お疲れ様でした。」と案内しない。	ナビ詳細設定の「ハートフル音声」が しない になっていませんか？	ナビ詳細設定の「ハートフル音声」を する に設定してください。(→P.123)
	自宅を登録していますか？	自宅を登録してください。(→P.104)
	自宅を目的地に設定していますか？	自宅を目的地に設定してください。(→P.82)
設定画面のナビ詳細設定で「車両情報設定」の 変更する が選択できない。	目的地が設定されていませんか？	目的地を消去してください。(→P.92)

オーディオの操作

症　状	原　因	処　置
音が出ない。	音量が0になっていませんか？	音量を大きくしてください。
片側のスピーカだけ音が出る。	スピーカコードが正しく接続されていますか？	スピーカコードの接続を確認してください。
	音量バランスは適切ですか？	左右（前後）の音量調整をして確認してください。
CD・DVDが入らない。	電源が入っていますか？	車のエンジンスイッチをACC、またはONにしてください。
	すでに1枚入っていませんか？	すでに入っているCD・DVDを取り出してください。
CD・DVDの再生ができない。	本機が結露していませんか？	しばらく待ってから使用してください。(→P.341)
	CD・DVDに大きなキズやソリ、汚れがありませんか？	きれいな状態のCD・DVDを入れてください。
	本機に対応していないCD・DVDが差し込まれていませんか？	対応しているCD・DVDを差し込んでください。(→P.328)
	自動再生されないDVDが差し込まれていませんか？	DVDディスクに収録されているメニューを操作してください。(→P.140)
DVD再生時、リヤスピーカから音が聞こえない。	5.1ｃｈ対応のDVDを再生していませんか? 5.1ｃｈ対応のDVDの主音声はフロントスピーカから聞こえます。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
DVD再生時、字幕/音声の切り替えができない。	ディスクメニューからの切り替え操作が必要なDVDではありませんか？	字幕 、音声 での切り替えではなく、ディスクメニューからの切り替えが必要な場合があります。ディスクメニュー操作から切り替えてください。(→P.140)
CDを録音できない。	録音できないCDで録音しようとしていませんか？	MP3/WMAは音楽用SDへの録音が出来ません。

症　状	原　因	処　置
USBメモリが正しく認識できない。	接続したUSBメモリは本機に対応しているものですか？	対応しているUSBメモリを接続してください。(→P.332) 対応しているUSBメモリをご使用の場合は、取り外してからもう一度接続してみてください。
iPod/iPhoneを本機で操作できない。	iPod/iPhoneは本機に対応しているものですか？	対応しているiPod/iPhoneを接続してください。(→P.337) 対応しているiPod/iPhoneをご使用の場合は、取り外してからもう一度接続してみてください。
音声は聞こえるが、映像が映らない。	画面消しボタンを押して画面を消していませんか？	現在地 ／ A V ／ MENU のいずれかを押してください。
	走行中ではありませんか？	車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態で操作してください。 SYSTEM CHECK画面でパーキング信号がONになっていれば、パーキングブレーキがかかった状態です。(→P.298)
外部接続機器の音声が聞こえない、または映像が映らない。	外部機器接続用コードのプラグがしっかり接続されていますか？	外部機器接続用コードのプラグをチェックして、しっかり接続してください。
TVが受信できない。映像が映らない／音声が聞こえない。	miniB-CASカードが正しく差し込まれていますか？	miniB-CASカードを正しく差し込んでください。(→P.34)
	地上デジタルTV放送の受信状態は良好ですか？	サービスエリア内でも環境により受信できない場合がありますので、受信できる場所に移動してください。

DSの操作

症　状	原　因	処　置
本機にDSを登録できない。	本機に登録待ち受け画面が表示されていますか？	AVソース選択画面（→P.131）で DS → 登録 の順にタッチしたあと、DSを操作してください。
	すでに本機にDSソフトが登録されていませんか？	DSの登録を削除してから、登録し直してください。(→P.252)
	登録可能な機器アドレスが複数表示されていませんか？	本機の登録待ち受け画面に表示されている機器アドレスを確認して、DS側で選択してください。
本機とDSが接続されない。	本機にDSソフトを登録しましたか？	登録してください。(→P.249)
	本機に接続待ち受け画面が表示されていますか？	AVソース選択画面（→P.131）で DS → 接続 の順にタッチしたあと、DSを操作してください。
	別の車載機にDSを登録していませんか？	利用される車載機に登録し直してください。(→P.249)
ゲームの音声が車のスピーカから聞こえない。	音量が0になっていませんか？	音量を大きくしてください。
	DSが接続されていますか？	本機がDS接続済み画面であることを確認してください。(→P.250)
DSとの通信が切れた。	他のモードに切り替えていませんか？	AVソース選択画面（→P.131）で DS → 接続 の順にタッチしたあと、DSを操作してください。
	他のBluetooth機器を使用していると切れることがあります。	ゲームを再開する場合は、もう一度接続してください。(→P.250)
目的地や経由地が設定できない。	目的地と経由地を合わせて5カ所設定していませんか？	設定できる目的地は最大5カ所です。目的地を消去してから設定してください。(→P.92)
	表示される画面によって目的地が設定できないことがあります。	現在地画面を表示したあと、もう一度設定してください。

Bluetooth®の操作

症　状	原　因	処　置
Bluetooth機器との接続が途切れる。	携帯電話の接続状態は良好ですか？	画面上部のBluetooth接続状態表示が青色になる位置に、Bluetooth機器の場所を移動してください。
	他の無線機器、またはBluetooth機器を同時に使用していませんか？	他の機器の電源を切って接続を試してください。
ハンズフリー通話ができない。	携帯電話の登録は完了していますか？	携帯電話をBluetooth機器として登録してください。(→P.215) 動作確認済みの携帯電話の機種については、ECLIPSEホームページをご覧ください。「お客様サポート」→「Bluetooth適合情報」(http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/)をご覧ください。
	携帯電話の接続状態は良好ですか？	画面上部のBluetooth接続状態表示が青色になる位置に、Bluetooth機器の場所を移動してください。
	携帯電話の状態は正常ですか？	一度携帯電話の電源をOFFにして、再度起動して接続してみてください。
電話帳データの転送ができない。 転送に失敗する。	お使いの携帯電話は、本機の電話帳転送機能に対応していますか？	動作確認済みの携帯電話の機種については、ECLIPSEホームページをご覧ください。「お客様サポート」→「Bluetooth適合情報」(http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/)をご覧ください。
	携帯電話の接続状態は良好ですか？	一括転送には10分程度時間がかかる場合があります。 画面上部のBluetooth接続状態表示が青色になる位置に、Bluetooth機器の場所を移動してください。

メディア・データの仕様についての注意

- 使用できるメディア・データの仕様をよくご確認のうえ、ご使用ください。
- メディアの状態や、データ作成時の設定や環境により、正常に動作しない場合があります。
- 規格外のメディア・データのご使用は、故障や動作不良の原因となります。

再生できる圧縮ファイルと対応メディア一覧

次の表に「○」が表示されているデータを再生できます。

<音楽ファイル>

音声形式	ファイル拡張子	CD-R/RW	DVD±R/RW	USB	SD
MP3	mp3	○	○	○	○
WMA※1	wma	○	○	○	○
AAC-LC※2、※3	m4a	○	○	○	○

※1　DRM：Digital Rights Management（デジタル著作権管理）システムのWMAファイルやプロテクト録音（ライセンス管理）されたWMA ファイルは再生できません。

※2　DRM：Digital Rights Management（デジタル著作権管理）システムのAACファイルやプロテクト録音（ライセンス管理）されたAACファイルは再生できません。

※3　iTunesで作成されたAACファイルのみ再生できます。

<動画ファイル>

動画形式	ファイル拡張子	CD-R/RW	DVD±R/RW	USB	SD
WMV	wmv	×	×	○	○
AVI	avi	×	×	○	○
MPEG4	mp4 m4v	×	×	○	○

ワンポイント

- 音楽、または動画以外のファイルに次の拡張子をつけないでください。
  - ・mp3/wma/m4a/wmv/avi/mp4/m4v

  ファイルを誤認識して再生し、大きな雑音が出てスピーカを破損する場合があります。

SDメモリーカード

次のSDメモリーカードが使用できます。

項目	ソフトウェアバージョンアップ用	音楽用		メモリ地点の移行用	オープニング画像の登録用
		本機で録音	パソコンで記録		
SDメモリーカード	—		SD	miniSD	microSD
SDHCカード	SDHC		miniSDHC		microSDHC
容量	4GB ～ 32GB		SDメモリーカード：8MB ～ 2GB SDHCカード：4GB ～ 32GB		
SDスピードクラス	Class 2 ～ 10	Class 4～10	Class 2 ～ 10		

ワンポイント

- Panasonic製のSDメモリーカードのご使用を推奨します。
- マルチメディアカード（MMC）は使用できません。
- “miniSDHCカード” や “microSDHCカード” を使用する場合は、専用のアダプターをご使用ください。
- FATファイルシステムのみ対応しています。NTFSファイルシステムには対応していません。
- SDスピードクラスによっては、転送速度や画面の表示時間が異なる場合があります。

SDメモリーカードのファイルフォーマット

＜パソコンで録音した場合＞

ファイルフォーマット	FAT16/32
フォルダ名（最大文字数）	半角256文字
ファイル名（最大文字数）	半角256文字※
最大ディレクトリ階層	8階層（Rootフォルダ含む）
保存可能なフォルダ数	3000個
保存可能なファイル数	9999個
1つのフォルダ内に保存可能なフォルダ数	3000個
1つのフォルダ内に保存可能なファイル数	1024個

※ 区切り文字 “.” ＋拡張子含む

＜本機で録音した場合＞

ファイルフォーマット	FAT32
アーティスト名（最大文字数）	半角32文字
マイベスト名（最大文字数）	半角32文字
アルバム名（最大文字数）	半角32文字
トラック名（最大文字数）	半角32文字
保存可能な曲数	9999曲
保存可能なアルバム数	3000個
1つのアルバムに保存可能な曲数	99曲

オープニング画像用データ

次の画像データが使用できます。

画像容量	10MB以下（1ファイル当たり）
画素数	最大2000万画素
ファイル拡張子	.jpg（JPEG2000は非対応）
表示ファイル数（枚数）	255まで
取り込み対象となる画像ファイル	ルートディレクトリ（最上位階層）

ディスク

次の表に「○」が表示されているディスクを再生できます。

項目	種類	対応	内容
サイズ	12cm	○	―
	8cm	×	アダプタ等を使用しても再生できません
CD	音楽CD	○	・ COMPACT disc DIGITAL AUDIO の表示があるディスク
	CD-R/RW※1	○	・ COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable の表示があるディスク ・ 再生できるデータの仕様については次をご覧ください ・ 再生できる音楽ファイルについて（→P.326） ・ ファイルフォーマットについて（→P.331）
	CD-TEXT	○	・ COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT の表示があるディスク

※1　インクジェットプリンタでレーベル面を印刷できるディスクは使用しないでください。ディスクを取り出せなくなる可能性があります。

項目	種類	対応	内容
CD	CCCD（コピーコントロールCD）	×	CCDDはレコード会社により規格が異なるため、再生できない場合があります
	CD-EXTRA/CD Plus	○	音楽CDとして再生可能
	Mixed-Mode CD	○	音楽トラックのみ再生可能
	スーパーオーディオCD（SACD）	○	ハイブリッドディスクのCD層のみ再生可能
	ビデオCD	×	ー
DVD	DVD-VIDEO	○	次のロゴマーク表示があるディスク ・DVD VIDEO ・NTSC ：NTSCカラー方式 ・ALL 2 ：地域番号（リージョンコード）

項目	種類	対応	内容
DVD	DVD-R/RW※1	○	・DVD R DVD RW の表示があるディスク ・ビデオモード、VRモードで記録し、ファイナライズ処理※2をしたデータのみ再生可能 ・CPRM対応 ・再生できる音楽データの仕様については次をご覧ください。 　・再生できる音楽ファイルについて（→P.326） 　・ファイルフォーマットについて（→P.331）
	DVD+R/RW※1	○	・RW DVD+R RW DVD+ReWritable の表示があるディスク ・ビデオモード、VRモードで記録し、ファイナライズ処理※2をしたデータのみ再生可能 ・再生できる音楽データの仕様については次をご覧ください。 　・再生できる音楽ファイルについて（→P.326） 　・ファイルフォーマットについて（→P.331）

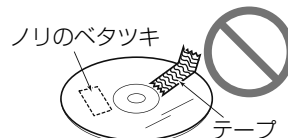
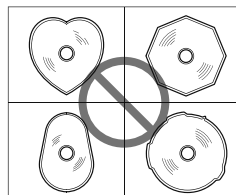
※1　インクジェットプリンタでレーベル面を印刷できるディスクは使用しないでください。ディスクを取り出せなくなる可能性があります。
※2　ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーの説明書をご覧ください。

項目	種類	対応	内容
その他	DualDisc	×	ー
	C-thru Disc	×	記録部分に透明、または半透明部分があるディスク

再生できないディスクについて

次のディスクは使用しないでください。故障の原因となります。

- **ひびがはいったり、そりが大きいディスク**

- **シールやテープ、ノリが付着しているディスク**

- **ハート形など円形以外の特殊形状のディスク**

- **ディスク保護用のアクセサリー（スタビライザー、保護シール）やCDラベルを使用したディスク**

- **音質向上や防振用のアクセサリー（CDリング・プロテクターなど）を使用したディスク**

ディスクのファイルフォーマット

■ ディスクフォーマット

フォーマット	CD-ROM MODE1、 CD-ROM XA MODE2（Form1）
書き込み方法	ディスクアットワンス、セッションアットワンス、 トラックアットワンス

■ ファイルフォーマット

ファイルシステム	ISO9660		拡張フォーマット		UDF
	LEVEL1	LEVEL2	ROMEO形式	JOLIET形式	2.01
フォルダ名（最大文字数）	半角8文字	半角31文字	半角32文字	半角32文字※1	半角32文字
ファイル名（最大文字数）	8.3形式	半角31文字	半角32文字※2	半角32文字	半角32文字
表示できる文字	英数字（ASCIIコード）		英数字（ASCIIコード）日本語（S-JISコード）	英数字（ASCIIコード）日本語（Unicode）	英数字（ASCIIコード）日本語（Unicode）
最大ディレクトリ階層	8階層（Rootフォルダ含む）				

※1　区切り文字“.”含む
※2　区切り文字“.”、拡張子含む

ファイルシステム	ISO9660		拡張フォーマット		UDF
	LEVEL1	LEVEL2	ROMEO形式	JOLIET形式	2.01
1枚のディスクに書き込み可能なフォルダ数	256個（Rootフォルダ含む）				
1枚のディスクに書き込み可能なファイル数	999個				

ワンポイント

- パケットライト記録ディスクには対応しておりません。（DirectCD等で作成したディスクなど）
- CD-R、CD-RWは、セッションクローズしている場合のみ再生可能です。ただし、CD-RWは書き込みの設定で、“CDを閉じる”や“CDの終了処理をする”ようにしてください。（設定の方法はライティングソフトで異なりますので確認してください。）

USBメモリ

使用できるUSBメモリは次のフォーマットです。

対応クラス	マスストレージクラス
対応USB Ver.	USB1.1、USB2.0
最大消費電流	1A未満

- 本機は市販のUSBハブやマルチカードリーダー、外付けのハードディスク、USB端子付ポータブルオーディオプレーヤーには対応していません。
- USBメモリ以外（USB扇風機やUSBクリーナーなど）は接続しないでください。接続して使用すると、ノイズなどが発生する場合があります。
- 本機は市販のUSB充電コード（携帯電話充電コード）を使用できますが、コードの種類によっては正しく認識できない場合があります。
- 本機のUSB接続コードから延長コードを介してUSB機器を接続しても、正常に動作しないことがあります。

ワンポイント

- 接続したUSBメモリが正しく認識できない場合は、一度取り外してもう一度接続してください。

USBのファイルフォーマット

ファイルフォーマット	FAT16／FAT32
フォルダ名（最大文字数）	半角256文字
ファイル名（最大文字数）	半角256文字※
最大ディレクトリ階層	8階層（Rootフォルダ含む）
保存可能なフォルダ数	3000個
保存可能なファイル数	9999個
1つのフォルダ内に保存可能なフォルダ数	3000個
1つのフォルダ内に保存可能なファイル数	1024個

※ 区切り文字“.”、拡張子含む

再生できる圧縮ファイルの仕様について

音楽ファイル

チェック

●再生可能なファイル容量は、1ファイルにつき2GBまでです。

■ MP3ファイル

フォーマット	MPEG1 Audio Layer Ⅲ、MPEG2 Audio Layer Ⅲ
サンプリング周波数(kHz)	・ MPEG1 Audio Layer Ⅲ：32/44.1/48 ・ MPEG2 Audio Layer Ⅲ：16/22.05/24
ビットレート※(kbps)	・ MPEG1 Audio Layer Ⅲ：32～320 ・ MPEG2 Audio Layer Ⅲ：8～160
チャンネルモード	ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

※ VBR（可変ビットレート）に対応しています。

ワンポイント

●安定した音質で再生するために、128kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数、ステレオのチャンネルモードを推奨します。

■ WMAファイル

フォーマット	WMA Ver.9 Standard Decoder Class3に準拠
サンプリング周波数(kHz)	32/44.1/48
ビットレート※（kbps)	・ Ver. 7/8：48～192 ・ Ver. 9（9.1/9.2)：48～320
チャンネルモード	ステレオ、モノラル

※ ステレオ（2ch）再生のみ対応しています。
※ VBR（可変ビットレート）に対応しています。
※ 可逆圧縮（ロスレス圧縮）には対応していません。
※ DRM：Digital Rights Management（デジタル著作権管理）システムのWMAファイルやプロテクト録音（ライセンス管理）されたWMAファイルは再生できません。

■ AACファイル

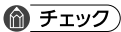
フォーマット	AAC-LC（AAC Low Complexity)
サンプリング周波数(kHz)	11.025/16/22.05/24/32/44.1/48
ビットレート(kbps)	16～320
チャンネルモード	ステレオ、モノラル
対応iTunesバージョン	iTunes 10.4 を推奨

※ DRM：Digital Rights Management（デジタル著作権管理）システムのAACファイルやプロテクト録音（ライセンス管理）されたAACファイルは再生できません。
※ iTunesで作成されたm4aファイルのみ対応しています。

タグ情報

次の表に「○」が表示されているファイルには、タグ情報と呼ばれる付属文字情報を入力でき、曲のタイトル、アーティスト名などを保存できます。

		ID3				WMA	AAC
		Ver.1.0	Ver.1.1	Ver.2.2	Ver.2.3	Ver.9まで	iTunes-TAG
入力できる項目	TITLE	○	○	○	○	○	○
	ARTIST	○	○	○	○	○	○
	ALBUM	○	○	○	○	○	○
表示できる文字		英数字（ASCIIコード） 日本語（S-JISコード）				英数字(ASCIIコード) 日本語(Unicode)	英数字（ASCIIコード) 日本語（Unicode UTF-8)

動画ファイル

チェック

● 再生可能なファイル容量は、1ファイルにつき4GBまでです。

■ 画像サイズ

対応画像サイズ	サイズ（pixel)
SQCIF	128×96
1/16VGA	160×120
QCIF	176×144
QVGA	320×240
SIF	352×240
CIF	352×288
VGA	640×480
D1 NTSC	720×480
D1 PAL	720×576

■ オーディオコーディック

種類	動画形式	サンプリング周波数（kHz）	ビットレート（kbps）	チャンネルモード
MP3※1	WMV AVI MPEG4	MPEG1 Audio Layer Ⅲ：32/44.1/48 MPEG2 Audio Layer Ⅲ：16/22.05/24	MPEG1 Audio Layer Ⅲ：32～320 MPEG2 Audio Layer Ⅲ：8～160	ステレオ ジョイントステレオ デュアルチャンネル モノラル
WMA※1、※2 Ver.7/8/9	WMV AVI	32/44.1/48	Ver. 7/8：48～192 Ver. 9（9.1/9.2）：48～320	ステレオ モノラル
AAC-LC※1、※3、※4 (AAC Low Complexity)	AVI MPEG4	11.025/16/22.05/24/32/44.1/48	16～320	ステレオ モノラル

※1　VBR（可変ビットレート）に対応しています。
※2　DRM：Digital Rights Management（デジタル著作権管理）システムのWMAファイルやプロテクト録音（ライセンス管理）されたWMAファイルは再生できません。
※3　DRM：Digital Rights Management（デジタル著作権管理）システムのAACファイルやプロテクト録音（ライセンス管理）されたAACファイルは再生できません。
※4　iTunesで作成されたm4aファイルのみ対応しています。

■ ビデオコーディック

種類	動画形式	対応プロファイル
WMV9	WMV AVI	・ Simple Profile ・ Main Profile ・ Advanced Profile
MPEG4	AVI MPEG4	・ Simple Profile ・ Advanced Simple Profile
H.264/AVC	AVI MPEG4	・ Baseline Profile ・ Main Profile ・ High Profile

MP3/WMA/AACの再生について

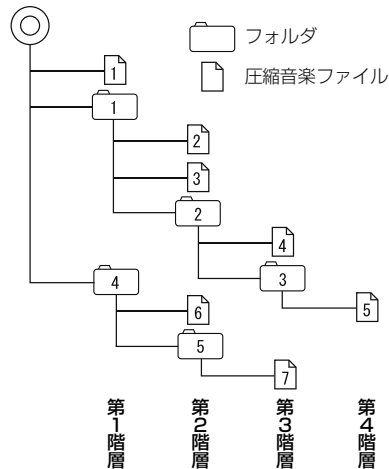
- MP3/WMA/AACファイルが収録されているメディアを差し込むと、最初にメディア内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終了すると最初のファイルを再生します。
- 各メディアに本機で再生できるファイル以外のデータを記録すると、ディスクやUSBの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- エンコーダの状態やファイルフォーマットにより、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。

MP3/WMA/AACの演奏時間表示について

- MP3/WMA/AACファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。
- VBR（可変ビットレート）のFAST UP/DOWN動作をすると演奏時間が一致しないことがあります。

ファイルの再生順番について

- フォルダモードから再生した場合は、ファイルが書き込まれた順番に再生されます。
（次の図の場合、1→2→3→4→5→6→7の順に再生します。）

<ファイル作成例>

- アーティストモード、またはアルバムモードから再生した場合は、ファイル名の文字コード（UTF8）の昇順に再生されます。

iPod

対応しているiPodの種類（世代）については、ECLIPSEホームページをご覧ください。「お客様サポート」→「iPod/iPhone適合情報」

お客様サポートURL：

http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/

HDMI機器

使用できるHDMI 機器の映像および音声信号の規格は次のとおりです。

映像信号	解像度：640 × 480p/720 × 480p
音声信号	種類：リニアPCM サンプリング周波数（kHz）：32、44.1、48

Bluetooth®機器

動作確認済みの携帯電話の機種については、ECLIPSEホームページをご覧ください。

「お客様サポート」→「Bluetooth適合情報」

お客様サポートURL：

http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/

対応Bluetooth®仕様/プロファイルについて

■ ハンズフリー

Bluetooth仕様	Bluetooth Specification Ver. 1.1以上※1
プロファイル	・ HFP Ver. 1.0以上※2（Hands Free Profile） ・ OPP Ver. 1.2を推奨（Object Push Profile） ・ PBAP Ver. 1.1を推奨（Phone Book Access Profile）

※1　Ver. 3.0を推奨
※2　Ver. 1.6を推奨

■ Bluetooth® Audio

Bluetooth仕様	Bluetooth Specification Ver. 1.1以上※1
プロファイル	・ A2DP Ver. 1.0以上※2 (Advanced Audio Distribution Profile) ・ AVRCP Ver. 1.0以上※3(Audio/Video Remote Control Profile)

※1　Ver. 3.0を推奨
※2　Ver. 1.2を推奨
※3　Ver. 1.4を推奨

■ スマートフォン連携

Bluetooth仕様	Bluetooth Specification Ver. 1.1以上※
プロファイル	・ SPP Ver. 1.1を推奨（Serial Port Profile）

※ Ver. 3.0を推奨

Wi-Fi通信

対応のスマートフォン機種やOSバージョンについては、ECLIPSEホームページをご覧ください。
「お客様サポート」→「Wi-Fiテザリング適合情報」

お客様サポートURL：

http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/

■ 対応Wi-Fi規格

・ 規格：IEE802.1.1b/g/n（2.4GHz）
・ 対応チャンネル：1～13ch

■ 対応セキュリティ方式および暗号強度

セキュリティ方式	暗号強度
Open system	―
WEP	低
WPA Personal	中
WPA2 Personal	高

道路管理者等からのお知らせとお願い

ITSスポットサービス（DSRC）アップリンク機能※1 を用いたプローブ情報の利用及び取り扱いについて

国土交通省、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社、阪神高速道路株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社及び広島高速道路公社（以下、「道路管理者等」と言います。）は、ITS スポット対応DSRC ユニット※2 からプローブ情報を収集する場合における情報の利用や取り扱いについて、次の通りお知らせします。

多くの方々からプローブ情報をご提供いただくことで、より精度の高い道路交通情報などをドライバーの方々に提供することなどが可能となり、道路がより使いやすくなると期待されます。また、交通事故の削減や道路渋滞の緩和など環境負荷低減の取り組みに活用するこ

とも予定しています。

プローブ情報の収集にご理解とご協力をお願いします。

※1　ITSスポットサービス（DSRC）路側無線装置に情報を送信するITS スポット対応DSRCユニットの機能。
※2　狭域通信（DSRC）を利用し、路側無線装置と通信を行うことで、これを利用した様々なサービスを受けることが可能なユニット。

1. プローブ情報

（1）ここで「プローブ情報」とは、ITSスポット対応DSRCユニットに記録された走行位置の履歴などの情報で、道路管理者等が管理する路側無線装置等※3 と無線通信を行うことによりITS スポット対応DSRCユニットから収集される情報を言います。

※3　道路管理者等が管理する路側無線装置及び道路管理者等とプローブ情報の収集に関する協定等を結んだ者が管理する路側無線装置を言います。

2. プローブ情報の利用目的

（1）道路管理者等は、プローブ情報を道路交通情報や安全運転支援情報の提供などドライバーへのサービス、道路に関する調査・研究、道路管理の目的に利用します。※4

※4　例えば、収集した走行位置の履歴を統計的に処理することで、区間の走行所要時間や、渋滞の影響を高い精度で把握し、ITSスポット対応DSRCユニット利用者やドライバーに情報提供することができます。また、急な車両の動きを統計的に処理することで、道路上の障害物の検知や、走行に注意が必要な箇所を把握し、ITSスポット対応DSRCユニット利用者やドライバーに情報提供することが考えられます。

（2）道路管理者等は、(1) の目的以外でプローブ情報を利用しません。

3. プローブ情報の収集

（1）道路管理者等は、道路管理者等が管理する路側無線装置※3 によって、プローブ情報を収集する場合があります。収集する情報は次のとおりです。なお、これらの情報に特定の車両又は個人を容易に識別できる情報は含まれていません。

・ITSスポット対応DSRCユニット、カーナビゲーションに関する情報（製造メーカ、型番等）
・車両に関する情報※5
・走行位置の履歴※6
・急な車両の動きの履歴（急ブレーキ、急ハンドル等で車両の動きに急な変化があった場合にのみ、位置、加速度等が保存されます。）※6

※5　ユニットのセットアップの際にご提供いただいた車両情報の一部です。なお、この情報に、車台番号や、自動車登録番号又は車両番号の４桁の一連番号は含まれません。（例：「品川500あ1234」では「1234」の部分は含まれません。）
※6　走行開始地点などの個人情報にかかわる情報を、履歴から特定できない仕組みがカーナビゲーションに施されています。

（2）道路管理者等は、プローブ情報から車両又は個人を特定することはありません。

（3）ITSスポット対応DSRCユニット利用者は、ITSスポット対応DSRCユニットと連動したカーナビゲーションの設定により、(1) で示す情報のうちカーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴について、道路管理者等への提供の可否を選択することができます。※7 選択の方法については、**「割込情報を設定する」**（→P.285）をご覧ください。

※7　カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供する機能の無いカーナビゲーションでは選択できない場合があります。カーナビゲーションと連動していないITS スポット対応DSRC ユニットからは、カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴は提供されません。

（4）ITSスポット対応DSRC ユニット利用者は、カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供することで、これを利用した様々な追加サービスの提供を受けられる場合があります。

4. プローブ情報の第三者への提供

（1）道路管理者等は、 2．(1) の目的のため、プローブ情報又はこれを統計的に処理した情報を、道路管理者等、他の情報提供主体、大学等の研究機関、その他第三者に提供する場合があります。

（2）道路管理者等は、ITS スポット対応DSRC ユニット、路側無線装置等の関係設備について、障害発生時の対応や、これらの研究・開発の目的のため、プローブ情報又はこれを統計的に処理した情報を、製造・開発メーカーに提供する場合があります。

（3）道路管理者等は、(1) 及び(2) 以外でプローブ情報を第三者に提供しません。

取り扱い上のご注意について

GPSの測位について

- GPSマークが表示されてから走行してください。測位状態が不十分なときに走り出すと自車位置がずれる場合があります。
- お買いあげ後、初めてご使用になるときや長時間バッテリーをはずしておいた場合などは、現在地を正しく表示しないことがありますが、しばらくするとGPSの測位によって表示位置などが修正されます。

データについて

- 本システムではエラーコード等の情報を記録しています。富士通テン㈱では、取得したデータは当社ナビの品質向上の為に利用する事があります。
- お客様がSDメモリーカード内に保存したデータは、いかなる記録媒体にも転送できません。
- 悪路走行中などの振動の激しい場合は、ディスクおよびSDメモリーカードのデータを読み取れなくなり正常に作動しないことがあります。振動が静まり、しばらくすると正常に戻ります。
- 本機は精密機器であり、静電気、電気的なノイズ、振動等により記録されたデータが消失する場合があります。お買いあげ後、お客様がSDメモリーカードに記録されるデータにつきましては、データ消失の場合にそなえて、別にメモをとるなどして保管してください。
- 本機以外の製品で地図用SDを使用しないでください。データが破損するおそれがあります。

免責事項について

- 地図データを使用したことにより発生したお客様本人および第三者のいかなる損害にも、弊社はその責任を負いかねます。
- 地図データの誤字・脱字・位置ずれ等表記又は内容に関する誤りに対して、取り替え・代金の返却はいたしかねます。
- 地図データに含まれる機能がお客様の特定目的に適合することを、弊社は保証するものではありません。
- 本機を使用中にメディアや機器のデータなどが消失した場合、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。
- なお、次のような場合、保証はいたしかねますので、予めご了承ください。
  - ・本機の故障、誤作動、または不具合等により、あるいは本機が電気的なノイズの影響等を受けたことにより、お客様が記録されたSDメモリーカード内のデータ等が変化・消失した場合。
  - ・お客様、または第三者が本機の使用を誤ったことにより、SDメモリーカード内の地図データや基本プログラム、お客様がSDメモリーカードに記録されたデータ等が変化・消失した場合。
  - ・本機の故障・修理に際し、お客様が記録されたSDメモリーカード内のデータ等が変化・消失した場合。

※ なお、本機を装着もしくはご使用されたときは、上記の内容を承認されたものとみなさせていただきます。

プレーヤーについて

- 寒いときや雨降りのときは、本機内部に結露が発生することがあります。(結露現象）この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- 気温が低いときにヒーターをつけた直後では、CD読み取り部のレンズに結露が発生することがあります。このような場合は1時間ほどそのままの状態で放置しておけば結露が取り除かれ、正常に作動するようになります。何時間たっても正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じるとプレーヤーは自動で停止します。画面のメッセージにしたがって操作しても動かない場合は、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音とびをすることがあります。

液晶パネルについて

- 液晶パネルは斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりすることがあります。
- 太陽の光などの外光が表示部にあたると画面が見えにくくなります。
- 表示画面のタッチスイッチ内側に結露が発生した場合、正しく動作しないことがありますので、無理に使用せず、結露がなくなるまで操作しないでください。

電装品の使用について

- 本機は他の電装品からの電気的ノイズに対して影響を受けにくい構造になっておりますが、強力なノイズを発生する電装品があり、本機のそばで使用された場合、画面の乱れ、雑音等の誤作動をすることがあります。その場合は、原因と思われる電装品の使用をやめてください。

Bluetooth®機器使用上の注意事項について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
（上記３種の無線局を以下「他の無線局」と略します）

この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

この機器の使用周波数帯は2.4GHz帯です。
変調方式としてFH-SS変調方式を採用しています。

想定与干渉距離は10m以下です。

この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

チェック

- 本機は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。本機に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本機を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

Bluetooth®とWi-Fiの同時使用について

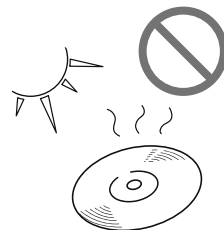
Bluetooth機器やWi-Fiが使用する2.4GHz帯はさまざまな機器で使用されています。

他の機器の影響やBluetooth機器とWi-Fiを同時に使用することにより、通信速度や通信距離が低下したり、ネットワークが切れることがあります。

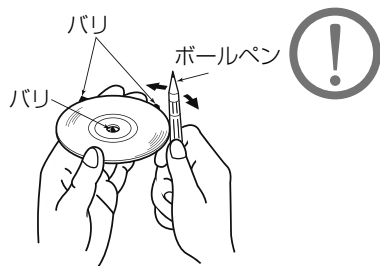
BluetoothとWi-Fiは、同時に使用できない場合があります。

メディアの取り扱いについて

ディスクの取り扱いについて

- ディスクは直射日光をさけ、必ずケースにいれて保管してください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。

- 記録面（虹色に光っている面）に触れないように持ってください。ディスクが汚れ、音とびをすることがあります。

● ディスクが汚れた場合は、市販のディスク・クリーナでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭きとってください。

● 新しいディスクには、センターホールや外周部に“バリ”があることがあり、そのまま使用すると、正常に作動しない場合があります。ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。

miniB-CASカードの取り扱いについて

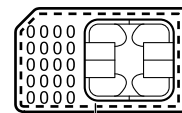
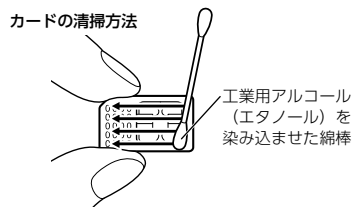
● 使用許諾契約約款、miniB-CASカードの説明書をよくお読みのうえ、お使いください。

● お客様ご自身でパッケージを開封し、カードを本機に正しく差し込んでください。

● デジタル放送を視聴するには、miniB-CASカードの挿入が必要です。(ワンセグ放送は視聴できます)

● 重いものをのせないでください。

● 水をかけたり、濡れた手で触らないでください。

● カード端子面には手を触れないでください。
手に付着している目に見えない異物が端子面に付着し、カードの読み取り不良が発生する恐れがあります。

● 端子面に触れてしまい、カードが読みとれない場合は、端子面全体を直線でなぞるように、まんべんなく拭き取ってください。拭き取り後も同様の症状が発生する場合には、お買い上げの販売店にご相談いただくか、カードを交換してください。

● 分解、改造はしないでください。

● 折り曲げたり、変形させたりしないでください。

● 高温になるところにカードを放置しないでください。

● バス・タクシーなど、不特定または多数の人の視聴を目的とした業務用途には使用できません。

より詳しい情報は、http://www.b-cas.co.jp をご覧ください。

お手入れについて

本機のお手入れについて

● タッチパネルは傷がつきやすいのでご注意ください。汚れをおとす場合は、柔らかい布（シリコンクロスなど）で軽く押さえるようにして拭いてください。布の上からであっても爪などの硬い物で強くこすらないでください。

● 汚れがひどい場合は、水でうすめた台所用洗剤にひたした布をよく絞ってからふきとり、乾いた布でしあげてください。

● 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

● ベンジンやシンナーなどの揮発性のある薬品やツヤ出し剤は使用しないでください。
変質したり、塗装がはげることがあります。

アンテナのお手入れについて

● 掃除をする場合は、タオルや柔らかい布などで軽く押えるようにして拭いてください。爪などでこするとアンテナパターン線がはがれる原因となります。

● アンテナ部からコードを取りはずすことはできません。無理に取りはずすと動作できなくなり、再使用もできません。

● コードのコネクタ部分に力をかけないでください。

● 一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下する場合があります。また車のフロントガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が低下することがあります。

● 受信状態が良くなる角度に調整してください。

● カーウィンドフィルムの上からフィルムアンテナを貼った場合、フィルムアンテナをはがす際にカーウィンドフィルムを傷めることがありますのでご注意ください。

本機を再起動する

自車位置マークが動かないなど、動作不良を起こした場合は本機を再起動してください。

1 MENU を10秒以上押す

ワンポイント

● 本機を再起動すると、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にした後、エンジンスイッチをACC、またはONにした場合と同じ状態となります。

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報を確認する

1 MENU ⇨ 情報 ⇨ OSS 情報 ⇨ ソフトウェアのライセンス情報を確認する

ソフトウェアをバージョンアップする

快適にナビをご利用いただくため、購入後のナビの性能改善・操作性向上を目的にソフトウェアの更新を行っています。

更新は次の2つの方法でできます。

- SDメモリーカードを使って更新する（→P.346）
- Wi-Fi接続で更新する（→P.347）

注 意

- ソフトウェアの更新は、安全な場所に停車して行ってください。
- ソフトウェアの更新をする場合、インターネットに接続できる環境のパソコンと、SDメモリーカードとSDメモリーカードリーダーが必要です。お客様のパソコンの環境によっては通信料金が高額となりますので、ご注意ください。
- ソフトウェア更新はお客様の責任において実行してください。
- ソフトウェア更新を行うと、前のバージョンに戻すことはできません。
- ソフトウェア更新で適用されるソフトは本機専用です。その他の機器で使用しないでください。
- ソフトウェア更新の内容によっては一部の設定が初期化されることがあります。その場合はソフトウェア更新後、もう一度設定をしてください。

チェック

- 地図用SDは使用できません。
- 地図データ、CD タイトル情報（CDDB）は本サービスの更新対象ではありません。

SDメモリーカードを使って更新する

■ 更新データを準備する

チェック

- 音楽用SD※をお使いの場合は、本機より取り出しておいてください。（→P.33）
  - ※ AVN-SZX04i、AVN-ZX04iは同梱されています。
  - ※ AVN-SZ04i、AVN-Z40i、AVN-SZ04iW、AVN-Z40iWは別途お買い求めください。
- 使用できるSDメモリーカードについては、**「SDメモリーカード」**（→P.327）をご覧ください。
- 「My Page」への登録が必要になります。（→P.2）

1 パソコンでECLIPSEホームページの「お客様サポート」から「My Page」（https://www.e-iserv.com/jp/MyPage/Index.do）にアクセス

2 更新ソフトをパソコンにダウンロードする

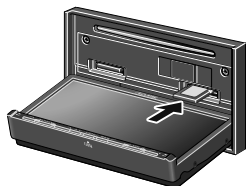
3 パソコンにダウンロードした更新ソフトをSDメモリーカードにコピーする

- 更新ソフトは、SDメモリーカード内の最上位階層に保存してください。作成したフォルダ内に更新ソフトを保存すると、更新ソフトを読み込むことができません。

■ ソフトウェアを更新する

⚠ 注 意

- ソフトウェア更新中は、SDメモリーカードを抜いたり、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしないでください。

1 MENU ⇨ 情報 ⇨ ソフトウエア更新 ⇨ OPEN ⇨ SDメモリーカードを音楽用SD差し込み口に“カチッ”と音がするまで差し込む

- ▲マークを奥にして、ロックせずに差し込んでください。

2 CLOSE ⇨ 更新を実施する ⇨ はい

- 更新ソフトがインストールされます。約10分程度かかります。
- 更新中は操作できません。

3 「新しいソフトウェアの更新準備が完了しました」のメッセージが表示されたら、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にした後、もう一度ACC、またはONにする

- 更新履歴 ：ソフトウェアの更新履歴を確認する

Wi-Fiでソフトウェアをダウンロードする

テザリングに対応しているWi-Fi通信機器を使ってソフトウェアをダウンロードし、本機に挿入したSDメモリーカードにデータを書き込むことで、ナビのソフトウェアを更新できます。

チェック

- 事前にWi-Fiの通信設定をしてください。（→P.260）
- Wi-Fiでデータをダウンロード中は、Bluetooth通信が切断されます。

1 MENU ⇨ ▲ ⇨ ▲AV SD

2 SDメモリーカードを音楽用SD差し込み口に“カチッ”と音がするまで差し込む ⇨ CLOSE

- ▲マークを奥にして、ロックせずに差し込んでください。

3 MENU ⇨ 情報 ⇨ ソフトウエア更新 ⇨ Wi-Fi経由での最新ソフトウェアダウンロード ⇨ はい ⇨ はい ⇨ ソフトウェアのダウンロード開始

- Wi-Fiの通信速度によっては、ダウンロードに時間がかかります。

4 ソフトウェアのダウンロード完了⇨ **はい** ⇨ **はい**
⇨ ソフトウェアの更新を開始

- 更新ソフトがインストールされます。約10分程度かかります。
- 更新中は操作できません。

5 「新しいソフトウェアの更新準備が完了しました」のメッセージが表示されたら、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にした後、もう一度ACC 、またはONにする

- **更新履歴** ：ソフトウェアの更新履歴を確認する
- プログラム読み込み中画面が表示されているときは、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしないでください。

バッテリーの交換時について

バッテリーを交換したとき（バッテリーの⊕ターミナルを接続）は、車両のエンジンスイッチをACC、またはONにするとプログラムの読み込みが開始されます。プログラム読み込み中は絶対にバッテリーターミナルをはずさないでください。

ワンポイント

● ESNを設定している場合（→P.54）や地図SDカードが差し込まれていない場合（→P.33）は、表示される画面が異なります。

バッテリーの交換について

車から本機やバッテリーを取りはずした場合、一部（下記表）を除き、本機に保存されている情報が初期化されます。車の点検やバッテリーの交換、地図データの全更新を行う際は、ご注意ください。

チェック

● ESN の設定をしている場合、バッテリーの交換などを行うと、ESN のロックがかかります。ESN のロックを解除する方法については、**「ロックを解除する」**（→P.55）をご覧ください。

■ 初期化されない情報

項目	内容
メンテナンス	各種項目・自動通知設定
メモリ地点	登録したメモリ地点（自宅を含む）
迂回メモリ地点	登録した迂回メモリ地点
販売店の設定	設定した販売店の情報
地上デジタルTV放送	プリセットスイッチに記憶されたチャンネル
ラジオ	プリセットスイッチに記憶された放送局
DS	DSソフトの情報
電話帳	登録した電話帳データ
ワンタッチダイヤル	設定したワンタッチダイヤル
発信/着信履歴	記憶された発信/着信履歴
エコ機能	燃費の設定やこれまでの履歴
オープニング画	オープニング画の設定
バックアイカメラ	バックカメラガイド線表示設定・調整したガイド線

ワンポイント

● 一度初期化された内容は元に戻せません。ご注意ください。

地図データについて

道路・地名・施設情報・料金は地図データ作成後、変更されることがありますので、現場の状況と異なることがあります。
なお、このGPS ボイスナビゲーションシステムの「地図」は国土交通省 国土地理院発行の地形図、および地勢図をもとに、一般財団法人 日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社 ゼンリンの地図情報を付加して、株式会社 トヨタマップマスターが製作したものです。
地図用SDに収録されているデータベースなどの情報は、**「地図データの情報を表示する」**(→P.301)でご確認いただけます。

ワンポイント

- 地図の作成に当たり、できる限り正確なものを提供できるよう道路の改良、新規開通などの情報収集や現地調査などを行っております。しかしながら、道路・地名・施設情報・料金などは日々刻々と変化しており、その性質上、道路の抜け、道路形状・道路名称・施設名称・料金の間違いなどを完全にゼロにすることはできません。この点に留意してご利用ください。
- 幅が3m 未満の区間を含む道路は、原則として地図データに収録されていません。道路工事や最新の測量により、幅が3m 未満の区間を含むと判定された道路は、地図データベースの更新時に削除されることがあります。

地図データベースについて

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1 地勢図、5 万分の1 地形図、2 万5 千分の1 地形図、1 万分の1 地形図及び数値地図50m メッシュ(標高)を使用しました。(測量法 第30 条に基づく成果使用承認 平25 情使 第460-002 号)
この地図の作成に当たっては、国土情報整備事業の一環として国土交通省国土地理院において作成された、国土数値情報を使用しました。
この地図作成に当たっては、一般財団法人 日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法 第44 条に基づく成果使用承認 12-040T)

交通規制データの出典について

この地図に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、(株) トヨタマップマスターが作成したものを使用しています。

道路交通規制の優先について

このデータが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。

交通事故多発地点について

この地図に使用している事故多発地点データは、警察庁および国土交通省のデータをもとに作成しました。

渋滞考慮探索及び周辺迂回路探索について

JARTIC/VICS の情報を使用しています。

統計交通情報について

統計交通情報データは、JARTIC / VICSの情報を使用しています。

ボトルネック踏み切りデータについて

この地図に使用しているボトルネック踏み切りデータは、国土交通省のデータを基に作成しました。

スマートIC(ETC 専用)について

スマートIC はETC 専用のインターチェンジのため、実際の走行の際にはETC を使用できる状態でなければご利用頂けません。また、スマートIC は乗降方向(上り下り)や時間帯、車種が限定される箇所がありますので、必ず現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。

道路交通情報データについて

道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。データ作成には、一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（VICSセンター）の技術が用いられています。

高速道路料金データについて

使用している高速道路・都市高速の料金データは、2014年4月現在のものです。(一部新設道路を除く)

個人宅電話番号・名称データについて

この地図に使用している個人宅電話番号・名称データは日本ソフト販売株式会社の「Bellemax®」（発行年月：2014年3月）のデータを使用しています。

市街図収録都市リスト

北海道
札幌市、函館市、小樽市、旭川市、室蘭市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、岩見沢市、網走市、留萌市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、北広島市、石狩市、当別町、釧路町
青森県
青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市
岩手県
盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、奥州市、滝沢村
宮城県
仙台市、石巻市、塩竈市、気仙沼市、白石市、名取市、角田市、多賀城市、岩沼市、大崎市、七ヶ浜町、利府町
秋田県
秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、由利本荘市、大仙市
山形県
山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市
福島県
福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、南相馬市、西郷村
茨城県
水戸市、日立市、土浦市、古河市、石岡市、結城市、龍ヶ崎市、下妻市、常総市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、取手市、牛久市、つくば市、ひたちなか市、鹿嶋市、潮来市、守谷市、筑西市、坂東市、神栖市、つくばみらい市、大洗町、東海村
栃木県
宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、小山市、真岡市、大田原市、矢板市、那須塩原市
群馬県
前橋市、高崎市、桐生市、伊勢崎市、太田市、沼田市、館林市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、玉村町
埼玉県
さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、秩父市、所沢市、飯能市、加須市、本庄市、東松山市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、ふじみ野市、白岡市、三芳町、毛呂山町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、横瀬町、皆野町、長瀞町、小鹿野町、東秩父村、美里町、神川町、上里町、寄居町、宮代町、杉戸町、松伏町
千葉県
千葉市、銚子市、市川市、船橋市、館山市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、成田市、佐倉市、東金市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鴨川市、鎌ヶ谷市、君津市、富津市、浦安市、四街道市、袖ヶ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、南房総市、匝瑳市、香取市、山武市、いすみ市、大網白里市、酒々井町、栄町、多古町、東庄町、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町
東京都
千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町
神奈川県
横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、秦野市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、清川村
新潟県
新潟市、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、燕市、糸魚川市、妙高市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市
富山県
富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、射水市
石川県
金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、白山市、野々市市、内灘町
福井県
福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市
山梨県
甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、甲州市、中央市
長野県
長野市、松本市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、軽井沢町、下諏訪町
岐阜県
岐阜市、大垣市、高山市、多治見市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、羽島市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、山県市、瑞穂市、下呂市、岐南町、笠松町、坂祝町、富加町

静岡県
静岡市、浜松市、沼津市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、富士市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、伊豆市、御前崎市、伊豆の国市、牧之原市、清水町

愛知県
名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、豊川市、津島市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、新城市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、みよし市、あま市、長久手市、東郷町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、幸田町

三重県
津市、四日市市、伊勢市、松阪市、桑名市、鈴鹿市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、いなべ市、伊賀市、玉城町、度会町

滋賀県
大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、東近江市

京都府
京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宇治市、宮津市、亀岡市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、京丹後市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村

大阪府
大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、高槻市、貝塚市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、泉佐野市、富田林市、寝屋川市、河内長野市、松原市、大東市、和泉市、箕面市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、泉南市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、島本町、豊能町、能勢町、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村

兵庫県
神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、洲本市、芦屋市、伊丹市、相生市、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、篠山市、養父市、たつの市、猪名川町、稲美町、播磨町

奈良県
奈良市、大和高田市、大和郡山市、天理市、橿原市、桜井市、五條市、御所市、生駒市、香芝市

和歌山県
和歌山市、海南市、橋本市、有田市、御坊市、田辺市、新宮市、紀の川市、岩出市

鳥取県
鳥取市、米子市、倉吉市、境港市

島根県
松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市

岡山県
岡山市、倉敷市、津山市、玉野市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美作市、浅口市、和気町、早島町、里庄町、矢掛町、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町、吉備中央町

広島県
広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町

山口県
下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、光市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、山陽小野田市、和木町

徳島県
徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市

香川県
高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市

愛媛県
松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市

高知県
高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市

福岡県
北九州市、福岡市、大牟田市、久留米市、直方市、飯塚市、田川市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、行橋市、豊前市、中間市、小郡市、筑紫野市、春日市、大野城市、宗像市、太宰府市、古賀市、福津市、嘉麻市、朝倉市、糸島市、那珂川町、宇美町、篠栗町、志免町、須惠町、新宮町、久山町、粕屋町、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、苅田町、吉富町

佐賀県
佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市

長崎県
長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、五島市、長与町、時津町、波佐見町

熊本県
熊本市、八代市、人吉市、荒尾市、水俣市、玉名市、山鹿市、菊池市、宇土市、天草市

大分県
大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市

宮崎県
宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市

鹿児島県
鹿児島市、鹿屋市、枕崎市、阿久根市、出水市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、霧島市、いちき串木野市、南さつま市、奄美市、伊佐市

沖縄県
那覇市、宜野湾市、石垣市、浦添市、名護市、糸満市、沖縄市、豊見城市、うるま市、宮古島市、南風原町

※ 上記のエリア内でも市街図データが収録されていない場合があります。

ＶＩＣＳ情報有料放送サービス契約約款

第1章 総 則

（約款の適用）
第1条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和２５年法律第１３２号）第１４７条の規定に基づき、このＶＩＣＳ情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりＶＩＣＳ情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）
第２条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のＶＩＣＳ情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）
第３条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) ＶＩＣＳサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、ＦＭ多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) ＶＩＣＳサービス契約
当センターからＶＩＣＳサービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者
当センターとＶＩＣＳサービス契約を締結した者

(4) ＶＩＣＳデスクランブラー
ＦＭ多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第２章　サービスの種類等

（ＶＩＣＳサービスの種類）
第４条　ＶＩＣＳサービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（ＶＩＣＳサービスの提供時間）
第５条　当センターは、原則として一週間に概ね１２０時間以上のＶＩＣＳサービスを提供します。

第3章 契 約

（契約の単位）
第６条　当センターは、ＶＩＣＳデスクランブラー１台毎に１のＶＩＣＳサービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）
第７条　ＶＩＣＳサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねＮＨＫ－ＦＭ放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりＶＩＣＳサービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）
第８条　ＶＩＣＳサービスは、ＶＩＣＳ対応ＦＭ受信機（ＶＩＣＳデスクランブラーが組み込まれたＦＭ受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（ＶＩＣＳサービスの種類の変更）
第９条　加入者は、ＶＩＣＳサービスの種類に対応したＶＩＣＳ対応ＦＭ受信機を購入することにより、第４条に示すＶＩＣＳサービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）
第１０条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）
第１１条　当センターは、次の場合には加入者がＶＩＣSサービス契約を解除したものとみなします。

（1）加入者がＶＩＣＳデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

（2）加入者の所有するＶＩＣＳデスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）
第１2条

1　当センターは、加入者が第１６条の規定に反する行為を行った場合には、ＶＩＣＳサービス契約を解除することがあります。また、第１７条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、ＶＩＣＳサービス契約は、解除されたものと見なされます。

2　第１１条又は第１２条の規定により、ＶＩＣＳサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、ＶＩＣＳサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料 金

（料金の支払い義務）
第１3条　加入者は、当センターが提供するＶＩCSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保 守

（当センターの保守管理責任）
第１4条　当センターは、当センターが提供するＶＩCSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）
第１5条

1　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、ＶＩＣＳサービスの利用を中止することがあります。

2　当センターは、前項の規定によりＶＩＣＳサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑 則

（利用に係る加入者の義務）
第１6条　加入者は、当センターが提供するＶＩCSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）
第１7条

1　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりＶＩＣＳサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、ＶＩＣＳサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは、当該変更においても、変更後３年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、ＶＩＣＳサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2　ＶＩＣＳサービスは、ＦＭ放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるＶＩＣＳサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、３年以上の期間を持って、ＶＩＣＳサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

［別表］　視聴料金 ３００円（税抜き）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

地図SD カードに収録されているデータベース情報は、Gracenote メディアデータベースを使用しています。
音楽認識技術と関連情報はGracenote® 社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote® 社のホームページwww.gracenote.com をご覧下さい。

Gracenote, Inc. 提供の CD および音楽関連データ: copyright © 2000-present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenote が所有する 1 つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部の Gracenote 特許の一覧については、Gracenote のWeb サイトをご覧ください。Gracenote、CDDB、MusicID、MediaVOCS、Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および "Powered by Gracenote" ロゴは、米国および/ またはその他の国におけるGracenote の登録商標または商標です。

Gracenote® メディアデータベースのご利用について

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.（以下「Gracenote」とする）から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア（以下「Gracenote ソフトウェア」とする）を利用し、音楽CD や楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報（以下「Gracenote データ」とする）などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenote サーバー」とする）から取得するとともに、取得されたGracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外にGracenote データを使用することはできません。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、またはGracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenoteデータ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利をGracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenote プライバシー ポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたはGracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いはGracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。
Gracenote は、将来Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様によるGracenote ソフトウェアまたは任意のGracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないもとのとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

copyright © 2000 to present Gracenote

■ Wi-Fi連携サービス利用規約■

本利用規約は、富士通テン株式会社（以下「弊社」といいます）が提供するWi-Fi連携サービス（以下「本サービス」といいます）の利用にかかわる一切の関係に適用します。

第1条（本利用規約の変更）

弊社は、利用者の承諾を得ることなく本利用規約を変更することがあり、利用者はこれに異議を述べないものとします。

第2条（サービスの内容）

本サービスは通信またはインターネットを経由して、新しい施設情報、自車マーク、および弊社製カーナビゲーション製品（以下、「車載端末」といいます）の本体ソフトウェア更新用データをダウンロードし、車体端末上で利用するサービスです。

第3条（サービスの利用）

1. 利用者が利用できるサービス内容は、車載端末の取扱書およびウェブ等において、別に定めるものとします。弊社は、利用者に通知をすることなく、サービス内容の一部または全部を変更することがあり、利用者はこれを承諾します。
2. 本サービスの利用にあたっては、注意事項・説明文等に同意していただくものとします。

第4条（車載端末および情報通信端末の用意）

利用者は、本サービスを利用しようとする場合には、車載端末、情報通信端末ならびにこれに付随する機器、ソフトウェアおよび情報通信端末用の通信回線等を、自己の責任と負担において用意するものとします。

第5条（サービスの終了）

弊社は、利用者の承諾を得ることなく本サービスの提供を終了することができるものとします。

第6条（本サービス提供の一時的な中断）

弊社は、次のいずれかに該当する場合には、利用者へ通知することなく、本サービスの提供を一時的に中断することがあります。

(1) 本サービスのシステム保守を定期的に、または緊急に行う場合
(2) 火災、停電、戦争、暴動、騒乱、労働争議などにより本サービスの提供ができなくなった場合
(3) 地震、噴火、洪水、津波などの天災により本サービスの提供ができなくなった場合
(4) 通信サービスが停止された場合
(5) 車載端末および情報通信端末の使用環境その他の事情により通信障害が生じた場合
(6) その他、運用上または技術上、弊社が本サービス提供の一時的な中断を必要と判断した場合

第7条（損害賠償）

1. 弊社は、本サービスの利用またはそのサービス提供の有用性および正確性についていかなる保証もせず、その内容、遅延または中断などにより発生した利用者の損害に対しては、弊社に重大な過失があるときを除いてはいかなる責任も負わないものとします。
2. 利用者が本サービスの利用によって第三者に対して損害を与えた場合、利用者は自己の責任と負担をもって解決し、弊社には一切の迷惑をかけないものとします。
3. 利用者が本利用規約に反した行為、または不正もしくは違法な行為によって弊社に損害を与えた場合、弊社は当該利用者に対して損害賠償を請求することができるものとします。

第8条（免責）

通信回線や情報機器等の障害によるシステムの中断、遅滞、中止、データの消失等により生じた損害、その他本サービスに関して利用者に生じた損害について、当社は一切責任を負わないものとします。

第9条（私的利用）

利用者は、本サービスを通じて入手した情報を、自己の車載端末に利用する利用者個人の私的利用の範囲内において利用することができるものとします。

第10条（禁止事項）

1. 本サービスの著作権その他の権利は、法令または条約で保護されており、利用者は、著作権者その他知的財産権の権利者（以下、「著作権者等」といいます）の承諾を得ることなく、本サービスを通じて入手した情報を、複製、改ざん、改変、頒布等してはならず、また、これらの権利を侵害する恐れのある行為もしてはならないものとします。
2. 利用者は、本サービスおよび本サービスを通じて入手した情報を、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等の手法により解析する行為はしてはならないものとします。
3. 利用者は、本サービス用設備に過度の負担をかける行為など、本サービスの運営を妨げることや、弊社または本サービスの信用を毀損することはしてはならないものとします。
4. 利用者は、本サービスの利用権その他本利用規約に基づく権利の全部または一部を第三者に貸与、譲渡、承継させ、または担保に供することはできないものとします。
5. 利用者は、営利、非営利に関わらず、本サービスおよび本サービスを通じて入手した情報を、第三者に貸与、譲渡その他いかなる方法においても、使用させてはならないものとします。
6. 利用者は、法令または公序良俗に反して本サービスを一切利用することができないものとします。

第11条（管轄裁判所）

利用者と弊社との間で訴訟が生じた場合、神戸地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

■商標について

- SD Logo is a trademark of SD-3C,LLC.
  miniSD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
  microSD Logo is a trademark of SD-4C, LLC.
  SDHC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
  miniSDHC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
  microSDHC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
- is a trademark of DVD Format / Logo Licensing Corporation.
- Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.
- 「Made for iPod」,「Made for iPhone」とは、それぞれがiPod、iPhone専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能及び規格への適合について一切の責任を負いません。この製品とiPod、iPhone を使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch, Lightning, Apple, Appleロゴ, App Storeは、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
- Lightning は、Apple Inc. の商標です。
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- E-VOLUTION は、富士通テン株式会社の商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

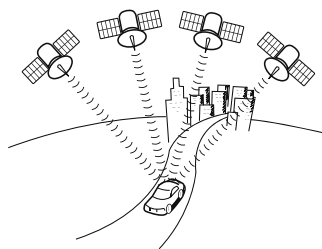
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Incが所有する登録商標であり、富士通テン株式会社はこれら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有者が所有する財産です。
  本機は、電波法に基づく特定無線設備の工事設計の認証を取得しています。
- 「マップコード」は、株式会社デンソーの登録商標です。
- VICSリンクデータベースの著作権は（財）日本デジタル道路地図協会、（財）日本交通管理技術協会が有しています。
- VICSおよび本機に付与された のマーク・ロゴタイプは財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国マイクロソフトコーポレーションの米国、およびその他の国における登録商標および商標です。
- ニンテンドー DS・ディーエス／DSは任天堂の登録商標または商標です。
  DSモードに含まれるコンテンツの一部の著作権は、任天堂株式会社に帰属します。
- The Wi-Fi Logo is a certification mark of the Wi-Fi Alliance.

- “MirrorLink Certified™, the Design Only™ Certification Logo, MirrorLink™ and the MirrorLink™ Logo are certification marks and trademarks of the Car Connectivity Consortium LLC. Unauthorized use is strictly prohibited.”

- Google Play is a trademark of Google Inc.
- HDMI、HDMIロゴ、および High-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

■ 著作権について

- 本機は、ロヴィコーポレーションが保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護されたコピー防止技術を採用しています。リバース・エンジニアリングまたは分解は禁止されています。
- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。
- MP3/WMAA/AACファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- iPod およびiTunes は、著作権の無いマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- 音楽作品は、著作権法により保護されています。
  したがって、本機で録音したSDメモリーカードを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）等権利者に直接お尋ねください。

GPS(Global Positioning System)

GPSは、高度約21000kmの軌道上を周回する通常4個以上、場合により3個のGPS衛星から地上に放射される電波を受信して、現在の位置（緯度、経度、高度）を知ることができるシステムです。

この衛星は、主として軍事利用のために米国国防総省によって打ち上げられ管理されていますが、民間の使用も解放されています。本機では、GPSの情報や各種センサー、道路地図データなどを利用してナビを行っています。

自立航法

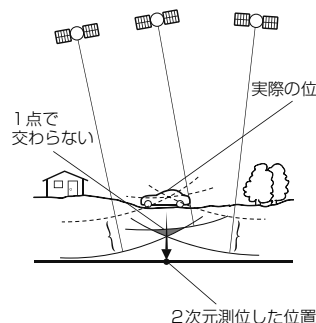
車速センサー、振動ジャイロセンサーからのデータによって自車走行軌跡を求め、現在地を表示する技術です。トンネルや高架下道路などでも自車の現在地を表示できます。

広域地図、詳細地図

広域地図とは範囲の大きな地図で、詳細地図とは範囲の小さな地図のことです。地図の縮尺は1／2048万、1／1024万、1／512万、1／256万、1／128万、1／64万、1／32万、1／16万、1／8万、1／4万、1／2万、1／1万、1／5000、1／2500です。

測位

3個以上のGPS衛星からの電波を受信して、自車の現在地を測定することです。

2次元測位と3次元測位

GPSは3点測量の原理にしたがって位置を計算しています。

1個の衛星から電波を受信するとその衛星との距離がわかり、3個の衛星から受信すると現在地が測位できます。

しかし、実際にはGPS衛星およびナビユニットに誤差があるので、3個のGPS衛星からの電波しか受信できない場合には、緯度と経度の2次元で測位しています。この場合は精度が低くなります。

また、4個以上のGPS衛星からの電波を受信した場合は、緯度、経度、高度の3次元で測位しています。3次元測位は2次元測位より精度が上がり、現在地の表示の誤差も少なくなります。

振動ジャイロセンサー

走行中に右や左にどれだけ曲がったかを電気的に検出する振動ジャイロセンサーと車の速度を検出する車速センサーで現在地を割り出しています。

本機の自立航法では、このセンサーが非常に重要な役割を果たしています。

スーパーオーディオCD（SACD）

原音のアナログ波形に極めて近い形で音をデジタル記録するDSD（Direct Stream Digital）方式を採用した高音質オーディオディスクの規格です。
スーパーオーディオCDには次の種類があります。

・シングルレイヤーディスク
　HD層※が１層のみのディスク
・デュアルレイヤーディスク
　HD層※が２層のみのディスク
・ハイブリッドレイヤーディスク
　HD層※とCD層※が合わさった２層のディスク

※ HD層：スーパーオーディオCDの高密度信号層
　CD層：既存のCDプレーヤーで読み取り可能な層

CD-EXTRA

音楽用の音楽データトラックとパソコン用のPCデータトラックを１枚のメディアの中にマルチセッションで書き込んだものです。この場合、第１セッションには音楽データトラックを記録し、第２セッション以降にPCデータトラックを記録するため、音楽CDプレーヤーは第２セッション以降のPCデータトラックを再生することがなくなります。

Mixed Mode CD

音楽用の音楽データトラックとパソコン用のPCデータトラックを１枚のメディアの中にシングルセッションで書き込んだものです。この場合、第１トラックにはPCデータトラックを記録し、第２トラック以降に音楽データトラックを記録するため、音楽CDプレーヤーは第１トラックのPCデータを再生してしまい、大きなノイズが出てしまいます。これは音楽CDプレーヤーがマルチセッションに対応しているため、マルチセッションのCDを再生すると第１セッションしか認識せず、これが再生されてしまうためです。

MP3（MPEG Audio レイヤ3）

MPEG（Moving Picture Experts Group）より規格化された音声圧縮フォーマット。

WMA（Windows Media™ Audio）

マイクロソフト社の音声圧縮フォーマット。

AAC（Advanced Audio Coding）

MPEG（Moving Picture Experts Group）より規格化された音声圧縮フォーマット。本機ではiTunesで作成されたファイルのみ対応しています。

ID3タグ／WMAタグ／iTunesタグ

MP3／WMA／AACファイルには、付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトル、アーティスト名などを保存できます。対応したプレイヤーでタグ情報の表示・編集が可能です。

WMV (Windows Media™ Video)/AVI (Audio Video Interleaving)

Microsoft社が開発した動画フォーマット。

MPEG4 (Moving Picture Experts Group phase 4)

MPEG（Moving Picture Experts Group）より規格化された動画フォーマット。

エンコーダ

WAVEファイルからMP3ファイルなどへ変換（圧縮）するためのソフトウェアのことです。

コピーコントロールCD／レーベルゲートCD

パソコンなどで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。
コピーコントロールCD、レーベルゲートCDには次のマークが付与されています。
ご使用になる前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。

セッション

CD-R、CD-RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が付加されます。このリードイン、データ、リードアウトの固まりを“セッション”と言います。１枚のCD-R/RWに１つのセッションが書き込まれているものを「シングルセッション」、１枚のCD-R/RWに追記によって複数のセッションが書き込まれているものを「マルチセッション」といいます。

ワンセグ放送

ワンセグ放送とは、1セグメントを使用した携帯端末向けの放送のことです。1セグメントのみ使用するため解像度は低いですが、視聴可能な範囲が広いのが特長です。

データ放送

通常の番組とは他に、さまざまな情報を提供する放送のことです。たとえば、天気予報やニュース、道路の混雑状況を見たり、クイズに参加したりできます。

ハイビジョン

高精細度テレビジョン（HDTV：High Definition TV）のことです。地上デジタル放送ではハイビジョン映像と標準映像の2種類の映像を配信できます。標準映像の横縦比が4：3なのに対して、ハイビジョン映像は16：9と、横長になっています。走査線の数も標準映像が525本なのに対して、ハイビジョン映像は倍以上の1125本となっており、細部まできれいに表現できます。これにより、画面と融合しているかのような臨場感溢れる映像を楽しめます。

本機はハイビジョン放送の受信は可能ですが、表示は標準映像となります。

Bluetooth

2.4GHz帯域を用いて、Bluetooth搭載機器間で無線通信ができます。本機は、Bluetooth無線技術を搭載した機器との無線通信により、ハンズフリー機能やデータ通信、音楽ファイルの再生機能が使用できます。

シングルタップ

スマートフォンやタブレット端末などの操作方法の1つで、画面に1回タッチする操作方法のことです。

ダブルタップ

スマートフォンやタブレット端末などの操作方法の1つで、画面に2回続けてタッチする操作方法のことです。

本機のお問い合わせ先について

アフターサービスに関するお問い合わせ

販売店、またはお客様相談窓口に連絡してください。

富士通テン株式会社
「お客様相談窓口」

フリーダイヤル　0120-022210
携帯電話・PHSからもご利用になれます。

受付時間　午前10:00～12:00、午後1:00～5:00（土・日・祝日などを除く）

製品の購入や組み合わせに関するお問い合わせ

販売店、または販売会社に連絡してください。

■ 富士通テン販売株式会社

東京本社	〒160-0023 東京都新宿区西新宿８丁目14番24号 （西新宿KFビル）	(03)5330-6244	東京、神奈川、千葉、山梨
北海道支店	〒003-0809 札幌市白石区菊水９条２丁目2番38号	(011)821-2221	北海道全域
北日本支社	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3丁目4番18号 （タカノボル第22ビル）	(022)256-2291	東北地区
関東支社	〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西4丁目18番1号	(048)859-2210	栃木、埼玉、群馬、茨城、新潟、長野
中部支社	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南3丁目11番10号	(052)581-8621	中部、北陸地区
関西支社	〒663-8241 西宮市津門大塚町7番35号	(0798)36-7481	兵庫、大阪、京都、滋賀、奈良、和歌山
中国支店	〒734-0044 広島市南区西霞町2番25号	(082)255-2422	中国地区
高松事務所	〒760-0078 高松市今里町１丁目28番13号	(087)863-7020	四国地区
西日本支社	〒815-0031 福岡市南区清水4丁目4番34号	(092)511-3210	九州全域、沖縄

修理に関するお問い合わせ

本機の修理は、販売店にて受け付けています。

保証期間中は、保証書に記載の保証規定にもとづいて無料で修理いたします。製品に保証書を添えて申し込んでください。

- 保証期間は、同梱の保証書でご確認ください。
- 保証書は、販売店名や購入日の記載を確認のうえ、大切に保管してください。
- 保証期間が過ぎている場合は、有料で修理をお引き受けしています。
- 出張による修理や点検は行っていません。
- 製品の機能を維持するために必要な“補修用性能部品”は、製造打ち切り後も最低6 年間は保有しています。

ワンポイント

- 修理や点検の際にかかる本機の取り付け／取り外し費用は、保証期間内においても基本的に有償となります。

メールでのお問い合わせ

ECLIPSE では、メールでのお問い合わせにも対応しています。

お客様サポートページに記載されている注意事項を確認してから「お問い合わせフォーム」にアクセスし、必要事項を記入のうえ、送信してください。

- URL
  http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/inquiry/agree.html

故障とお考えになる前に

使用環境や設定の問題で、本機を操作できない場合があります。また、故障ではなく製品自体の仕様である可能性も考えられます。

ECLIPSE のお客様サポートページには、よくある問い合わせ内容をまとめた「FAQ」を準備しています。修理や点検を申し込む前に、お客様サポートページの内容をご確認ください。

- URL
  http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/

miniB-CASカードのお問い合わせ先について

miniB-CASカードの所有権は株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあります。miniB-CASカードに関するお問い合せは、下記へご連絡ください。

- カードの故障や車載機の廃棄などによりminiB-CASカードの交換、廃棄が必要になったときは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターに連絡して交換、返却の手続きをしてください。
  電話番号　0570-000-261
  受付時間　AM10:00～PM8:00（年中無休）

VICS・ITSスポットのお問い合わせ先について

- VICS車載機、ITSスポット対応DSRCユニットの調子や使用方法、受信の可否に関して
- 地図表示（レベル3）の内容に関して
- VICS情報の受信エリアや内容の概略に関して

これらの内容のお問い合わせは、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

- 文字表示（レベル1）の内容に関して
- 簡易図形表示（レベル2）の内容に関して
- ITSスポットにて提供される道路交通情報、ITSスポット安全運転支援案内に関して
- VICSの概念、サービス提供エリアに関して

これらの内容のお問い合わせは、運用管理室までご連絡ください。

【窓口】運用管理室
【電話番号】0570-00-8831（PHS、IP 電話等を除く）
【受付時間】9：30 ～17：45（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）
【FAX 番号】03-3562-1719
【ホームページURL】http://www.vics.or.jp/
ホームページからも連絡先をご覧いただけます。
連絡先およびアドレスは、予告なしに変更・休止することがありますのでご了承ください。

- VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などは、ホームページでご覧いただけます。
  なお、お問い合せ先の判断に迷うような場合には、まずお買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

<GPSアンテナ>

寸法	35（W）× 14（H）× 6.6（D）mm（突起部を除く）
重量	約107（g）
電源電圧	4.7±0.5V
消費電流	9mA以上　30mA以下

<ディスプレイ>

液晶パネル	・ AVN-SZX04i / AVN-ZX04i ：9型ワイド低反射パネル ・ AVN-SZ04i / AVN-Z04i：7型ワイド低反射パネル ・ AVN-SZ04iW / AVN-Z04iW：7型ワイド低反射パネル
画素数	1,152,000画素（800（H） × 480（V） × 3）
有効画素率	99.99%以上
表示方法	透過型カラーフィルター方式
駆動方式	TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリクス方式
バックライト	LED

<ラジオ>

受信周波数	・ AM 522～1,629kHz ・ FM 76～95MHz
実用感度	・ AM 14dBμV (S/N20dB) ・ FM 12dBf (S/N30dB)
周波数特性	30～15,000Hz (FM)

<CD・DVD>

ワウ・フラッタ	測定限界以下
高調波歪み率	0.01%（0dB、1kHz)
周波数特性	20～20,000Hz
S ／ N比	97dB（1kHz)
ダイナミックレンジ	105dB

<地上デジタルTV>

受信チャンネル	473.14～710MHz（UHF：13～52ch)
インピーダンス	75Ω
アンテナ	フロント4ch

<SDメモリーカード>

高調波歪み率	0.01%
周波数特性	40～16,000Hz
S/N比	90dB

＜共通部＞

項目		仕様
高調波歪み率		0.01%（0dB、1kHz）
周波数特性		20～20,000Hz
S／N比		97dB（1kHz）
定格出力		16W×4（1kHz、歪1%、4×4Ω負荷）
最大出力		MOS-FET 49W×4
適合負荷インピーダンス		4Ω（各チャンネル）
電源電圧		DC13.2V（10.5-15.8V）アース専用
動作温度範囲		-20℃～+65℃
保存温度範囲		-40℃～+85℃
消費電流		・ 0.5W×4出力時　約2.5A ・ 最大約12A
AVN-SZX04i AVN-ZX04i	外形寸法	・ 横幅223mm ・ 高さ138.5mm ・ 奥行165mm
	質量（重量）	約2.8kg
AVN-SZ04i AVN-Z04i	外形寸法	・ 横幅180mm ・ 高さ100mm ・ 奥行165mm
	質量（重量）	約2.3kg
AVN-SZ04iW AVN-Z04iW	外形寸法	・ 横幅205.5mm ・ 高さ104mm ・ 奥行き164mm
	質量（重量）	約2.4g

製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が本機と一致しない場合がありますのでご了承ください。

五十音順

カ

サ

タ

ナ

ハ

VICS マーク一覧

VICS 情報を受信した場合、次のマークが表示されます。

表示	情報内容
	事故
	故障車
	路上障害
	注意
	注意（地震警戒宣言）
	工事
	火災
	雨
	凍結
	雪
	作業
	通行止め
	右折禁止
	左折禁止
	直進禁止
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止

表示	情報内容
	駐車場 空
	駐車場 満
	駐車場 混雑
	駐車場 不明
	駐車場 閉鎖
	対面通行
	車線規制
	徐行
	入り口閉鎖
	大型通行止め
	入り口規制
	出口規制
	速度規制 30 km/h
	SA PA 情報 空
	SA PA 情報 満
	SA PA 情報 混雑
	SA PA 情報 不明
	イベント

表示されるマークは実際と異なることがあります。また、複数の規制を代表して 1 つのマークで表示されることがあります。

施設表示の凡例

表示	内容
	高速・都市高・ 有料道路
	国道
	主要地方道
	県道
	その他の道路 (巾5.5m以上)
	その他の道路 (巾3.0m以上)
	トンネルまたは整備計画区間 (上記各道路で表示あり)
	私鉄
	JR
	水域
	都道府県界
	緑地
	駅舎・敷地
	踏切
	ボトルネック踏切※
	事故多発地点
	官公庁
	都道府県庁
	市役所・東京23区役所
	町村・東京以外区役所
	警察署
	消防署

表示	内容
	郵便局
	インターチェンジ
	スマート インターチェンジ
	サービスエリア
	パーキングエリア
	駐車場入口
	駐車場出口
	信号機
	駐車場
	駅
	道の駅
	フェリーターミナル
	港湾
	空港・飛行場
	学校
	幼稚園
	病院・医院
	電力会社・発電所
	電話局
	銀行・信用金庫・農協
	デパートなど

表示	内容
	ホテル・旅館など
	ビル
	工場
	灯台
	神社
	寺院
	教会
	霊園・墓地
	城・城跡
	名所・観光地など
	ゴルフ場
	スキー場
	海水浴場
	アイススケート場
	マリーナ・ ヨットハーバー
	陸上競技場・体育館
	キャンプ場
	公園
	温泉
	山
	その他の施設

※ 列車が頻繁に通過するため、通過するのに時間がかかる踏み切り。
表示されるマークの位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して 1 つのマーク で表示することがあります。

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、
お買い求めの販売店またはお客様相談窓口までお願い致します。

富士通テン株式会社「お客様相談窓口」

フリーダイヤル　0120-022210

携帯電話・PHSからもご利用になれます。

受付時間　午前10:00～12:00、午後1:00～5:00(土・日・祝日などを除く)

お客様サポート:製品情報や適合情報、ダウンロードサービスなどがご利用になれます。
http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/

富士通テン株式会社

〒652-8510　神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号
電話　神戸(078)671-5081(代表)

1510(FAN)